

二之宮洗橋遺跡

一般国道17号（上武道路）改築工事に伴う
埋蔵文化財発掘調査報告書

《写真図版編》
《観察表》

1994

建設省
群馬県教育委員会
〔群馬県埋蔵文化財調査事業団〕

(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告第166集

二之宮洗橋遺跡

一般国道17号（上武道路）改築工事に伴う
埋蔵文化財発掘調査報告書

《写真図版編》
《観察表》

1994

建設省
群馬県教育委員会
(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団

観 察 表 凡 例

- 1 本文中に掲載した出土遺物の特徴については、この観察表で一括して記す。

遺物は出土した遺構単位で掲載頁の順に掲載した。観察表にはスペースの都合で略語・記号や慣用語を多く使用した。

- 2 遺物番号は本文中の番号や写真図版の番号と同じである。
- 3 器種には器形と（土器種類）を併せて記した。金属製品や石製品では製品名を記した。
- 4 計測値はセンチメートルを単位とし、ミリメートルの単位まで実際に遺物を計測した値を記した。そのため、実測図から得られるデータと数値は必ずしも一致しない。計測値は外径である。歪みの大きな遺物は最小値と最大値を～を使って併記した。図上復元の値には（ ）を、残存値には〔 〕を付した。計測部位の表示に下記の略語を使用した。

「口」口縁部径 「頸」頸部径 「胴」胴部径 「台」高台等の下端径 「高」器高
「鈕」蓋の鈕部径 「長」土錘等の長さ 「径」土錘等の最大径 「重」重量（単位g）

- 5 出土・復元状況は、遺跡での出土状況と整理作業での復元状況を記した。床面や底面からの高さを+（単位cm）で示した。≡は接合を示す。流路あとの窪地で遺物出土位置のドットがおちているものに※印をつけた。また復元状況で分数を使用している場合、分母は8までとし、1/8以下の表記には小破片とか若干と表現した。

- 6 成・整形技法と器形の特徴については次のとおりである。ロクロ（回転台などの総称）使用の土器は「回転の方向」→「切離しの手法」→「切離し後の調整」の順で記した。切離し後の調整でロクロ使用のものは、成形段階と異なる回転方向の場合のみ、その方向を記した。回転痕跡の表現では指や工具によって生じた稜を「ロクロ痕」、回転によって生じた擦痕を「横ナデ」とした。特にロクロ不使用の土器に見られる「横位ナデ」と区別した。

ヘラ削りについては、粘土をそぎ落とすようにしたものを「強い」、なま乾き状態で擦痕が目立つものを「鋭い」と表現した。

器形については、特記事項の他は、歪みなど図示だけでは表現の難しいものの記載にとどめた。

- 7 備考は「①胎土 ②焼成 ③色調 ④その他」の順で記した。

①胎土は素地と混入鉱物に分けて記した。素地については粗密の観察に主眼をおいた。混入鉱物は肉眼観察によるものである。赤褐色鉱物・黒色鉱物等としたものは鉄を主成分にするものと思われる。砂粒は農学会の表記方法を使用した（細砂→0.2mm以下、粗砂→0.2～2mm、細礫2mm以上）。

②焼成は焰の種類と焼き上がりの状態を記した。焰の種類は酸化焰と還元焰の他に、平安時代後半以降に現れる中間的なものを中性焰と記した。状態については軟調と硬調とに分けた。

③色調には『新版標準土色帖』（日本色研事業株式会社）を使用した。二次的被熱による変色や付着物のない部分のうち、特徴的な場所を選んだ。『土色帖』の色名を使用した場合は必ず記号を併記して、「一部黄色味をおびている」というような補助的記載と区別している。

④その他では、土器は二次被熱・付着物・凍てハゼなど、焼成後に加わった特徴を記した。陶磁器では類推される生産地と年代をこの項に加えた。

目 次

凡 例

1号住居出土遺物	1
2号住居出土遺物	1
3号住居出土遺物	2
4号住居出土遺物	4
5号住居出土遺物	4
6号住居出土遺物	4
7号住居出土遺物	5
8号住居出土遺物	6
9号住居出土遺物	6
10号住居出土遺物	7
11号住居出土遺物	8
12号住居出土遺物	9
窪地出土遺物	10
窪地出土の墨書土器	29
1号溝出土遺物	44
2号溝出土遺物	48
6号溝出土遺物	49
8号溝出土遺物	49
9号溝出土遺物	50
10号溝出土遺物	50
12号土坑出土遺物	51
水田出土遺物	51
舶載磁器	51
遺構外出土木製品	52
遺構外出土遺物	53
旧流路跡の窪地出土漆付着の土器	54
住居出土こも編石	54

写真図版目次

PL-1 二之宮洗橋遺跡出土の特殊遺物

墨書土器・円面硯・砥石
漆付着の土器

PL-2 漆様物質の顕微鏡写真

写真1, 漆1の落射光による写真(×100)
写真2, 漆1の透過光による写真(×200)
写真3, 漆2の落射光による写真(×100)
写真4, 漆2の透過光による写真(×100)
写真5, 漆2'の落射光による写真(×100)
写真6, 漆2'の透過光による写真(×100)
写真7, 漆4の落射光による写真(×100)
写真8, 漆4の透過光による写真(×200)
写真9, 漆5の落射光による写真(×100)
写真10, 漆5の透過光による写真(×100)
写真11, 漆6の落射光による写真(×100)
写真12, 漆6の透過光による写真(×100)
写真13, 漆7の落射光による写真(×100)
写真14, 漆7の透過光による写真(×400)
写真15, 漆8の落射光による写真(×400)
写真16, 漆8の透過光による写真(×400)

PL-3 遺跡付近の航空写真

PL-4 1号住居

住居群全景(北から)
1号住居全景
1号住居遺物出土状態(南から)
1号住居セクション(西から)

PL-5 2・3号住居

2号住居全景(西から)
2号住居遺物出土状態
2号住居カマド遺物出土状態
2号住居カマドセクション
3号住居全景
3号住居遺物出土状態
3号住居セクション(東から)
3号住居セクション(南から)

PL-6 4号住居

4~7号住居全景
4号住居全景(西から)
4号住居壁下矢板跡(南西コーナー付近)
4号住居カマド掘り方セクション
4号住居カマド掘り方

PL-7 5・6号住居

5号住居全景(西から)
5号住居カマドセクション
6号住居全景(西から)
6号住居遺物出土状態
6号住居カマド掘り方
6号住居セクション(西から)
6号住居貯蔵穴セクション
6号住居カマド掘り方セクション

PL-8 7・8号住居

7号住居全景(西から)
7号住居セクション(南から)
7号住居遺物出土状態
7号住居カマドセクション
8号住居全景(西から)
8号住居遺物出土状態(西から)

8号住居カマド遺物出土状態

8号住居カマド掘り方

PL-9 9・10号住居

9号住居全景(西から)
9号住居セクション(南から)
9号住居遺物出土状態
9号住居カマド掘り方
10号住居全景(西から)
10号住居セクション(南から)
10号住居セクション
10号住居掘り方

PL-10 11・12号住居

11号住居全景(西から)
11号住居遺物出土状態
12号住居全景(西から)
12号住居遺物出土状態
12号住居セクション(西から)
12号住居カマド
12号住居カマドセクション
12号住居カマド掘り方

PL-11 掘立柱建物

1号掘立柱建物全景(西から)
P2・P2'セクション
P3セクション
P4セクション
1・2号掘立柱建物全景(西から)
2号掘立柱建物P8セクション
2号掘立柱建物全景(南から)
2号掘立柱建物P6セクション

PL-12 1~4号土坑

1・2号土坑全景(西から)
3・4号土坑(南から)
1号土坑(南から)
1号土坑セクション
2号土坑(南から)
2号土坑セクション
3号土坑(南から)
3号土坑セクション

PL-13 4~7号土坑

4号土坑(南から)
4号土坑セクション
5号土坑(南から)
5号土坑セクション
6号土坑(北東から)
6号土坑セクション
7号土坑(南から)
7号土坑セクション

PL-14 8~12号土坑

8号土坑(北から)
8号土坑セクション
9号土坑(西から)
9号土坑セクション
10号土坑(南から)
10号土坑セクション
11号土坑セクション
12号土坑遺物出土状態

PL-15 流路跡の窪地(1)

- 流路跡の窪地の全景
 1～4区全景
 セクション
 砥石出土状態
 遺物出土状態
- PL-16 流路跡の窪地(2)・溝
 流路跡遺物出土状態
 流路跡遺物出土状態
 1号溝南半全景
 1号溝セクション
 1号溝北半全景
 1号溝遺物出土状態
 2号溝全景(南から)
 3・4・5号溝全景(南から)
- PL-17 溝
 8・9・10号溝全景(東から)
 6号溝セクション
 8号溝セクション
 9号溝遺物出土状態
 10号溝セクション
- PL-18 C区の水田
 C区水田全景(西から)
 C区第1面水田
 C区第1面水田(西から)
 C区第2面水田(南西から)
 C区第2面水田(南から)
- PL-19 A区の水田
 A区水田全景(南東から)
 A区水田(北東から)
 A区水田(西から)
 A区水田(南から)
 A区水田(南から)
- PL-20 竪穴住居出土遺物(2～8号住居)
 PL-21 竪穴住居出土遺物(9～12号住居)
 PL-22 流路跡の窪地出土遺物(1～72)
 PL-23 流路跡の窪地出土遺物(73～156)
 PL-24 流路跡の窪地出土遺物(164～254)
 PL-25 流路跡の窪地出土遺物(255～335)
 PL-26 流路跡の窪地出土遺物(312～352)
- PL-27 窪地出土の墨書土器(1～24)
 PL-28 窪地出土の墨書土器(25～57)
 PL-29 窪地出土の墨書土器(58～83)
 PL-30 窪地出土の墨書土器(84～121)
 PL-31 窪地出土の墨書土器(122～151)
 PL-32 窪地出土の墨書土器(150～194)
 PL-33 窪地出土の墨書土器(193～237)
 PL-34 1号溝出土遺物
 PL-35 溝・土坑出土遺物および縄文時代遺物
 PL-36 縄文時代の石器
 PL-37 木製品および遺構外出土遺物
 PL-38 こも編石および漆付着の土器
 PL-39 胎土分析電子顕微鏡写真(1)
 分析試料No.1 電子顕微鏡写真
 分析試料No.3 電子顕微鏡写真
- PL-40 胎土分析電子顕微鏡写真(2)
 分析試料No.5 電子顕微鏡写真
 分析試料No.7 電子顕微鏡写真
- PL-41 木製品の樹種顕微鏡写真(1)
 1 a. マツ属単維管束亜属(横断面)
 1 b. 同(接線断面)
 1 c. 同(放射断面)
 2 a. モミ属(横断面)
 2 b. 同(接線断面)
 2 c. 同(放射断面)
 3 a. ヒノキ属(横断面)
 3 b. 同(接線断面)
 3 c. 同(放射断面)
- PL-42 木製品の樹種顕微鏡写真(2)
 4 a. ケヤキ(横断面)
 4 b. 同(接線断面)
 4 c. 同(放射断面)
 5 a. ヤマグワ(横断面)
 5 b. 同(接線断面)
 5 c. 同(放射断面)
 6 a. モモ(横断面)
 6 b. 同(接線断面)
 6 c. 同(放射断面)
- PL-43 珪藻化石・花粉化石顕微鏡写真

1号住居出土遺物 (本文12頁)

No・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
1 杯(土師)	口(11.4)	南隅+6cm 口 ⅔ 底 ⅔	素地が原因で器面は不鮮明となつているが、外底の削りは鋭い。内面のナデは丁寧で平滑に仕上げている。	①著しく細かな素地。赤褐色鉱物混入。 ②酸化焰。やや軟調。 ③橙5YR6/6。内面彩度低く断面一部灰色味をおびる。

2号住居出土遺物 (本文14頁～ P L-20)

No・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
1 蓋(須恵)	口(9.8)	+34cm 埋没土 図示部の⅔	左回転ロクロか。ロクロ痕は弱い。外面天井部に弱い回転へら削り。	①素地普通。白色砂粒の混入やや多い。 ②還元焰。普通。③灰N4/0。断面は明度高い。 ④外面にタール状の光沢のある黒色の付着物あり。
2 脚付き盤(須恵)	高(6.0)	+30cm 脚 ⅔	4ヶの方形透かしのある盤の脚部と思われる。右回転ロクロ使用。上面の割口は平坦で盤の底部から剝がれたものと思われる。透かしは鋭い工具で外面から穿っており面取りを加えている。	①素地普通。黒色鉱物、白色砂粒を少量含む。 ②やや硬調の還元焰。 ③灰7.5Y6/1。断面までほぼ一様。
3 杯(土師)	口 10.6 高 3.5	竈火床上3片 ほぼ完形	乾燥のすすんだ状態で外面の削りを行なっている。内面は器面に細かな凹凸がある。	①素地きわめて細かい。パミスまじりの砂粒やや多い。②やや硬調の還元焰。 ③橙7.5YR7/6。断面までほぼ一様。
4 杯(土師)	口(12.2) 高(4.2)	竈火床上+ +6cm等10片 口 ⅔ 底 ⅔	外面は幅太で丁寧な削り。内面ナデも丁寧で布状のやや粗い擦痕が巡っている。	①素地やや緻密。1mm大の礫まじりの砂粒を少量含む ②酸化焰。やや硬調。③にぶい褐7.5YR5/3。外面に赤色味をおびる部分あり。
5 杯(土師)	口 10.2~ 10.8 高 3.4	竈内+床直 +32cm ⅔個体	外面の削りは不規則。内面のナデは布状の擦痕が口縁部に巡っている。外底にモミ状の圧痕が残っている。	①素地普通。パミス、輝石等のまじる粗砂やや多い。 ②酸化焰。やや軟調。 ③にぶい橙5YR6/4。外底に広い黒斑あり。
6 杯(土師)	口(10.0)	+29cmの2片 図示部の⅔	外面の削りは強くやや雑。無調整部分が広く残っている。外面口縁部には鋭い擦痕が巡る。内面のナデは丁寧。	①素地普通。1mm大の礫、赤褐色鉱物等を含む。 ②酸化焰。やや硬調。 ③にぶい橙5YR7/4。ほぼ一様。
7 杯(土師)		竈内+47cm 図示部の⅔	外面の削りは弱く丁寧で無調整部分が残っていない。内面は丁寧に仕上げられてあり平滑。	①素地やや緻密。赤褐色鉱物。2mm大の礫等を少量含んでいる。②酸化焰。普通。 ③にぶい橙7.5YR7/4。断面は彩度低い。
8 杯(土師)	口 20.4	+33cmの3片 図示部の⅔	外面の削りは丁寧で細かく無調整部分が残っていない。内面のナデも丁寧で幅広い布痕状の擦痕が巡っている。	①素地普通。パミス、輝石等の混入物を含んでいる。 ②酸化焰。やや硬調。 ③橙5YR6/6。断面一部灰色味をおびている。
9 甕(土師)	口 24.2 底 5.7~6.0 高 40.4	竈内火床上+ 床直+43cm 上半 ⅔ 下半 ほぼ完存	外面の削りはやや強い。内面もやや平滑に仕上げられてあるが整形痕は不明瞭。口縁外面中位に弱い稜がある。大型土器としては薄手で軽量。	①素地やや粗い。赤褐色鉱物、土粒、パミス等1~3mm大の混入物多い。 ②酸化焰。やや軟調。 ③にぶい橙5YR6/4~黒褐7.5YR3/1。
10 甕(土師)	口 18.7~ 20.4 底 4.3 高 34.7 頸 16.5	+33cmの39片 底部付近を 除き完存	外面の削りはやや強いが不明瞭。内面の磨きはへら状工具の痕跡が残っている。口縁端部は小さく肥厚しているが形状は一定でない。二次被熱の影響は少ない。	①素地やや粗い。1mm大のパミス多い。赤褐色鉱物、角閃石を含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい赤褐2.5YR5/4~にぶい褐7.5YR5/3。一様でない。
11 甕(土師)	口 24.0	竈内と竈火床上 の13片 図示部の⅔	外面の削りは丁寧で強い。口縁部ナデは雑で器面は不整。内面ナデはやや丁寧。口縁部に内面から強く穿った孔があるが摩滅等の使用痕は無い。	①素地やや粗くボソボソしている。パミス、赤褐色鉱物等を含む。 ②酸化焰。やや軟調。 ③にぶい黄橙10YR7/3。下方は黒色味をおびている。
12 甕(土師)	口(20.0)	竈内+43~ +31cmの13片 図示部の⅔	外面の削りはやや強い。口縁部に強いナデを施し粗い擦痕が巡っている。内面ナデは幅広いの工具痕が明瞭に残る。	①素地普通。輝石、角閃石、1mm大の石英の混入やや多い。②酸化焰。やや軟調。 ③にぶい赤褐5YR5/3。黒色味をおびるムラ広い。
13 甕(土師)	口(21.6) 高 10.2	竈火床上+ +32~28cm 図示部の⅔	二次被熱の影響で器面は荒れて不明瞭外面の削りは幅広く強い。胴部内面は息の長いナデのやや粗い擦痕が残る。	①粗くザラザラしている。1~3mm大の灰白色の粘土塊が多い。赤褐色鉱物、角閃石等を含む。 ②酸化焰。普通。③にぶい橙7.5YR7/3。外面に灰色味をおびるムラ広い。
14 甕(土師)	口(22.0)	竈火床上+ 15cm埋没土 図示部の⅔	外面削りは縦位と横位がまじっている内面のナデはやや丁寧。内面頸部から口縁中位までの剝落が著しい。	①素地やや粗い。赤褐色鉱物、1mm大の礫まじりの砂粒を含む。②酸化焰。普通。 ③にぶい橙5YR7/4。外面は彩度の低いムラ広い。
15 甕(土師)	口 21.0	19cm(竈内) 図示部の⅔	外面の削りは強く鋭い。内面のナデはやや丁寧。口縁端部は下方に肥厚しているが形状は一定でない。	①砂粒の混入多くややザラザラしている。輝石、パミスを含む。②酸化焰。普通。 ③にぶい橙7.5YR7/3~黒褐10YR3/1。

遺物観察表

No・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
16 甕(土師)	口 15.3~ 15.7	竈内 図示部ほぼ完存	外面の削りは規則的でやや強い。内面ナデは布状のやや細かな擦痕が見られるが接合痕が残っている。	①素地やや砂質。赤褐色鉱物、パミス、チャート等やや大粒の混入物多い。②酸化焰。普通。 ③にぶい黄橙10YR7/2。外面に黒斑あり。
17 甕(土師)	口(20.0)	+54cm⇔埋没土 図示部の $\frac{1}{2}$	外面の削りは幅狭でやや鋭い。内面のナデやや丁寧で平滑に仕上げている。	①ボソボソした素地にパミス、石英等を含む。 ②酸化焰。普通。③灰黄2.5Y7/2~黒褐10YR3/2。
18 甕(土師)	口(22.0)	竈内⇔埋没土の 8片 図示部の $\frac{1}{2}$	外面の削りはやや丁寧で鋭い。口縁外端には幅広の窪みが巡っている。内面のナデは指頭痕の息の長い擦痕が残っている。径不安。	①粗くボソボソの素地。パミス、赤褐色鉱物、1mm大の礫等の混入多い。②酸化焰。普通。 ③外面にぶい黄橙10YR7/3。内面断面にぶい橙7.5YR7/4。
19 甕(土師)	口(23.4)	竈内⇔竈火床上 図示部の $\frac{1}{2}$	外面は細かくやや雑な削り。口縁部のナデも雑で接合痕が明瞭に残っている内面は剝落多く不明瞭だがナデは布状の粗い擦痕が残っている。	①素地やや粗い。石英、赤褐色鉱物、1mm大の礫含。 ②酸化焰。やや軟調。 ③にぶい黄橙10YR7/3。断面は明度高い。
20 甕(土師)	口(17.5) 高 33.6 頸 13.0	+33~+28cmの 37片⇔竈内 頸 $\frac{1}{2}$ 他は $\frac{1}{2}$	外面の削りは強くやや雑で方向も一定でない。内面のナデは丁寧でやや平滑に仕上げている。底部付近は二次被熱で器面は荒れている。	①素地やや粗い。1mm大のパミスの混入多い。赤褐色鉱物を含む。 ②酸化焰。やや軟調。 ③にぶい赤褐5YR5/4~黒褐10YR3/1。一様でない。

3号住居出土遺物 (本文18頁~ PL-20)

No・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
1 杯(須恵)	口(9.2) 高 3.5	+3cmの2片 口 $\frac{1}{2}$ 底 $\frac{1}{2}$	右回転クロー回転ヘラ切りか。外底縁部に粘土塊の付着あり。クロー痕は弱い。内面は平滑さに欠けている。	①素地普通。白色砂粒の混入やや多い。 ②還元焰。普通。 ③灰10Y4/1。断面は紫色味をおびている。
2 杯(須恵)	口 9.2~9.5 底 6.7 高 3.8	床直⇔+8cm 口 $\frac{1}{2}$ 底 $\frac{1}{2}$	右回転クロー回転ヘラ切り。クロー痕弱い。内底中央が大きく凹んでいる。	①素地普通。黒色鉱物等のまじる砂粒を少量含む。 ②硬調の還元焰。③灰白10Y8/1。および暗青灰5B3/1。内面霜降状の降灰釉が少量かかっている。
3 杯(土師)	口(9.6)	+44cmの2片 図示部の $\frac{1}{2}$	外面の削りは強く鋭い。内面のナデは丁寧。口縁部に小さな波状の歪みあり口径不安。	①やや緻密。少量の粗砂以外混入物少ない。 ②酸化焰。やや硬調。 ③橙5YR6/6。断面までほぼ一様。
4 杯(土師)	口(9.6)	床直 図示部の $\frac{1}{2}$	外面の削りは雑で強く無調整部分が広く残っている。内面のナデは丁寧でやや鋭い擦痕が巡っている。	①素地やや緻密。1mm大の礫を少量含む以外混入物少ない。②酸化焰。普通。 ③にぶい橙5YR6/4。外面下半は褐灰10YR4/1。
5 杯(土師)	口 10.6~ 10.9 高 3.9	+6cm ほぼ完形	外面の削りは弱く不明瞭。内面も凍てハゼが多く。不明瞭だが丁寧なナデの痕が残っている。	①素地普通。パミス、石英、1mm大の礫等雑多な混入物を含む。②酸化焰。普通。 ③にぶい橙5YR6/3。外底に黒斑あり。
6 杯(土師)	口(9.8)	+12cm ⇔埋没土 図示部の $\frac{1}{2}$	外面の削りは丁寧でやや強い。内面のナデもやや強く丁寧に仕上げている。口縁外面には鋭い擦痕が巡っている。	①素地普通。パミス、輝石、赤褐色鉱物等を含む。 ②酸化焰。やや軟調。③にぶい黄橙10YR7/4。赤色味黒色味をおびるムラあり一様でない。
7 杯(土師)	口(13.0)	+13cmの3片 図示部の $\frac{1}{2}$	外面の削りはやや雑。内面は凍てハゼ状の剝落が多く整形痕は不明瞭。	①素地やや粗い。パミス、1~2mm大の礫まじりの砂粒やや多い。②酸化焰。やや軟調。 ③にぶい橙5YR6/4。外底と断面は明度高い。
8 杯(土師)	口(11.0)	床直2片 $\frac{1}{2}$ 個体	外面の削りは幅太でやや強い。内面は丁寧なナデで平滑に仕上げているが底部中央では凹凸がある。	①素地普通。微細なパミス、輝石まじりの砂粒含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙5YR6/3。外面は黒斑広い。
9 杯(土師)	口(11.0) 高 4.5	床直⇔+4cm 口 $\frac{1}{2}$ 底 $\frac{1}{2}$	外面の削息長く方向は一定している。底部は丸い外面に比べ内面は平坦である。	①素地普通。砂粒を少量含む。気泡がまじっている。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい褐7.5YR5/3。外面に小さな黒斑あり。
10 杯(土師)	口(10.6)	+10cm 図示部の $\frac{1}{2}$	外面の削りは丁寧で強い。内面のナデも丁寧で鋭い擦痕が巡っている。外面に穀物の可能性のある圧痕が残る。	①素地普通。赤褐色鉱物等少量含む。混入物少ない。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙7.5YR6/4。ほぼ一様。
11 杯(土師)	口(10.4) 高 3.4	+8cm⇔ 埋没土3片 口 $\frac{1}{2}$ 底 $\frac{1}{2}$	外面の削りは幅広で丁寧で無調整部分が残らない。内面のナデも丁寧で平滑に仕上げている。口縁の歪み大きい。	①素地やや緻密。少量の1mm大の礫以外の混入物少ない。②酸化焰。やや軟調。 ③にぶい橙7.5YR6/4。断面は明度高い。
12 杯(土師)	口(7.2)	床直の2片 図示部の $\frac{1}{2}$	外面の削りは丁寧で強く鋭い。内面のナデも丁寧。	①素地普通。混入物少ない。②酸化焰。やや硬調。 ③にぶい橙7.5YR7/3。外面一部に黒色味強いムラあり。
13 杯(土師)	口(13.0) 高(4.7)	床直⇔+6cm ⇔+10cm 口 $\frac{1}{2}$ 底 $\frac{1}{2}$	外面は幅広でやや強い削り。	①素地普通。パミス、輝石まじりの砂粒を含む。 ②酸化焰。普通。③にぶい橙5YR7/4。外面は赤色味や灰色味をおびるムラあり。

No・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
14 杯(土師)	口(12.2) 高 3.8	床直 ⅔個体	外面の削りはやや強い。内面は底部付近で凹凸が多い。口縁部に小さな波状の歪みあり。	①素地普通。赤褐色鉱物、パミス、石英等を少量含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙5YR7/4。断面までほぼ一様。
15 杯(土師)	口(13.8)	床直 \pm +7cm 図示部の⅔	外面の削りは息長くやや鋭い。内面のナデも丁寧だがやや平滑さに欠ける。	①素地普通。赤褐色鉱物、パミスのやや多い砂粒含む。 ②酸化焰。普通。③にぶい橙5YR6/4。断面明度高い。
16 杯(土師)	口(16.2)	床直 \pm +14cm 図示部の⅔	外面の削りは弱い。内面のナデはやや雑。口縁部のわずかな残存からの復元で怪不安。	①素地普通。パミス、輝石等の混入物やや多い。 ②酸化焰。やや硬調。 ③にぶい橙5YR7/4。ほぼ一様。
17 杯(土師)	口(12.0)	床直 \pm +7cm 図示部の⅔	外面の削りはやや雑だが無調整部分は残っていない。内面はやや平滑さ欠く。	①素地普通。微細なパミスまじりの砂粒を少量含む。 ②酸化焰。やや軟調。③にぶい橙5YR6/4。ほぼ一様。
18 杯(土師)	口 13.0 高 4.1	+6cmの2片 ⅔個体	外面の削りは強く中央では一方向。内面ナデも丁寧で平滑に仕上げている。	①素地普通。パミス、1mm大の礫まじりの砂粒を少量含んでいる。②酸化焰。やや硬調。 ③橙5YR6/6~にぶい橙5YR7/4。一様でない。
19 杯(土師)	口(17.8) 高 7.3	床直 \pm +4cm \pm +8cm 口 ⅔ 底 ⅔	外面の削りは幅太で息長く丁寧。外底では一方向。内面のナデは口縁部に整った擦痕が巡っている。	①素地普通。少量の砂粒以外混入物少ない。 ②酸化焰。やや軟調。 ③橙7.5YR6/6。外面に黒褐色のムラあり。
20 杯(土師)	口 18.0 高 6.8	床直の4片 口 ⅔ 底 ⅔	外面の削り雑で無調整部分あり削りの下にもヒビ割れが多く見られる。内面ナデ丁寧で口縁部やや粗い擦痕が巡っている。	①素地普通。パミス等のまじる砂粒を少量含む。 ②酸化焰。普通。 ③橙5YR6/6。外底に黒斑あり。
21 小壺 (土師)	口(6.6) 高 5.6 胴 8.0	+4cm \pm 埋没土 上半 ⅔ 下半 ⅔	器面は摩滅していて整形痕は不明瞭。薄手で軽量。	①素地やや緻密。角閃石まじりの砂粒を少量含む。 ②酸化焰。普通。 ③橙5YR6/6。断面までほぼ一様。
22 壺(須恵)	胴(25.4)	図示部の⅔	内面は口クロ痕の上に下半にアテ具痕状のやや深い窪みが見られる。内面はやや平滑で上半に2条の楕円波状文と2条のやや浅い沈線が巡る。	①素地普通。白色細礫の混入やや多い。石英、チャートを少量含む。 ②還元焰。普通。 ③暗青灰5BG4/1。断面の一部で赤灰色。
23 甕(土師)	口(22.0) 頸(18.2)	床直 \pm 埋没土 図示部の⅔	外面の削りは鋭く細かい。無調整部分が残っている。口縁部のナデは整った鋭い擦痕が巡る。内面のナデは丁寧。	①素地やや粗い。赤褐色鉱物、輝石等のまじる砂粒やや多い。②酸化焰。普通。 ③橙5YR6/6。断面一部で黄色味をおびている。
24 甕(土師)	口(21.0)	床直 \pm +6cm \pm +9cm \pm +14cmの9片 図示部の⅔	外面の削りはやや丁寧。口縁部は肥厚し丸味が強い。歪みが強く怪、傾きとも不安。	①やや粗くボソボソした素地。赤褐色鉱物、白色の大粒粘土等を含む。②酸化焰。やや軟調。 ③にぶい橙7.5YR6/4。一様でない。
25 甕(土師)	口(16.0) 頸(13.2)	床直 図示部の⅔	外面の削りやや強い。内面のナデも丁寧で強い。	①素地やや粗い。パミス、角閃石まじりの砂粒やや多い。②酸化焰。やや硬調。 ③にぶい黄橙10YR6/4。断面、内面は赤色味やや強い。
26 甕(土師)	口(20.0) 頸 17.0	床直の2片 図示部の⅔	外面の削りやや強い。口縁部のナデも強く粗い擦痕が巡っている。内面のナデは丁寧。	①素地やや粗い。角閃石、赤褐色鉱物まじりの粗砂やや多い。②酸化焰。普通。 ③にぶい橙7.5YR7/3。内面一部黄色味をおびている。

4号住居出土遺物 (本文21頁 PL-20)

No・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
1 杯(土師)	口 12.7	床直 \pm +4cm \pm +5cm 口 ⅔ 底 ⅔	外面の削りは幅太でやや鋭い。内面のナデは丁寧。口縁部は内側に肥厚しているが形状は一定でない。内面に焼成前と思われる線刻「×」あり。	①素地普通。パミス、チャート等のまじる砂粒がやや多い。 ②酸化焰。やや硬調。 ③橙5YR6/6。
2 杯(土師)	口(10.6)	埋没土 図示部の⅔	外面の削りは弱い。内面のナデは丁寧だがやや平滑さに欠けている。	①素地普通。混入物少ない。②酸化焰。やや硬調。 ③にぶい橙5YR6/4。内面やや彩度高い。
3 甕(土師)	口(23.6)	+4cm \pm 竈 火床上の4片 図示部の⅔	外面の削りやや強い。口縁部ナデは雑。胴部内面は粘土紐状の凹凸残る。口縁部外端に弱い窪み巡るが形状は一定でない。二次被熱により器面荒れている。	①素地粗い。1~3mm大の赤褐色鉱物、白色粘土塊多い。石英、角閃石を含む。 ②酸化焰。やや軟調。 ③橙5YR6/8~にぶい黄橙10YR7/4。一様でない。
4 甕(土師)	口(26.6)	床直+埋没土 図示部の⅔	径、傾きは異なるが3にほぼ同じ。同一個体である可能性あり。	①~③3にほぼ同じ。

遺物観察表

5号住居出土遺物 (本文22頁)

No・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
1 鉢(土師)	口(18.0)	埋没土5片 図示部の $\frac{1}{2}$	外面の削りは幅太で丁寧。内面のナデも丁寧。小破片からの復元で径不安。	①素地普通。チャート等が少量まじる砂粒を含む。 ②酸化焰。やや軟調。③にぶい橙5YR6/4。断面明度高い。
2 甕(土師)	口(21.0)	竈内 \Rightarrow 床直 \Rightarrow 埋没土 図示部の $\frac{1}{2}$	外面の削りはやや弱い。内面のナデは強く幅広く粗い。擦痕が残っている。口縁外面上半に強い押えを施し端部は小さく肥厚している。	①ボンボンしたやや粗い素地。赤褐色鉱物、輝石、石英等を含む。 ②酸化焰。やや軟調。 ③浅黄2.5Y7/3。一部に黒斑あり。
3 甕(土師)	口(22.6)	床直の4片 図示部の $\frac{1}{2}$	外面の削りは弱い。口縁中位に指頭状の圧痕がある。内面のナデはやや丁寧で鋭い擦痕が残っている。厚手で重量。	①素地やや粗い。パミス、角閃石等を含む。 ②酸化焰。やや軟調。 ③浅黄2.5Y7/3。内面は明度低い。

6号住居出土遺物 (本文25頁 PL-20)

No・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
1 杯(須恵)	口(10.0) 底 7.2 高 3.4	+4cm \Rightarrow +10cm 口 $\frac{1}{2}$ 底 完存	右回転ロクロ \rightarrow 外底全面に回転ヘラ削り。内底で同心円状のロクロ痕強い。	①素地普通。黒色鉱物、白色砂粒等を含んでいる。 ②還元焰。普通。 ③青灰5BG6/1。口縁外面は明度低い。
2 杯(土師)	口 10.2 高 3.0	竈内 $\frac{1}{2}$ 個体	器面摩滅し整形痕は不明瞭。内底に焼成後の線刻「×」あり。	①素地普通。輝石、パミス等の混入物やや多い。 ②酸化焰。硬調。③橙5YR6/6。ほぼ一様。
3 杯(土師)	口(13.4)	+15cm \Rightarrow +10cm \Rightarrow 埋没土 図示部の $\frac{1}{2}$	外面の削りは細かく強い。内面はやや丁寧なナデ。小破片からの復元で径、傾きとも不安。平面形に歪み大きい。	①素地普通。0.5mm大の礫、輝石等がまじる。 ②酸化焰。やや軟調。 ③にぶい橙5YR6/4 \sim 褐灰5YR5/1。
4 杯(土師)	口(12.4)	埋没土3片 図示部の $\frac{1}{2}$	外面の削りは弱いが丁寧。内面のナデも丁寧でやや粗い擦痕が巡っている。	①素地普通。パミス、1mm大の礫を少量含んでいる。 ②酸化焰。やや軟調。 ③にぶい橙5YR6/4。断面は彩度低い。
5 杯(土師)	口(11.0) 高 2.8	床直 \Rightarrow +4cm \Rightarrow 埋没土 口 $\frac{1}{2}$ 底 $\frac{1}{2}$	外面の削りはやや弱い。内面はやや平滑さに欠けている。	①素地普通。パミス、輝石等の微細な混入物を含む。 ②酸化焰。やや硬調。 ③にぶい橙7.5YR7/4。
6 杯(土師)	口 10.7 高 2.8	+7cm \Rightarrow +8cm \Rightarrow 埋没土 $\frac{1}{2}$ 個体	外面の削りは幅太で強い。内面のナデはやや平滑さに欠けている。平面形に歪みあり径不安。	①素地普通。パミス、赤褐色鉱物まじりの砂粒を含んでいる。②酸化焰。やや軟調。 ③にぶい橙5YR6/4 \sim 褐灰10YR6/1。
7 杯(土師)	口 12.7 \sim 13.2 高 4.0	$\frac{1}{2}$ 個体	外底は幅広いやや強い削り。内底のナデも強いが器面はやや平滑さに欠ける内面の広い範囲と外底の一部にウルシ状の付着物あり。	①素地普通。パミス、輝石、1mm大の礫等の混入物やや多い。 ②酸化焰。やや軟調。 ③にぶい橙5YR6/4。断面は明度高い。
8 杯(土師)	口 13.6	+12cm \Rightarrow 埋没土 口 $\frac{1}{2}$ 底 $\frac{1}{2}$	3とほぼ同巧。	①素地普通。赤褐色鉱物、輝石、雲母細片等を含む。 ②酸化焰。やや軟調。 ③にぶい黄褐10YR7/2 \sim にぶい橙5YR6/4。
9 杯(土師)	口 13.2 高 3.8	床直 \Rightarrow +5cm 口 $\frac{1}{2}$ 底 $\frac{1}{2}$	外面の削りは方向不定で丁寧。内面のナデもやや丁寧だが器面の平滑さに欠けている。	①素地やや砂質。パミス、輝石等のまじる粗砂やや多い。②酸化焰。普通。 ③内面にぶい橙7.5YR7/4。外面橙5YR6/6。
10 甕(土師)	口(21.2)	竈内の6片 \Rightarrow 埋没土 図示部の $\frac{1}{2}$	やや厚手だがコの字状口縁の甕になると思われる。頸部中央まで外面の削りが及んでいる。内面のナデはやや丁寧。	①素地普通。輝石、パミス、1mm大の礫等のまじる砂粒やや多い。②酸化焰。普通。 ③にぶい橙2.5YR6/4。ほぼ一様。

7号住居出土遺物 (本文27頁 PL-20)

No・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
1 杯(須恵)	口 13.2 底 8.9 高 4.0	埋没土の小片 \Rightarrow 流路跡4片 口 $\frac{1}{2}$ 底 完存	内底の渦巻状のロクロ痕より左回転ロクロ \rightarrow 外底全面と口縁下端に右回転のヘラ削りを施すが中央に回転ヘラ切り痕が残っている。	①素地ややボンボンしている。黒色鉱物、1mm大の礫を少量含んでいる。②やや硬調の還元焰。 ③灰7.5Y6/1。断面は黄色味をおびている。内底中心に霜降状の釉がかかっている。
2 杯(須恵)	口 10.8 高 3.5	埋没土 図示部の $\frac{1}{2}$	右回転ロクロ \rightarrow 外底全面に弱いが丁寧な手持ちヘラ削り。ロクロ痕は弱い。	①素地やや砂質。1mm大の礫を少量含んでいる。 ②還元焰。普通。③灰白2.5Y8/1。断面まで一様。
3 杯(須恵)	口(12.0) 底(8.2) 高 3.8	埋没土 図示部の $\frac{1}{2}$	右回転ロクロ \rightarrow 回転ヘラ切り無調整か内面に付着粘土あり。口縁の歪み強く径、傾き不安。	①素地やや砂質。混入物は少ない。 ②還元焰。砂質。 ③灰白2.5Y8/1。断面まで一様。
4 杯(土師)	口(12.8)	+16cm \Rightarrow +15cm 図示部の $\frac{1}{2}$	器面の摩滅すすみ整形痕は不明瞭。外面の削りはやや雑である。	①素地普通。石英、輝石等のまじる砂粒の混入多い。 ②酸化焰。普通。 ③橙7.5YR6/6。断面の一部灰色味をおびている。

No・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
5 杯(土師)	口(12.3) 高 3.4	埋没土2片 口 ¼ 底 ¼	外面の削りはやや強い。口縁下半の無調整部分広い。内面のナデは口縁部に強い擦痕が巡り底部は凹凸やや多い。	①素地普通。パミス、3mm大のチャート等のまじる砂粒やや多い。②酸化焰。普通。 ③にぶい橙7.5YR6/4。
6 杯(土師)	口(12.0) 高 3.3	床直+埋没土の4片 口 ¼ 底 ¼	外面の削りはやや丁寧で息長い。内面のナデは丁寧で平滑に仕上げている。	①素地普通。パミス、赤褐色鉱物等、雑多な混入物を含む。②酸化焰。やや軟調。③にぶい黄橙10YR6/3。外底に黒斑広く内面は赤色味をおびている。
7 杯(土師)	口(10.5)	埋没土 図示部の¼	外面の削り弱いが丁寧。口縁下半の無調整部分は広い。内面はやや平滑さに欠けている。内底に墨書あり。	①素地普通。混入物は少ない。気泡がまじる。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい黄橙10YR7/4。ほぼ一樣。
8 杯(土師)	口(16.6)	+26cmの2片 図示部の¼	外面の削りはやや丁寧で息長い。内面ナデは口縁部に布痕状の擦痕が残る。	①素地普通。パミス、輝石等のまじる砂粒を含む。 ②酸化焰。やや硬調。 ③橙5YR6/6。断面に一部灰色味が強い。
9 壺(土師)	口(9.0)	掘り方内 図示部の¼	外面器面荒れていて整形痕は不明瞭。内面も口縁上半のみ剥落がすすんでいる。内面のナデは丁寧。	①素地普通。赤褐色鉱物まじりの砂粒を少量含む。 ②酸化焰。やや硬調。 ③にぶい橙7.5YR7/4。ほぼ一樣。
10 甕(土師)	口(20.0)	+15cm⇔ +18cm⇔床直 ⇔甕⇔埋没土 図示部の¼	外面の削りは丁寧で息長い。口縁外端は下方へ肥厚している。内面のナデは長い擦痕が見られる。二次被熱で器面は荒れている。	①ボソボソしたやや粗い素地。輝石、赤褐色鉱物等小粒の混入物多い。②酸化焰。やや軟調。 ③にぶい黄橙10YR7/3。赤色味、黒色味をおびるムラあり一樣でない。

8号住居出土遺物 (本文29頁 PL-20)

No・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
1 杯(須恵)	口 13.2～ 13.5 底 5.9 高 4.0	甕内の5片 ⇔埋没土 ほぼ完形	右回転ロクロ→回転系切り無調整。外面でロクロ痕細かくやや強い。	①素地普通。片岩、チャート等1mm大の混入物やや多い。 ②還元焰。普通。 ③灰白7.5Y7/1。
2 杯(須恵)	口(13.8) 底(6.8) 高 3.6	+3cm 口 ¼ 底 ¼	ロクロ回転右か。外底摩滅し切離し痕不明。内面は平坦に仕上げているが底部は凹凸がやや大きい。	①素地やや砂質。2mm大の片岩、チャートを含む。 ②還元焰。やや軟調。 ③灰白5Y7/1。内外面に黒斑あり。
3 高台付杯(須恵)	口 13.9～ 14.2 高 3.4 台 5.8	床直⇔埋没土 口 ¼ 底 完存	右回転ロクロ→回転系切り→高台取付けは雑でロクロ不使用か。内面でロクロ痕きわめて弱い。	①素地やや粗い。赤褐色鉱物、雲母細片を含む。 ②還元焰。不十分で軟調。 ③灰黄2.5Y7/2～灰5Y5/1。
4 椀(須恵)	口(15.4) 高 5.7 台 6.8～7.1	床直10片 口上半 ¼ 他は完存	右回転ロクロ→回転系切り→雑な高台取付け。切り離しのし損じがある。外底中央に穿孔途中で止めたような窪みがある。	①素地やや粗い。1～3mm大の礫がまじる。 ②還元焰。やや軟調。 ③灰白5Y8/1～灰5Y4/1。 ④内底にスス状の付着物あり。
5 高台付椀(須恵)	口(14.9) 高 5.5 台 6.5	甕火床上4片 口 ¼ 底 完存	右回転ロクロ→回転系切り→雑な高台取付け。内面のロクロ痕は弱い。	①素地やや粗い。赤褐色鉱物、パミス等雑多な混入物を含む。②不十分な還元焰で軟調。 ③灰黄2.5Y7/2～灰2.5Y4/1。④二次被熱。
6 杯(土師)	口(13.0) 底 8.8 高 3.5	甕内⇔床直⇔ +4cm⇔埋没土 口 ¼ 底 ¼	外底に広く型膚状のヒビが見られる。口縁部外面中位に指頭痕状の窪みが巡り接合痕も部分的に観察できる。内面はナデでやや平滑に仕上げている。	①素地普通。パミス、輝石等を含んでいる。 ②酸化焰。軟調。 ③にぶい橙7.5YR6/4。黒斑状のムラあり。
7 杯(土師)	口(11.6) 高 3.9	床直5片⇔ 埋没土3片 ¼個体	外底に広く型膚状のヒビが見られる。口縁外面中位に指頭痕状の窪みがわずかに観察できる。内面はナデでやや平滑に仕上げている。	①素地やや粗い。パミス、輝石等を少量含んでいる。 ②酸化焰。軟調。 ③にぶい橙7.5YR6/4～にぶい黄橙10YR4/3。
8 蓋(須恵)	口(13.2)	埋没土小片⇔ 流路跡6区 図示部の¼	右回転ロクロか。天井部の釉が厚く、整形痕は観察できない。ロクロ痕は弱い。混入品。	①素地普通。黒色鉱物以外の混入物少ない。 ②還元焰。普通。 ③灰白7.5Y7/1。外面の釉は灰緑色。

9号住居出土遺物 (本文31頁 PL-21)

No・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
1 蓋(須恵)	口(19.0)	+36cm ⇔甕火床上 図示部の¼	右回転ロクロ→天井部に弱い回転ヘラ削り。ロクロ痕やや強い。鈕の付け根がわずかに残存している。	①素地やや砂質。黒色鉱物がまじる。細かな気泡が多数混入している。②還元焰。普通。 ③灰白10Y7/1。外面明度の低いムラあり。
2 杯(土師)	口(11.4)	埋没土2片 図示部の¼	外面の削りは雑で弱い。無調整部分が広い。内面のナデは丁寧。口縁部の形状は一定していない。	①素地普通。パミス、輝石まじりの砂粒を含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙7.5YR7/4。ほぼ一樣。

遺物観察表

No・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
3 杯(土師)	口(12.4)	埋没土2片 図示部の $\frac{1}{4}$	外面の削りは細かい。口縁下半の無調整部分は型膚状のヒビが多い。内面は丁寧なナデで平滑に仕上げている。	①素地普通。1mm大の赤褐色鉱物やや多い。石英等を含む。②酸化焰。やや硬調。 ③にぶい橙7.5YR7/4。内面は赤色味をおびている。
4 杯(土師)	口(11.6)	床直 \approx +4cm \approx +24cm 図示部の $\frac{1}{4}$	外面の削りは強い。無調整部分を残さない。内面はやや強いナデだが器面は平滑さに欠けている。	①素地普通。赤褐色鉱物、パミス、1mm大の礫等の混入物やや多い。②酸化焰。やや硬調。 ③にぶい褐7.5YR5/4。内面は赤色味をおびる。
5 杯(土師)	口 11.0~ 高 3.5 11.4	床直 \approx +6cm \approx 埋没土 ほぼ完形	外面の削りは丁寧で弱い。内面のナデは強く口縁部に鋭い擦痕が巡っている内底はやや凹凸多い。	①素地やや緻密。雲母細片、1mm大の礫、パミス等を少量含む。②酸化焰。やや軟調。 ③にぶい橙7.5YR6/4。ほぼ一様。
6 杯(土師)	口(11.4) 高 3.6	埋没土3片 口 $\frac{1}{4}$ 底 $\frac{1}{4}$	外面の削りは粗く強く器面は凹凸が多い。口縁のナデは幅太の擦痕が巡っている。内面のナデは口縁部に弱い擦痕が巡っているが平坦さに欠ける。	①素地普通。赤褐色鉱物、石英、1mm大の礫等を含む。②酸化焰。普通。 ③にぶい橙7.5YR7/4。外底は黒斑が広い。
7 杯(土師)	口 14.0 高 4.7	床直 \approx +13cm 口 $\frac{1}{4}$ 底 完存	外面の削りは幅広く息長い。口縁下半の無調整部分広い。内面は口縁に布状の幅広いナデの痕が残っている。	①素地普通。パミス、輝石、1mm大の赤褐色鉱物含む。②酸化焰。やや硬調。 ③橙5YR6/6。断面は彩度低い。
8 甕(土師)	口 21.9	竈内8片 図示部の $\frac{1}{4}$	外面の削りは細かくやや強い。内面ナデはやや雑で幅狭の工具痕が残っている。口縁は大きく波状に歪んでいる。	①素地普通。赤褐色鉱物、輝石等が少量まじる砂粒を含む。②酸化焰。普通。 ③にぶい橙5YR7/4。内面に彩度の高い部分広い。
9 甕(土師)	頸(19.4)	床直 \approx +9cm ほか14片 口 $\frac{1}{4}$ 胴 $\frac{1}{4}$	外面の削りは丁寧でやや弱い。内面は幅広いナデの工具痕が残っている。下半にやや強い接合の段あり。外面胴部下位の剥落がすすむ。	①素地やや粗い。パミス、角閃石、赤褐色鉱物のまじる砂粒やや多い。②酸化焰。やや軟調。 ③にぶい黄橙10YR7/3。赤色味、灰色味をおびるムラあり。
10 甕(土師)	口 20.8~ 頸 16.7 21.9	床直 \approx +9cm 図示部の $\frac{1}{4}$	外面の削りは丁寧で息長い。内面のナデもやや丁寧。口縁部は指頭痕状の細かな凹凸が多い。	①素地普通。パミス、1mm大の礫まじりの砂粒やや多い。②酸化焰。やや軟調。 ③にぶい黄橙10YR7/3。ほぼ一様。

10号住居出土遺物 (本文34頁～ P L-21)

No・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
1 蓋(須恵)	口 9.8~10.1 鈕 1.7	張出部2片 $\frac{1}{4}$ 個体	右回転ロクロカ。釉が厚く天井部の整形は不明。口縁部は波状に歪んでいる。	①素地やや緻密。白色砂粒の混入やや多い。②還元焰。硬調。③青黒10BG2/1。断面赤灰色。外面は灰緑色の釉が厚くかかっている。
2 蓋(須恵)	口(11.6) 高 2.3	埋没土 図示部の $\frac{1}{4}$	右回転ロクロ→天井部中央に回転ヘラ削り。ロクロ痕は外面で強い。カエリの下端は著しく摩滅している。	①素地やや砂質。黒色鉱物がわずかにまじる砂粒やや多い。②還元焰。やや軟調。 ③灰7.5Y6/1。断面一部は赤色味をおびる。
3 杯(須恵)	口(9.0) 高 3.0	+8cm $\frac{1}{4}$ 個体	右回転ロクロ→外底に回転ヘラ削り。ロクロ痕弱い。内底は平滑。	①素地やや砂質。白色砂粒含む。細かな気泡混じる。②還元焰。普通。③灰白7.5Y7/1。断面まで一様。
4 杯(須恵)	口 10.9~ 高 3.9~4.4 11.5	床直2片 \approx 埋没土3片 口 $\frac{1}{4}$ 底 ほぼ完存	砂粒の移動より右回転ロクロと思われるが内底の渦巻状のロクロ痕が不自然→外底右回転のヘラ削り。平面形は楕円形に歪んでいる。	①素地緻密。黒色鉱物、0.5mm大の礫を少量含む。②還元焰。普通。 ③灰7.5Y6/1。外面の約半分に灰黄色の釉がかかる。
5 杯(須恵)	口(17.6) 底(12.2) 高 4.3	張出部5片 口 $\frac{1}{4}$ 底 $\frac{1}{4}$	右回転ロクロ→外底全面手持ちヘラ削り。ロクロ痕弱い。内底には指頭によるほぼ一方向の強いナデの痕がある。	①素地砂質。チャート、黒色鉱物等を少量含む。②還元焰。普通。 ③灰白7.5Y7/1。断面は明度高い。
6 杯(土師)	口(10.2)	+27cm \approx +13cm 図示部の $\frac{1}{4}$	外面の削りは弱く不明瞭。内面のナデは丁寧で平滑に仕上げている。	①素地普通。砂粒を少量含んでいる。②酸化焰。やや軟調。 ③にぶい橙7.5YR7/4。赤色味をおびる部分あり。
7 杯(土師)	口 10.4 高 3.6	+28cm \approx +17cm 埋没土3片 $\frac{1}{4}$ 個体	外面の削りはやや雑。内面ナデは丁寧だが底部付近は凹凸あり。平面形に歪みあり。	①素地普通。パミス、輝石まじりの砂粒を含む。②酸化焰。普通。 ③橙5YR6/6。外底一部灰色味をおびている。
8 杯(土師)	口 12.3~ 高 3.8 12.6	+14cmの3片 ほぼ完形	外面の削りは不規則。口縁下半に指頭痕状の窪みが一部に見られる。内面のナデは平滑さにやや欠けている。	①素地普通。パミス、片岩のまじる砂粒を含む。②酸化焰。軟調。 ③にぶい橙5YR6/4。外底は黒色味をおびている。
9 杯(土師)	口(17.8) 高 4.8	+4cm \approx 埋没土 図示部の $\frac{1}{4}$	外面の削りは丁寧で強い。内面ナデは丁寧だが器面は平滑さに欠ける。	①素地普通。赤褐色鉱物、輝石、パミス等を含む。②酸化焰。普通。 ③明赤褐5YR5/6。内面は赤色味をおびている。
10 鉢(土師)	口(19.0)	+14cm \approx +34cm 図示部の $\frac{1}{4}$	外面の削りはやや強い。内面ナデも強く粗い擦痕が巡っている。小破片からの復元で歪みも強く径、傾きとも不安。	①素地普通。パミス、輝石等の混入物を少量含む。②酸化焰。普通。 ③にぶい橙5YR6/4。断面彩度低い。

No・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
11 杯(土師)	口(13.4) 高 3.9	+20cm [±] 埋没土 2片 口 ⅔底 ⅔	外面の削りはやや強いが息短い。内面は器面の剥落すすみ不明瞭。	①素地普通。輝石、チャート、パミス等のまじる砂粒を含む。②酸化焰。普通。 ③明赤褐2.5YR5/6。断面は彩度低い。
12 杯(土師)	口(17.0) 高 3.5	張出部 2片 口 ⅔底 ⅔	外面の削りは幅広くやや方向性に欠けている。無調整部分を残さない。内面のナデは丁寧。	①素地普通。パミス、赤褐色鉱物、2mm大の礫等混入物やや多い。②酸化焰。やや硬調。 ③橙5YR6/6。断面一部彩度低い。
13 壺(須恵)	口(6.8) 胴(13.4)	口 ⅔ 胴 ⅔	内面胴部はクロロ痕の下に接合痕状のヒビが残る。また頸部の接合痕は顕著クロロ痕は内外面とも強い。接合しない口肩部と胴部からの復元で径、傾きとも不安。	①素地普通。白色砂粒を含む。 ②還元焰。普通。 ③暗青灰10BG4/1。外面一部に黄白色の降灰釉がかかる。
14 甕(土師)	口(25.0)	埋没土 図示部の⅔	外面の削りは幅太でやや強い。口縁のナデも強く粗い擦痕が巡っている。内面のナデは不明瞭。小破片からの復元で径、傾きとも不安。	①ボソボソしたやや粗い素地。石英、パミス、1～2mm大の礫等の混入物多い。 ②酸化焰。やや軟調。 ③浅黄2.5Y7/3。外面は黒色味の強いムラあり。
15 甕(土師)	口(20.4) 頸(17.2)	+10cm 図示部の⅔	外面の削りは強いが一部に接合痕が残っている。内面のナデはやや丁寧。口縁外端直下に幅太の深い沈線が巡る。	①素地やや粗い。角閃石、多量の1mm大の礫まじりの砂粒を含む。②酸化焰。普通。 ③橙7.5YR6/6。断面は彩度低い。
16 甕(土師)	口(20.4) 頸(18.8)	床直の4片 図示部の⅔	外面の削りは丁寧でやや細かいが頸部直下に無調整部分が残っている。内面のナデは幅広い工具痕が残っている。	①素地やや粗い。角閃石、パミスが少量まじる砂粒を含む。②酸化焰。やや硬調。 ③橙2.5YR6/6。内外面に黒斑あり。
17 甕(土師)	口 22.7 底 5.6～6.0 高 33.4 頸 17.4	甕内火床上 6 ～15cmの10片 口 完存 胴以下 ⅔	外面の削りは丁寧でやや弱い。内面のナデもやや丁寧でヘラ状の工具痕が残っている。	①素地普通。1～2mm大の礫、赤褐色鉱物まじりの砂粒やや多い。 ②軟調の酸化焰でしまり欠く。 ③にぶい橙7.5YR5/4～灰褐7.5YR4/2。一様でない。
18 甕(土師)	口 22.3～ 22.7 底 3.7 高 40.0	甕内の火床上 ～34cmの42片 ほぼ完形	二次被熱のため整形痕は不明瞭。外面の削りは下から上への息長い痕跡が観察できる。口縁部に波状の歪みあり形状も一定していない。	①素地やや粗い。パミス、赤褐色鉱物、1～3mm大の礫等の混入多い。 ②軟調の酸化焰でしまり欠く。 ③にぶい赤褐2.5YR5/4～灰黄褐10YR4/2。
19 甕(土師)	口 25.2 底 5.1 高 41.8	甕内の15片 上半 ⅔ 下半 ほぼ完存	強い二次被熱により整形痕は不明瞭だが外面は息の長い丁寧な削り。器厚は甕類としては一定である。	①素地やや粗い。パミス、赤褐色鉱物まじりの粗砂の混入多い。②軟調の酸化焰でしまり欠く。 ③にぶい赤褐2.5YR5/4～黄褐2.5Y5/3。一様でない。

11号住居出土遺物 (本文37頁 PL-21)

No・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
1 杯(土師)	口(12.0)	床面レベル 口 ⅔ 底 ⅔	外底の削りは雑で器面は凹凸。削り残し部分が多い。内底のナデもやや粗い。	①ザラザラしたやや粗い素地。パミス、1mm大の礫の混入やや多い。②やや軟調の酸化焰。 ③にぶい橙7.5YR6/4。外底に黒斑あり。
2 杯(土師)	口(12.0) 高 3.6	北壁外 口 ⅔ 底 ⅔	外面の削りは息長く鋭いがやや雑。内面のナデは丁寧。口縁の歪み強く径、傾きとも不安。	①やや砂質でザラザラした素地。1mm大のパミス、礫等を含む。②酸化焰。やや軟調。 ③にぶい橙5YR6/4～7.5YR7/3。一様でない。
3 杯(土師)	口(12.4) 高 3.7	—5cm ⅔個体	外底の削りはやや雑である。無調整部分は少ない。内面は平滑さ欠く。口縁外端にモミの圧痕あり。	①素地普通。パミス、角閃石まじりの砂粒を含む。 ②軟調の酸化焰。 ③橙5YR6/6。内面は彩度低い。内面の摩滅がすすむ。
4 杯(土師)	口 12.4～ 12.9 高 3.8	+21cm ⅔個体	外面の削りは強く息長い。内面は底部付近に細かな凹凸が多い。口縁は小さく波状に歪んでいる。	①素地普通。パミス、石英、輝石等を含む。 ②酸化焰。やや軟調。 ③にぶい赤褐5YR5/4。ほぼ一様。
5 杯(土師)	口 16.8 高 5.3	—9cm ⅔個体	外底の削りは幅広く息長い。口縁下半は無調整。内面のナデは強いが器面は凹凸多い。口縁にヘラ削りの工具痕が残っている。	①素地普通。パミス、角閃石、1mm大の礫等まじる。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙5YR7/4。断面までほぼ一様。
6 杯(土師)	口(14.0)	埋没土 4片 口 若干 底 ⅔	外面の削りは丁寧で方向不定。内面は細かな凹凸あり。器面の平滑さ欠く。口縁の残存少なく径、傾きとも不安。	①素地普通。細かなパミス、輝石まじりの砂粒含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙7.5YR7/4。ほぼ一様。
7 杯(土師)	口 14.6 高 4.3	口 ⅔ 底 完存	外面の削りは幅広く息長い。内面は強いナデで口縁部に擦痕が同心円状に巡っている。底部は凹凸あり。	①やや緻密な素地。角閃石、パミス等を少量含む。 ②酸化焰。普通。 ③橙5YR6/6。外面は灰色味をおびるムラあり。
8 杯(土師)	口 15.6 高 4.1	床面レベル ⅔個体	外面の削りはやや強い。内面ナデは口縁部に細かな擦痕が巡っている。口縁内端は部分的に肥厚している。	①素地普通。パミス、輝石混じりの砂粒を含む。 ②酸化焰。やや軟調。 ③にぶい橙7.5YR6/4。内面やや赤色味をおびている。

遺物観察表

No・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
9 杯(土師)	口(18.4) 高 5.7	北壁外 口 ¼ 底 ¾	器面が荒れて整形痕は不明瞭。外面の削りは息が長いようだ。口縁部ナデの範囲は狭い。内面はやや平滑。	①素地やや粗い。パミス、赤褐色鉱物、輝石等含む。気泡まじる。②酸化焰。普通。 ③にぶい褐7.5YR5/4。赤色味、灰色味をおびるムラあり。④二次被熱。
10 甕(土師)	口(20.8) 頸(17.4)	床直 図示部の¾	外面口縁上端に指頭の強い押圧あり。肩部の削りは強く鋭い。内面もやや平滑でヘラ状の幅広の工具痕が残る。	①素地普通。角閃石、パミス、チャート等の混入物やや多い。②酸化焰。やや硬調。 ③にぶい橙7.5YR7/4。内面に彩度高いムラあり。

12号住居出土遺物 (本文38頁 PL-21)

No・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
1 小型甕(土師)	口(13.8) 高 13.4	竈内火床上 上半 ¾ 下半 ほぼ完存	二次被熱と摩滅のため、整形痕は不明瞭。平面形は楕円に歪んでおり径不安。	①素地普通。細砂の混入やや多い。 ②酸化焰。やや軟調。 ③橙2.5YR6/6。外底は黒斑広く内面は灰色味強い。
2 甕(土師)	口 19.6 高 16.2	竈内火床上 口 完存 胴上半 ¾	外面削りは方向不定で雑でやや強い。内面のナデもやや雑。口縁端部は一部で下方に肥厚している。	①素地普通。粗砂の混入多くザラザラしている。チャート、角閃石を含む。②酸化焰。普通。 ③にぶい黄橙10YR7/4。ほぼ一様。

窪地出土遺物 (本文48頁～ PL-22～) ※は平面図に遺物ドットあり。+は底面からの高さ。

No・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
1 蓋(須恵)	口(10.2) 高 2.8 鈕 1.3	2区⇔4区 縁 ¾ 天 ¾	右回転ロクロ→天井部回転ヘラ削り。鈕取付けはやや雑で中心を若干外れている。	①素地やや緻密。黒色鉱物の混入やや多い。 ②還元焰。普通。③青灰5PB5/1。外面白っぽく、一部黄緑色の降灰釉かかる。
2 蓋(須恵)	口(9.8)	8区埋没土 ¾個体	右回転ロクロ。天井部細かな回転ヘラ削り。つまみの痕跡は認められない。内面は凹凸多い。	①素地緻密。黒色鉱物の混入多い。気泡混じる。 ②硬調の還元焰。 ③灰N6/0。外面一部暗い。
3 蓋(須恵)	口(11.0)	※ 図示部の¾	右回転ロクロ。天井部の回転ヘラ削りはカキ目状。内面にも鋭い工具痕が残っている。	①砂質。1mm大の白色鉱物の混入やや多い。 ②硬調の還元焰。普通。 ③灰7.5Y7/1。断面まで一様。
4 蓋(須恵)	口(14.6) 高 4.3 天(13.2)	※底面直上 ⇔2区⇔4区 ¾個体	右回転ロクロ。天井部中央に回転ヘラ削り。器面は平滑さ欠く。	①素地普通。白色砂礫の混入やや多い。 ②還元焰。普通。 ③灰N6/0。黒色味をおびるムラ多い。
5 蓋(須恵)	口(13.0) 高 3.0	※+8cm ¾個体	右回転ロクロ。外面に不明瞭な回転ヘラ削り。削りの方法より蓋か。	①素地やや砂質。0.5mm大の白色砂粒やや多い。 ②やや硬調の還元焰。③灰白N7/0。断面は明度低い。内外面とも一部に降灰釉。
6 杯(須恵)	口(11.2)	※+11cm ⇔4区 口 ¾ 底 ¾	右回転ロクロ。外底に弱く不明瞭な手持ちヘラ削り。内底大きく窪んでいる。高杯の可能性あり。	①素地やや砂質。黒色鉱物、白色鉱物、小粒の雑多な混入物あり。②還元焰。やや締まり欠く。 ③灰白N7/0。外面上半黒色味をおびる。
7 杯(須恵)	口(10.4) 底(7.9)	※+43cm ⇔4区3片 図示部の¾	右回転ロクロ→回転ヘラ削り無調整。内底縁部に幅広の鈍い沈線が巡っている。歪みあり、口径、傾きとも不安。	①素地普通。3mm大の礫少量混入している。 ②還元焰。普通。③灰白5Y7/1。断面まで一様。 ④端部の剝落すずんでいる。
8 杯(須恵)	口(11.6) 高3.7~4.1	3区⇔4区 底 ¾ 口 ¾	右回転ロクロか。外底と外面下端に雑で弱い幅狭な削り。内底は平坦。歪み著しく、径、傾きとも不安。	①素地やや砂質。1mm大の礫の混入やや多い。 ②還元焰。普通。 ③灰白10Y7/1。断面までほぼ一様。
9 杯(土師)	底(7.6) 高(2.2)	4区2片 図示部の¾	模倣杯。外面の削りは雑でやや強い。縁部に無調整部分残るが器面は平滑。内底はやや強いナデの上に幅太の放射状の暗文。	①素地やや粗い。赤褐色鉱物、石英等を含む。 ②酸化焰。普通。 ③外面にぶい黄褐10YR5/3。黒斑広い。内面にぶい褐7.5YR5/4。
10 杯(土師)	口(12.8)	※+66cm ¾個体	外面削りは息長く鋭い。内面のナデは丁寧。口縁部内面上半の剝落がすずんでいる。	①素地やや粗い。赤褐色鉱物まじる。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙5YR6/4。彩度の低いムラあり。
11 杯(土師)	口12.7~13.2 高 4.9	※+6cm⇔ +76cm⇔4区 ¾個体	外底の削りは弱くやや雑。内面のナデは丁寧で、同心円状の擦痕が巡っている。内底中央には幅約2cmのヘラ状の工具痕が残っている。厚手で重量。内面黒色処理。	①素地普通。赤褐色鉱物、パミス、石英等を含む。 ②やや軟調の酸化焰。 ③にぶい赤褐2.5YR5/4。内面は光沢のない黒色。
12 杯(土師)	口(13.4)	※+68cm 口 若干 底 ¾	外底の削りは弱く雑で器面は凹凸。内底のナデも雑だが平坦。底部の厚みに比して口縁は薄い。口縁部の残存は僅かで、径不安。	①素地やや粗い。石英、赤褐色鉱物、パミスまじりの砂粒含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙5YR6/4。断面は彩度低い。

No・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
13 杯(土師)		4区埋没土 図示部の $\frac{1}{2}$	器面摩滅している、整形痕は不明瞭。外面口縁下端の沈線は棒状工具の擦痕が巡っている。	①素地普通。1～3mm大の赤褐色鉱物やや多い。雲母細片を含む。②酸化焰。やや硬調。 ③にぶい橙5YR6/4。外面一部赤色味をおびている。
14 杯(土師)	口(13.0) 高(5.2)	※+63cm ⇔4区 $\frac{1}{2}$ 個体	外面の削りはやや息が長い。内面凍てハゼ状の剥落が著しい。	①素地普通。赤褐色鉱物の混入やや多い。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙7.5YR7/4。
15 杯(土師)	口(9.0)	※底面直上 ⇔5区 図示部の $\frac{1}{2}$	外面の削りは細かく丁寧。内面の仕上げはやや雑。	①素地普通。輝石、パミスまじりの細砂少量含む。 ②酸化焰。普通。焼き締まる。③にぶい橙5YR6/4。ほぼ一様。
16 杯(土師)	口(10.8) 高 2.9	※77cm⇔ 3区⇔4区 $\frac{1}{2}$ 個体	外面の削りは細かく丁寧。内面ナデも丁寧。	①素地普通。赤褐色鉱物、パミス等を含む。 ②酸化焰。普通。③橙5YR6/6。ほぼ一様。 ④外面剥落すすむ。
17 杯(土師)	口(10.7) 高 3.1	※+62cm $\frac{1}{2}$ 個体	外面の削りはやや粗い。内面は丁寧なナデで平滑に仕上げる。	①素地やや緻密。輝石、パミスまじりの細砂やや多い。 ②酸化焰。やや硬調。 ③にぶい橙7.5YR7/4。外底一部灰色を呈している。
18 杯(土師)	口(10.4)	4区埋没土 図示部の $\frac{1}{2}$	外面の削りは強く鋭い。内面のナデはやや粗い擦痕が巡っている。	①素地普通。輝石、パミスまじりの細砂を少量含む。 ②やや硬調の酸化焰。 ③にぶい橙7.5YR7/4。一部灰色を呈している。
19 杯(土師)	口10.9～11.2 高 3.1	※+35cm⇔ +39cm ほぼ完形	外底の削りは鋭い。内面のナデも丁寧。薄手で端正な造りである。	①素地普通。パミスまじりの細砂を少量含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙5YR7/4。外面は黒斑広い。
20 杯(土師)	口 9.8 高 3.1	※+21cm 完形	外底の削りは規則的で、中央を一方に幅広く削った後、縁部を細かく削って仕上げている。内面ナデは丁寧。	①素地普通。パミス、輝石まじりの砂粒を含む。 ②酸化焰。やや硬調。 ③にぶい橙7.5YR7/4。一様。
21 杯(土師)	口(10.9) 高 3.8	$\frac{1}{2}$ 個体	外底の削りは弱く、削り残し部分も多い。内面ナデは丁寧で布状の幅広い工具痕が巡っている。	①素地普通。パミス、輝石まじりの砂粒を少量含む。 ②酸化焰。やや軟調。 ③にぶい橙5YR6/4。黒色味をおびるムラあり。
22 杯(土師)	口 9.9 高 3.0	埋没土 $\frac{1}{2}$ 個体	外面の削りは丁寧で強い。口縁端部のナデの痕跡は不明瞭。内面は平滑に仕上げてている。	①素地普通。パミス、輝石、石英等を含んでいる。 ②酸化焰。やや硬調。 ③橙5YR6/6。断面は一部で灰色味をおびている。
23 蓋(須恵)	口(13.0) 鈕(4.4)	6区⇔8区 $\frac{1}{2}$ 個体	右回転ロクロ。ロクロ利用の鈕取付け。鈕はリング状か。	①やや砂質。混入物少ない。②硬調還元焰で焼き締まる。③断面赤色味をおびる。外面に白色の降灰釉かかる。
24 蓋(須恵)	口 17.9 鈕 5.5 高 3.2	※4区 ほぼ完形	内面の渦巻状のロクロ痕より左回転ロクロ→天井部幅狭の回転ヘラ削り。鈕の取付け丁寧。カエリ部分の挽き出しに工具痕が残っている。	①素地普通。赤褐色鉱物まじりの3mm大の礫を少量混入。 ②硬調だが還元やや不十分。 ③灰白10Y8/1。黒色味をおびるムラ多少あり。
25 蓋(須恵)	口 16.8 鈕 5.7 高 3.0	2区⇔4区 $\frac{1}{2}$ 個体	右回転ロクロ→天井部回転ヘラ削り。鈕上部にヘラ状工具痕が残っている。口縁部に波状の歪みあり、傾き不安。	①素地普通。1mm大の礫を少量混入している。 ②還元焰。普通。 ③灰白N7/0。断面は浅黄色。
26 蓋(須恵)	口(17.4) 高 2.8	8区3片 図示部の $\frac{1}{2}$	右回転ロクロ。降灰釉のため外面のロクロ痕は不明。歪みあり、径、傾きとも不安。	①素地普通。黒色鉱物の混入やや多い。 ②還元焰。普通。③灰白10Y7/1。断面は灰緑色の降灰釉が厚くかかっている。
27 蓋(須恵)	口(18.8) 鈕 4.0 高 4.1	4区6片 $\frac{1}{2}$ 個体	右回転ロクロ→天井部中央に回転ヘラ削り。鈕取付け時に天井部中央に鋭い刻みを入れている。	①素地やや粗い。パミスの目立つ砂礫混入。 ②やや硬調の還元焰。 ③灰N5/0。ほぼ一様。
28 蓋(須恵)	口(19.0)	4区3片 図示部の $\frac{1}{2}$	右回転ロクロ。天井部回転ヘラ削りは丁寧で範囲広い。内面平滑。	①砂質だが粒子細かく緻密。やや大粒の赤褐色鉱物含む。②酸化焰気味。硬調で良好。 ③にぶい橙7.5YR7/3。一部灰色味が強い。
29 蓋(須恵)	口(14.8) 鈕(4.2) 高 3.6	4区3片 $\frac{1}{2}$ 個体	右回転ロクロ。天井部粗い回転ヘラ削りと鈕取付け。内面は擦痕鋭い。	①砂質。混入物多い。 ②還元不十分で混入鉱物が赤褐色に発色。 ③外面暗灰黄2.5Y5/2。内面にぶい黄橙10YR6/4。
30 蓋(須恵)	鈕(5.4)	※8区 図示部の $\frac{1}{2}$	右回転ロクロ→天井部回転ヘラ削り。リング状の鈕を取り付けるが、中心をやや外れている。	①素地やや砂質。混入物少ない。 ②やや硬調の還元焰。 ③灰7.5Y6/1。外面に灰黄色の降灰釉がかかる。
31 蓋(須恵)	口 15.6 鈕 4.6 高 2.5	1区⇔4区 $\frac{1}{2}$ 個体	右回転ロクロ。天井部回転ヘラ削り。外面でロクロ痕やや強い。	①素地やや粗い。チャートまじりの1mm大の礫やや多い。②やや軟調の還元焰。 ③灰7.5Y6/1でほぼ一様。

遺物観察表

No・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
32 蓋(須恵)	口 15.4 鈕 4.5 高 2.8~3.1	※+77cm [±] 4区 3/4個体	右回転ロクロ→天井部弱い回転ヘラ削り。 内面に鋭い擦痕が巡っている。小さな歪みあり。	①素地普通。白色砂粒の混入やや多い。 ②還元焰。普通。 ③青灰5BG5/1。断面は赤紫色味をおびる。
33 蓋(須恵)	口(15.4) 鈕(6.0) 高 4.0	4区2片 3/4個体	右回転ロクロ。ロクロ痕弱い。天井部丁寧な回転ヘラ削り。鈕はリング状。	①素地緻密。微細な鉱物混入。 ②やや硬調の還元焰。 ③外面にムラ多い。
34 蓋(須恵)	鈕 4.2	8区3片 図示部の3/4	右回転ロクロ。天井部の回転ヘラ削りは弱い。内面のロクロ痕弱いが、やや平滑さ欠く。	①やや砂質で普通。 ②やや硬調の還元焰。 ③灰白7.5Y7/1。断面中央褐色味強い。
35 蓋(須恵)	鈕(4.0)	※87cm [±] 4区 図示部の3/4	右回転ロクロ→天井部回転ヘラ削り→ロクロ利用の鈕取付け。ロクロ痕は弱い。	①素地やや砂質。石英等の混入物あり。 ②還元焰。やや軟調。 ③灰白7.5Y7/1。断面は黒色味強い。
36 蓋(須恵)	鈕 3.1	※ 図示部完存	右回転ロクロ。天井部回転ヘラ削りはやや弱い。内面のロクロ痕は渦巻状。	①素地やや砂質。1mm大の礫を少量含む。 ②やや硬調の還元焰。③灰10Y6/1で断面まで一様。
37 蓋(須恵)	鈕(5.2)	※+15cm [±] 4区 3/4個体	右回転ロクロ。ロクロ痕強い。天井部手持ちヘラ削りは雑で細かい。	①砂質だが粒子細かく緻密。混入物少ない。 ②硬調の還元焰で良好。 ③外面暗青灰5BG4/1。内面灰10Y6/1。
38 蓋(須恵)	口 10.8	1区 [±] 4区 3/4個体 鈕欠く	右回転ロクロ→天井部丁寧な回転ヘラ削り。ロクロ痕弱く平滑。鈕の割れ口も平滑になっている。	①緻密で混入物少なく良好。②やや硬調の還元焰。 ③灰白7.5Y8/1。内面やや黒色味をおびる。④内面研ぎ込んで著しく平滑。転用硯状になっている。
39 蓋(須恵)	鈕 4.2	4区3片 図示部の3/4	右回転ロクロ。天井部に弱い回転ヘラ削りか。凸帯、鈕とも端部は鋭く尖っている。壺類の蓋であるが、身の破片は出土していない。	①素地普通。不揃いな径の礫の混入多い。 ②還元焰。普通。 ③青灰5PB5/1。断面は黄色味が強い。外面に灰白色の降灰軸がかかる。
40 蓋(須恵)	口(16.0) 高 6.3	4区 図示部の3/4	右回転ロクロ。口縁端部は内傾し、平滑。内底に方向不定の指頭状のナデ。	①素地やや砂質。混入物少ない。②硬調の還元焰。 ③灰N6/0。外面火オモテ部分で霜降状に白色。
41 杯(須恵)	口(14.6) 高 4.1 台 9.8	4区13片 口 3/4 底 3/4	右回転ロクロ→外底全面回転ヘラ削りと高台削り出し。内底に方向不定の細かな指頭のナデを行っている。	①素地やや砂質。黒色鉱物まじりの礫を少量混入。 ②還元焰。普通。 ③灰白10Y7/1。ほぼ一様。
42 高台付杯(須恵)	底10.6~10.8	※+32cm [±] 4区 底 完存 口縁部なし	右回転ロクロ→回転ヘラ削り→外底全面回転ヘラ削りとごく簡単な削り出し高台。内底ロクロ痕の上に指頭の雑なナデの痕が残っている。	①素地普通。混入物少なく良好。 ②還元焰。普通。 ③灰白7.5Y8/1で断面まで一様。
43 高台付杯(須恵)	口(14.6) 底(12.0) 高 3.9	※+28cm [±] 4区 ほぼ完形	右回転ロクロ→外底全面回転ヘラ削り丁寧な高台取付け。内底は凹凸多い。	①素地やや緻密。砂粒少量混入している。 ②やや硬調の還元焰。③灰7.5Y5/1。外面は灰白色部分広く、一部に降灰軸がかかる。
44 高台付椀(須恵)	口(14.4) 底(9.6) 高 4.2	3区3片 口 1/10 底 3/4	右回転ロクロ。外底は不明瞭な削りとナデ。高台取付けは丁寧。内底にも不明瞭なナデが加わっている。	①素地緻密。白色砂粒を少量混入。 ②還元焰。普通。 ③暗青灰5B4/1で断面まで一様。
45 高台付杯(須恵)	口 17.8 高 4.4 台 13.8	※底面直上 [±] +7cm [±] 4区 口 3/4 底 3/4	右回転ロクロ→外底全面回転ヘラ削り→高台取付けは丁寧。	①素地普通。粗砂の混入やや多い。 ②やや硬調の還元焰。 ③灰7.5Y5/1。外面やや暗く光沢あり。
46 高台付杯(須恵)	口(17.0) 高 4.4 台 11.8	※底面直上 [±] 4区 図示部の3/4	右回転ロクロ。切り離し手法不明。高台取付け場所に圏線状の鋭い刻みを加えている。ロクロ痕弱いが擦痕鋭い。	①やや砂質。混入物は少ない。 ②還元焰。普通。 ③灰7.5Y4/1。断面までほぼ一様。
47 高台付杯(須恵)	口(14.2)	※+72cm [±] 2区 [±] 3区 口 3/4 底 3/4	右回転ロクロ→回転ヘラ削り。高台剥離後は未使用で割れ口は摩滅していない。ロクロ痕弱い。	①素地やや砂質。バミスまじりの2mm大の礫がまじる。②還元焰。普通。 ③青灰5B5/1。断面赤紫色味が強い。
48 高台付杯(須恵)	口(16.6) 高 3.4 台 13.6	※+70cm [±] 4区 口 3/4 底 3/4	右回転ロクロ→外底全面回転ヘラ削り丁寧な高台取付け。内底に指頭による方向不定のナデの痕あり。	①素地緻密。黒色鉱物、白色砂粒が混入している。 ②硬調還元焰で焼き締まる。 ③灰10Y5/1。断面は紫色味をおびる。
49 高台付杯(須恵)	口 16.8 高 6.0~6.4 台 11.6	8区10片 口 3/4 底 完存	内底の渦巻状の痕跡より左回転ロクロ→回転ヘラ削りか→外底全面と体部下端回転ヘラ削り。	①素地普通。黒色鉱物まじりの礫混入。 ②還元。普通。 ③灰白7.5Y8/1。外面の一部黒色味をおびる。
50 高台付杯(須恵)	口 16.4 高 4.3 台 11.5	※ [±] 2・4区 口 3/4 底 ほぼ完存	右回転ロクロ→外底全面回転ヘラ削り。内面でロクロ痕弱いが平滑さにやや欠ける。	①素地普通。黒色鉱物の多い砂礫混入。気泡まじる。 ②やや硬調の還元焰。③灰7.5Y6/1。外面に濃緑色の降灰軸かかり光沢がある。
51 高台付杯(須恵)	口(11.2) 底 8.1	4区6片 口 3/4 底 3/4	右回転ロクロ→外底全面回転ヘラ削り丁寧な高台取付け。ロクロ痕は弱い。	①素地普通。黒色鉱物を少量含んでいる。 ②還元焰。普通。 ③灰10Y6/1。断面は赤灰色味強い。

№・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
52 高台付杯 (須恵)	口(11.0) 底(6.4)	1区⇔4区 図示部の%	右回転ロクロ→回転ヘラ切りか。外底回転ヘラ削りの後、高台取付け。内外面とも器面に平滑さ欠く。	①素地やや緻密。混入物少ない。 ②還元焰。普通。 ③青灰5B5/1。
53 高台付杯 (須恵)	口(13.4) 高 4.0 台(8.0)	1区⇔3区 ⇔4区 口 1/2 底 1/2	右回転ロクロ→回転ヘラ切りか→高台取付け。ロクロ痕弱いが、器面の平滑さ欠く。	①素地やや緻密。黒色鉱物粒等を少量混入。 ②還元焰。普通。一部でブクを生じている。 ③灰7.5Y6/1。断面は赤紫色味をおびている。
54 高台付杯 (須恵)	口 10.3 高 4.2~4.5 台 7.9	1・4区 口 % 底 完存	右回転ロクロ。高台取付け時に体部下端までヘラ削り状の擦痕が付く。内底平坦。歪み強く径、傾きとも不安。	①素地やや砂質。チャートまじりの砂礫やや多い。 ②やや硬調の還元焰。 ③灰7.5Y4/1。内面やや明度高い。
55 高台付杯 (須恵)	口(13.6) 底 9.2~9.7 高 4.5	*+71cm 口 1/2 底 完存	右回転ロクロ→回転糸切り→外底縁部と体部下端左回転のヘラ削り。高台取付け丁寧。内面平滑。	①素地普通。2mm大の石英、礫を含む。 ②還元焰。普通。 ③暗青灰5BG4/1。
56 高台付杯 (須恵)	口 12.3~ 13.2 高 4.4~5.1 台 8.7	*⇔2区⇔ 4区 完形	右回転ロクロ→回転糸切りか→外底ほぼ全面の回転ヘラ削りと高台取付け。ロクロ痕弱く内底は平坦。歪み著しい	①素地やや砂質。1~3mm大の礫の混入やや多い。 ②硬調の還元焰。 ③暗青灰5B4/1。断面までほぼ一様。
57 杯(須恵)	口 12.2 高 3.7	*+15cm⇔ 2区⇔4区 口 1/2 底 1/2	右回転ロクロ。外底は磨きに近い丁寧な手持ちヘラ削りで器面きわめて平滑	①素地普通。黒色鉱物まじりの砂粒少量含む。良好。 ②還元焰。普通。 ③明青灰5PB7/1。外面一部明度低い。
58 杯(須恵)	口 10.3 底 6.1 高 3.9	* 口 % 底 完存	右回転ロクロ→回転ヘラ切り無調整。ロクロ痕やや弱いが端部の外傾鋭く外面下端の沈線は工具痕と思われる。	①素地やや砂質。1mm大の礫混入。 ②還元焰。普通。 ③灰7.5Y5/1。濃淡あり一様でない。
59 杯(須恵)	口(10.0) 底(6.0) 高 3.6	4区3片 口 1/2 底 1/2	右回転ロクロ→回転ヘラ切り→無調整ロクロ痕弱いが内底は平滑さ欠く。	①素地やや砂質だが良好。石英、黒色鉱物等の混入物やや多い。②やや硬調の還元焰。 ③内面青灰5PB5/1。外面は黒色味強い。
60 杯(須恵)	口(10.2) 底(6.0) 高 3.2	埋没土 図示部の%	右回転ロクロ。ロクロ痕弱い。外底から体部下端に細かな手持ちヘラ削り。	①やや砂質だが緻密。 ②やや硬調の還元焰。 ③灰黄2.5Y7/2。断面までほぼ一様。
61 盤(須恵)	口(20.4) 底(18.2)	1/2個体	右回転ロクロか。外底全面に細かな削り。内底前面にも方向不定のナデを施している。	①素地普通。黒色鉱物、パミス等を含む。 ②還元焰。普通。 ③青灰10BG6/1。断面までほぼ一様。
62 盤(須恵)	脚下(11.4)	*+26cm ⇔4区 図示部の%	右回転ロクロによる杯部と脚部の別製作。接合部に回転利用の刻みか加えられている。内外面とも凍てハゼ状の剥落が多い。	①素地やや砂質。混入物は少ない。 ②還元焰。普通。 ③灰白5Y8/2。断面までほぼ一様。
63 盤(須恵)	口(24.0)	*+25cm⇔ 2区⇔4区 図示部の%	右回転ロクロか。外面は回転利用と思われる粗い削り。内底はカキ目状の擦痕が巡っている。	①素地やや砂質。黒色鉱物まじりの礫やや多い。 ②還元焰。焼き締まる。 ③灰10Y6/1。断面は明度高い。
64 盤(須恵)	脚下(14.4)	*+75⇔ ⇔4区 脚 1/2	右回転ロクロ。外面に鋭い二条沈線が巡る。	①素地普通。黒色鉱物やや多い。 ②やや硬調の還元焰。 ③暗緑灰7.5GY4/1。断面は紫色味をおびている。
65 盤(須恵)	口 14.6 底 9.8 高 2.4	*+18cm⇔ +24cm⇔4区 1/2個体	右回転ロクロ→回転ヘラ切りか→外底全面回転ヘラ削り。ロクロ痕弱く平滑	①やや砂質。黒色鉱物、パミスまじりの大粒の砂礫混入。②還元焰。普通。 ③灰白7.5Y7/1。断面までほぼ一様。
66 杯(須恵)	口(14.4) 底(10.2) 高 2.9	3区⇔4区 口 1/2 底 1/2	右回転ロクロ→外底全面と体部下端に回転ヘラ削り。内底は弱いカキ目状のロクロ痕が残っている。	①素地普通。赤褐色鉱物少量混入。 ②還元焰。普通。 ③にぶい橙7.5YR7/3。断面灰色。
67 杯(須恵)	口(18.0) 底 14.1 高 4.4	*⇔4区 口 1/2 底 完存	内底の渦巻状の痕跡より左回転ロクロ→外底右回転のヘラ削り。	①粒径不揃いでやや粗い。チャート、片岩まじりの砂礫混入。②不十分な還元焰。普通。③灰10Y4/1。一様でない。内面明度高く断面一部赤色味おびる。
68 杯(須恵)	口(13.2) 底 9.8 高 3.2	*+15cm 口 1/2 底 完存	右回転ロクロ→外底全面幅太の回転ヘラ削り。ロクロ痕弱く平滑。	①やや砂質。0.5mm大の石を少量含む。 ②還元焰。普通。 ③灰N5/0。外端部帯状に黒色味強い。
69 杯(須恵)	口(12.7) 底 7.8 高 3.6	*た19cm 口 1/2 底 完存	右回転ロクロ→回転ヘラ切りか→底部全面と体部下端に回転ヘラ削り。ロクロ痕弱い。	①素地やや粗い。砂粒多く1mm大のチャート粒散見。 ②やや硬調の還元焰。 ③灰白5Y8/1で断面まで一様。
70 杯(須恵)	口(15.8) 底(11.4)	3区⇔4区 口 1/2 底 1/2	右回転ロクロ。外底と体部下端の一部に丁寧で細かな手持ちヘラ削り。口縁端部摩滅している。	①素地やや緻密。0.5mm大の小石混入。気泡まじる。 ②硬調の還元焰。③外面灰5Y6/1。内面全面に薄くオリーブ色の降灰釉がかかる。
71 杯(須恵)	口(12.8) 底(9.3)	*+84cm 口 1/2 底 1/2	右回転ロクロ→外底と体部下端に左回転のヘラ削り。内底は平滑。	①素地普通。最大2mmの不揃いの石を混入。 ②還元焰。普通。③灰白2.5Y8/1。断面まで一様。

遺物観察表

No・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
72 杯(須恵)	口(13.8) 底 8.0	1区⇔3区 ⇔4区 %個体	右回転ロクロ→外底全面回転ヘラ削り内面平滑。	①素地やや粗い。赤褐色鉱物まじりの砂礫混入。 ②還元焰。不充分。③灰白5Y7/1。黒色味をおびるムラあり。④凍てハゼ状の剥落多い。
73 杯(須恵)	口(13.2) 底 7.2	*+12cm 口 ¼ 底 完存	右回転ロクロ→外底全面幅太の回転ヘラ削り。ロクロ痕弱く平滑。	①やや砂質。1mm大の石、白色針状物混入。 ②還元焰。普通。 ③灰7.5YR6/1。端部は黒色味をおびている。
74 杯(須恵)	口(12.2) 底 8.4 高 3.2	4区4片 口 ¼ 底 ¾	右回転ロクロ→回転ヘラ切りか→外底全面回転ヘラ削り。ロクロ痕弱く平滑。	①素地やや緻密。0.5mm大の石少量混入。気泡あり。 ②やや硬調の還元焰。③灰黄2.5Y6/1。断面黄色味をおびる。外面黒色味の強いムラあり。
75 杯(須恵)	口(14.0) 底 9.0 高 3.7	*底面直上 口 ¼ 底 完存	右回転ロクロ→外底全面と体部下半に左回転のヘラ削り。内面平滑。	①素地砂質。石英、パミスまじりの礫含む。 ②還元焰。普通。 ③灰白7.5Y7/1。外面一部黒色味をおびる。
76 杯(須恵)	口 12.5 底 6.6~6.8 高 3.3	*⇔2区⇔ 3区⇔4区 %個体	右回転ロクロ→底部全面回転ヘラ削り器面平滑。	①素地普通。不揃いな径の礫以外混入物少ない。 ②還元焰。普通。 ③灰7.5Y5/1。断面まで一様。
77 杯(須恵)	口(13.2) 底(10.0) 高 3.7	*⇔4区 %個体	右回転ロクロ→外底と体部下半回転ヘラ削り。ロクロ痕弱いが擦痕鋭い。器面平滑。	①素地やや緻密。0.5mm大の石少量混入。気泡まじる。 ②やや硬調の還元焰。 ③灰白10Y8/1。断面まで一様。
78 杯(須恵)	口(14.5) 底(10.4) 高(3.4)	*+73cm 図示部の% %個体	右回転ロクロ→外底回転ヘラ削り。ロクロ痕弱く平滑。	①素地普通。チャート、輝石まじりの1mm大の石混入。 ②硬調の還元焰。 ③灰白2.5Y8/1。断面まで一様。
79 杯(須恵)	口 12.6~ 13.1 底 8.0 高 3.6	2・8区 %個体	右回転ロクロ→底部全面と体部下端に回転ヘラ削り。外面下半のみロクロ痕細かい。歪み大きい。	①素地やや緻密。チャート混じりの1mm大の礫を少量混入。②やや硬調の還元焰。 ③青灰5B5/1。断面までほぼ一様。
80 杯(須恵)	口 12.5 底 8.0 高 3.2	1区⇔2区 口 ¼ 底 ほぼ完存	右回転ロクロ→回転ヘラ切り→底部全面回転ヘラ削り。外底の削りは雑で中央に粘土塊が残っている。	①素地普通。混入物少ない。気泡の混入やや多い。 ②やや硬調の還元焰。③灰N6/1。外面一部降灰釉かかる。断面中央赤紫色味をおびる。
81 杯(須恵)	口 13.2~ 13.7 底 9.2	*+77cm⇔ 1区⇔4区 %個体	右回転ロクロ→回転ヘラ切り無調整。内端部に重ね焼き痕あり。小さな歪みあり。	①緻密。少量の白色砂、黒色鉱物以外混入物もまれ。 ②還元焰。普通。③青灰5PB6/1。外面光沢のある黒色部分広い。断面赤紫色味強い。内面に片寄って降灰釉がかかる。
82 杯(須恵)	口(12.4) 底 7.7 高 3.6	2区⇔4区 ⇔8区 口 ¼ 底 ¾	右回転ロクロ→回転糸切りか→外底に丁寧な手持ちヘラ削り。	①やや砂質。黒色鉱物やや多い。気泡まじる。 ②硬調の還元焰。 ③暗青灰5PB7/1。外面に黒色味強いムラあり。
83 杯(須恵)	口 12.6 底 7.6 高 3.7~4.1	*+68cm ⇔4区 口 ¼ 底 ¾	右回転ロクロ→外底全面幅太の左回転ヘラ削り。内面平滑。歪みあり径、傾きとも不安。	①素地やや砂質。1mm大の礫を少量混入。 ②還元焰。やや軟調。 ③外面灰5Y6/1。内面灰10Y4/1。
84 杯(須恵)	口(14.6) 底(8.6) 高 3.2	4区7片 口 ¼ 底 ¾	右回転ロクロ→回転ヘラ切り無調整。ロクロ痕弱い。	①やや緻密。黒色鉱物多い。気泡混入。②還元焰で普通。③明青灰5PB7/1。内面に霜降状の白色降灰釉若干かかる。断面黄色味強い。
85 杯(須恵)	口(12.8) 底(7.7) 高 4.1	*⇔2区 口 ¼ 底 ¾	右回転ロクロ→回転ヘラ切り→外底手持ちの弱い削り。ロクロ痕弱く平滑。薄手で軽量。	①素地普通。3mm大の片岩やや多い。 ②還元焰。普通。 ③オリーブ灰2.5GY6/1。底部内外面赤褐色味が強い。
86 杯(須恵)	口 12.0~ 12.5 底 8.0 高 3.3~3.7	1口⇔4区 ⇔8区 口 ¼ 底 ¾	右回転ロクロ→回転ヘラ切り無調整。内底のみロクロ痕の凹凸強い。歪み強い。	①素地普通。黒色鉱物の混入きわめて多い。 ②やや硬調の還元焰。 ③灰5Y6/1。体部外面に厚く降灰釉がかかる。
87 杯(須恵)	口(13.2) 底 9.0~9.4 高 3.5	*+81cm⇔ 1区⇔4区 口 ¼ 底 ¾	右回転ロクロ→回転ヘラ切りか→外底全面不明瞭な削り。内面は鋭い擦痕が巡っている。	①素地砂質でやや粗い。混入物は少ない。 ②還元焰。普通。③断面灰白7.5Y8/1。器面は燻したように灰7.5Y4/1。
88 杯(須恵)	口(13.2) 底(7.8) 高 3.0	*+74cm %個体	右回転ロクロ→回転ヘラ切り無調整。内底の凹凸多い。	①やや砂質。混入物少ない。気泡まじる。 ②やや硬調の還元焰。③灰5Y6/1で断面までほぼ一様。内面に火ガス状の黒色部分あり。
89 杯(須恵)	口(14.6) 底(9.4) 高 3.7	%個体	右回転ロクロ→外底左回転のヘラ削りか。下端手持ちヘラ削りの可能性あり。内面平滑。	①粒径不揃いでやや粗い。1mm大の石、赤褐色鉱物混入。気泡まじる。②還元焰。普通。 ③灰黄2.5Y6/2。断面赤色味をおびる。
90 杯(須恵)	口(13.4) 底 8.4 高 3.8	*底面直上 ⇔8区 口 % 底 %	右回転ロクロ→回転ヘラ切り→無調整だが外底縁部は平坦。内面体部は平滑。内底中央に焼成後線刻「×」あり。	①素地やや砂質。黒色鉱物やや多い。②やや硬調の還元焰。③青灰5PB6/1。外面体部は灰黄色の降灰釉が霜降状にかかっている。

窪地出土遺物

No・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
91 杯(須恵)	口 13.3 底 8.6 高 2.7~3.3	※+78cm \pm +81cm 1/2個体	右回転クロー→回転ヘラ切り。内底中央に焼成後線刻「×」あり。歪み強く径、傾きとも不安。	①素地普通。微細な黒色鉱物やや多い。 ②還元焰。普通。 ③灰白10Y7/1。内面一部に黄緑色の降灰釉かかる。
92 杯(土師)	口(11.8)	※底面直上 図示部の1/2	丸味の強い外底に比して内底は平坦で高杯の可能性もある。外底の削りは弱く雑。	①ザックリしている。輝石まじりの細砂少量含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい赤褐色5YR5/4。明度の低いムラあり。
93 杯(土師)	口(11.0)	4区埋没土 図示部の1/2	外面の削りはやや細かく丁寧。内面も平滑に仕上げている。	①素地普通。パミス等のまじる細砂を少量含む。 ②酸化焰。普通。③にぶい橙5YR6/4。ほぼ一様。
94 杯(土師)	口(12.8)	※底面直上 \pm +10 \pm +68 \pm 図示部の1/2	外底の削りやや弱い。体部下半は無調整。内面は平滑さ欠く。	①ややザラザラした素地。細砂混入する。 ②酸化焰。やや軟調。 ③にぶい橙5YR6/4。内面やや黄色味をおびる。
95 杯(土師)	口(10.2) 高 2.5	※+10cm 1/2個体	外面の削りはやや幅太。内面はやや平滑さ欠く。	①素地普通。パミス、輝石まじりの細砂少量含む。 ②酸化焰。普通。③にぶい橙7.5YR6/4。
96 杯(土師)	口(10.8) 高 3.1	※底面直上 1/2個体	外面の削りは弱い。無調整部分広い。内面ナデ丁寧で平滑に仕上げている。	①素地普通。赤褐色鉱物、パミス、輝石等を含む。 ②酸化焰。やや硬調。③にぶい橙5YR7/4。ほぼ一様。
97 杯(土師)	口(11.4)	※+34cm 図示部の1/2	外面の削りやや鋭い。内面の仕上げも丁寧だが擦痕はつきり残っていない。	①素地普通。粗砂の混入やや多い。②酸化焰。やや軟調。③にぶい橙5YR6/4。ほぼ一様。
98 杯(土師)	口(12.0)	図示部の1/2	外面の削りは幅太で強い。内面のナデは丁寧。	①素地普通。輝石、パミスまじりの砂粒含む。 ②酸化焰。普通。③にぶい橙7.5YR6/4。一様。
99 杯(土師)	口(13.0)	※+68cm \pm 4区 図示部の1/2	外面の削りは底部のみで体部下半は無調整部分が残る。内面は丁寧なナデでやや粗い擦痕が巡っている。	①素地普通。輝石、パミスまじりの細砂少量含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙5YR6/4。外面に黒斑広い。
100 杯(土師)	口(10.4)	※底面直上 1/2個体	外底の削りは鋭い。内面のナデは幅広の布状工具の擦痕が巡っている。口縁端部は内側にやや強く屈曲しているが形状は様ではない。	①素地普通。パミス、1~2mm大の礫等を含む。 ②酸化焰。やや硬調。 ③にぶい橙5YR6/4。内面やや赤色味をおびる。
101 杯(土師)	口(12.8)	4区2片 1/2個体	外面の削りやや強い。口縁内端は小さく屈曲しているが形状は一定でない。内面ナデは布状の幅広の擦痕が残る。	①素地やや緻密。砂粒を少量含んでいる。 ②酸化焰。普通。 ③橙7.5YR7/6。ほぼ一様。
102 杯(土師)	口(12.4)	※+22cm \pm +23cm \pm 4区 図示部の1/2	外面削りはやや細かい。口縁下半の無調整部分やや広い。内面ナデは丁寧でヘラ状の工具痕が残っている。口縁内端の形状は様ではない。	①素地普通。2mm大の礫を散見する。 ②酸化焰。やや軟調。 ③にぶい橙5YR6/4。外底は灰色味をおびている。
103 杯(土師)	口 11.8 高 3.8	※+18cm 口 1/2欠く	外底の削りは規則的で半円部分を弧状に削った後、残りに一方向の削りを加えている。内面のナデも丁寧で布状の幅太の工具痕が巡っている。	①素地普通。石英、パミスまじりの砂粒を含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい黄橙10YR7/3。外面に赤色味、黒色味をおびるムラあり。
104 杯(土師)	口 12.6 高 3.5	1/2個体	外面の削りやや強い。中央で一方向。無調整部分は狭い。内面丁寧なナデで平滑に仕上げている。	①素地普通。パミス、石英等のまじる砂粒やや多い。 ②やや硬調の酸化焰。 ③橙7.5YR7/6。ほぼ一様。
105 杯(土師)	口 12.0 高 3.5	4区 ほぼ完形	外面の削りは強く丁寧で無調整部分を残さない。内面ナデも強くやや粗い擦痕が巡っている。	①素地やや粗い。パミス、石英等の混入物やや多い。 ②酸化焰。普通。③にぶい橙7.5YR7/4。外面灰色味や赤色味をおびるムラあり。
106 杯(土師)	口 12.2~ 12.5 高 3.9	※+20cm 口 1/2欠く	外底の削りは強く鋭く中央で一方向になる。内面のナデは丁寧。平面形に歪みあり。	①素地普通。パミス、1mm大の礫等混入物やや多い。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙7.5YR7/3。外面一部に黒斑あり。
107 杯(土師)	口 13.0 高 4.1	※+18cm 1/2個体	外面の削りは鋭く息長い。中央で一方向になっている。内面のナデは丁寧。口縁に小さな歪みあり。	①素地普通。パミスまじりの砂粒を少量含む。 ②やや硬調の酸化焰。 ③にぶい橙7.5YR7/4。外面一部赤色味をおびる。
108 手づくね	底(3.6)	埋没土 図示部の1/2	外面は削りやナデの痕跡なし。指頭圧痕状の稜ができてきている。内面は指頭による押圧とナデ。	①素地普通。細かな赤褐色鉱物、パミスを含む。 ②酸化焰。やや硬調。 ③黒褐2.5Y3/1。断面は明度高い。
109 手づくね	高 5.5	埋没土2片 図示部の1/2	外面は指紋状の微細な凹凸が器面全体に見られる。内面は方向不定の強いナデの擦痕あり。	①素地やや粗い。パミス、1mm大の礫を少量含む。 ②酸化焰。やや軟調。 ③灰褐7.5YR4/2。断面は明度高い。
110 手づくね	底(4.4)	3区埋没土 図示部の1/2	内外面とも指頭圧痕状の窪みがあるが器面は平滑。外底も平坦である。	①素地やや粗い。パミス、赤褐色鉱物、1~2mm大の礫を含む。②酸化焰。普通。 ③にぶい赤褐2.5YR5/4。ほぼ一様。

遺物観察表

No・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
111 杯(土師)	口 15.4 高 3.4	※底面直上 完形	外底の削りは幅太でやや弱い。内面は口縁部に強いナデの痕が巡っているが底部は凹凸多い。上端に肥厚しているが形状は一樣でない。	①素地普通。パミス、輝石、1mm大の礫等を含んでいる。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙5YR7/4。口縁外面に小さな黒斑あり。
112 杯(土師)	口(14.9)	※+32cm 1/2個体	外面の削りは幅太で息長い。無調整部分を残さない。内面丁寧なナデで底部には布目状の擦痕が残っている。	①素地普通。パミス、輝石まじりの砂粒を含む。 ②酸化焰。普通。③にぶい橙7.5YR7/4。外面に黒斑あり。断面一部灰色味をおびている。
113 杯(土師)	口 15.6 高 3.9	※+24cm ほぼ完形	外底の削りは息長くやや強い。口縁下半に削りの時についた指頭痕が観察できる。内面ナデは口縁部に強い擦痕巡る。	①素地普通。赤褐色鉱物、石英、輝石等雑多な混入物含む。②酸化焰。やや軟調。 ③にぶい橙7.5YR6/4。外面に明度の高いムラあり。
114 杯(土師)	口 15.8~ 16.1 高 3.8	※+12cm ⇔4区 口 1/2欠く	外面の削りは息長く丁寧で中央でほぼ一方向。内面は布状の工具による幅広のナデのあとあり。	①素地普通。パミスまじりの砂粒含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい黄橙10YR6/4。外面に黒斑あり。
115 杯(土師)	口 16.2 高 3.9	※ 口 3/4 底 3/4	外底の削りは息長く強い。内面は凍てハゼ多く不明瞭。厚手で重量。内底の中央に焼成後の線刻「X」。	①素地普通。1~2mm大の礫、輝石等の混入物多い。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙5YR6/4。外底に淡い黒斑あり。
116 杯(土師)	口 15.2 高 3.6	※+77cm⇔ +90cm 口 3/4 底 3/4	外面の削りは細かく方向性にかけている。内面ナデは丁寧だが内底はあまり平坦ではない。	①素地普通。パミス、輝石まじりの砂粒やや多い。 ②酸化焰。やや硬調。 ③にぶい褐7.5YR6/3。ほぼ一樣。
117 杯(土師)	口(15.6)	※ 図示部の1/4	外面削りはやや鋭い。内面も丁寧なナデ。口縁内端は上方へ小さく肥厚している。	①ややザラザラした素地。輝石、パミスまじりの砂粒含む。②やや硬調の酸化焰。 ③にぶい橙7.5YR7/4。ほぼ一樣。
118 杯(土師)	口 15.8 高 4.0	※+26cm ⇔4区 3/4個体	外底削りはやや鋭く中央でほぼ一方向となる。歪みあり径不安。	①ややザラザラした器面になる。輝石まじりの砂粒含む。②やや硬調の酸化焰。 ③にぶい黄橙10YR7/4。ほぼ一樣。
119 杯(土師)	口(17.0)	※+72cm 図示部の1/4	外面の削りは弱い。内面は丁寧に仕上げる。歪みあり。径不安。	①素地普通。輝石、パミスまじりの砂粒含む。 ②酸化焰。普通。③にぶい橙7.5YR7/4。ほぼ一樣。
120 杯(土師)	口(15.0)	4区2片 1/4個体	外底の削り細かく弱い。内面のナデは丁寧。歪みあり。径、傾きとも不安。	①素地普通。パミス、チャートまじりの砂粒を含む。 ②酸化焰。普通。 ③橙5YR6/6。外面に赤色味の強いムラあり。
121 杯(土師)	口(14.8) 高 3.0	3区2片 1/4個体	外面削りは息長い。無調整部分を残さない。内面ナデやや粗く器面に細かな凹凸が残っている。	①素地普通。パミスのやや目立つ砂粒を含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙7.5YR7/4。ほぼ一樣。
122 杯(土師)	口(15.0) 高 4.1	※+25cm 口 3/4 底 1/2	外底の削りは幅太でやや粗い。縁部一部に無調整部分あり。内面のナデは口縁部に布状の擦痕が巡っている。内底は器面に細かな凹凸が多い。	①ザラザラしたやや粗い素地。角閃石、パミス等の混入物やや多い。 ②やや硬調の酸化焰。 ③橙5YR6/6。外面一部灰色味をおびている。
123 杯(土師)	口 15.7 高 3.8	※+33cm 口 1/4 底 1/2	やや厚手。外底の削りはやや強い。口縁下半に無調整部分が残る。内面は強いナデで細かな布状の擦痕が巡る。	①素地普通。チャート、パミス、角閃石等のまじる砂粒やや多い。②酸化焰。普通。 ③にぶい橙5YR7/4。断面やや彩度低い。
124 杯(土師)	口 14.4 高 4.3	※+67cm 1/4個体	外面の削りやや鋭い。内面丁寧で強いナデで粗い擦痕が同心円状に巡っている。	①素地やや砂質。1mm大の礫まじりの砂粒含む。 ②酸化焰。普通。③にぶい橙5YR7/4。外面一部黒色味をおびていて一樣でない。
125 杯(土師)	口(14.0)	※底面直上 図示部の1/4	外底削りはやや息長く丁寧。内面のナデも丁寧で平滑に仕上げている。	①素地やや緻密。パミス、チャートまじりの砂粒含む。②やや硬調の酸化焰。 ③橙5YR6/6。外底は黄色味をおびている。
126 杯(土師)	口(16.8)	※+10cm 図示部の3/4	外面の削りはやや弱い。内面ナデは丁寧で布目状の幅太の擦痕が同心円状に巡っている。	①素地やや粗い。パミスまじりの粗砂やや多い。 ②酸化焰。やや軟調。 ③にぶい橙7.5YR6/4。ほぼ一樣。
127 杯(土師)	口(14.6)	図示部の1/4	外底の削りは強い。口縁及び内面のナデも強くやや粗い擦痕が巡っている。	①素地普通。パミスまじりの粗砂やや多い。 ②酸化焰。普通。③にぶい橙7.5YR7/3。ほぼ一樣。
128 杯(土師)	口(13.4) 高 5.6	※+22cm 口上半 3/4欠く	外底の削りは幅太で強く、息も長い。無調整部分も狭い。内底に小さな凹凸あり。	①素地普通。パミス、チャート、雲母等雑多な混入物を含む。②酸化焰。普通。 ③にぶい橙5YR6/4。一樣。
129 杯(土師)	口(18.8)	図示部の1/4	外面削りやや強い。無調整部分をほとんど残さない。内面平滑。	①素地普通。1mm大の礫を少量含む。②酸化焰。普通。③にぶい橙5YR6/4。赤色味をおびるムラあり。
130 杯(土師)	口(16.4)	※+86cm 図示部の1/4	外面削りは鋭くやや雑。無調整部分はほとんど残らない。内面ナデはやや粗い擦痕が同心円状に巡っている。	①素地普通。細砂以外の混入物少ない。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙5YR6/4。断面中央は灰色味をびている。
131 杯(土師)	口 16.0 高 4.8	1/2個体	外底の削りは息長く中央で一方向。内面ナデはやや粗い擦痕が巡っている。	①素地やや粗い。粗砂の混入やや多い。②酸化焰。やや硬調。③にぶい橙7.5YR6/4。ほぼ一樣。

窪地出土遺物

No・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
132 杯(土師)	口(15.2) 高 4.9	2/3個体	外底削りは弱いが丁寧。内面のナデは強く粗い布目状の擦痕が残っている。	①素地普通。細砂含む。気泡まじる。②酸化焰。普通。③にぶい橙5YR7/4。内面やや赤色味をおびる。
133 杯(土師)	口 16.0	口 2/3 底 1/2	外底の削りは弱く一部で不明瞭。口縁部は無調整部分広いが器面は平滑。内面ナデ丁寧。	①素地普通。パミスまじりの砂粒を含む。②酸化焰。普通。③にぶい橙5YR6/4。
134 杯(土師)	口 16.0 高 4.7	※+15cm 2/3個体	外底の削りはやや鋭い。無調整部分は少ない。内面ナデは丁寧で口縁部にやや粗い擦痕が巡っている。	①素地普通。パミス、赤褐色鉱物等のまじる砂粒を含む。②酸化焰。普通。③にぶい橙7.5YR7/3。外底に黒斑あり。
135 杯(土師)	口(19.8)	※+41cm 図示部の2/3	外底の削りやや弱い。無調整部分広い内面のナデは丁寧。小さな歪みあり。径不安。	①素地普通。パミス、輝石まじりの砂粒含む。②酸化焰。やや硬調。③にぶい橙7.5YR7/4。ほぼ一様。
136 杯(土師)	口(18.0) 高 6.3	4区 図示部の2/3	外面の削りは丁寧。内面ナデも丁寧で口縁部にやや粗い擦痕が巡っている。口縁外端の稜やや鋭い。	①素地やや緻密。細砂少量含む以外混入物少ない。②酸化焰。普通。③にぶい橙5YR6/4。
137 杯(土師)	口(12.5)	4区3片 図示部の2/3	器面風化し不明瞭だが外面に削りの痕跡は認められない。内面に丁寧な暗文を施している。口縁部斜放射状、内底放射状、境に弧を重ねて圏線状にした意匠か。口縁外端にも磨きを加える。	①素地普通。混入物をほとんど含まない。②酸化焰。やや軟調。③にぶい橙5YR6/4。赤色味、黄色味をおびる。ムラあり一様でない。
138 杯(土師)	口(11.6) 底(7.8)	口 2/3 底 1/2	外底と口縁下半に幅広の規則的な削り内面はやや強いナデの後口縁部にのみやや雑な暗文を施す。口縁の歪み著しく、傾き不安。	①素地普通。赤褐色鉱物、パミス等を少量含む。②酸化焰。やや軟調。③明赤褐2.5YR5/6。ほぼ一様。
139 杯(土師)	口(14.2)	4区⇔6区の 計11片 口 1/2 底 1/2	外面は弱い削り鋭い息の長い削り。内面は丁寧なナデの後、暗文を施す。暗文は内底で細く口縁部は太い。口縁内端の肥厚が強い。とても丁寧な作りの土器である。	①素地やや緻密。赤褐色鉱物、1mm大の礫等を少量含む。②酸化焰。普通。③にぶい橙5YR6/4。ほぼ一様。
140 杯(土師)	口(12.4) 高 4.9	※+98⇔ 口若干 底 1/2	外面の削りは幅広でやや丁寧。内面もやや丁寧なナデの後、暗文を施す。内底に焼成前と思われる線刻「中」あり。	①素地普通。パミス、角閃石等を少量含む。②酸化焰。普通。③にぶい橙5YR6/4。断面は彩度低い。
141 杯(土師)	口(13.3)	※底面直上 図示部の2/3	外面の削りはやや雑で鋭い。口縁部のナデは強い。内面はやや幅太の放射状の暗文を施す。	①素地やや粗い。1mm大の礫、赤褐色鉱物等のまじる砂粒やや多い。②酸化焰。普通。③明赤褐2.5YR5/7。断面までほぼ一様。
142 杯(土師)	口 14.6	埋没土 図示部の2/3	外面の削りはやや雑。無調整部分が残っている。内面は強いナデの上にやや丁寧な暗文を施している。小破片からの復元で径不安。	①素地普通。混入物少ない。②酸化焰。普通。③にぶい黄橙10YR7/3。内面は赤色味をおびている。
143 杯(土師)	口(16.0) 底 10.2 高 5.3	4口⇔8区の 計11片 口 1/2 底 ほぼ完存	外底は手持ちヘラ削りだが剝落すすみ不明瞭。口縁部に外面横位、内面弧状のヘラ磨き。内面黒色処理。	①素地普通。赤褐色鉱物、2mm大の礫等を含む。②酸化焰。軟調。③にぶい橙7.5YR7/3。一部に黒斑あり。内面光沢の弱い黒色。④内底は摩滅している。
144 杯(土師)	口(13.2) 高(3.8)	埋没土 図示部の2/3	142と同巧。外面の削りはやや強い。小破片からの復元で径不安。	①素地普通。混入物少ない。②酸化焰。普通。③にぶい橙5YR6/4。ほぼ一様。
145 杯(土師)	口(15.4)	2区2片 図示部の2/3	口縁外面の無調整部分広い。内面の暗文は幅広で弱いと深く鋭いものの二種類が見られる。どちらも雑である。	①素地普通。パミスまじりの砂粒を少量含んでいる。②酸化焰。普通。③にぶい橙7.5Y6/4。
146 杯(土師)	口(14.2)	3区埋没土 図示部の2/3	外面の削りはやや強く丁寧。内面も丁寧なナデ。	①素地普通。細砂を少量含む。②酸化焰。普通。③にぶい橙7.5YR7/4。外面一部黒斑あり。
147 杯(土師)	口 11.5 高 3.6	※ 完形	外面の削りは丁寧で息長い一部に無調整部分が残る。内面のナデも丁寧で平滑に仕上げている。	①素地普通。1mm大の礫やや多い。②やや硬調の酸化焰。③にぶい橙5YR6/4。一部で赤色味をおびる。
148 杯(土師)	口 14.4 高 2.9	※+19cm⇔ +28cm	外底の削りは概ね反時計回りで巡っている。口縁と内面のナデは強くやや粗い擦痕が巡っている。	①素地やや粗い。パミス、輝石まじりの粗粒やや多。②酸化焰。普通。③にぶい橙7.5YR6/3。ほぼ一様。
149 杯(土師)	口(12.6) 高 4.1	※底面直上 口 1/2 底 1/2	厚手でやや重量。器面やや摩滅していて整形痕は不明瞭。外底の削りは幅広内面はやや平滑に仕上げている。	①ザラザラした素地。パミス、1mm大の礫等の混入やや多い。②酸化焰。普通。③にぶい橙7.5YR7/3。外面は赤色味、黒色味をおびるムラあり。
150 杯(土師)	口(13.6) 高 4.2	4区埋没土 口 1/2 底 1/2	外面の削りやや強い。内面は平滑に仕上げている。外面の剝落ややすすむ。	①素地やや粗い。パミス、輝石まじりの砂粒を含む。②酸化焰。やや軟調。③にぶい橙5YR6/4。ほぼ一様。
151 杯(土師)	口(12.6)	図示部の2/3	外底の削りは息長く鋭い。内面丁寧なナデ。	①素地やや粗い。パミスまじりの粗砂を含む。②酸化焰。普通。③橙7.5YR7/6。断面は彩度低い。

遺物観察表

No・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
152 杯(土師)	口(13.5)	※+67cm 図示部の $\frac{1}{2}$	外面の削りはやや丁寧。内面も丁寧にナデている。口縁に小さな歪みあり。	①素地普通。パミスまじりの砂粒を少量含む。 ②酸化焰。普通。③にぶい黄橙10YR7/4。ほぼ一様。
153 杯(土師)	口(14.0)	$\frac{1}{2}$ 個体	外底の削りやや鋭い。内面のナデはやや粗い擦痕が同心円状に巡っている。	①素地普通。パミス、輝石まじりの砂粒含む。 ②酸化焰。普通。③にぶい橙7.5YR7/4。ほぼ一様。
154 杯(土師)	口(19.0)	4区3片 図示部の $\frac{1}{2}$	外底の削りは弱い。内面のナデは縁部にのみ鋭い擦痕が巡っている。	①素地普通。パミスまじりの砂粒を少量含む。 ②酸化焰。やや軟調。③にぶい橙7.5Y7/4。内面は赤色味、灰色味をおびるムラあり。
155 杯(須恵)	口 12.8 底 9.7	3区⇔4区 $\frac{1}{2}$ 個体	右回転ロクロ。外底残存部分は方向不定の手持ヘラ削り。体部下端は回転ヘラ削りか。内面の擦痕鋭い。	①素地やや砂質。3mm大の礫散見する。砂粒混入。 ②やや硬調の還元焰。 ③灰白5Y8/1。断面までほぼ一様。
156 杯(須恵)	口(14.4) 底 6.7 高 3.8	※⇔4区 口 $\frac{1}{2}$ 底 完存	右回転ロクロ→回転ヘラ切り無調整。ロクロ痕弱い。器面きわめて平滑。	①素地普通。チャート、パミス、3mm大の石含む。 ②還元焰。普通。 ③灰7.5Y6/1でほぼ一様。
157 杯(須恵)	口(12.2) 底(7.0) 高 4.6	埋没土 図示部の $\frac{1}{2}$	右回転ロクロ→回転ヘラ切り無調整。ロクロ痕弱いが擦痕はやや鋭い。歪み強く径、傾きとも不安。	①素地緻密。微細な黒色鉱物やや多い。 ②硬調の還元焰で焼き締まる。 ③灰10Y6/1。内面に黄緑色の釉が不均等にかかる。
158 杯(須恵)	口(13.0) 底 7.8 高 3.4	※底面直上 ⇔2区 口 $\frac{1}{2}$ 底 $\frac{1}{2}$	右回転ロクロ→回転糸切り→外底縁部に幅狭の回転ヘラ削り。	①素地普通。石英、黒色鉱物まじりの1mm大の礫混入。②還元焰。普通。 ③灰7.5Y6/1。口縁外端黒色味をおびる。
159 杯(須恵)	口(10.0) 底(5.7) 高 2.9	4区2片 図示部の $\frac{1}{2}$	右回転ロクロ→回転ヘラ削りか。ロクロ痕弱い。	①素地緻密。黒色鉱物の混入やや多い。 ②硬調の還元焰。 ③灰N6/0。
160 杯(須恵)	口(12.0) 底(7.2) 高 3.2	8区埋没土 $\frac{1}{2}$ 個体	右回転ロクロ→回転ヘラ削りか→外底周縁と体部下端に不明瞭な削り。また平滑でゴザ状の圧痕がわずかに残る。	①素地やや緻密。粗砂含む。3mm大の石混入。 ②やや硬調の還元焰。 ③灰10Y6/1。断面まで一様。
161 杯(須恵)	口(11.4) 底(6.2) 高 3.1	4区埋没土 $\frac{1}{2}$ 個体	右回転ロクロ→回転糸切り→外底縁部回転ヘラ削りか。内面ロクロ痕弱い。	①素地やや粗い。1~3mm大のチャート、片岩粒等混入。②やや軟調の還元焰。 ③灰白5Y7/1。断面までほぼ一様。
162 杯(須恵)	口(12.6) 底(8.4) 高 3.2	※+104cm $\frac{1}{2}$ 個体	右回転ロクロ→回転ヘラ削りか。外底縁辺に回転ヘラ削り。内面でロクロ痕強い。内底に直線的なナデのような擦痕あり。	①やや砂質だが緻密。細かな黒色鉱物の混入多い。 ②硬調の還元焰で焼き締まる。 ③内面灰白N7/0。外面は不規則に濃緑色の降灰釉がかかる。
163 杯(須恵)	口(13.2) 底(7.8)	4区3片 口 $\frac{1}{2}$ 底 $\frac{1}{2}$	右回転ロクロ→外底と体部下端に回転ヘラ削り。	①やや砂質で軽量。チャートまじりの1mm大の石混入。 ②還元焰。普通。③灰白10Y7/1。断面までほぼ一様。
164 杯(須恵)	口 13.1 底 8.0 高 3.1	※+19cm ⇔4区 口 $\frac{1}{2}$ 底 ほぼ完存	右回転ロクロ→回転糸切り→外底縁部手持ちヘラ削りは砂粒の動きがきわめて少ない。ロクロ痕弱く内底は平坦。重量。	①やや砂質。パミスまじりの粗砂の混入多い。 ②還元焰。普通。 ③暗青灰10BG4/1。断面までほぼ一様。
165 杯(須恵)	口(15.2) 底(9.6) 高 3.8	4区8片 口 $\frac{1}{2}$ 底 $\frac{1}{2}$	右回転ロクロ→回転糸切り→外底縁部と体部下半に回転ヘラ削り。内底は平滑。	①素地砂質。0.5mm大の礫の混入やや多い。 ②還元焰。やや締めり欠く。 ③灰白10Y7/1。濃淡あり一様でない。
166 杯(須恵)	口(13.1) 底(9.2) 高 4.0	※+88cm 口 若干 下半 $\frac{1}{2}$	右回転ロクロ→回転糸切り→底部周縁と体部下半に左回転のヘラ削り。歪み強く径、傾きとも不安。	①素地普通。白色砂粒の混入やや多い。 ②還元焰。普通。 ③灰7.5Y5/1。
167 杯(須恵)	口 14.8 底 8.3 高 4.2	※+18cm⇔1区 ⇔2区⇔4区 ほぼ完形	右回転ロクロ→切離し手法不明→外底に雑な回転ヘラ削り。内面平滑。	①素地やや粗い。チャートまじりの2mm大の礫の混入多い。②やや軟調の還元焰。 ③灰白2.5Y7/1。一様でない。④一部に二次被熱。
168 杯(須恵)	口(13.7) 底 8.5 高 3.1	3区 口 $\frac{1}{2}$ 底 $\frac{1}{2}$	右回転ロクロ→回転糸切り→外底縁部雑な手持ちヘラ削り。内面立ち上りに丁寧な窪みが巡っている。外面ロクロ痕弱い。	①素地砂質。2~3mm大の片岩粒やや多い。 ②還元焰。やや焼き締まる。 ③暗青灰5B4/1。断面一部赤紫色味をおびている。
169 杯(須恵)	口(13.3) 底 7.4 高 3.8	1・2・4・8区 口 $\frac{1}{2}$ 底 ほぼ完存	右回転ロクロ→回転糸切り→外底縁部幅太の手持ちヘラ削り。	①素地やや粗い。黒色鉱物、輝石等の混入物やや多 ②還元焰。普通。 ③灰白7.5Y7/1。外底は赤色味をおびている。
170 杯(須恵)	口(14.0) 底 7.8 高 3.8	※+6cm2片 口 $\frac{1}{2}$ 底 完存	右回転ロクロ→回転糸切り→外底縁部と体部下端に狭幅の回転ヘラ削り。内面平滑。	①素地やや粗い。白色砂粒の混入多い。 ②還元焰。普通。 ③外面灰10Y4/1。内面断面灰7.5Y6/1。
171 杯(須恵)	口(13.6) 底 7.8 高 3.9	4区⇔8区 口 $\frac{1}{2}$ 底 $\frac{1}{2}$	右回転ロクロ→回転糸切り無調整。外面に凍てハゼあり。	①素地普通。細砂以外の混入物少ない。 ②やや軟調の還元焰。③灰5Y6/1。体部外面灰10Y4/1。断面黄色味をおびている。

窪地出土遺物

No・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
172 杯(須恵)	口 12.6 底 7.4 高 3.2	4区10片 口 1/2 底 ほぼ完存	右回転ロクロ→回転糸切り無調整。ロクロ痕弱い。	①素地普通。混入物少ない。 ②還元焰。やや締まり欠く。 ③灰白10Y8/1。外面に黒色味の強いムラ広い。
173 杯(須恵)	口(12.3) 底 6.3 高 3.1	4口⇔8区 口 1/2 底 完存	右回転ロクロ→回転糸切り無調整。器面の平滑さにやや欠ける。	①素地普通。チャート、パミスまじりの石混入。 ②やや硬調の還元焰。 ③灰白7.5Y7/1。外面黒色味の強いムラあり。
174 杯(須恵)	口(13.4) 底 6.9 高 3.8	2区 口 1/2 底 1/2	右回転ロクロ→回転糸切り→外底縁部に不規則な手持ちヘラ削り。ロクロ痕弱い。内底平坦。	①素地普通。1~3mm大の片岩粒、礫の混入やや多い。 ②やや軟調の還元焰。 ③灰白5Y7/1。
175 杯(須恵)	口12.2 底 6.8~6.5 高 3.7	2区⇔4区 口 1/2 底 完存	右回転ロクロ→回転糸切り無調整。ロクロ痕弱い。内底平滑。	①素地やや砂質。小粒の黒色鉱物少量含む。 ②還元焰。普通。 ③灰白7.5Y7/1で断面までほぼ一様。
176 杯(須恵)	口(12.0) 底 6.6 高 3.2	※底面直上 口 1/2 底 1/2	右回転ロクロ→回転糸切り無調整。ロクロ痕きわめて弱い。	①素地普通。2mm大の片岩粒やや多い。 ②やや硬調の還元焰。 ③灰5Y6/1。外面下半赤灰5R5/1。
177 杯(須恵)	口 11.8~ 12.6 底 6.8 高 3.5~3.8	3区⇔4区 ⇔8区 1/2個体	右回転ロクロ→回転糸切り無調整。ロクロ痕弱い。やや歪みあり。	①素地普通。黒色鉱物の混入きわめて多い。 ②やや硬調の還元焰。 ③褐灰10YR6/1。外面灰黄色の降灰多。
178 杯(須恵)	口(11.9) 底(7.0) 高 2.9	※底面直上 1/2個体	右回転ロクロ→回転糸切り無調整。ロクロ痕弱く内面平滑。	①素地やや粗い。石英、チャート等1mm大の混入物やや多い。②還元焰。普通。 ③暗青灰5B4/1。断面までほぼ一様。
179 杯(須恵)	口(12.5) 底 7.2 高 3.0~3.3	8区3片 口 1/2 底 1/2	右回転ロクロ→回転糸切り無調整。ロクロ痕やや強いが内底は平滑。	①素地やや砂質。白色砂粒の混入やや多い。 ②還元焰。普通。 ③暗青灰5B4/1。断面までほぼ一様。
180 杯(須恵)	口 12.5 底 6.8 高 3.6	※ 口 1/2欠く	右回転ロクロ→回転糸切り無調整。ロクロ痕弱い。内底も平坦。	①素地普通。黒色鉱物のやや多い砂粒含む。 ②還元焰。普通。 ③灰白5Y7/1。断面までほぼ一様。
181 杯(須恵)	口(13.0) 底 6.6 高 3.7	8区3片 口 小片 底 完存	右回転ロクロ→回転糸切り無調整。ロクロ痕やや弱い。	①素地普通。2mm大の礫を少量含んでいる。 ②還元焰。普通。 ③灰白2.5Y7/1。器面に明度の低い小さなムラあり。
182 杯(須恵)	口(12.7) 底 7.8 高 4.9	1・2・4区 口 1/2 底 ほぼ完存	右回転ロクロ→回転糸切り無調整。内底でロクロ痕やや強い。	①素地砂質でやや粗い。混入物少ない。 ②還元焰。普通。 ③灰白5Y8/1。外面上半と内面灰5Y5/1。
183 杯(須恵)	口(12.0) 底 7.2 高 4.0	※101cm 口 1/2 底 1/2	右回転ロクロ→回転糸切り無調整。ロクロ痕弱いが内底にやや鋭い擦痕が巡っている。	①素地普通。2mm大の泥粒混入している。 ②還元焰。普通。二次被熱の可能性。 ③灰白7.5Y8/1~灰N5/0。一様でない。
184 高台付杯(須恵)	口(15.2) 高 4.3 台 10.8	※+27cm ⇔4区 口 1/2 底 1/2	右回転ロクロ→回転糸切り無調整。高台取付け丁寧で外面はアテ具使用。内底は同心円状の細かなロクロ痕。	①素地やや緻密。黒色鉱物と白色砂粒混入。 ②還元焰。普通。 ③灰N6/1。断面は赤灰色。
185 杯(須恵)	口(11.4) 底(5.6) 高 4.0	※ 1/2個体 口縁端部若干	右回転ロクロ→回転糸切り無調整。ロクロ痕弱く平滑に仕上げている。	①砂質でやや粗いが目はつまっている。黒色鉱物の混入やや多い。②硬調の還元焰で良好。 ③内面褐灰10YR6/1。一様。外面体部に黄緑色、白色の降灰多。
186 杯(須恵)	口 11.6 底 6.0 高 3.9	※+68cm⇔1区 ⇔2区⇔4区 口 1/2 底 完存	右回転ロクロ→回転糸切り無調整。ロクロ痕弱い。	①素地普通。小粒の黒色鉱物粒やや多い。 ②還元焰。普通。③灰7.5Y6/1。外底中心に白色の降灰が霜降状にかかっている。
187 杯(須恵)	口 12.4 底 5.8 高 4.3	1区 口 1/2 底 完存	右回転ロクロ→回転糸切り無調整。内外面とも立ち上りやや鋭い。	①素地普通。細砂以外の混入物少ない。 ②還元焰。普通。 ③灰白10Y8/1。断面中央赤色味をおびる。
188 高台付杯(須恵)	口(9.8) 高 5.1 台 6.0	2・4区 口 1/2 底 完存	右回転ロクロ→回転糸切り。高台取付けは中央をやや外れている。歪みあり径不安。	①素地緻密。混入物も少なく良好。 ②還元焰。普通。 ③灰白10Y7/1。外面明度の低いムラあり。
189 杯(須恵)	口(13.0) 底(6.4) 高 3.2	4区⇔8区 口 1/2 底 1/2	右回転ロクロ→回転糸切り無調整。ロクロ痕弱く内面平滑。歪みあり計測値不安。	①素地やや砂質。片岩、パミス、黒色鉱物等雑多な混入物含む。②還元焰。普通。 ③青灰5B6/1で断面まで一様。
190 杯(須恵)	口(12.6) 底 2.9 高 6.4	8区3片 図示部の1/2	器表面の剥落著しく成形痕、切離し痕観察できないがシルエットより右回転ロクロの回転糸切り無調整か。	①素地普通。1mm大の礫混入。 ②還元焰の焼き損ない。二次被熱の可能性。 ③灰白2.5Y7/1。断面中央黒色味が強い。

遺物観察表

No・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
191 杯(須恵)	口 13.1 底 7.1 高 3.6~4.0	※底面直上⇔ 1~4・8区 %個体	右回転ロクロ→回転糸切り無調整。ロクロ痕弱い。小さな歪みあり、口径不安。	①素地やや砂質。2mm大の礫が少量混入している。 ②還元焰。普通。 ③青灰5B5/1。外面に黒色味をおびるムラあり。
192 杯(須恵)	口(12.4) 底 6.4 高 3.5	2区⇔4区 口 ¼ 底 完存	右回転ロクロ→回転糸切り無調整。内面ロクロ痕弱い。	①素地普通。黒色鉱物やや多い。②還元焰。普通。 ③青灰5PB6/1。外面一部黒色味、断面赤紫色味をおびている。
193 高台付杯(須恵)	口(13.4) 高 5.0 台 7.9	※+107cm 口 ¼ 底 完存	右回転ロクロ→回転糸切り→丁寧な高台取付け。立ち上りは鋭い。	①素地普通。径5mm前後の礫を散見。 ②還元焰。普通。③灰N6/0。断面黄色味が強い。白色の降灰釉が少量付着している。
194 高台付杯(須恵)	口(16.0)	※+44cm 口 ¼ 底 ほぼ完存	右回転ロクロ→回転糸切り→高台取付け。器面平滑。高台はきれいに剥落しているが剥落痕は摩滅していない。	①素地普通。チャート、白色砂粒等混入。 ②還元焰。普通。 ③灰白7.5Y7/1。断面一部赤紫色味をおびている。
195 高台付杯(須恵)	口(16.6) 高 6.6 台 9.6	※+78cm 口 小片 底 完存	右回転ロクロ→回転糸切り無調整→丁寧な高台取付け。内底は弱い渦巻状のロクロ痕が残る。	①素地普通。1~3mm大のチャートまじりの礫を含む。②還元焰。普通。 ③赤灰5R5/1~灰10Y7/1。一様でない。
196 高台付杯(須恵)	高(4.8) 台 9.4	8区 底 完存	右回転ロクロ→回転糸切り無調整→丁寧な高台取付け。ロクロ痕弱い。	①素地やや砂質。最大で径5mmの片岩粒混入。 ②軟調の還元焰。 ③外面灰10Y4/1。内面灰白5Y7/1。
197 高台付杯(須恵)	口 14.4 高 7.8 台(9.8)	※+68cm⇔ +91cm⇔2区 %個体	右回転ロクロ→回転糸切り無調整→丁寧な高台取付け。内面のみロクロ痕やや強いが底部は平坦。	①素地やや砂質。3mm大の片岩粒の混入やや多い。 ②やや硬調の還元焰。 ③暗青灰10BG3/1。外面に弱い光沢あり。
198 高台付杯(須恵)	台 11.7	※底面直上⇔ +10cm 図示部の%	右回転ロクロ→回転糸切り→ロクロ利用の丁寧な高台取付け、部厚い高台だが内底の平滑さより杯類とした。	①素地やや砂質。1mm大の礫散見。②還元焰。普通。 ③暗青灰5B4/1。内面明度高い。火ダスキ状の黒色のムラあり。④内底やや摩滅して平滑。
199 杯(土師)	口(11.4) 高 3.0	※底面直上⇔ +6cm⇔+10cm 口 ¾底 ½	外面の削りは息長く鋭い。内面のナデも強く、擦痕が全面に巡っている。	①素地普通。1mm大の礫のやや目立つ砂粒を含む。 ②酸化焰。やや硬調。 ③にぶい橙5YR6/4
200 杯(土師)	口 12.1 高 3.9	※+41cm %個体	外面の削りきわめて強く削りすぎの補修痕が残っている。内面のナデ丁寧で鋭い擦痕が巡っている。	①素地やや粗い。パミスまじりの粗砂の混入やや多。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい黄橙10YR7/3。灰色味をおびるムラあり。
201 杯(土師)	口 11.8~ 12.2 高 3.4	口 ¾欠く	外底の削りはやや強い。内面のナデは丁寧。口縁に小さな歪みあり。	①素地普通。パミス、輝石まじりの砂粒を含む。 ②酸化焰。やや硬調。 ③にぶい橙5YR7/4。一様。
202 杯(土師)	口 12.7	※+69cm %個体	外底の削りはやや鋭い。口縁の無調整部分は広い。内面口縁にナデの粗い擦痕が巡っている。	①素地普通。1mm大の礫まじりの砂粒を含む。 ②酸化焰。やや硬調。 ③にぶい橙7.5YR6/4。
203 杯(土師)	口 12.5 高 3.7	※+17cm ほぼ完形	外底の削り鋭く中央で一方向。体部の無調整部分やや広い。内面ナデは丁寧で口縁部にやや鋭い擦痕が巡る。	①素地普通。赤褐色鉱物目立つ。粗砂を含む。 ②酸化焰。やや軟調。 ③にぶい橙7.5YR7/4。
204 杯(土師)	口 12.5~ 12.8 高 3.5	※+26cm 口 ¾欠く	外底の削りは鋭い。内面ナデは丁寧で器面は平滑に仕上げている。	①素地普通。砂粒を少量混入している。 ②酸化焰。やや軟調。 ③にぶい黄橙10YR7/4。外底に黒斑広い。
205 杯(土師)	口(12.0) 高 3.5	%個体	外面の削りは息長く鋭い。内面のナデは幅の厚い布状工具痕が残っている。	①素地普通。パミスまじりの砂粒を少量含む。 ②酸化焰。やや硬調。③にぶい橙7.5YR7/4。ほぼ一様。
206 杯(土師)	口(12.8) 高 3.5	※+70cm 口 ¼ 底 ¾	外底の削りは幅広くやや弱い。口縁下半は無調整。内面のナデは丁寧でやや平滑に仕上げている。	①素地普通。パミス、角閃石まじりの砂粒少量含む。 ②酸化焰。普通。③にぶい褐色7.5YR6/3。黒色味、灰色味をおびるムラあり一様でない。 ④内底にスス状の付着物あり。
207 杯(土師)	口(13.4) 高 3.5	※+78cm %個体	外底には斜放射方向に近い変則的な削り。内面は丁寧なナデで平滑に仕上げている。	①素地普通。パミスまじりの細砂を含む。 ②やや硬調の酸化焰。 ③にぶい橙7.5YR6/4。彩度の低いムラあり。
208 杯(土師)	口(11.8)	※+18cm %個体	外底の削りやや雑。内面ナデは丁寧で平滑に仕上げている。	①素地普通。1mm大の礫の混入やや多い。 ②やや硬調の酸化焰。 ③にぶい橙7.5YR7/4。内面一部灰色味をおびる。
209 杯(土師)	口(12.6)	4区2片 図示部の%	外底中央のみ弱い削りを施し、無調整部分が広く残っている。内面は丁寧なナデ。	①素地普通。パミスまじりの細砂を少量含む。 ②酸化焰。やや軟調。 ③にぶい褐7.5YR6/3。
210 杯(土師)	口 14.0	4区5片 口 ¾ 底 ¾	外底の削り弱い。口縁下半は無調整で型膚状のヒビやや多い。内面は器面荒れていて整形痕は不明瞭。	①素地普通。細砂以外の混入物少ない。 ②酸化焰。普通。③にぶい橙7.5YR7/3。外面は黒色味をおびるムラ広い。

No・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
211 杯(土師)	口(12.0)	埋没土 図示部の $\frac{1}{2}$	外底のナデやや強い。内面のナデ丁寧で平滑に仕上げている。	①素地やや緻密。細砂を少量含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙5YR6/4。外面は黄色味をおびるムラあり。
212 杯(土師)	口 12.0	4区 $\frac{1}{2}$ 個体	外底の削りは幅広く息長く強い。内面のナデはやや丁寧だが器面は平滑さ欠く。歪みあり傾き不安。内底に墨痕状の不明瞭な附着物あり。	①素地普通。細砂を少量含む以外混入物少ない。 ②酸化焰。やや軟調。 ③にぶい橙5YR6/4。外底は黒斑広い。
213 杯(土師)	口(12.4)	4区2片 図示部の $\frac{1}{2}$	外底の削りやや強い。口縁無調整部分広いが平滑。内面のナデやや丁寧。	①素地やや粗い。輝石まじりの砂粒やや多く、気泡含む。②やや硬調の酸化焰。 ③にぶい橙7.5YR7/4。外底灰色味をおびている。
214 杯(土師)	口(13.4)	※底面直上 \rightleftharpoons +24cm \rightleftharpoons 4区 口 $\frac{1}{2}$ 底 $\frac{1}{2}$	外底の削りは息長い。口縁下半の無調整部分広い。内面ナデは強く粗い擦痕が全体に巡っている。	①素地普通。パミス、1mm大の礫まじりの砂粒やや多い。②酸化焰。やや軟調。 ③にぶい褐7.5YR6/3。黒色味をおびるムラあり。 ④口縁部内端の摩滅がすすんでいる。
215 杯(土師)	口(12.0) 高(3.4)	※+22cm $\frac{1}{2}$ 個体	外底の削りは細かくやや強い。内面のナデも丁寧で平滑に仕上げている。	①素地普通。輝石、石英まじりの砂粒を含む。 ②やや硬調の酸化焰。 ③にぶい橙7.5YR7/4。内面やや黄色味をおびている。
216 杯(土師)	口 11.8 高 3.5	※+36cm 口 $\frac{1}{2}$ 欠く	外底の削り鋭いが縁部の半分は無調整で指頭圧痕が残っている。内面丁寧なナデでやや粗い擦痕が巡っている。	①素地普通。パミスまじりの砂粒を含む。 ②酸化焰。やや硬調。 ③にぶい黄橙10YR7/3。ほぼ一様。
217 杯(土師)	口(13.3) 高 4.9	※+30cm \rightleftharpoons +41cm 口 $\frac{1}{2}$ 底 $\frac{1}{2}$	外面の削りは幅太で強い。口縁部の無調整部分やや広い。内面ナデは口縁部で強い擦痕が巡っている。	①素地普通。パミス、輝石まじりの砂粒を含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙7.5YR7/4。外底に黒斑あり。
218 杯(土師)	口 12.3~ 12.6 高 3.2	※+19cm 口 $\frac{1}{2}$ 欠く	外底の削り丁寧。内面のナデも丁寧で細かな擦痕が全体に巡っている。平面形の歪み大きい。	①素地普通。パミス、輝石まじりの砂粒やや多い。 ②酸化焰。やや軟調。 ③にぶい橙7.5YR7/4。外底の黒斑広い。
219 杯(土師)	口 13.0 高 3.2	埋没土 図示部の $\frac{1}{2}$	外底の削りは弱く雑で、無調整部分広い。内面ナデもやや雑で器面は平滑さ欠く。	①素地普通。輝石、パミスまじりの砂粒少量含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙5YR6/3。外面一部灰色味をおびている。
220 杯(土師)	口 13.6~ 14.0	個体+84cm $\frac{1}{2}$ 個体	外底削りは丁寧だがやや弱い。口縁下半の無調整部分広い。内面ナデは丁寧でやや粗い擦痕が巡っている。	①素地普通。パミスまじりの砂粒を含む。 ②酸化焰。普通。③にぶい褐7.5YR5/3。赤色味、黒色味おびる部分もあり一様でない。
221 杯(土師)	口(11.0)	4区埋没土 図示部の $\frac{1}{2}$	外面の削りやや鋭い。内面のナデは口縁部に弱い擦痕が巡っている。	①素地普通。輝石、パミスまじりの砂粒含む。 ②酸化焰。やや硬調。③にぶい橙7.5YR7/4。ほぼ一様。
222 杯(土師)	口 12.3 高 3.3	4区7片 口 完存 底 $\frac{1}{2}$	外底の削りは息長く鋭い。口縁下半の無調整部分やや広い。内面ナデは口縁部にやや粗い擦痕が巡っている。	①素地普通。パミスまじりの砂粒を含む。 ②酸化焰。やや硬調。 ③にぶい橙5YR7/4。
223 杯(土師)	口(12.8) 高 2.5	※+76cm \rightleftharpoons 4区 口 $\frac{1}{2}$ 底 $\frac{1}{2}$	外底中央の削りは息長く縁辺では短く強い。内面ナデは細かな擦痕が口縁部に巡っている。	①素地やや粗い。パミス、雲母、2mm大の泥粒等を含む。②酸化焰。普通。 ③にぶい橙5YR6/4。外底は赤色味をおびている。
224 杯(土師)	口(12.2)	※+80cm 図示部の $\frac{1}{2}$	外底の削りは幅太でやや強い。口縁と内面のナデは強くやや粗い擦痕が巡っている。	①素地普通。パミスまじりの砂粒やや多い。 ②酸化焰。やや軟調。 ③にぶい橙7.5YR6/4。
225 杯(土師)	口(13.6)	4区埋没土 図示部の $\frac{1}{2}$	外底の削りやや強い。無調整部分広いが平滑。内面のナデは粗い擦痕が巡っている。	①素地普通。パミス、チャートまじりの粗砂含む。気泡まじる。②酸化焰。普通。 ③にぶい橙7.5YR7/4。ほぼ一様。
226 杯(土師)	口(11.2) 高 2.3	※+91cm $\frac{1}{2}$ 個体	外底に幅広く一方向の、強い削りを施す。内面は粗いナデの擦痕が残るが器面は凹凸大きい。	①素地普通。パミスまじりの砂粒を含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙5YR6/4。内面は明度低い。
227 杯(土師)	口(13.7)	1区3片 図示部の $\frac{1}{2}$	外底の削りはやや不規則。口縁部のナデは雑で無調整部分が広い。内面ナデ強く底縁部に鋭い擦痕が沈線状に残る	①素地普通。パミス、角閃石の少量まじる砂粒含む。 ②酸化焰。やや硬調。 ③にぶい橙5YR6/4。ほぼ一様。
228 杯(土師)	口(14.2)	埋没土 図示部の $\frac{1}{2}$	外底の削りは強い。口縁部は無調整部分が広い。内面丁寧なナデで平滑に仕上げている。	①素地普通。輝石まじりの砂粒を含む。 ②酸化焰。普通。③にぶい橙7.5YR6/4。黒色味強いムラあり一様でない。
229 杯(土師)	口(15.0)	3区2片 図示部の $\frac{1}{2}$	外面削りやや強く中央で一方向。内面丁寧なナデでやや粗い擦痕が巡っている。	①素地やや粗い。パミス、赤褐色鉱物等のまじる粗砂含む。②酸化焰。普通。 ③にぶい橙5YR7/4。ほぼ一様。

遺物観察表

Na・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
230 杯(土師)	口(12.7) 高 3.0	※+10cm±+ 28cm±+29cm ⅔個体	外底の削りはやや弱い。外面口縁部中段に小さな稜がある。内面端部は僅かに内屈しているが形状は様でない。内面ナデは口縁部に鋭い擦痕が巡る。	①素地普通。パミス、チャートまじりの砂粒を含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙7.5YR6/4。ほぼ一様。
231 杯(土師)	口(12.4) 高(3.4)	口 ⅔ 底 ⅔	外底の削りは弱い。口縁無調整部分は広い。口縁部上半のみ強いナデで器面に稜ができる。内面は平滑さにやや欠けている。	①素地普通。パミス、輝石まじりの砂粒を含む。 ②酸化焰。やや軟調。 ③にぶい橙7.5YR7/4。ほぼ一様。
232 杯(土師)	口(12.6)	8区埋没土 図示部の⅔	外底の削りは弱い。口縁外面に弱く雑な沈線が巡っている。内面は粗く強いナデの擦痕が巡っている。	①素地普通。混入物少ない。 ②酸化焰。やや軟調。 ③にぶい褐7.5YR6/3。明度の低いムラあり。
233 杯(土師)	口(13.0)	※+94cm ⅔個体	外面削りやや強い。内面丁寧なナデだが器面は平滑さ欠く。	①素地普通。パミス、輝石まじりの砂粒を含む。 ②酸化焰。普通。③にぶい黄橙10YR7/4。ほぼ一様。
234 杯(土師)	口(12.6)	※ 図示部の⅔	外底の削りはやや息長く鋭い。内面のナデは丁寧。	①素地普通。パミスまじりの粗砂含む。②酸化焰。普通。③にぶい橙7.5YR6/4。内面彩度低い。
235 杯(土師)	口(12.0)	※+15cm 図示部の⅔	外面削りやや強い。口縁部は無調整部分が広い。内面ナデもやや強い。	①素地普通。輝石、1mm大の礫を含む。 ②酸化焰。普通。③にぶい橙5YR7/4。一部黒斑あり。
236 杯(土師)	口(13.0)	4区 図示部の⅔	外面削りやや粗く口縁部のナデも雑。内面丁寧に仕上げているが器面平滑さに欠ける。	①素地普通。細砂を含む。 ②酸化焰。やや軟調。 ③浅黄2.5Y7/3。外面一部黒斑あり。
237 杯(土師)	口 12.3~ 12.8	4区4片 図示部の⅔	外底削りやや強い。口縁部の無調整部分広い。内面は細かな凹凸多い。器形に歪み大きい。	①素地普通。輝石まじりの粗砂やや多い。 ②やや硬調の酸化焰。 ③にぶい橙5YR7/4。黒色味をおびるムラあり。
238 杯(土師)	口(12.4)	※+42cm 図示部の⅔	外底の削りやや弱い。作り雑で器面に凹凸あり、径不安。	①素地普通。砂粒を少量含む。②酸化焰。やや軟調。 ③にぶい褐7.5YR5/3。断面は赤色味をおびる。
239 杯(土師)	口(13.0)	1区3片 ⅔個体	外面の削り弱いが丁寧に無調整部分を残さない。内面はやや丁寧なナデの上に放射状で幅太の暗文を施している。	①素地普通。パミス、輝石等を少量含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙5YR6/4。断面は彩度低い。
240 杯(土師)	口 13.8	4区2片 図示部の⅔	外面の削りは幅広くやや強い。内面の暗文は斜放射状だが不規則。内底縁部に方向不定の暗文あるが文様を意識したものではなさそう。	①素地普通。パミス、輝石、赤褐色鉱物等雑多な混入物含む。 ②酸化焰。やや軟調。 ③にぶい橙5YR6/4。ほぼ一様。
241 杯(土師)	口(13.4)	埋没土 図示部の⅔	外面の削りは幅広く丁寧に。口縁のナデも範囲が広く無調整部分はほとんど残らない。内面の暗文は斜放射状で弱く雑。口縁部は波状に歪んでいる。	①素地普通。パミス、輝石等の混入やや多い。 ②酸化焰。普通。 ③橙5YR6/6。ほぼ一様。
242 杯(土師)	口 14.4	埋没土 図示部の⅔	外面の削りは丁寧に弱い。口縁のナデも丁寧に無調整部分は残っていない。内面の暗文はやや丁寧に弱い。	①素地普通。雲母細片まじる。混入物少ない。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙7.5YR7/4。
243 杯(土師)	口(14.0)	※ 図示部の⅔	外面は幅広く弱く丁寧に削り。無調整部分を残さない。内面は平滑に仕上げた後、細く弱い暗文を施している。	①素地普通。1~2mm大の礫を少量含む。他の混入物少ない。②酸化焰。普通。 ③にぶい橙7.5YR6/4。ほぼ一様。
244 高台付杯 (土師)		※底面直上 底 完存 口下半と高台 ⅔	右回転ロクロ→切り離し不明→外底に深い一条沈線を巡らせたのち高台取付け。内面底部中央で一方向。他は弧状のヘラ磨き。内面黒色処理。	①素地普通。パミス、赤褐色鉱物等微細な混入物含む。 ②中性焰気味。普通。 ③にぶい黄橙10YR7/4。内面光沢の弱い黒色。
245 杯(土師)	口(11.6) 高 4.1	※+27cm± 2区±8区の 計10片 口 ⅔ 底 ⅔	右回転ロクロ→回転糸切り無調整。ロクロ痕弱く不明瞭。内面は口縁部で弧状、底部で一方向のヘラ磨き。内面黒色処理。	①素地やや砂質。混入物少ない。 ②中性焰気味。軟調で締まり欠く。 ③にぶい黄橙10YR7/3。口縁外端と内面は光沢の弱い黒色。
246 高台付盤 (土師)	口(16.2) 高 4.4 台(12.0)	4区3片 図示部の⅔	右回転ロクロか。外面は不明瞭な横位ナデの痕が残っている。口縁内面は弧状の丁寧にヘラ磨き。内面黒色処理。	①素地普通。細砂以外の混入物少ない。 ②中性焰気味。やや軟調。 ③にぶい黄橙10YR7/3。内面光沢の弱い黒色。
247 高台付盤 (土師)	台(13.6)	3区±4区 図示部の⅔	右回転ロクロか。外底に回転ヘラ削りと思われる砂粒の移動が僅かに確認できる。内面はやや雑なヘラ磨き。内面黒色処理。	①素地普通。赤褐色鉱物まじりの細砂を少量含む。 ②中性焰気味。やや軟調。 ③灰黄褐10YR6/2。内面光沢の弱い黒色。
248 杯(土師)	口(13.8)	8区埋没土 図示部の⅔	外面の削り細かく強い。口縁部ナデの下端は鋭い窪みが巡る。内面はやや丁寧に仕上げた後、雑で弱い暗文を施す。	①素地普通。石英、赤褐色鉱物、1mm大の礫等を含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい赤褐2.5YR5/4。一様。

№・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
249 杯(土師)	口(13.0)	埋没土 図示部の $\frac{1}{2}$	外面には型膚状のやや粗いヒビが多数見られる。口縁内端にヘラ状工具による弱い窪みが巡る。暗文は細く鋭い。	①素地普通。赤褐色鉱物。石英、パミス等を含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙5YR6/4。断面は彩度低い。
250 杯(土師)	口(11.0)	図示部の $\frac{1}{2}$	外底の削り弱い。口縁は無調整部分広い。内面凹凸多く平滑さ欠く。	①素地普通。細砂少量含む。②酸化焰。普通。 ③にぶい赤褐5YR5/4。外底黒色味強い。
251 杯(土師)	口(12.3) 高 3.7	埋没土 図示部の $\frac{1}{2}$	外底中央は型膚状を呈している。外面の削りはやや弱い。内面ナデ強いが器面平滑さにやや欠けている。	①素地やや粗い。石英、赤褐色鉱物、パミス等混入物やや多い。②酸化焰。やや軟調。 ③にぶい橙5YR7/4。ほぼ一様。
252 杯(土師)	口(12.2)	8区4片 図示部の $\frac{1}{2}$	外底の削りは弱い。口縁部は指頭圧痕が巡っている。内面のナデはやや丁寧。歪みあり、傾き不安。	①素地やや粗い。パミス、輝石、チャート等の混入物やや多い。②酸化焰。やや軟調。 ③にぶい赤褐2.5YR5/4。
253 杯(土師)	口 11.4~ 11.1	8区6片 図示部の $\frac{1}{2}$	外底は弱いヘラ削り。内面のナデ強く粗い擦痕が巡っている。歪み強い。	①素地普通。パミス、石英等の混入物あり。 ②酸化焰。やや軟調。 ③にぶい橙7.5YR7/4。ほぼ一様。
254 杯(土師)	口 12.8 高 3.4	※ $\frac{1}{2}$ 個体	外底中央は型膚状。内面は粗いナデ。器面は歪み大きい。	①素地やや粗い。赤褐色鉱物、パミス等の混入物やや多い。②酸化焰。やや軟調。 ③にぶい橙5YR6/4。外面一部赤色味をおびている。
255 杯(土師)	口 12.8 高 3.2	$\frac{1}{2}$ 個体	外底削りは縁部まで至らない。口縁部下半は指頭圧痕が巡っている。口縁と内面のナデ強く粗い擦痕が巡っている。	①素地やや粗い。赤褐色鉱物、パミス、石英等の混入物やや多い。②酸化焰。やや軟調。 ③にぶい橙5YR6/4。ほぼ一様。
256 杯(土師)	口 11.6 高 3.3	※ $\frac{1}{2}$ 個体	外底削りは弱いが丁寧で一方方向。内面細かな凹凸多い。口縁端部は内側へ弱く折れるが形状は一定でない。	①素地やや粗い。パミス、1mm大の礫等の混入物やや多い。②酸化焰。やや軟調。 ③にぶい橙7.5YR6/4。
257 杯(土師)	口 12.6 高 3.4	8区11片 口 $\frac{1}{2}$ 底 $\frac{1}{4}$	外底は型膚状。口縁部下半も指頭圧痕が巡っている。内面は細かな凹凸多い口縁波状の歪みあり。	①素地やや粗い。赤褐色鉱物、パミス、1mm大の礫等混入物多い。②酸化焰。やや軟調。 ③橙2.5YR6/6。
258 杯(土師)	口(12.2) 高(3.5)	※ 口 $\frac{1}{2}$ 底 $\frac{1}{2}$	外底は型膚状。一部弱い削り。内面やや粗いナデ。	①素地やや粗い。石英、赤褐色鉱物、チャート等の混入物多い。②酸化焰。やや軟調。 ③にぶい橙7.5YR7/4。外面一部赤色味をおびている。
259 杯(土師)	口(13.0) 高 4.7	※ 口 $\frac{1}{2}$ 底 $\frac{1}{2}$	外底型膚状。調整を加えていない。口縁部のナデも雑。内面ナデは粗い擦痕が巡っている。	①素地やや粗い。2mm大の石英まじる。パミス、赤褐色鉱物等混入。②酸化焰。やや軟調。 ③にぶい赤褐2.5YR5/4。外面一部黒斑あり。
260 杯(土師)	口(12.7) 高 3.6	8区4片 口 $\frac{1}{2}$ 底 $\frac{1}{2}$	外底中央は大きく窪んでいる。口縁部は無調整部分が広い。内面のナデは丁寧。	①素地やや粗い。赤褐色鉱物多い。石英、パミス等を含む。②酸化焰。やや軟調。 ③にぶい赤褐2.5YR5/4。外底は黄色味をおびている。
261 杯(土師)	口 12.6	埋没土 口 $\frac{1}{2}$ 底 若干	外底に弱い削りを施しているようだが不明瞭。口縁上半に強いナデ。下半は無調整。内面も強いナデだが器面は平滑さ欠く。口縁は波状に歪んでいる。	①素地やや粗い。赤褐色鉱物、チャート、石英等雑多な混入物やや多い。 ②やや軟調の酸化焰。 ③明赤褐2.5YR5/6。ほぼ一様。
262 杯(土師)	口(12.3) 底(6.4)	8区3片 図示部の $\frac{1}{2}$	外底と体部下端に丁寧な削り。体部中央に指頭圧痕が残っている。口縁部に強いナデ。	①素地やや粗い。パミス、石英、輝石等雑多な混入物含む。②やや軟調の酸化焰。 ③にぶい橙5YR6/4。
263 杯(土師)	口(12.8)	埋没土 図示部の $\frac{1}{2}$	外底は削りだが不明瞭。口縁部下半に指頭圧痕が巡っている。内面やや粗いナデ。	①素地やや粗い。パミス、赤褐色鉱物、1mm大の礫等混入物やや多い。②酸化焰。やや軟調。 ③にぶい赤褐5YR5/4。
264 高台付杯 (土師)	台(6.2)	4区埋没土 図示部の $\frac{1}{2}$	ロクロ使用の痕跡はない。外面口縁下半のヘラ削りの後高台取付け。内面は底部で一方方向のち口縁部に弧状のヘラ磨き。内面黒色処理。	①素地やや粗い。パミス、チャート、石英等雑多な混入物を含む。②酸化焰。やや軟調。 ③にぶい橙5YR6/4。内面光沢の弱い黒色。断面も黒色部分広い。
265 杯(須恵)	口12.4~12.8 底 6.6 高 3.0~3.2	8区10片 $\frac{1}{2}$ 個体	右回転ロクロ→回転糸切り無調整。器面は平滑さ欠く。	①素地普通。2mm大の礫散見。白色細砂やや多い。 ②還元焰。普通。 ③青灰10B6/1。断面は赤紫色味が強い。
266 杯(須恵)	口13.2 底 7.1 高 3.2~3.5	※+85cm ≒4区 $\frac{1}{2}$ 個体	右回転ロクロ→回転糸切り無調整。内底は整った渦巻状のロクロ痕。軽量。	①素地やや砂質。混入物は少ない。 ②やや軟調の還元焰。③灰白5Y7/1。黒色のムラあり。 ④内底縁部に墨痕状の不明瞭な附着物が残っている。
267 杯(須恵)	口 13.1 底 6.8 高 4.2	4区8片 $\frac{1}{2}$ 個体	右回転ロクロ→回転糸切り無調整。内面のロクロ痕が沈線状に巡っている。内底平坦。	①素地やや粗い。パミスまじりの砂粒を少量混入。 ②還元焰。ややしまり欠く。 ③灰白10Y7/1。外面一部黒色味が強い。
268 杯(須恵)	口(13.4) 底 6.3 高 3.8	8区 口 $\frac{1}{2}$ 底 $\frac{1}{4}$	右回転ロクロ→回転糸切り無調整。ロクロ痕は外面のみやや強く内面平滑。	①素地やや砂質。1~4mm大の片岩粒、チャート等の混入やや多い。②還元焰。普通。 ③灰N6/0。断面までほぼ一様。

遺物観察表

No・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
269 杯(須恵)	口(11.8) 底(5.6) 高 3.8	※+98cm 1/2個体	右回転ロクロ→回転糸切り無調整。ロクロ痕きわめて弱く夾雑物の移動はほとんどない。	①素地やや粗い。最大で径5mmのチャート、片岩粒がまじる。②やや不十分な還元焰。 ③灰白7.5Y7/1で断面までほぼ一様。
270 杯(須恵)	口(13.0) 底(6.2) 高 3.9	※+14cm ⇔4区 図示部の1/2	右回転ロクロ→回転糸切り無調整。内外面ともロクロ痕きわめて強く器面平滑さ欠く。	①素地粗く軽量。パミス、片岩粒、赤褐色鉱物等を混入。②軟調の還元焰。しまり欠く。 ③灰白7.5Y7/1。外面に明度の低いムラあり。
271 杯(須恵)	底 6.6	1区⇔2区 ⇔4区 下半ほぼ完存	右回転ロクロ→回転糸切り無調整。	①素地普通。黒色鉱物少量混入。 ②やや硬調の還元焰。③灰10Y6/1。断面黄色味をおびる。底部を除く外面に降灰釉かかる。
272 杯(須恵)	口13.3~13.0 底 5.4 高 3.8~4.2	※ 口 1/2欠	右回転ロクロ→回転糸切り無調整。ロクロ痕弱い。きわめて薄手で口縁には焼成前に穴の開いた箇所補修痕がある。	①素地普通。2mm大の片岩まじりの砂粒含む。 ②還元焰。普通。 ③灰白10Y7/1。口縁外面一部黒色味をおびている。
273 高台付皿 (須恵)	口(13.3) 高 2.8	※底面直上 口 1/2 底 完存	右回転ロクロ→回転糸切り→丁寧な高台取付け。ロクロ痕弱く、特に内面は平滑。	①素地やや粗い。黒色鉱物粒、白色砂粒を含む。 ②還元焰。普通。 ③灰7.5Y6/1。一部黒色味をおびている。
274 高台付椀 (須恵)	口(15.2)	3区⇔4区 口 1/2 底 ほぼ完存	右回転ロクロ→回転糸切り。ロクロ痕細かい。高台剥落後も平底椀として使用しており高台痕が均等に摩滅する。	①素地普通。不揃いの砂礫やや多い。 ②還元焰。普通。 ③灰白5Y7/1。ほぼ一様。
275 高台付椀 (須恵)	口(15.0) 高 4.7 台 7.5	※ 口 1/2 底 完存	右回転ロクロ→回転糸切り→やや丁寧な高台取付け。ロクロ痕弱いが器面は平滑さ欠く。	①素地やや粗い。3mm大の片岩の混入目立つ。 ②還元焰。普通。 ③灰白5Y7/1。内外面に黒色味の強いムラあり。
276 高台付椀 (須恵)	口(15.2) 高(4.3)	※+81cm 図示部の1/2	右回転ロクロ→回転糸切り高台取付け。外面ロクロ痕やや強いが内面平滑。高台剥離後も外底に調整加え使用する。	①素地やや粗い。2mm大の片岩、チャート少量含む。 ②やや軟調の還元焰。 ③灰白5Y8/1。外面に黒色味をおびるムラあり。
277 高台付椀 (須恵)	口 14.7 高 5.8 台 7.1	8区4片 1/2個体	右回転ロクロ→回転糸切り→やや雑な高台取付け。ロクロ痕細かくやや強い。	①素地普通。石英、パミス等雑多な混入物多い。 ②やや軟調の還元焰。 ③灰白10Y8/1。黒色味をおびるムラ広い。
278 高台付椀 (須恵)	口(14.4) 高 5.3 台 7.0~6.6	※底面直上 口 1/2 底 完存	右回転ロクロ→回転糸切り→高台取付け。内底の作りは雑で細かなヒビが多数見られる。	①素地普通。石英、チャートまじりの礫を含む。 ②還元焰。普通。 ③灰白5Y8/1。内底は褐色味が強い。
279 高台付椀 (須恵)	口(13.8) 高 6.0 台 6.2	8区5片 口 1/2 底 完存	右回転ロクロ。高台取付け時のナデで切離し痕が消えている。内面ロクロ痕弱いが器面の平滑さ欠ける。重ね焼き痕が内面に明瞭。	①素地やや粗くチャート、片岩等1~3mm大の混入物やや多い。 ②還元焰。不十分で締まり欠く。 ③灰7.5Y4/1~浅黄5Y7/3。一様でない。
280 高台付椀 (須恵)	口(13.0) 高(5.4) 台(6.5)	8区埋没土 図示部の1/2	ロクロ使用の有無不明。外面体部に鋭い沈線巡っているがロクロ痕は見出せない。内面器表面の剥落進んでいる。	①素地粗く軽量。1~3mm大の礫の混入やや多い。 ②還元焰。軟調。 ③灰白10Y7/1。黒色味の強い部分も広く一様でない。
281 高台付椀 (須恵)	口(14.2) 高 5.4 台 7.4	1区⇔8区 口 1/2 底 完存	右回転ロクロ→回転糸切り→回転利用高台取付け。内面平滑。歪み強く径、傾きとも不安。軽量。	①素地やや粗い。3mm大の礫が少量混入。 ②やや不十分な還元焰。 ③灰白5Y7/1~灰5Y4/1。一様でない。
282 高台付椀 (須恵)	口14.6 高 5.7 台 8.2~7.8	※底面直上 ⇔8区 1/2欠く	左回転ロクロ→回転糸切り。内面黒色処理だが吸炭量は少ない。	①素地やや粗い。パミス、赤褐色鉱物まじりの砂礫多い。②酸化焰か。普通。 ③にぶい褐7.5YR6/3。内面光沢のない黒色。
283 高台付椀 (須恵)	口 15.3~ 14.9	※底面直上 ほぼ完形	右回転ロクロ→回転糸切り。口縁内側の稜は全周していない。高台剥落後も砥ぎ込んで使用を続ける。外面にヘラ記号あり。	①素地やや粗い。3mm大のチャートや片岩がまじる。 ②軟調の還元焰。 ③灰白10Y7/1。灰色、黒色部分も広く一様でない。
284 高台付椀 (須恵)	台 6.8	1区⇔2区 図示部の1/2	右回転ロクロ→切離し不明→雑な高台取付け。ロクロ痕はきわめて弱い。外底に2ヶ所に深く大きな窪みあり。	①素地普通。最大8mmの偏平な片岩混入。黒色鉱物少量含む。②還元焰。普通。 ③灰白10Y7/1。
285 杯(土師)		4区埋没土 口 小片	外底の削り内面のナデともやや強い。歪みある小片からの復元で傾き不安。口縁内面に焼成後のやや鋭い線刻の一部がかかっている。	①素地普通。パミス、角閃石等を少量含む。 ②酸化焰。やや軟調。 ③にぶい橙7.5YR7/3。断面は彩度低い。
286 杯(土師)		埋没土 口 小片	外底の削りは弱い。口縁上半のナデは強い。下半は無調整だが器面はやや平滑。内面のナデは強い。口縁下半に焼成後のやや強い線刻がかかっている。	①素地普通。混入物少ない。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙5YR6/4。内面明度低い。
287 杯(土師)	口(11.4)	口 1/2 底 1/2	外底の削りは方向不定で弱い。内底のナデはやや粗い。内底縁に焼成後のやや強い線刻「X」。	①ややザラザラした素地。パミス、輝石等の混入やや多い。②酸化焰。普通。 ③にぶい橙7.5YR7/4。

No・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
288 杯(土師)	口(11.0)	4区埋没土 図示部の $\frac{1}{4}$	外底の削りは雑で弱い。内面のナデはやや丁寧。内底縁部に焼成後の線刻「×」。	①素地普通。雲母細片、1~2mm大の礫を含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい黄橙10YR7/3。内面やや赤色味をおびる。
289 杯(土師)		4区埋没土 底 $\frac{1}{4}$	厚手のやや大型の杯。外底の削り内底のナデともやや雑。内底に焼成後の線刻「×」あり。	①ザラザラしたやや粗い素地。パミス、角閃石まじりの砂粒やや多い。②酸化焰。普通。 ③にぶい橙5YR6/4。断面中央は彩度低い。
290 杯(土師)		4区埋没土 底 $\frac{1}{4}$	外底の削りは粗い。内底は平滑さにやや欠ける。内底中央をやや外れた位置に焼成後のやや深い線刻「×」。	①素地やや粗い。1mm大のパミスやや多い。赤褐色鉱物、輝石を含む。②酸化焰。やや硬調。 ③外面灰褐5YR4/2。内面にぶい橙7.5YR7/4。
291 杯(土師)		4区埋没土 底 小片	中央を少し外れた底部破片。内面は平滑さにやや欠ける。内面に二重に引かれた焼成後の細い線刻「×」あり。	①素地普通。パミス、角閃石等の混入やや多い。 ②酸化焰。普通。 ③外面にぶい橙5YR6/4。内面にぶい橙7.5YR7/3。
292 杯(土師)	口(11.0)	6区2片 図示部の $\frac{1}{4}$	外底の削りは粗くやや強い。内面のナデ丁寧。歪みあり径、傾きとも不安。内面に焼成後の意匠不明の細い線刻有。	①素地やや緻密。パミス、角閃石等を含む。 ②硬調の酸化焰で焼き締まる。 ③にぶい橙5YR7/4。断面は灰色。
293 杯(土師)	口(12.2)	埋没土 図示部の $\frac{1}{4}$	外底の削りは丁寧でやや強く無調整部分を残さない。内面のナデも丁寧。内面口縁に焼成後の強い線刻「 」あり。	①素地普通。パミス、角閃石等の混入やや多い。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙5YR7/4。外面はムラ多い。
294 杯(土師)		3区埋没土 底 小片	小破片で底部のどの位置か不明。内底に細く弱い焼成後の線刻「×」かかる。	①素地普通。雲母細片等微細な混入物を含む。 ②酸化焰。普通。③にぶい橙5YR6/4。ほぼ一樣。
295 杯(土師)		4区下層 底 小片	底縁部から口縁立ち上りにかけての小片。内面は丁寧で強いナデ。内面に焼成前の太い線刻「×」あり。	①素地普通。混入物少ない。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙5YR6/4。ほぼ一樣。
296 杯(土師)		4区埋没土 底 小片	底部中央付近の小破片。内外面とも平滑さに欠ける。内面に焼成後の線刻「×」がかかっている。	①粒子の細かな素地。雲母細片を含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙5YR7/3。ほぼ一樣。
297 杯(土師)		4区埋没土 底 小片	外底の削りは細かいがやや雑。内面のナデはやや強いが平滑さ欠く。内底に焼成後の線刻「×」あり。	①素地普通。パミス、輝石等を少量含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙5YR6/4。内面やや明度高い。
298 杯(土師)		2区埋没土 底 小片	やや丸底気味の大型の杯と思われる。外底の削りはやや弱い。内底は平滑で縁部に強いナデの痕が残っている。内底縁部に線刻がかかっている。	①素地普通。チャートまじりの細砂を少量含む。 ②やや硬調の酸化焰。 ③にぶい橙5YR7/4。
299 杯(土師)		4区埋没土 底 $\frac{1}{4}$	外底の削りはやや雑。内面ナデは口縁部にやや粗い規則的な擦痕が残る。内底縁部に焼成後のやや強い線刻「×」。	①やや緻密な素地。パミスまじりの砂粒を少量含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙5YR6/4。
300 杯(土師)		埋没土 底 $\frac{1}{4}$	外底の削りはやや弱い。内面のナデは口縁部に同心円状の鋭い擦痕が巡る。内底の中央を少し外れた位置に焼成後の線刻あり。「×」か。	①素地普通。角閃石、赤褐色鉱物等を少量含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙7.5YR6/3。
301 杯(土師)		4区埋没土 底 ほぼ完存	外底の削りは細かくやや強い。内底は平滑さ欠く。内底中央に細字で大きな焼成後の線刻「×」。	①素地普通。パミス、輝石等を少量含む。 ②酸化焰。やや硬調。 ③橙2.5YR6/6。内面は彩度低い。
302 杯(土師)		4区埋没土 底 $\frac{1}{4}$	外底の削りは細かくやや強い。内面のナデも強いが器面は平滑さ欠く。内底のほぼ中央に焼成後の強い線刻「×」。	①やや緻密な素地。角閃石、パミス等を含む。 ②酸化焰。やや硬調。 ③橙2.5YR6/6。断面は彩度低い。
303 杯(土師)		4区埋没土 底 小片	丸底気味のやや大型の杯と思われる。外底の削りやや粗い。内面は平滑に仕上げている。内底の中央を少し外れた位置に焼成後のやや強い線刻「 」。	①やや粗い素地。パミス、石英、角閃石等の混入やや多い。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙5YR6/4。内面やや明度高い。
304 杯(土師)		4区埋没土 底 $\frac{1}{4}$	小型の杯と思われる。外底の削りはやや弱い。内底は平滑。内底中央に焼成後の細い線刻「×」。	①素地普通。角閃石、赤褐色鉱物等微細な混入物含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙5YR6/4。ほぼ一樣。
305 杯(土師)		埋没土 底 小片	丸底気味のやや大型の杯である。外底の削りやや強く器面は凹凸。内面のナデもやや粗く強い。内底の中央を少し外れた位置に焼成後の線刻「×」。	①素地普通。赤褐色鉱物、パミス等1mm大の混入物多い。 ②やや硬調の酸化焰。 ③橙5YR6/4。断面やや明度高い。
306 杯(土師)		埋没土 底 完存	外底の削り内底のナデともやや強い。内底中央に焼成後のやや細い線刻あり。	①素地普通。パミス、角閃石等の混入やや多い。 ②酸化焰。普通。 ③橙5YR6/6。内面やや彩度低い。

遺物観察表

No・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
307 (須恵)	胴 10.4 頸下 4.2	2区⇔4区 頸~胴 ¾ 底 完存	内底には左回転の強いロクロ痕が残るが、他は比較的平滑。外底摩滅が進み施文は不明瞭だが頸部に細かく弱い波状文。頸部はやや太目のカキ目。胴部に鋸歯状の列点文が続く。外底は平滑。	①ややボソボソの素地。白色砂粒、1~3mm大の礫を含む。 ②還元焰。硬調。 ③灰5Y6/1~10Y4/1。
308 托か (須恵)		4区2片 図示部の¾	ロクロ回転方向不明。内面は全面に方向不定の細かな手持ちヘラ削り。薄手。托または蓋と思われる。	①素地やや緻密。細砂以外の混入物少ない。 ②還元焰。硬調。 ③灰N4/0。外面に黄白色の霜降状の釉がかかる。
309 提瓶 (須恵)	高 20.9	6区⇔8区の 計22片 ¾個体	外面体部全面にカキ目が巡っている。内面のロクロ痕は整っている。	①素地普通。1mm大の白色礫を含む。 ②やや硬調の還元焰。③灰10Y5/1。濃淡の差大きい。上面に黄白色の降灰釉かかる。
310 提瓶 (須恵)		埋没土 把手破片	内面は細かく規則的なロクロ痕が巡っている。小さな把手だが丁寧に取り付けられている。	①素地やや砂質。混入物少ない。 ②還元焰。硬調。③灰N6/0。断面は黄色味をおびる。外面は濃い黄緑色の釉が厚くかかっている。
311 長頸壺 (須恵)	頸下 5.4	*底面直上 図示部ほぼ完存	右回転ロクロ。内面下半ではヘラ状の工具で削っており頸部では圧痕状のヘラ痕が残っている。外面の二条の沈線は丁寧に施されている。	①素地普通。白色砂粒の混入やや多い。 ②やや硬調の還元焰。 ③灰白7.5Y7/1。外面一部明度低い。
312 長頸壺 (須恵)	口 12.0 頸 6.0	*⇔2・8区 口頸 完 胴 ¾	右回転ロクロ。内面頸部下端に不明瞭な接合痕が残っている。胴部外面のロクロ痕はきわめて弱い。	①素地やや粗い。2mm大の片岩、チャートなどのまじる粗砂を含む。②還元焰。普通。 ③暗青灰5B4/1。断面は赤灰色。
313 長頸壺 (須恵)	口 15.6	*底面直上 ⇔4区 図示部の¾	右回転ロクロ。器面は平滑さ欠ける。	①素地普通。1mm大の礫の混入やや多い。 ②還元焰。普通。③暗青灰5B3/1。内面は黄色の降灰釉が霜降状にかかっている。
314 提瓶 (須恵)	口(7.4) 頸(3.7)	3区⇔4区 図示部の½	胴部内面のロクロ痕より提瓶。右回転ロクロ。	①素地普通。白色鉱物の混入やや多い。 ②還元焰。普通。③灰7.5Y6/1。ほぼ一様。内面一部に灰緑色の降灰釉がかかっている。
315 平瓶 (須恵)	胴(17.0)	1区⇔3区 ⇔4区 図示部の¾	右回転ロクロ。内面でロクロ痕強い。外面下半は回転ヘラ削りを施す。提瓶の可能性もある。	①やや粗い素地。1~3mm大のチャートまじりの礫を含む。②還元焰。やや軟調。 ③灰7.5Y6/1。断面は黄色味をおびる。
316 長頸壺 (須恵)	頸下(6.6)	*底面直上⇔ +8cm⇔+24 cm⇔+77cm 図示部の¾	右回転ロクロか。頸部の接合痕は不明外面肩部はカキ目状。接合はできなかったが同一個体と思われる胴部の小破片が多数出土している。	①素地普通。白色砂粒の混入やや多い。 ②やや硬調の還元焰。 ③暗青灰5B4/1。肩部に黄白色の釉が厚くかかる。
317 平瓶 (須恵)		4区⇔8区	左回転ロクロか。ロクロ痕弱いが端正。底部周辺のヘラ削りも丁寧。	①断面は灰色と灰黄色の粘土が縞状を呈している。1mm大の礫を含む。②還元焰。普通。 ③灰白N7/0。上面は黄緑色と灰白色の釉厚くかかる。
318 甕(須恵)	口(17.0)	4区2片 図示部の¾	右回転ロクロ。ロクロ痕内外面ともやや強く外面は工具痕が残っている。	①素地やや砂質。白色砂粒以外の混入物は少ない。 ②還元焰。普通。 ③外面灰白10Y7/1。内面灰10Y5/1。 ④口縁上端摩滅している。
319 甕(須恵)	口(19.0) 頸(15.0)	*+41cm⇔ 4区 口 ¾ 肩 ¾	右回転ロクロ。大型品としては内面平滑。外面は擦痕が深く一部でカキ目状になっている。	①素地普通。黒色鉱物、白色砂粒を少量含む。 ②還元焰。普通。③灰7.5Y5/1。断面明度高い。外面わずかに黄白色の降灰釉がかかっている。
320 甕(須恵)	口(14.6) 頸(11.0) 胴(19.2)	4区 口 ¾ 胴上半 ¾	右回転ロクロで外面は工具利用の整形を施しやや粗い擦痕が残る。胴部の一部に叩き目あり。	①素地普通。砂粒の混入やや多い。 ②還元焰。普通。 ③灰白2.5Y7/0。断面は橙色を呈す部分が広い。
321 甕(須恵)	口(23.1) 頸(14.0)	*+30cm⇔ 2区⇔3区 ⇔4区 図示部の¾	外面口縁部はやや幅太の沈線を規則的に施文しているようだが叩きとの区別難しい。頸部は叩きの上に強いナデ。線刻状の三条の沈線が見られる。内面はナデでアテの痕を消している。	①ややガザガザした素地。1~2mm大の礫まじりの砂粒含む。 ②還元焰。普通。 ③灰白5Y8/1。断面までほぼ一様。
322 甕(須恵)	口(20.4)	4区5片 口 ¾	右回転ロクロか。内面一部に青海波状のアテ具痕が残っている。	①素地粗い。チャート目立つ。粗砂をやや多く含む。 ②還元焰。普通。③灰N6/0。一部で黒色味をおびる。
323 甕(須恵)	頸 12.6	*底面直上⇔ +30cm⇔4区 図示部の¾	外面は縦位の弱い平行叩き。内面は角の尖った鋭いアテ具痕が残っている。断面に小豆粒の剝落痕のような空洞が2ヶ所見られる。	①やや粗い素地。白色鉱物、石英等を含む。 ②還元焰。普通。 ③灰5Y6/1。内面は明度高い。

窪地出土遺物

No・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
324 瓶(須恵)	胴(23.2)	※底面直上⇔ +15cm⇔ 4区 肩 ㄨ 胴 ㄨ	接合痕より頸部直下以下の破片と思われる。外面は僅かに木目の残る雑な平行叩きの上に肩部にきわめて粗いカキ目を意図した沈線が巡る。内面は粗い青海波文のアテ具痕あり器面は不整。	①砂質でキメの粗い素地。混入物は少ない。 ②還元焰。普通。 ③灰N4/0。断面やや赤色味をおびている。 ④下半部中心に外面は摩滅している。
325 羽釜 (須恵)	口 (21.4) ツバ(22.4)	※+83cm⇔ +100cm 図示部のㄨ	右回転ロクロか。内面に規則的なロクロ痕巡るが外面は不明瞭。軽量。二次被熱。	①素地普通。2mm大のバミスの多い砂粒を含む。 ②軟調還元焰でしまり欠く。 ③灰白2.5Y7/1。内面中心に黒斑広い。
326 甕(土師)	口(21.0) 頸(17.8)	※+10cm⇔ 4区 図示部のㄨ	外面の削りはやや雑で鋭い。内面の仕上げも雑で頸部には深い接合痕が残っている。	①素地やや粗い。1mm大の礫の混入多い。赤褐色鉱物、輝石等を含む。②酸化焰。やや軟調。 ③にぶい橙5YR6/4。断面は明度高い。
327 甕(土師)	口(21.0) 頸(17.2)	埋没土 口 ㄨ 肩 ㄨ	外面の削りは丁寧で細かく不明瞭。内面も幅広い工具によるナデで丁寧に仕上げている。	①素地普通。赤褐色鉱物、バミスまじりの砂粒を含む。 ②酸化焰。やや軟調。 ③外面にぶい橙5YR6/4。内面彩度低い。
328 甕(土師)	口(18.0) 頸(14.4)	埋没土 図示部のㄨ	外面の削りはやや雑で弱い。内面は頸部以下で器面の剥落が著しく整形痕は不明。	①ボソボソした粗い素地。バミス、輝石、1mm大の礫等の混入物多い。②酸化焰。普通。 ③にぶい褐7.5YR5/3。断面は黒色味強い。
329 甕(土師)	口(18.0) 頸(15.0)	※底面直上⇔ +26cm 図示部のㄨ	外面に強く鋭い削りの上に不規則な横位のナデに近い削りを加える。内面のナデは雑。内面下半の器面は荒れている。口縁に小さな波状の歪みあり。	①素地やや粗い。バミス、角閃石等の混入物多い。 ②酸化焰。軟調。 ③にぶい褐7.5YR4/3。外面に黒色味の強いムラ広い。
330 小型甕 (土師)	口(13.6)	※+16cm 図示部のㄨ	外面の削りはやや丁寧で弱い。口縁部のナデも丁寧だが接合痕が一条明瞭に残っている。内面のナデも丁寧。	①素地普通。バミス、輝石等微細な混入物やや多い。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙5YR6/4。ほぼ一様。
331 甕(土師)	口(22.0) 頸(19.4)	※+48cm 図示部のㄨ	327にほぼ同巧。外面の削りは幅広く明瞭である。	①②③とも327に類似している。混入物はやや大粒で多い。焼成はやや硬調。
332 小型甕 (土師)	口(9.6)	埋没土 口 ㄨ 肩 ㄨ	外面の削りは幅広く丁寧。口縁と内面のナデも丁寧で平滑に仕上げている。	①素地普通。バミスまじりの砂粒を少量含む。 ②酸化焰。やや硬調。 ③にぶい橙5YR6/4。断面は彩度低い。
333 台付甕 (土師)	台下 11.6	※+14cm 図示部ほぼ完	外面の削りは粗く強い。内面は台部で強い指頭圧痕、胴部で弱いナデの痕が残っている。台部は厚手で重量。	①やや粗くボソボソした素地。バミス、石英等のまじる粗砂の混入多い。②酸化焰。やや硬調。 ③にぶい橙7.5YR6/4。一様でない。
334 羽口	高 9.4 径(8.2) 孔(2.6)	埋没土 ㄨ個体	残存部分は使用時の上面になる。丁寧な作り。限界近くまで使い込んだ製品である。重量。	①素地砂質。チャートまじりの1mm大の礫を含む。羽口としては良好。②硬調。 ③灰黄2.5Y7/2。
335 羽口	径(7.6) 孔(2.3)	8区2片 図示部のㄨ	使用時の側面破片である。割れ口の剥落がすすむ。軽量。	①スサ状の植物、2～4mm大の礫が目立つ。粗悪。 ②硬調。③にぶい黄橙10YR7/3。
336 杯(土師)	口(12.8) 高 4.2	埋没土 口 ㄨ 底 ㄨ	外底は雑でやや弱い削り。口縁は上端のみナデで下半は無調整。内面のナデもやや雑。外底は強い押圧で器形が大きく歪む。粘土を貼り付けた痕も見える。内底には葉脈状の圧痕が残る。	①やや粗い素地。バミス、角閃石等を少量含む。 ②酸化焰。普通。 ③灰黄褐10YR6/2。内面やや彩度高い。
337 杯(土師)	口 不明 底7.5cm程か	2区埋没土 底部片	外底は方向不定のやや丁寧な削り。比較的平坦である。内底に葉脈状の弱い圧痕が観察できる。凹凸は少ない。	①素地普通。バミス、角閃石等のまじる砂粒を含む。 ②酸化焰。やや硬調。 ③にぶい橙7.5YR6/4。ほぼ一様。
338 杯(土師)		4区埋没土 底 ㄨ	外底中央に窪みがあり内に指紋が圧痕となつて残る。内底中央はややふくらみ葉脈状の不明瞭な圧痕が見える。	①素地普通。角閃石、バミス、1mm大の礫等を含む。 ②酸化焰。やや硬調。 ③にぶい橙5YR6/3。内面は彩度高い。
339 杯(土師)		埋没土 底 ㄨ	底部は凹凸が大きい。内底に葉脈状の不明瞭な圧痕あり。外底には指紋と思われる圧痕が残っている。	①素地普通。雲母薄片、角閃石等微細な混入物含む。 ②やや軟調の酸化焰。 ③にぶい褐7.5YR5/3。断面は明度高い。
340 杯(土師)		3区埋没土 底 ㄨ	器面は凹凸多い。内外面ともに葉脈状のやや不明瞭な圧痕が残っている。	①素地普通。輝石まじりの細砂やや多い。 ②酸化焰。普通。③にぶい橙5YR6/4。断面明度高い。
341 杯(土師)	口 不明 13cm前後か	4区埋没土 小片	やや丸底となる杯の破片。内面に補修のための粘土のツギと思われる接合痕と不明瞭な押圧痕、外面に豆粒大の圧痕が残っている。	①素地普通。バミス、角閃石等を含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙5YR6/3。ほぼ一様。

遺物観察表

No・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器器の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
342 杯(土師)	底 8.6	4区4片 底 ⅔	やや深い杯になると思われる。外底中央に長軸3.9mm短軸3.3mmの楕円形の窪みあり。窪みの中央を残し周囲にヘラ削りを加える。	①素地普通。赤褐色鉱物の混入目立ちパミス、角閃石等を含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい赤褐2.5YR5/4。ほぼ一様。
343 横瓶 (須恵)	口 16.3~ 16.8	※底面直上± 4区の計25片 図示部の⅔	口縁外面にやや不明瞭な一条沈線が巡る。外面の平行叩き、内面の青海波状のアテ具痕とも不規則。薄手。	①素地やや粗い。チャート、片岩粒等やや大粒の混入物を含む。②還元焰。普通。 ③灰10Y6/1。断面は赤褐色味が強い。
344 横瓶 (須恵)	口 16.7	※底面直上± +7cm±+22cm 図示部ほぼ完	口縁上端は内側に鋭く折れている。胴部は外面にやや規則的な平行叩き。内面は崩れた青海波状のアテ具痕残る。	①素地普通。黒色鉱物のやや目立つ細砂多い。 ②還元焰。普通。 ③灰10Y6/1。上面光沢あり。白色の降灰釉あり。
345 横瓶 (須恵)	長 46.4 径(28.0) 頸(11.6)	※ 図示部の⅓	外面は幅広い平行叩き。内面のアテ具痕は両端できわめて強い。	①素地やや砂質。混入物少ない。 ②やや硬調の還元焰。 ③灰白10Y7/1。濃淡あり一様でない。
346 甕(須恵)	口(22.0) 頸(17.8)	※+102cm± 2区±4区± 8区の計10片	外面に肩部で横位胴部で斜位の弱い平行叩き。内面は弱いアテ具痕状の窪みがある。	①素地やや砂質。大型品としては混入物少ない。 ②還元焰。普通。③青灰5BG5/1。内面は明度低い。頸部に白色の降灰釉がかかる。
347 甕(須恵)	底 14.4	※+7cm±+21cm 胴下半 ⅓ 底 ほぼ完存	外面は細かな平行叩き。内面はナデの下に無文のアテ具痕状の窪みが残っている。外底に焼成後の線刻あり。	①素地やや緻密。白色砂粒、白色針状物を少量含む。 ②還元焰。普通。 ③灰N5/0。内面は明度高い。
348 大甕 (須恵)	口 27.4 頸(21.4)	※底面直上± +17cm±+39cm 口 ⅓ 肩 ⅓	口縁部は右回転ロクロ上の整形か。外面に平行で一部正格子の叩き。内面やや不規則な青海波状のアテ具痕。	①やや粗い素地。2mm大の黒色鉱物やや多い。 ②還元焰。普通。 ③灰白10Y7/1。内面は黄色味をおびている。
349 大甕 (須恵)	口 24.2 頸 18.0 胴(42.2)	※底面直上± +20cm±+31cm 口~肩部 ⅓ 胴 若干	口縁部に右回転ロクロ利用の整形。外面胴部は平行叩きの上に上半は帯状にナデ消し部分を加えている。内面は強いアテ具痕が残っている。	①素地普通。黒色鉱物のまじる砂粒を含んでいる。 ②やや軟調の還元焰。 ③灰10Y6/1。断面は黄色味が強い。
350 砥石	長 25.3 幅8.4~14.7 厚3.8~4.5 重	底面直上 完形	平面形糸巻き状の大型砥石。6面全面使用でハツリ痕等は見られない。断面は表裏面でやや窪んでいるが両側面は中央がややふくらんでいる。	①砥沢石。 ④表面に凍てハゼ状の剝落が多少見られる。
351 土錘	長 5.3 厚 1.3~2.0 孔 0.5~0.7	埋没土 完形	下半に指頭の強い押圧痕あり。孔も歪んでいる。器面には細かな凹凸が多く平滑さに欠ける。	①素地普通。輝石のやや目立つ砂粒を含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい黄橙10YR7/2。黒色味をおびるムラあり。
352 土錘	厚 2.2 孔 0.3	4区 図示部の⅓	孔は小さく中心をややそれている。指頭圧痕は強いが器面はやや平滑。鋭い擦痕あり。	①素地普通。白色砂粒、1mm大の礫を含む。 ②酸化焰。やや硬調。 ③黒10YR1.7/1。断面まで一様。

窪地出土の墨書土器 (本文73頁～ P L—27～) ※は平面図に遺物ドットあり。+は底面からの高さ。

No・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器器の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
1 杯(須恵)	口 13.2 底 6.9 高 3.8	※+70cm 口 ⅓ 底 完存	右回転ロクロ外底全面に回転ヘラ削り。ロクロ痕は弱い。内底に墨痕のきわめて明瞭な墨書「芳郷」。	①やや粗くボソボソした素地。黒色鉱物、チャート等のまじる砂粒を含む。②還元焰。普通。 ③灰白10Y7/1。口縁端部内外面とも黒色。
2 杯(須恵)	口 13.5 底 7.4 高 3.7	※+89cm± 4区埋没土 口 ⅓ 底 完存	ロクロ痕弱く不明瞭だが右回転ロクロか。外底は回転利用であれば弱い左回転のヘラ削り。口縁内外に規則的な深い窪みが巡り端部は肥厚している。内底にやや墨痕の不明瞭な墨書「芳郷」。	①やや粗くボソボソした素地。黒色鉱物、1mm大の礫を少量含む。 ②還元焰。普通。 ③灰白5Y7/0。口縁外端は黒色味をおびる。
3 杯(須恵)	底 6.4	4区2片 図示部の⅓	右回転ロクロ外底全面と口縁下端に左回転利用のヘラ削り。ロクロ痕はきわめて弱い。内底に墨書「芳郷」。	①やや粗くボソボソした素地。黒色鉱物、1mm大の礫を少量含む。②還元焰。普通。 ③灰白7.5Y7/1。
4 杯(土師)		4区埋没土 底 小片	外面は方向不定の細かな削り。内面のナデはやや雑。外底に墨痕の不明瞭な墨書あり。「芳」か。	①素地普通。パミス、輝石等微細な混入物を含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙5YR6/4。内面明度高い。
5 杯(土師)		2区埋没土 底 小片	薄手でやや小型の杯と思われる。外底は丁寧で弱い削り。内面は器面凹凸。外底に墨痕のやや不鮮明な墨書あり。欠け口にかかるが「芳」の可能性もある。	①素地普通。赤褐色鉱物、輝石等微細な混入物含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙5YR6/4。断面は明度高い。

窪地出土の墨書土器

No・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
6 杯(土師)		4区埋没土 底 小片	平底気味の杯と思われる。外面はヘラ削り。内面ナデはやや弱く器面は平滑さ欠く。内底中央に墨書あり。「芳」の可能性もある。	①素地普通。バミス、チャート等の混入物やや多い。 ②酸化焰。普通。 ③外面にふい橙。7.5YR6/4。内面彩度低い。
7 杯(土師)		3区埋没土 底 小片	平底気味の杯の底部中央付近の破片と思われる。外底に墨痕のやや明瞭な墨書の一部がかかる。積文不明。「芳」の可能性もある。	①素地普通。角閃石、バミス等を含む。 ②酸化焰。普通。 ③にふい橙5YR6/4。
8 蓋(須恵)	口 17.5 高 3.2 鈕 5.1	※ $\approx 1 \cdot 2 \cdot 4$ 区 の計9片 1/2個体	左回転ロクロ→外面に回転ヘラ削り→丁寧な高台取り付け。内面に渦巻状のロクロ痕が残っている。外面に太い字体のやや不鮮明な墨書「郷」。	①素地普通。黒色鉱物まじりの砂粒を少量含む。 ②還元焰。やや硬調。 ③灰白N7/0。ほぼ一様。
9 蓋(須恵)	口 20.6	※+13cm $\approx 1 \cdot 4$ 区 の計8片 口縁部の1/2と鈕欠く	右回転ロクロ→外面は広範囲に回転ヘラ削り→リング状のつまみ取り付け。内面には渦巻状のロクロ痕が残っている。外面にやや薄い墨書「郷」。	①素地やや砂質。1mm大の礫を少量含む。 ②還元焰。普通。 ③灰白7.5Y7/1。断面までほぼ一様。
10 蓋(須恵)	口(15.0)	4区3片 図示部の1/2	右回転ロクロ→外面天井部に回転ヘラ削り。ロクロ痕弱い。内面に墨痕のやや薄い墨書「郷」。	①素地普通。石英、1mm大の礫等を含む。 ②還元焰。やや軟調。 ③灰白5Y7/1。口縁内端は黒色味が強い。
11 蓋(須恵)	口(17.8)	4区4片 図示部の1/2	右回転ロクロ→天井部回転ヘラ削り。ロクロ痕はやや弱い。カエリ部の内側基部に鋭い沈線状の窪み巡る。外面に墨書「郷」か。	①素地普通。チャート、白色砂粒等を含む。 ②還元焰。普通。 ③灰白7.5Y7/1。内外面に火ダスキ状の黒色部あり。
12 蓋(須恵)	鈕 4.4	2区埋没土 図示部ほぼ完存	右回転ロクロ→天井部中央に弱い回転ヘラ削り→丁寧な鈕取り付け。外面に幅広い沈線が巡っている。内面はラセン状のロクロ痕が残っている。外面に墨書「郷」か。	①素地やや砂質。黒色鉱物散見の砂粒を含む。 ②還元焰。普通。 ③灰白5Y8/1。断面までほぼ一様。
13 杯(須恵)	口 14.2 底 8.7 高 3.4	※+73cm \approx +87cm ほぼ完形	右回転ロクロ→外底全面丁寧な回転ヘラ削り。ロクロ痕弱い。内底外底とも平滑。口縁内面墨痕の鮮明な墨書「郷」。	①素地普通。1~2mm大のバミス、礫を少量含む。 ②還元焰。普通。 ③灰白5Y7/1。ほぼ一様。
14 杯(須恵)	口 14.0 底 8.8 高 4.0	※+77cm 口 1/2 底 完存	右回転ロクロ→回転利用であれば外底全面と口縁下端に左回転のヘラ削り。内面でロクロ痕弱く平滑。内底鮮明な墨書「郷」。	①素地やや砂質。1~3mm大の礫を少量含む。 ②還元焰。普通。 ③灰白5Y7/1。ほぼ一様。
15 杯(須恵)	底 8.5	※+86cm 下半のみ	窪地-73に同巧。内底に墨痕の不鮮明な墨書「郷」。	①②③窪地-73にほぼ同じ。
16 杯(須恵)	底 9.5	※+86cm 下半のみ	右回転ロクロ→回転ヘラ切りか→外底全面と口縁下端に左回転利用のヘラ削り。ロクロ痕弱く内面平滑。内底に墨痕のやや明瞭な墨書「郷」。	①素地普通。1~3mm大のチャート、礫等大粒の混入物多い。 ②還元焰。普通。 ③灰白5Y7/1。外面に明度の低いムラあり。
17 杯(須恵)	口 14.8 底 9.2	※+80cm 図示部の1/2	右回転ロクロ→回転ヘラ削り無調整。ロクロ痕やや弱い。口縁外面に墨痕のやや薄い墨書「郷」。	①素地やや砂質。バミス、黒色鉱物等を少量含む。 ②還元焰。やや硬調。 ③灰7.5Y6/1。ほぼ一様。
18 杯(須恵)	口(13.3) 底 8.8 高 3.7	※+76cm \approx 4区埋没土 口 1/2 底 完存	右回転ロクロ→外底全面と口縁下半に左回転利用のヘラ削り。内底縁部にやや鋭い窪みが巡っている。ロクロ痕やや強い。底部が厚く重量である。口縁外面に墨痕のやや明瞭な墨書「郷」。	①素地普通。1mm大の礫のまじり砂粒を含む。 ②やや硬調の還元焰。 ③灰5Y6/1。外面に火ダスキ状の黒色部分あり。
19 杯(須恵)	口(13.2) 底 8.8 高 4.2	※2片 口 1/2 底 1/2	右回転ロクロ→回転ヘラ切りか→外底の縁部の大部分と口縁下端に左回転利用のヘラ削り。削りは底部で強く口縁部でごく弱い。ロクロ痕弱く内面は平滑。外底の明るい色調の部分に墨痕のやや明瞭な墨書「郷」。	①素地普通。1mm大の礫、石英等を含む。 ②還元焰。普通。 ③灰白7.5Y7/1。外面は底部の一部を残して黒色味の強い部分が広い。
20 杯(須恵)	口(14.2) 底 9.0 高 3.1	4区2片 \approx 礫層内2片 口 1/2 底 1/2	右回転ロクロ→回転ヘラ切り無調整。ロクロ痕は内底のみやや強い。外底は比較的平滑。外底に墨痕のやや不鮮明な墨書「郷」か。	①素地やや砂質。混入物は少ない。 ②還元焰。普通。 ③灰5Y6/1。口縁外面は明度低く断面は明度高い。

遺物観察表

No・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
21 杯(須恵)	底 9.0	1区埋没土 底 ⅓	右回転ロクロ→回転糸切り→外底縁部に左回転利用のヘラ削り。内底に墨痕の不鮮明な墨書「郷」。	①素地普通。1mm大のチャート、石英等を含む。 ②還元焰。普通。 ③灰白10Y7/1。断面までほぼ一様。
22 杯(須恵)	口(13.0)	3区埋没土⇒ 4区埋没土 口 ⅓	右回転ロクロ。外面でロクロ痕やや強く内面では擦痕が鋭い。外面口縁に墨痕のやや鮮明な墨書「郷」。	①やや砂質の素地。混入物は少ない。 ②還元焰。普通。 ③灰7.5Y6/1。外面一部明度低い。
23 杯(須恵)	口(14.0)	※+7cm 口 ⅓	右回転ロクロ。口縁下端に回転利用のヘラ削りを施すと思われる。ロクロ痕弱い。口縁下面に墨書「郷」。	①ややボソボソした粗い素地。 ②還元焰。普通。 ③灰白10Y8/1。器面は一部明度低い。
24 杯(須恵)	口 14cm程か	4区埋没土 口 小片	右回転ロクロ。内面のロクロ痕弱い。外面に墨痕の鮮明な墨書「郷」か。	①素地やや砂質。混入物少ない。 ②還元焰。普通。③灰白7.5Y7/1。
25 杯(土師)	口 13.0 高 4.2	1区・3区の埋没土計8片 口 ⅓ 底ほぼ完	外面口縁端部は強いナデ。中位は無調整で一部型膚状のヒビが残っている。外底と口縁下半に弱い削り。内面は強いナデ。内底は細かな凹凸残る。内底に墨痕の明瞭な墨書「郷」。	①素地普通。パミス、角閃石、1mm大の礫等を少量含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙7.5YR7/4。外面一部やや明度低い。
26 杯(土師)	口(13.6) 高(2.8)	※+14cm 口 ⅓ 底 ⅓	外底の削りは細かくやや弱い。内面のナデもやや弱い。内底に墨痕のやや不明瞭な墨書「郷」。	①素地普通。パミスやや多く1mm大の礫、角閃石を含む。②酸化焰。普通。 ③にぶい橙5YR7/4。ほぼ一様。
27 杯(土師)	口(12.4) 高 2.8	※+34cm 図示部の⅓	外底は弱い削り。外面に型膚状のヒビが残る。内面は丁寧で強いナデ。内底に墨痕のやや明瞭な墨書あり。「郷」か。	①素地普通。1mm大の礫を少量含む以外、混入物少ない。②酸化焰。やや硬調。 ③にぶい橙5YR7/4。ほぼ一様。
28 杯(土師)		埋没土 底 小片	外底の削り、内底のナデともやや丁寧。内底に墨痕のやや明瞭な墨書「郷」。	①素地普通。パミス、1~2mm大の赤褐色鉱物等含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙5YR6/4。内面やや彩度低い。
29 杯(土師)		4区埋没土 底 小片	外底の削りはやや丁寧。内底のナデも丁寧で平滑。内底に墨痕のやや明瞭な墨書「郷」。	①素地普通。パミスまじりの砂粒を少量含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙7.5YR7/4。断面は彩度低い。
30 杯(土師)		4区埋没土 底 ⅓	外底の削り細かくやや弱い。一部ヘラミガキ状にナデつけてある。内面は平坦。内底に墨痕のやや明瞭な墨書「郷」。	①素地普通。赤褐色鉱物、パミス等の混入やや多い。 ②酸化焰。普通。 ③橙5YR6/6。内面やや彩度低い。
31 杯(土師)		4区埋没土 底 ⅓	丸底気味の杯である。外底の削り内底のナデともに強い。内底に墨書「郷」。	①素地普通。パミス、輝石等の混入やや多い。 ②酸化焰。やや硬調。 ③にぶい橙5YR6/4。外面一部に淡い黒斑あり。
32 杯(土師)		4区埋没土 底 小片	外底の削りは弱いが丁寧。内面は平滑さにやや欠ける。内底中央に「郷」。	①素地普通。雲母細片目立つが他の混入物少ない。 ②酸化焰。普通。③にぶい赤褐5YR5/4。ほぼ一様。
33 杯(土師)		4区埋没土 底 小片	外底の削り内面のナデともやや丁寧。内底に墨痕やや薄い墨書あり。欠け口にかかるが「郷」か。	①素地普通。パミス、輝石等を含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙5YR6/3。断面は明度高い。
34 杯(土師)		4区埋没土 底 小片	外底の削りはやや鋭い。内面のナデは丁寧。内底に墨書あり。欠け口にかかるが積文は「郷」。	①素地普通。少量のパミス以外混入物少ない。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい褐7.5YR6/3。内面やや明度高い。
35 杯(土師)		4区埋没土 底 ⅓	外底削りは弱いが丁寧。内面ナデも丁寧で同心円状の規則的な擦痕が巡る。内底に墨痕のやや薄い墨書あり「郷」か。	①素地普通。雲母細片やや多い。赤褐色鉱物等を含む。②酸化焰。普通。 ③橙2.5YR6/6。内面は黄色味をおびる。
36 杯(土師)		※+71cm 底 ⅓	外底はやや幅広のヘラ削り。内面は細かな凹凸が残る。内底中央左寄りに墨痕のやや明瞭な墨書「郷」。	①素地普通。角閃石、パミス等を含む。 ②硬調の酸化焰。 ③にぶい橙7.5YR7/3。内面5YR7/4。
37 杯(土師)		4区埋没土 底 小片	外底の削りやや粗い。内底はやや平滑さ欠く。内底に墨痕の薄い墨書「郷」。	①素地普通。パミス、赤褐色鉱物、雲母細片等を含む。 ②酸化焰。普通。③橙5YR6/6。内面やや明度低い。
38 杯(土師)	口(12.6) 高 2.8	1区埋没土 口 ⅓ 底 ⅓	外底の削りはやや雑。口縁下半は無調整の歪みあり。径、傾きとも不安。内面のナデは強い。内底に墨痕のやや薄い墨書「郷」。	①素地普通。雲母細片やや多い。角閃石、パミス等を含む。 ②酸化焰。やや硬調。 ③橙5YR6/6。外面やや彩度低い。
39 杯(土師)	口 12cm程か	4区埋没土 図示部の⅓	外底の削りはやや強い。口縁下半に無調整部分が残る。内面は強いナデだが器面は平滑さに欠ける。内面に墨痕のやや明瞭な墨書あり。「郷」か。	①素地普通。雲母細片やや目立つ。1mm大の礫混入。 ②酸化焰。普通。 ③橙5YR6/6。ほぼ一様。
40 杯(土師)		4区埋没土 底 ⅓	外底の削りは弱いが丁寧。内底のナデも丁寧で平坦に仕上げている。内底に墨痕のやや薄い墨書「郷」。	①素地普通。雲母細片、パミス等を少量含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい褐7.5YR6/3。内面やや赤色味をおびる。

No・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
41 杯(土師)		4区埋没土 底 ⅔	外底の削りは丁寧で細かい。内底のナデも丁寧。内底に墨痕のやや明瞭な墨書「郷」。	①素地普通。雲母細片、角閃石等、微細な混入物を含む。②酸化焰。普通。 ③にぶい橙5YR6/4。内面やや黄色味をおびる。
42 杯(土師)		4区埋没土 底 小片	外底の削りはやや丁寧。内面も丁寧なナデだが器面はやや平滑さ欠く。内底に墨書「郷」。	①素地普通。パミス、角閃石等を少量含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙5YR6/4。外面黒色。
43 杯(土師)		4区埋没土 底 ⅔	外底の削りは鋭い。内底は細かな凹凸がある。内底中央に墨痕のきわめて薄い墨書あり。「郷」の可能性あり。	①素地普通。パミス、角閃石等の混入物やや多い。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙5YR6/4。断面は明度高い。
44 杯(土師)		4区埋没土 底 ⅔	外底の削りは丁寧でやや弱い。内面のナデも丁寧。内底中央は墨痕の明瞭な墨書がかかる。「郷」の可能性ある。	①やや緻密な素地。混入物も少なく良好。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙5YR6/4。断面までほぼ同様。
45 杯(土師)		4区埋没土 底 ⅔	丸底気味の杯である。外底の削り内底のナデとも丁寧。内底の中央は墨痕の明瞭な墨書「郷」の一部がかかる。	①素地普通。輝石、パミス等を少量含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙7.5YR7/3。内底やや彩度高い。
46 杯(土師)		1区埋没土 底 ⅔	丸底気味のやや大型の杯と思われる。外底の削りはやや雑。内底は細かな凹凸あり。内底は墨痕のやや薄い墨書あり。「郷」の可能性あり。	①素地普通。パミス、角閃石等を少量含む。 ②酸化焰。やや硬調。 ③にぶい橙7.5YR6/4。
47 杯(土師)		4区埋没土 底 ⅔	外底の削り内底のナデともやや粗い。内底縁部に墨痕のやや薄い墨書がかかっている。積文不明だが「郷」の可能性もある。	①やや緻密な素地。雲母細片、赤褐色鉱物等を含む。 ②酸化焰。普通。 ③橙5YR6/6。ほぼ同様。
48 杯(土師)		4区埋没土 底 小片	底部中央付近の破片。外底の削りやや粗い。内底に墨痕のやや明瞭な墨書の一部がかかる。積文不明だが「郷」の可能性もある。	①素地普通。赤褐色鉱物、角閃石等の混入やや多い。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙5YR6/4。ほぼ同様。
49 杯(土師)		4区埋没土 底 ⅔	外底の削り内底のナデとも丁寧。外底縁部に墨痕の明瞭な墨書「郷」。	①素地やや緻密。混入物も少ない。②酸化焰。普通。 ③にぶい赤褐5YR5/4。断面は明度高い。
50 杯(土師)		4区埋没土 底 ⅔	外底の削りはやや雑で弱い。内面のナデは丁寧。外底に墨痕のやや薄い墨書「郷」あり。	①素地普通。角閃石、パミス等の混入物やや多い。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい褐7.5YR6/3。ほぼ同様。
51 杯(土師)		4区埋没土 底 小片	平底気味の杯。外底の削り内底のナデともにやや丁寧。外底に墨痕の薄い墨書の一部がかかる。「郷」か。	①素地普通。パミス、角閃石等を少量含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙5YR6/4。ほぼ同様。
52 杯(土師)		4区埋没土 底 小片	外底の削りは丁寧でやや鋭い。内底も平滑。外底中央に墨痕のやや明瞭な墨書の一部がかかる。「郷」の可能性あり。	①素地普通。混入物少なく良好。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙5YR6/4。断面は彩度低い。
53 杯(土師)		1区3片 底 ⅔	やや丸味のある底部片。外底は丁寧な削り。内面のナデも丁寧。外底に墨痕の明瞭な墨書「郷」か。	①素地普通。パミス、角閃石等が少量まじる砂粒を含む。②酸化焰。やや硬調。 ③にぶい橙5YR7/4。内面彩度低い。
54 杯(土師)		4区埋没土 底 小片	厚手の杯である。外底の削りは強く鋭い。内底のナデはやや丁寧。外底に墨痕のやや明瞭な墨書の一部がかかる。「郷」の可能性あり。	①素地普通。石英、パミス1mm大の礫等を含む。 ②酸化焰。やや硬調。 ③にぶい橙7.5YR7/3。内面は彩度低い。
55 杯(土師)		※+71cm 底 ⅔	やや丸底気味の杯である。外底の削りは鋭い。内底のナデは丁寧でやや平滑に仕上げている。外底中央に墨痕の濃淡まちまちの墨書あり。「郷」か。	①素地普通。石英1mm大の礫等を少量含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙5YR7/3。内面やや彩度低い。
56 杯(土師)		4区2片 底 ⅔	外底の削りはやや雑で強い。内底のナデは丁寧。外底中央に墨痕の明瞭な墨書の一部がかかる。「郷」の可能性あり。	①素地普通。パミス、角閃石等を少量含む。 ②酸化焰。普通。 ③灰黄褐10YR6/2。内面は赤色味をおびる。
57 杯(土師)		4区埋没土 底 小片	やや大型の杯になると思われる。外底の削りは息長い。内面ナデやや丁寧。外底に墨痕やや不鮮明な墨書「郷」。	①素地普通。角閃石、パミス等を少量含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい褐7.5YR6/3。外面一部やや赤色味をおびる。
58 杯(須恵)	口(14.4) 底 8.2 高 4.0	※+9cm3片 口 ⅔ 底 完存	右回転ロクロ→外底全面と口縁下端に回転ヘラ削り。ロクロ痕は内底でやや弱く渦巻状。口縁部ではやや強い。外底に墨書「厨」。内面にも墨痕あるが破片によって残存状態が著しく異なる。	①素地やや粗い。1~4mm大の礫、パミスの混入目立つ。石英が少量まじっている。 ②還元焰。普通。 ③灰白5Y7/1。ほぼ同様。

遺物観察表

No・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
59 杯(須恵)	口(14.8) 底 8.0 高 3.8	4区3片 口 ⅓ 底 ⅓	右回転ロクロ→回転糸切り→外底縁部に幅広の回転ヘラ削り。ロクロ痕弱く内底は平坦。外底中央に墨書「田人」か。	①素地やや粗い。1mm大の礫の混入やや多い。 ②還元焰。普通。 ③灰白7.5Y7/1。ほぼ一様。
60 脚杯盤 (須恵)	裾(11.0)	※ 脚 ⅓ 裾 ⅓	右回転ロクロで倒置成形の脚部を杯部と接合。内底にはカキ目状の弱い墨痕が規則的に巡る。ロクロ痕は弱い。脚内部に墨痕のやや弱い墨書「十」か。	①素地普通。黒色鉱物まじりの砂粒やや多い。 ②還元焰。やや硬調。 ③灰白7.5Y7/1。内底に灰白色の降灰釉が霜降状に少量かかる。
61 高台付杯 (須恵)	台 9.2	※+70cm 底 完存	右回転ロクロ→回転ヘラ切りか→外底全面回転ヘラ削り→丁寧な高台取付け。ロクロ痕弱い。外底に墨痕のやや弱い墨書「十」。	①素地普通。1～2mm大の礫、白色砂粒等を含む。 ②還元焰。やや硬調。 ③灰白10Y8/1。外面一部明度低い。
62 杯(須恵)	底 8.6	※+81cm 口下半 ⅓ 底 完存	右回転ロクロ→回転糸切り→中央を除く外底と口縁下端に左回転利用のヘラ削り。外面のロクロ痕は強く細かい。厚手で重量。外底に墨痕の薄い墨書あり。「十」か。	①やや砂質。1～3mm大の礫、石英等を含む。 ②還元焰。普通。 ③灰白7.5Y7/1。断面までほぼ一様。
63 杯(須恵)	口(12.2) 底 7.0 高 3.6	※+8cm 4区埋没土 口 ⅓ 底 ⅓	右回転ロクロ→回転糸切り→外底縁部回転ヘラ削り。ロクロ痕弱い。外底に墨痕のやや明瞭な墨書「中」。	①素地普通。1～3mm大の片岩、黒色鉱物等を含む。 ②還元焰。普通。 ③灰白7.5Y7/1。断面まで一様。
64 杯(須恵)	底 5.6～6.9	3区2片 4区埋没土 底 ⅓	右回転ロクロ→回転糸切り→外底縁部回転ヘラ削り。ロクロ痕弱い。外底に墨書「中」。	①素地普通。パミス、黒色鉱物やや目立つ。 ②還元焰。普通。 ③灰7.5Y6/1。内面に火ダスキ状の黒斑あり。
65 杯(須恵)		2区埋没土 底 小片	右回転ロクロ→回転糸切り。手持ちヘラ削りを加えたと思われる痕跡が残る外底に墨痕の不鮮明な墨書「中」。	①素地普通。1～2mm大の長石まじりの砂粒を含む。 ②還元焰。普通。 ③灰白7.5Y7/1。断面までほぼ一様。
66 杯(須恵)	底 8cm程か	2区埋没土 底 ⅓	右回転ロクロ→回転糸切り→外底縁部回転ヘラ削り。外底に墨痕のやや不鮮明な墨書「中」。	①素地普通。輝石、1mm大の礫を少量含む。 ②還元焰。普通。 ③灰白7.5Y7/1。断面までほぼ一様。
67 杯(須恵)	底 6.6～7.0	※ 底 完存	右回転ロクロ→回転糸切り無調整。内底では渦巻状のロクロ痕残っている。外底に墨痕やや不鮮明な墨書「中」。	①素地普通。片岩まじりの砂粒を含む。 ②還元焰。普通。 ③灰10Y4/1。外面口縁の一部は明度高い。
68 杯(土師)		4区埋没土 底 小片	底部中央付近の破片か。外底はやや丁寧な削り。内底はラセン状の暗文がわずかに観察できる。外底に墨痕のやや不明瞭な墨書あり。「中」か。	①素地普通。輝石、パミス等の微細な混入物やや多い。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙7.5YR6/4。内面はやや明度高い。
69 杯(土師)	口11.4～11.7 高 3.2	※+92cm他の計12片 口 ⅓ 底 完存	外底と口縁下半は規則的で丁寧な削り内面は強いナデ。口縁内端は一部で小さく肥厚している。内面はやや幅広の粗い暗文を施す。外底に墨痕のやや明瞭な墨書「中」。	①素地普通。パミス、輝石まじりの砂粒を含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙7.5YR7/4。ほぼ一様。
70 杯(土師)	底 10cm程か	4区埋没土 底 ⅓	大型で厚手の杯となろう。外底から口縁下端にやや弱いヘラ削り。内底は平坦。底部内外面に墨痕のやや不鮮明な墨書「中」。	①素地普通。1mm大の礫、パミス、輝石等を少量含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙7.5YR7/4。ほぼ一様。
71 杯(土師)		4区埋没土 底 小片	外底の削りはやや弱い。内面は丁寧なナデで平滑に仕上げている。内底中央に「中」と思われる墨痕薄い墨書あり。	①素地普通。雲母細片、1mm大の礫を少量含む。 ②酸化焰。普通。 ③橙5YR6/6。ほぼ一様。
72 杯(土師)		埋没土 底 小片	外底の削り内底のナデともやや粗い。内底中央付近に墨痕のやや薄い墨書の一部かかる。釈文不明だが「中」の可能性もある。	①粒子の細かな素地。雲母細片、赤褐色鉱物等含む。 ②酸化焰。ややしまり欠く。 ③にぶい橙5YR6/4。内面は彩度低い。
73 杯(土師)		4区埋没土 底 小片	平底気味の薄手の杯。外底中央に墨痕のやや明瞭な墨書「中」。	①素地普通。パミス、角閃石等を少量含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい赤褐5YR5/4。内面やや明度高い。
74 杯(土師)		4区埋没土 底 小片	底部中央付近の破片と思われる。外面にはやや鋭い削り内面は丁寧なナデが見られる。外底に墨書あり「中」か。	①素地普通。角閃石、パミス等がまじる。 ②酸化焰。 ③にぶい橙7.5YR7/4。
75 杯(土師)		4区埋没土 底 小片	平底気味の薄手の杯である。外底の削り内底のナデともやや丁寧。外底に墨痕のやや薄い天地不明の二文字以上の墨書あり。釈文は一字は「中」他不明。	①素地普通。パミス、輝石等微細な混入物やや多い。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい褐7.5YR5/4。断面は明度高い。

No・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
76 杯(土師)		2区埋没土 底 ㄨ	薄手のやや平底気味の杯である。外底の削りは丁寧。内底はやや平滑さ欠く。外底に墨痕のやや薄い墨書「中」。	①素地普通。角閃石、細片のやや目立つ砂粒を含む。 ②酸化焰。普通。 ③におい橙7.5YR7/3。断面まで一様。
77 杯(土師)		4区埋没土 底 小片	外底の削りは弱いが丁寧。内底のナデも丁寧で平滑に仕上げる。外底の中央に墨痕の明瞭な墨書「中」。	①やや緻密な素地。雲母細片まじりの砂粒少量含む。 ②酸化焰。普通。 ③におい橙5YR6/4。外面一部灰色味をおびる。
78 杯(土師)		4区埋没土 底 ㄨ	平底気味の小型の杯と思われる。外底の削りはやや方向不定。内底はやや平滑に仕上げてある。外底に墨痕の不鮮明な墨書あり。積文は「中」の可能性あり。	①素地やや緻密。パミス、角閃石を少量含む。 ②酸化焰。普通。 ③におい橙7.5YR7/3。内面やや彩度高い。
79 杯(土師)		4区埋没土 底 ㄨ	外底の削りは丁寧でやや鋭い。内底のナデもやや丁寧。外底縁部に墨痕のやや薄い墨書あり。「中」か。	①素地普通。角閃石、パミス、石英等雑多な混入物を含む。②酸化焰。やや硬調。 ③におい橙7.5YR6/4。断面明度高い。
80 杯(土師)		埋没土 底部ほぼ完存	外底はやや丁寧な削り。内底のナデも丁寧。内外底に「大」の墨書あり。外底は墨痕薄く内底は縁部ギリギリに記している。	①素地普通。角閃石、1mm大のパミス、礫等を含む。 ②酸化焰。普通。 ③におい橙7.5YR7/4。外面一部彩度低い。
81 杯(土師)	口 12cm強か 高 3.5	4区2片 口 若干	外面の削り内面のナデともやや粗く器面は平滑さ欠く。歪みあり傾き径とも不安。内外面に墨書「大」。外底中央は墨痕薄い。内底縁部は欠け口にかかる。	①素地普通。パミス、輝石等を混入する。 ②酸化焰。普通。 ③におい橙5YR6/4。内面やや黄色味をおびる。
82 杯(土師)	口(11.8) 高 3.3	※底面直上 口 ㄨ 底 ㄨ	外面口縁下半は無調整部分残る。外底の削りは丁寧で弱い。内面ナデも丁寧内底に墨痕のやや明瞭な墨書「大」。	①素地普通。小粒のパミス、角閃石等を少量含む。 ②酸化焰。普通。 ③におい橙7.5YR7/4。ほぼ一様。
83 杯(土師)		4区2片 底 ㄨ	外底の削りは雑で削り残し部分あり。内底も平坦さを欠く。内底中央に墨痕の明瞭な墨書「大」。	①素地普通。パミス、角閃石、赤褐色鉱物等を含む。 ②酸化焰。普通。 ③におい橙5YR6/4。内面一部赤色味をおびる。
84 杯(土師)		4区埋没土 底 ㄨ	外底は息の長いやや粗い削り。内底は器面の平滑さにやや欠けている。内底中央に墨痕のやや薄い墨書あり。欠け口にかかるが「大」か。	①素地普通。パミス、角閃石、1mm大の礫等を含む。 ②酸化焰。普通。 ③におい橙7.5YR7/3。ほぼ一様。
85 杯(土師)	口(12.0)	4区埋没土 図示部のㄨ	外底の削りはやや細かい。口縁下半は無調整だが器面はやや平滑。内面は強いナデ。内底縁部に墨痕のやや明瞭な墨書「大」。	①素地普通。パミス、輝石等を少量含む。 ②酸化焰。普通。 ③におい橙7.5YR7/4。ほぼ一様。
86 杯(土師)		4区埋没土 底 小片	やや平底気味の土器。外面削り内面ナデともやや丁寧。内底の墨書は「大」で墨痕は薄い。外底に墨書と判定しきれない墨痕の薄い色ムラあり。	①素地やや緻密。輝石、雲母細片等を含む。 ②酸化焰。普通。 ③におい橙5YR6/4。ほぼ一様。
87 杯(土師)		4区埋没土 底 小片	平底気味の杯である。外底の削りはやや雑。内底は器面の平坦さ欠く。内底中央に墨痕のやや明瞭な墨書「大」。	①素地普通。パミス、雲母細片等を少量含む。 ②酸化焰。普通。 ③におい橙5YR7/4。内面やや彩度低い。
88 杯(土師)		4区埋没土 底 小片	外底の削りはやや鋭い。内面は平滑さにやや欠ける。内底中央に墨痕の一部薄い墨書「大」。	①素地普通。1mm大の礫まじりの砂粒を含む。 ②酸化焰。普通。 ③におい橙7.5YR6/4。内面は明度高い。
89 杯(土師)		8区埋没土 底 ㄨ	外底は丁寧でやや弱い削り。内底も丁寧なナデ。内底中央に墨痕のやや明瞭な墨書「大」。	①やや緻密な素地、角閃石、1mm大の礫等を少量含む。 ②酸化焰。やや硬調。 ③におい橙7.5YR7/4。断面は明度高い。
90 杯(土師)		4区埋没土 底 小片	外底の削りは雑。内底も凹凸多い。内底縁部に墨痕のやや薄い墨書「大」。	①素地普通。パミス、輝石等を少量含む。②酸化焰普通。③におい橙5YR7/4。内面やや彩度低い。
91 杯(土師)		4区埋没土 底 ㄨ	平底気味のやや厚手の杯である。外底の削りは鋭い。内底のナデも丁寧。内底のほぼ中央に墨痕が一部で不明瞭な墨書あり。「大」か。	①素地やや緻密。角閃石、パミス等を少量含む。 ②酸化焰。普通。 ③におい橙7.5YR7/4。断面はやや明度高い。
92 杯(土師)		4区埋没土 底 小片	外底の削りやや弱い。内底にはやや粗い布状の擦痕が残っている。内底に墨痕の薄い墨書「大」。	①素地普通。パミス、赤褐色鉱物の混入やや多い。 ②酸化焰。普通。 ③におい橙5YR7/4。内面灰色味が強い。
93 杯(土師)		2区埋没土 底 小片	外底の削りはやや強い。内面の整形痕は不明瞭だが器面はやや平滑。内底は墨痕一部で薄い墨書にかかっている。積文不明。	①素地普通。パミス等混入物少量含む。 ②酸化焰。普通。 ③におい橙5YR6/4。断面は明度高い。

遺物観察表

No・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
94 杯(土師)		6区埋没土 底 ⅔	平底気味の杯。外底の削りは丁寧。内底のナデはあまり丁寧でないが放射状の不明瞭な暗文を加えている。外底中央に墨痕の明瞭な墨書「大」。	①素地普通。赤褐色鉱物、1mm大の礫等のまじる砂粒を含む。 ②酸化焰。普通。 ③橙5YR6/6。内面は彩度低い。
95 杯(土師)		3区⇔8区 底 ⅔	外底の削りは弱く型膚状のヒビが残っている。内面はきわめて丁寧なナデで器面は著しく平滑。外底中央に墨痕のやや明瞭な墨書「大」。	①やや緻密な素地。角閃石等の混入物を少量含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙5YR7/4。ほぼ一様。
96 杯(土師)		埋没土 底 小片	外底は一方方向の削り。内底は細かな凹凸多い。外底に墨書あり。欠け口にかかり明確でないが「大」か。	①素地普通。角閃石、2mm大のパミス等を含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙7.5YR6/4。内面やや明度高い。
97 杯(土師)		4区埋没土 底 小片	外底は丁寧な削り。内底のナデも丁寧。外底縁部に墨痕の薄い墨書「大」。	①素地普通。雲母細片まじりの細砂の混入やや多い。 ②酸化焰。普通。③にぶい橙7.5YR7/3。ほぼ一様。
98 杯(土師)		4区埋没土 底 小片	外底の削りは不明瞭。内面は平滑に仕上げている。外底に墨痕の不鮮明な墨書あり。欠け口にかかり不明瞭だが釈文は「大」の可能性もある。	①素地普通。パミス、角閃石等の混入物やや多い。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい黄橙10YR7/3。ほぼ一様。
99 杯(土師)		3区埋没土 底 ⅔	外底削り内底ナデともに丁寧。外底中央に墨痕のやや不鮮明な墨書「大」。	①素地やや粗い。やや大粒の輝石、パミス等少量含む。 ②酸化焰。普通。③にぶい橙5YR7/4。ほぼ一様。
100 杯(土師)		4区埋没土 底 小片	やや平底気味の土器。外底の削り内面のナデともやや雑で器面平滑さ欠く。外底中央に墨痕のやや不鮮明な墨書あり釈文「大」か。	①素地普通。角閃石、パミス等を混入する。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙7.5YR7/3。ほぼ一様。
101 杯(土師)		4区埋没土 底 小片	やや丸底気味になると思われる。外面の削りやや鋭く内面のナデはやや雑。外底に墨書あり。欠け口にかかり不明瞭だが「大」の可能性あり。	①素地普通。角閃石、パミス等を含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙7.5YR7/3。ほぼ一様。
102 杯(須恵)	口(12.6) 底(6.0) 高 3.9	※ 口 ⅔ 底 ⅔	右回転クロー→回転糸切り無調整。クロー痕弱いがやや粗い擦痕が巡る。内面口縁下半墨痕の鮮明な墨書「舟」か。	①素地普通。片岩、黒色鉱物等まじる。白色針状物ごく僅かに含む。②還元焰。普通。 ③灰5Y6/1。断面まで一様。
103 高台付皿 (須恵)	口(13.0) 高(2.7) 台(5.6)	埋没土2片 口 ⅔ 台 ⅔	右回転クローか。クロー痕、擦痕とも弱く不明瞭。内面に墨痕がやや不明瞭な墨書「舟」。	①軽量でボソボソした素地。2mm大の礫を少量含む。 ②中性焰気味。普通。 ③内面灰7.5Y6/1。外面灰白7.5Y8/1。
104 杯(須恵)	口 12.4 底 5.8 高 4.2	※底面直上の 3片 口上半 ⅔ 底 完存	右回転クロー→回転糸切り無調整。クロー痕は外面で強い。内面は凹凸少ないが平滑さ欠く。口縁外面に黒斑部分をさけて墨痕のやや薄い墨書「舟」。	①素地やや粗い。石英、チャート等を少量含む。 ②還元焰。やや軟調。 ③灰白7.5Y8/1。下半は内外面とも断面まで黒色。
105 杯(須恵)	底(7.0)	埋没土	右回転クロー→回転糸切り無調整。高台の剥がれたような痕跡あり。口縁外面に墨痕のやや不鮮明な墨書「舟人」か。	①素地普通。1mm大の礫が少量まじる。 ②還元焰。普通。 ③灰7.5Y6/1。底部はやや明度低い。
106 杯(土師)	口(12.2) 高(3.2)	8区その他の 計5片 口 ⅔ 底 ⅔	外底中央の小さな窪みの中に型膚状の小さなヒビあり。外底はごく弱い削り口縁上半はナデ下半は無調整だが平滑内面は強いナデ。内底と口縁外面に墨書のきわめて不鮮明な墨書あり。口縁部は「舟」か。内底は釈文不明。「舟人」の可能性あり。	①素地普通。赤褐色鉱物、パミス、石英等雑多な混入物含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙5YR6/4。ほぼ一様。
107 杯(土師)	口12.4~12.7 高 3.7	※底面直上⇔ 8区の7片 ⅔個体	口縁外面は端部のみナデで他は型膚状のヒビ。外底中央の窪みの中も顕著な型膚が見られる。内面丁寧な強いナデ内底に墨痕の明瞭な墨書あり。「舟人」か。	①素地普通。石英、赤褐色鉱物、パミス等を含む。 ②酸化焰。やや軟調。 ③にぶい赤褐2.5YR6/4。ほぼ一様。
108 杯(土師)	口 12cm程か	8区埋没土の5 片 口 若干 底 ⅔	外底中央に弱い押圧痕のような窪みあり。外底の削りは方向不定で細かい。口縁下半は無調整。口縁内面に墨痕の薄い墨書「舟」がかかる。	①素地やや粗い。赤褐色鉱物、石英等雑多な混入物やや多い。 ②酸化焰。やや軟調。 ③橙2.5YR6/6。断面は彩度低い。
109 杯(土師)	口(12.0) 高(3.8)	※ 口 ⅔ 底 ほぼ完存	外面は口縁上端のみ雑なナデ。外底には型膚状の細かいヒビあり。内面強いナデ。口縁の形状は一定でない。内底に墨痕のやや明瞭な墨書「舟」。	①素地普通。角閃石、パミス等を含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい黄橙10YR7/3。ほぼ一様。

No・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
110 杯(土師)	口 12cm程か 高 3.7	4区2片 口 若干 底 ⅔	外底中央は型膚状の細かなヒビで周辺は手持ちヘラ削り。口縁部下半無調整。内面は丁寧で強いナデ。内底に墨痕のやや明瞭な墨書「人」。二字の墨書のように「舟人」の可能性が高い。	①素地やや粗い。パミス、赤褐色鉱物、石英等混入。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい赤褐5YR5/4。外面一部赤色味をおびる。
111 杯(土師)	口 12.6	8区3片 口 ⅔	外面口縁上半は強いナデで小さな稜ができています。下半は無調整で指頭圧痕がある。内面は強く粗いナデ。口縁の歪み強く径、傾きとも不安。外面口縁から底部にかけて墨痕のやや明瞭な墨書「舟人」か。	①素地やや粗い。石英、パミス、赤褐色鉱物1~2mm大の礫等を含む。 ②酸化焰。やや軟調。 ③橙2.5YR6/6。ほぼ一様。
112 杯(土師)		4区2片 口 ⅔	外面口縁上半は粗いナデ下半無調整。内面は強いナデで粗い擦痕が巡る。口縁内面に墨痕やや鮮明な墨書「舟」。	①素地やや粗い。赤褐色鉱物、角閃石、パミス等を含む。②酸化焰。普通。 ③明赤褐2.5YR5/6。内面やや明度高い。
113 杯(土師)		埋没土 口 小片	外面口縁上半にやや強いナデ下半は無調整か。内面は強いナデで布状の粗い擦痕がある。内面に墨書あり。「舟」か	①素地普通。赤褐色鉱物、チャート等混入やや多い。 ②酸化焰。普通。 ③橙2.5YR6/6。ほぼ一様。
114 杯(土師)		4区埋没土 口 小片	外面は口縁端部のみ強いナデ。下半は無調整で指頭圧痕状の窪みがある。外面に墨痕の不明瞭な墨書「舟」あり。	①素地やや粗い。石英、角閃石、赤褐色鉱物等の混入やや多い。②酸化焰。普通。 ③にぶい橙5YR6/3。ほぼ一様。
115 杯(土師)		埋没土 口 小片	歪み強く傾き不安。口縁部のナデ雑で強い。外面墨痕のやや薄い墨書の一部がかかる。積文は「舟」の可能性あり	①素地普通。赤褐色鉱物の混入多い。パミス、石英等を含む。②酸化焰。普通。 ③にぶい赤褐2.5YR5/4。ほぼ一様。
116 杯(土師)		4区埋没土 底 小片	外底は型膚状の細かなヒビ。内面は強いナデで器面は凹凸あり。内底に墨痕のやや明瞭な墨書あり。「舟人」か。	①素地やや粗い。赤褐色鉱物、1mm大の礫、パミス等を含む。②酸化焰。やや軟調。 ③にぶい赤褐2.5YR5/4。断面やや明度高い。
117 杯(土師)		2区埋没土 底 小片	外底はやや丁寧な削り。内底は強いナデで器面はやや凹凸あり。内底に墨痕のやや薄い墨書あり。「舟人」か。	①素地普通。赤褐色鉱物、石英、輝石等雑多な混入物含む。②酸化焰。普通。 ③にぶい赤褐2.5YR5/4。断面までほぼ一様。
118 杯(土師)		4区2片 底 ⅔	外底中央がやや窪み、中が型膚状のヒビ割れになっている。外底の削りは弱く内底のナデはやや強い。内底に墨痕のやや明瞭な墨書がかかる。「舟人」の可能性あり。	①やや粗い素地。石英、赤褐色鉱物等雑多な混入物を含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい赤褐2.5YR5/4。内面は黄色味をおびる。
119 杯(土師)		3区埋没土 底 小片	平底。外底は強い削り。内面のナデはやや雑。内底中央に墨痕のやや明瞭な墨書あり。欠け口にかかり積文不明だが「舟人」の可能性が高い。	①やや粗い素地。赤褐色鉱物、パミス、石英等を含む。 ②酸化焰。やや軟調。 ③にぶい赤褐2.5YR5/4。断面やや明度高い。
120 杯(土師)		埋没土2片 図示部の⅔	外底は弱い削り。口縁下半は無調整。内面はやや強いナデ。内底に墨痕のやや薄い墨書あり。「舟人」か。	①素地やや粗い。赤褐色鉱物、角閃石等、雑多な混入物含む。②酸化焰。普通。 ③明赤褐2.5YR5/6。ほぼ一様。
121 杯(土師)		4区2片 底 ⅔	外底中央はやや窪み、型膚状のヒビが若干見られる。内底は細かな凹凸が多い。内底に墨痕のやや薄い墨書あり。「舟人」以外まだ文字があるようだ。	①素地やや粗い。赤褐色鉱物、角閃石等を含む。 ②酸化焰。やや軟調。 ③にぶい橙2.5YR6/4。断面は明度高い。
122 杯(須恵)	口(13.8) 底(9.0) 高 4.0	※+91cm 口 ⅔ 底 ⅔	右回転ロクロ→回転ヘラ切り無調整。口縁部内側幅広の整った窪みが巡る。ロクロ痕弱い。内底に複数文字の墨書あり。1字は「子」。	①素地普通。パミス、角閃石、1mm大の礫を含む。 ②還元焰。普通。 ③灰7.5Y7/1。口縁外面は明度低い。
123 杯(須恵)	口 13.3 底 6.7 高 4.8	※+19cm⇔+75cm⇔+80cm 口 ⅔ 底 完存	右回転ロクロ→回転糸切り無調整。ロクロ痕は弱く特に内面は平滑。外底に墨書あり。「大椽」の可能性が高い。	①素地普通。チャートまじりの砂粒を少量含む。 ②還元焰。やや硬調。 ③灰7.5Y6/1。外面には細かなムラ有。一様でない。
124 杯(須恵)	口 13.0 底 7.0~7.7 高 3.0	※+90cm 口 ⅔ 底 完存	右回転ロクロ→回転糸切り→外底縁辺に弱い手持ちヘラ削り。ロクロ痕弱い。外面口縁に墨痕のやや不鮮明な墨書あるが欠先部にかかり積文不明。	①やや砂質でザラザラしている。片岩、黒色鉱物含む。 ②還元焰。普通。 ③灰白7.5Y7/1。口縁先端一部明度低い。
125 杯(須恵)	口(11.8) 底 7.2 高 3.0	4区4片⇔埋没土(3片) 口 ⅔ 底 ⅔	右回転ロクロ→回転ヘラ切り→外底縁部に雑な回転ヘラ削り。内底に渦巻状のロクロ痕が残っている。外底に不明瞭な墨書「十」?	①素地普通。2~3mm大の長石まじりの細石を含んでいる。②還元焰。やや軟調。 ③灰7.5Y6/1。口縁外端のみ明度低い。

遺物観察表

No・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
126 蓋(須恵)	口 17cm程か	4区埋没土 口 小片	右回転ロクロ。外面に墨痕のやや鮮明な墨書あり。欠け口にかかり積文は不明だが、「郷」の可能性あり。	①素地普通。2mm大の礫がまじる。 ②やや軟調の還元焰。 ③灰褐7.5YR6/2。外面と内端は黒色味強い。
127 杯(須恵)	底7.5cm程か	4区埋没土 底 小片	右回転ロクロ→回転ヘラ切無調整か。内外面に墨書あり。外面はやや不鮮明。	①ややボソボソした素地。1mm大の礫を少量含む。 ②還元焰。普通。③灰白7.5Y8/1。ほぼ一様。
128 杯(須恵)	底 (8.5)	4区3片 図示部の $\frac{2}{3}$	墨-14とほぼ同巧。内底墨書。積文不明。	①②③墨-14とほぼ同じ。
129 高台付椀 (須恵)	口 14.6 高 6.4 台 5.1	※ 口 $\frac{2}{3}$ 底 完存	右回転ロクロ→回転糸切り→やや雑な高台取付け。ロクロ痕は細かい。口縁はゆるやかに波状に歪んでいる。外面に不明瞭な墨書あり。「中」か。	①素地やや粗い。黒色鉱物1mm大の礫等を含む。 ②還元焰。やや硬調。 ③灰白10Y8/1。底部内外面N7/0。
130 杯(須恵)	口(16.0)	※+90cm 口 $\frac{2}{3}$	右回転ロクロ。内面はロクロ痕弱い。口縁外面に墨痕のやや明瞭な墨書あるが積文は不明。	①素地普通。1mm大の礫まじりの砂粒を含む。 ②還元焰。やや硬調。③灰白10Y7/1。外面一部と断面は赤灰色味をおびる。
131 杯(須恵)	口 13cm程か	4区埋没土 口 小片	右回転ロクロ。ロクロ痕やや強い。内面に墨痕の不鮮明な墨書あり。積文不明。	①素地やや緻密。白色鉱物まじりの砂粒を少量含む。 ②還元焰。やや硬調。 ③灰10Y6/1。外面やや青色味をおびる。
132 杯(須恵)	口 13cm程か	埋没土 口 小片	右回転ロクロ。ロクロ痕は外面でやや強い。内面には深い擦痕が巡っている。外面墨痕明瞭な墨書の一部がかかる。	①素地普通。粗砂を少量含んでいる。 ②還元焰。普通。 ③灰5Y6/1。
133 杯(須恵)		4区埋没土 口 小片	右回転ロクロ。口縁内端がやや摩滅している。口縁外面に墨書あり。積文不明。	①素地やや粗い。パミスまじりの砂粒含む。 ②還元焰。普通。③灰白10Y8/1。ほぼ一様。
134 椀(須恵)		4区埋没土 口 小片	右回転ロクロ。ロクロ痕やや強い。口縁外面に墨痕のやや薄い墨書の一部あり。積文不明。	①素地普通。混入物少ない。 ②還元焰。普通。 ③灰白7.5Y7/1。ほぼ一様。
135 杯(須恵)	底 7cm程か	4区埋没土 底 $\frac{1}{2}$	右回転ロクロ→残存部分では全面手持ちヘラ削り。内底でややロクロ痕強い。	①やや砂質の素地。1mm大の白色鉱物含む。 ②還元焰。普通。③灰白5Y7/1。断面まで一様。
136 杯(須恵)	底 9cm程か	4区埋没土 底 小片	右回転ロクロ→外底縁部に回転ヘラ削り。口縁内面墨痕の薄い墨書あり。積文不明。	①素地普通。1mm大の礫を少量含む。 ②還元焰。普通。 ③灰白2.5Y7/1。外面一部黒色味強い。
137 杯(須恵)		4区埋没土 口縁下半小片	右回転ロクロ。ロクロ痕やや弱い。外面に墨痕と思われるきわめて不明瞭な部分あり。	①素地普通。微細な黒色鉱物がまじる。 ②還元焰。普通。 ③灰白7.5Y7/1。ほぼ一様。
138 杯(須恵)		4区埋没土 口縁下半小片	右回転ロクロ。ロクロ痕弱い。外面に墨痕の明瞭な墨書あり。欠け口にかかるが積文「得万」。	①素地やや砂質。混入物少ない。 ②還元焰。普通。 ③灰7.5Y6/1。
139 杯(須恵)		4区埋没土 口縁下半小片	右回転ロクロ。ロクロ痕やや強い。外面に墨痕のやや不鮮明な墨書あり。欠け口にかかり積文不明。	①素地やや砂質。1mm大の礫まじりの砂粒を含む。 ②還元焰。普通。 ③灰白2.5Y7/1。
140 杯(須恵)	底 8cm程か	4区埋没土 底 $\frac{1}{2}$	右回転ロクロ→回転ヘラ切り無調整か外底に墨痕のやや不鮮明な墨書あるが欠け口にかかり積文不明。	①素地普通。チャートまじりの1~3mm大の礫を少量含む。②還元焰。普通。 ③灰褐5YR5/2。内面は彩度低い。
141 杯(須恵)	底 7.0	2区埋没土 底 $\frac{1}{2}$	右回転ロクロ→回転糸切り無調整。内面はすべて剥落している。外底に墨痕の明瞭な墨書の一部がかかる。	①素地普通。黒色鉱物少量含む。 ②還元焰。普通。 ③灰白5Y8/1。断面は赤色味が強い。
142 杯(須恵)	底 6.7	※ 図示部完存	右回転ロクロ→回転糸切り→やや雑な高台取付け内底の凹凸大きい。口縁の内外面の同じ方向に墨書あり。特に内面は墨痕不鮮明。積文不明。	①素地普通。2~3mm大のチャート、片岩、雲母細片まじりの細砂の混入多い。 ②不十分な還元焰。 ③灰白5Y7/2。内外面に黒斑あり。
143 杯(須恵)	底 5.6	※ 8区埋没土 図示部ほぼ完存	右回転ロクロ→回転糸切り無調整。ロクロ痕弱い。口縁外面に墨痕のきわめて薄い墨書あり。欠け口にかかり積文不明。	①素地普通。1~2mm大の礫を少量含む。 ②還元焰。普通。 ③灰白10Y8/1。外面に黒斑あり。
144 杯(土師)	口13.3~13.7 底 8.9~ 9.6 高 3.4	※+86cm 4区6片 $\frac{1}{2}$ 個体	外底は幅広で息の長い鋭い削り。口縁部下半は無調整部分幅広い。内面はやや粗い擦痕の残る強いナデで平滑に仕上げたのち暗文を施す。暗文は底部と口縁部で太さが著しく異なる。内底に墨書のあった可能性あり。	①素地やや緻密。パミス、角閃石、赤褐色鉱物等を少量含む。 ②酸化焰。普通。 ③橙2.5YR6/6。断面は黄色味が強い。

窪地出土の墨書土器

No・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
145 杯(土師)	口(12.2)	※+83cm 図示部の%	外底の削りはやや粗い。口縁上半は強いナデ下半は無調整内面も強いナデ。内底に墨痕の薄い墨書の一部がかかる。積文不明。	①素地普通。パミスやや多い。角閃石、石英を少量含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙7.5YR7/3。内外面灰色味おびるムラあり。
146 杯(土師)	口(13.0)	4区2片 図示部の%	外底は幅広の削り。口縁部上半にナデ下半は無調整だが平滑。内面ナデ強いが器面に凹凸多い。内底に墨書あるが欠け口にかかり積文不明。	①素地普通。パミス、角閃石まじりの砂粒を少量含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙7.5YR7/4。断面は明度高い。
147 杯(土師)	口(11.4)	4区埋没土 図示部の%	外面はやや幅広の雑な削り。口縁下半無調整部分広い。内面やや強いナデ。口縁は小さな波状の歪みあり。内底縁部は墨痕の明瞭な墨書の一部かかる。「郷」の可能性あり。	①素地普通。パミスまじりの砂粒を含む。 ②硬調の酸化焰。 ③にぶい黄橙10YR7/3。断面一部灰色味が強い。
148 杯(土師)	口 12cm程か	1区埋没土 図示部の%	外底は丁寧な削り。口縁下半は無調整内面は丁寧で強いナデ。内底は墨痕の明瞭な墨書の一部にかかる。積文不明。	①素地普通。混入物やや少ない。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙5YR6/3。内面はやや彩度高い。
149 杯(土師)		※底面直上± +7cm± 4区2片 底部ほぼ完存	外底の削りは雑でやや強い。内面のナデは丁寧だが平滑さにやや欠ける。やや大型の杯か。内底中央に墨痕の不明瞭な墨書あり。赤外線写真により積文。「郷」と判明。	①素地普通。雲母細片、赤褐色鉱物等を含む。 ②酸化焰。やや硬調。 ③橙2.5YR6/6。内面やや黄色味をおびている。
150 杯(土師)	口(12.4)	埋没土(6片) %個体	口縁外面は上半でナデ下半は型膚状のヒビの上に弱い指頭圧痕。外底は方向不定の弱いヘラ削り。内面は強いナデだが器面に凹凸残る。口縁内端は小さく肥厚。内底に墨書あり。墨痕明瞭だが欠け口にかかり積文不明。	①素地普通。角閃石、1~2mm大の礫等を含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙5YR6/4。断面までほぼ同様。
151 杯(土師)		埋没土 底 %	外底の削りは丁寧。口縁下半は無調整内面が雑で強いナデ。内底中央に墨痕の明瞭な墨書あり。「山」か。	①素地普通。パミス、角閃石、1mm大の礫等の混入やや多い。②酸化焰。普通。 ③橙5YR6/6。内面にはムラあり一様でない。
152 杯(土師)	口(12.0) 高 3.5	※ 口 % 底 %	墨-109にはほぼ同巧。内底の隅に墨書と思われるきわめて不明瞭な墨痕あり。積文不明。	①②③墨-109に同じ。
153 杯(土師)	口(13.0)	8区埋没土 図示部の%	外底の削りは方向不定で弱い。口縁上半に強いナデ下半は無調整で型膚状のヒビが残る。内面のナデは丁寧。内底に墨痕の不鮮明な墨書あり。積文不明。	①素地普通。赤褐色鉱物、パミス、石英等、雑多な混入物含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい赤褐2.5YR5/4。
154 杯(土師)	口(14.0)	4区埋没土 口 %	外底の削りは弱く不明瞭。内底のナデは丁寧。口縁部の残り少なく径不安。外底に墨痕のやや不鮮明な墨書あり。積文不明。	①素地普通。パミスやや多く角閃石が少量まじる。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい黄橙10YR7/3。ほぼ同様。
155 杯(土師)	口(13.0) 高 3.5	埋没土9片 口 % 底 %	口縁外面のナデの幅が広い。外底は方向不定のやや弱い削り。内面強いナデ。外底に墨書あるが墨痕きわめて弱く積文不明。	①②墨-107にはほぼ同じ。 ③橙5YR6/6。ほぼ同様。
156 杯(土師)		2区埋没土± 4区埋没土 底 小片	外底に補修痕のような粘土板をあてた痕があり内底に葉脈状の圧痕がある。歪みが強い。内底は墨痕の明瞭な墨書の一部にかかる。積文不明。	①素地普通。パミスやや多く角閃石を少量含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙5YR6/4。断面は明度高い。
157 杯(土師)		4区埋没土 底 小片	底部の厚さの差は大きい。内外面に墨痕のやや明瞭な墨書がかかっている。どちらも積文不明。	①素地普通。パミス、角閃石等含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙5YR6/4。内面やや彩度低い。
158 杯(土師)		1区埋没土 底 %	平底気味の杯底部。内底のナデは雑で器面は平滑さ欠く。内底に墨痕のきわめて薄い墨書がかかる。複数文字あるあるようだが積文不明。外面にも墨書の可能性のあるかすかな色ムラあり。	①素地普通。パミス、角閃石等を少量含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙7.5YR7/4。内面やや彩度低い。
159 杯(土師)		埋没土 底 小片	外底の削りは息短い。内底のナデはやや強いが器面は平滑さ欠く。内外面とも墨痕の薄い墨書がかかる。積文不明。	①素地やや粗い。赤褐色鉱物、輝石等の混入物やや多い。②酸化焰。普通。 ③にぶい橙5YR6/4。ほぼ同様。

遺物観察表

No・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
160 杯(土師)		4区埋没土 底 小片	平底気味の底部縁辺小片である。内面やや平滑さに欠けている。内面に墨痕のきわめて明瞭な外面はやや薄い墨書の一部がかかっている。積文不明。	①素地普通。パミス、角閃石等を少量含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙5YR6/4。断面は明度高い。
161 杯(土師)		埋没土 底 小片	外底の削りやや雑。底部中央付近の内外面にいずれも墨痕のやや薄い墨書が効かっている。両面積文不明。本遺跡の出土品には例のない文字になりそうである。	①素地やや粗い。赤褐色鉱物、パミス等、やや大粒の混入物を含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい赤褐2.5YR5/4。ほぼ一様。
162 杯(土師)		4区埋没土 底 小片	底縁部が内側へやや強く肥厚している外底中央付近に墨痕の薄い墨書がかかっている。積文不明。内底中央にも墨書の可能性のある墨痕風の不明瞭な変色部分あり。	①素地普通。パミス、角閃石、1mm大の礫等を含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙5YR6/4。
163 杯(土師)		4区埋没土 底 小片	平底気味の杯の底部縁辺の小破片である。内面は凹凸あり。内面に墨痕の明瞭な外面は薄い墨書の一部がかかる。積文不明。	①素地普通。角閃石、パミス等の混入やや多い。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙7.5YR6/4。断面は明度高い。
164 杯(土師)		埋没土 底 小片	底部縁辺の小破片。外底の削り内底のナデともやや強い。内外面に墨痕の薄い墨書の一部がかかっている。どちらも積文不明。	①素地普通。赤褐色鉱物、石英、角閃石等の混入物を含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙2.5YR6/4。ほぼ一様。
165 杯(土師)		4区埋没土 底 小片	底部縁辺付近の破片である。外底の削りはやや弱い。内底のナデは強い。内外面に墨痕の不明瞭な墨書がかかっている。どちらも積文不明。	①粒子の細かな素地。混入物少ない。 ②酸化焰。普通。 ③灰黄褐10YR6/2。ほぼ一様。
166 杯(土師)		4区埋没土 底 瓦	丸底気味の土器である。外底は一方のやや粗い削り。内面は強いナデだが器面は平滑さ欠く。内底縁部に墨痕のやや薄い墨書あり。積文不明。	①素地普通。パミス、1mm大の礫等を少量含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい褐7.5YR5/4。内面やや明度高い。
167 杯(土師)		埋没土 2片 底 瓦	内底には木葉痕状の圧痕。外底には丁寧なヘラ削りの上に指頭圧痕状の窪みが点在している。薄手の杯だが内底の凹凸が大きい。内底中央に墨痕の明瞭な墨書がかかる。積文不明。	①素地普通。パミス、角閃石等が少量含まれる。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい赤褐5YR5/4。内面は明度高い。
168 杯(土師)		3区礫層内 底 小片	外底やや強い削り。内底は細かな凹凸が著しい。内底は墨痕の不明瞭な墨書にかかる。積文不明。	①素地普通。輝石、パミス等を少量含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙7.5YR7/4。断面は明度高い。
169 杯(土師)		3区埋没土 底 小片	やや丸底気味の杯と思われる。外底の削りは丁寧。内底のナデはやや強い。内底に墨痕のやや薄い墨書の一部がかかる。積文不明。	①やや緻密な素地。角閃石、パミス、1mm大の礫等を含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙7.5YR6/4。ほぼ一様。
170 杯(土師)		2区埋没土 底 小片	底部中央付近破片。外底の削り内底のナデとも丁寧。外底に太い字で墨痕のやや明瞭な墨書の一部がかかる。積文不明。	①素地普通。混入物少ない。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙5YR6/4。ほぼ一様。
171 杯(土師)		埋没土 底 小片	外底の削り内面のナデともやや丁寧。内底に墨書の一部がかかる。積文不明。	①素地普通。パミス、1mm大の礫等を少量含む。 ②酸化焰。普通。③にぶい橙5YR6/4。
172 杯(土師)		8区 底 小片	外面の削りやや弱い。内面は平滑さ欠く。内底は墨書の一部がかかる。積文不明。	①素地普通。パミス、輝石等を少量含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙7.5YR6/4。断面やや明度高い。
173 杯(土師)		埋没土 底 小片	外面の削り内面のナデともやや丁寧だが器面に凹凸あり。内底中央は墨痕のやや薄い墨書がかかる。積文不明。	①角閃石、パミスまじりの砂粒やや多い。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙7.5YR7/3。ほぼ一様。
174 杯(土師)		8区埋没土 底 小片	外底には型膚状の細かいヒビが残る。縁辺に雑な削り。内面ナデ粗い。内底中央に墨痕明瞭な墨書あり。積文不明。	①素地やや粗い。赤褐色鉱物、角閃石、チャート等の混入やや多い。②酸化焰。やや軟調。 ③橙2.5YR6/6。断面は彩度低い。
175 杯(土師)		2区埋没土 底 小片	薄手の杯である。外面の削り内面のナデとも丁寧。内底中央は墨痕のやや不明瞭な墨書にかかる。積文不明。	①素地普通。パミス等微細な混入物を含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙5YR6/4。内面やや明度高い。
176 杯(土師)		埋没土 底 小片	厚さの差が大きい平底の杯である。外底の削りはやや雑。内底縁部のナデが強い。内底中央付近に墨書の一部がかかっている。積文不明。	①素地普通。パミス、角閃石等を含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙7.5YR7/3。外底は黒斑部分にあたる。

№・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
177 杯(土師)		4区埋没土 底 小片	底部中央付近の破片と思われる。外底に型膚状のヒビが残っている。内底に墨痕のやや明瞭な細字の墨書の一部がかかっている。積文不明。	①素地普通。赤褐色鉱物、角閃石等を含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい赤褐2.5YR5/4。ほぼ一様。
178 杯(土師)		4区埋没土 底 小片	外底の削り内底のナデともに丁寧。平底気味の杯である。内底は墨痕やや不明瞭な墨書の一部にかかる。積文不明。	①素地普通。雲母細片等微細な混入物を含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙5YR6/4。ほぼ一様。
179 杯(土師)		4区埋没土 底 小片	内外面ともやや丁寧な作りのようだ。内底は墨痕の明瞭な墨書の一部がかかる。積文不明。	①素地普通。混入物少ない。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙5YR6/4。断面は明度高い。
180 杯(土師)		4区埋没土 底 小片	底部中央付近の破片である。外底の削りやや鋭い。内底は平滑さにやや欠ける。内底に墨痕のやや明瞭な墨書の一部がかかっている。積文不明。	①素地普通。気泡が目立つ。パミス、角閃石等含む ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙5YR6/4。ほぼ一様。
181 杯(土師)		2区2片 底 小片	外底の削りは粗くやや強い。内底は細かな凹凸多い。内底と墨痕が一部できわめて薄い墨書あり。積文不明。	①ややボソボソした素地。赤褐色鉱物、角閃石、1mm大の礫等を含む。②酸化焰。普通。 ③にぶい橙5YR6/4。内面は明度高い。
182 杯(土師)		4区埋没土 底 小片	やや厚手で丸底気味の杯。外底の削り内底のナデともに丁寧に平滑。内底中央付近に墨痕のやや不明瞭な墨書の一部がかかる。文字になるか不明。	①素地普通。角閃石、パミス等を少量含む。 ②酸化焰。やや硬調。 ③にぶい赤褐5YR5/4。外面に灰色味をおびるムラ有
183 杯(土師)		3区埋没土 底 小片	やや丸底気味の杯か。外底の削り内底のナデともやや弱い。内底は墨痕の薄い墨書の一部にかかる。積文不明。	①素地普通。パミス、雲母細片等を少量含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙5YR6/3。ほぼ一様。
184 杯(土師)		4区埋没土 底 小片	外底の削りは弱く不明瞭。内底は丁寧なナデ。内底は墨痕のやや薄い墨書の一部がかかる。積文不明。	①素地普通。混入物少ない。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙7.5YR7/3。ほぼ一様。
185 杯(土師)		4区埋没土 底 小片	外底の削りやや強い。内底は丁寧なナデ。内底縁部に墨痕の明瞭な墨書の一部がかかる。積文不明。	①素地普通。パミス、石英、1mm大の礫等少量含む ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙7.5YR7/4。断面まで一様。
186 杯(土師)		埋没土 底 1/6	平底気味の杯である。外底の削りは丁寧。内面のナデは強く平滑さ欠く。内底は墨痕の明瞭な墨書の一部がかかる積文不明。	①素地普通。パミス、角閃石等の混入やや多い。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙5YR6/4。内面やや彩度低い。
187 杯(土師)		3区埋没土 底 小片	やや平底気味の薄手の杯。外底の削りはやや鋭い。内底にへら状の圧痕が残る。内底中央付近に墨痕のやや薄い墨書の一部がかかっている。積文不明。	①素地普通。輝石、パミス等微細な混入物を含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙5YR6/3。断面はやや明度高い。
188 杯(土師)		4区埋没土 底 小片	外底に型膚状の細かく深いヒビが広く残り、部分的に弱い不規則な削りを加える。内底中央付近に墨痕の不明瞭な墨書の一部がかかる。積文不明。	①やや粗い素地。赤褐色鉱物、輝石、パミス等の混入物やや多い。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙2.5YR6/4。内面やや明度低い。
189 杯(土師)		4区埋没土 底 小片	外底の削りはやや弱い。内底はやや平滑。内底中央付近に墨痕のきわめて薄い墨書がかかっている。積文不明。	①素地普通。角閃石、パミス等を少量含む。 ②酸化焰。やや硬調。 ③外面灰黄褐10YR4/2。内面にぶい褐7.5YR6/3。
190 杯(土師)		埋没土 底 小片	外面中央の窪み内に型膚状のヒビが残っている。内底中央付近に墨痕の不明瞭な墨書の一部がかかっている。積文不明。	①素地普通。赤褐色鉱物。石英、パミス等雑多な混入物を含む。②酸化焰。普通。 ③明赤褐2.5YR5/6。内面やや彩度低い。
191 杯(土師)		4区埋没土 底 小片	底部中央付近の破片である。外底の削りやや強い。内底はやや平滑。内底に墨痕の一部がかかっている。積文不明。	①素地普通。パミス、角閃石等を少量含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙5YR6/3。ほぼ一様。
192 杯(土師)		礫層内 底 小片	平底薄手の杯である。外底の削りは細かいが器面は凹凸残り口縁下半は無調整。内面ナデはやや強い。内底左端に墨痕のやや薄い墨書「大」。	①素地普通。輝石等微細な混入物を含む。 ②酸化焰。普通。 ③橙5YR6/6。内面やや彩度低い。
193 杯(土師)		4区埋没土 底 小片	外底の削り内面のナデはやや丁寧。内底墨痕のやや薄い墨書の一部かかる。	①素地普通。赤褐色鉱物、輝石等を含む。②酸化焰。普通。③にぶい橙5YR6/4。内面やや彩度低い。
194 杯(土師)		1区礫層内 底 小片	薄手でやや丸底気味の底部破片。内面やや平滑さ欠く。内底中央付近にきわめて不明瞭な墨書の可能性のある墨痕状の色ムラあり。	①素地普通。混入物少ない。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙5YR6/4。ほぼ一様。

遺物観察表

Na・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
195 杯(土師)		3区埋没土 底 小片	底部中央付近の破片と思われる。外底の削り内底のナデともやや丁寧。内底に墨痕の薄い墨書の一部がかかる。積文不明。	①素地普通。パミス、輝石等微細な混入物を含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙5YR6/4。ほぼ一様。
196 杯(土師)		4区埋没土 底 小片	外底の削り内底のナデともに鋭い。内底中央付近に墨痕のやや明瞭な墨書のごく一部がかかっている。積文不明。	①やや細かな素地。角閃石、赤褐色鉱物等を少量含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙5YR6/4。ほぼ一様。
197 杯(土師)		4区埋没土 底 小片	外底の削りやや細かい。内底のナデは強いが平滑さにやや欠ける。内底の中央付近に墨書のごく一部がかかっている。積文不明。	①素地普通。パミス、輝石、1～2mm大の礫等含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙5YR6/4。断面は明度高い。
198 杯(土師)		4区埋没土 底 小片	外底の削りやや弱い。内底やや平滑さ欠く。内底に墨痕のやや薄い墨書の一部かかる。欠失部が大半で積文不明。	①素地普通。混入物少ない。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙5YR6/3。ほぼ一様。
199 杯(土師)		4区埋没土 底 小片	平底の杯の底部中央付近の破片である内底のナデは丁寧。内底に墨痕のきわめて薄い墨書あり。積文不明だが「大」の可能性ある。	①素地普通。1mm大のパミスを含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙5YR6/4。
200 杯(土師)		埋没土 3片 底 小片	歪みのある細片で底部のどの部位か不明瞭。内底に墨痕のやや薄い墨書の一部がかかっている。積文不明。	①素地普通。パミスやや多い。角閃石等を含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙7.5YR7/4。断面は彩度低い。
201 杯(土師)		埋没土 底 小片	底部縁辺の小破片。外底の削り内底のナデともやや丁寧。内底中央付近に墨痕の薄い墨書の一部がかかっている。積文不明。	①素地やや粗い。赤褐色鉱物、角閃石等混入やや多い。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙5YR6/4。ほぼ一様。
202 杯(土師)		埋没土 底 小片	外底の削りは雑で弱い。中央に型膚状のヒビが若干残っている。内底のナデは強い。内底中央に墨痕のきわめて薄い墨書がかかっている。積文不明。	①素地やや粗い。赤褐色鉱物、石英、チャート等含む。 ②酸化焰。普通。 ③明赤褐2.5YR5/6。断面までほぼ一様。
203 杯(土師)		4区埋没土 底 小片	底部中央付近の破片である。外底に型膚状の細かなヒビが残る。内底のナデ強いが平滑さに欠ける。内底墨痕のやや明瞭な墨書の一部かかる。積文不明。	①素地普通。外面の1mm大の石英やや目立つ。赤褐色鉱物、角閃石等を含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙2.5YR6/4。内面やや明度低い。
204 杯(土師)		8区埋没土 底 小片	外面の削りは細かい。内面のナデ強く器厚の差が大きい。内底に墨書の可能性ある墨痕状のやや不明瞭な色ムラあり。	①素地やや粗い。パミス、角閃石、1～3mm大の礫等混入物多い。 ②酸化焰。やや軟調。 ③明赤褐2.5YR5/6。断面までほぼ一様。
205 杯(土師)	口 13cm程か	4区埋没土 口 ⅓	外底の削りは細かい。口縁上半は丁寧なナデ下半は無調整だが平滑。内面丁寧なナデ。外底に墨痕のやや明瞭な墨書の一部がかかっている。	①素地普通。パミス、角閃石等を少量含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい黄橙10YR7/3。一様。
206 杯(土師)	口 13cm以上か	4区埋没土 口 ⅓	外底やや強い削り。口縁上端のみナデで下半は無調整だが平滑。内面のナデもやや雑。外底は墨痕の明瞭な墨書の一部にかかる。積文不明。	①素地普通。緻密なパミス、輝石等を含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙7.5YR7/3。ほぼ一様。
207 杯(土師)		埋没土 口 小片	歪みのある小片で径、傾きとも不安。口縁下半は無調整か。外面墨痕の不明瞭な墨書あり。欠口にかかり積文不明。	①素地普通。赤褐色鉱物、石英、パミス等雑多な混入物含む。 ②酸化焰。やや軟調。③にぶい橙5YR6/4。一様。
208 杯(土師)	口 13cm程か	4区埋没土 口 ⅓	外底の削り弱い。口縁下半は無調整。内面のナデは丁寧。外底に墨痕の不鮮明な墨書の一部がかかる。積文不明。	①素地普通。パミス、輝石等微細な混入物含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙5YR6/4。
209 杯(土師)	口 12cm程か	4区埋没土 口 ⅓	外底の削りは丁寧。口縁下半は無調整だが平滑。内面のナデも丁寧。外底に墨痕のやや不鮮明な墨書の一部あり。積文不明。	①素地普通。パミス、雲母細片、角閃石等の混入やや多い。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙7.5YR7/4。断面は明度高い。
210 杯(土師)	口 12cm程か	4区埋没土 口 小片	外底は弱い削り。口縁上端は丁寧にナデるが下半は無調整。内面は強いナデ外底に墨痕の不明瞭な墨書あり。欠け口にもかかり積文不明。	①素地普通。雲母細片等微細な混入物を少量含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙5YR6/4。
211 杯(土師)		埋没土 口 小片	内面と口縁外面のナデはやや雑。外面口縁下半は方向不定でわずかにナデた擦痕が残る。外面は墨痕のきわめて不明瞭な墨書の一部がかかる。積文不明。	①素地普通。赤褐色鉱物、石英、パミス等雑多な混入物多い。 ②酸化焰。やや軟調。 ③にぶい赤褐2.5YR5/4。ほぼ一様。

Na・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
212 杯(土師)		埋没土 口縁下端小片	外面は無調整で器面は平滑さ欠く。内面は強いナデ。外面は墨痕の明瞭な墨書の一部にかかる。積文不明。	①赤褐色鉱物目立ち石英等がまじる。 ②酸化焰。やや軟調。 ③明赤褐2.5YR5/4。ほぼ一様。
213 杯(土師)		4区埋没土 口 小片	外面口縁上半は強いナデだが下半は無調整で器面不整。内面は強いナデ外底縁部から口縁下端にかけて墨痕やや不明瞭な墨書の一部かかる。積文不明。	①素地普通。角閃石、パミス等微細な混入物を含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙7.5YR7/3。断面は明度高い。
214 杯(土師)		4区埋没土 底 ⅓	外面やや摩滅し整形痕は不明瞭。内面のナデは丁寧。外底に墨痕のやや明瞭な墨書の一部かかる。積文不明。	①ボソボソしたやや粗い素地。角閃石、石英等含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙5YR7/4。外面にはムラあり。
215 杯(土師)		2区埋没土 底 小片	平底気味になるとと思われる。外面の削りやや強い。内面のナデは丁寧。外底縁部に墨痕の明瞭な墨書あり。欠け口にかかり不明瞭だが「金」か。	①素地普通。小粒のパミス、石英、輝石等を含む。 ②酸化焰。普通。 ③明赤褐5YR5/6。内面やや明度高い。
216 杯(土師)		4区埋没土 底 小片	外面の削り内面のナデとも丁寧である外面は墨痕のきわめて明瞭な墨書の一部にかかる。積文不明。	①素地普通。パミス、角閃石等を含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい褐7.5YR6/3。断面は明度高い。
217 杯(土師)		4区埋没土 底 小片	平底の小型の杯と思われる。外底の削り弱く内面のナデは丁寧。外底は墨痕不鮮明な墨書の一部かかる。積文不明。	①素地普通。角閃石、チャート、パミス等雑多な混入物を含む。②酸化焰。普通。 ③にぶい橙5YR6/4。断面は明度高い。
218 杯(土師)		4区埋没土 底 小片	やや丸底気味の大型の杯と思われる。外底の削りは幅太内底のナデは丁寧。外底の縁部に墨痕の明瞭な墨書の一部がかかる。積文不明。	①素地普通。パミス、輝石等を少量含む。 ②酸化焰。やや硬調。 ③にぶい橙7.5YR7/4。ほぼ一様。
219 杯(土師)		3区埋没土 底 小片	外底は凹凸内面はやや平滑。外面墨書と思われる鮮明な黒色部分あるが他の付着物との区別難しい。	①素地普通。パミス、角閃石等まじる。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙5YR6/4。
220 杯(土師)		4区埋没土 底 小片	外底の削りは細かい。内面は平滑に仕上げてある。外底に墨痕のやや不明瞭な墨書あり。欠け口にかかり積文不明。	①素地普通。パミス、雲母細片等微細な混入物含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい黄橙10YR7/3。内面やや赤色味をおびる。
221 杯(土師)		2区埋没土 底 小片	平底気味の杯である。外底はやや平坦だが内底は細かな凹凸多い。外底は墨痕のやや明瞭な墨書にかかっている。積文不明。	①素地普通。角閃石、パミス、石英等雑多な混入物を含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙7.5YR7/3。ほぼ一様。
222 杯(土師)		4区埋没土 底 小片	底部中央が薄い。外底削り内底ナデともにやや丁寧。外底中央に墨痕明瞭な太字の墨書の一部がかかる。積文不明。	①素地普通。パミス、角閃石等を少量含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙5YR6/3。断面明度高い。
223 杯(土師)		埋没土 底 小片	やや丸底気味の器形と思われる。外面削り内面ナデとも丁寧。外底に墨痕きわめて不鮮明な墨書あり。欠失部分も広く積文不明。複数文字の可能性あり。	①素地普通。パミス、角閃石まじりの砂粒を含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙7.5YR7/4。ほぼ一様。
224 杯(土師)		1区埋没土 底 小片	平底気味の小型杯と思われる。内面のナデは丁寧。外底は墨痕のやや不鮮明な墨書の一部にかかる。積文不明。	①素地普通。角閃石等微細な混入物を含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙7.5YR7/4。ほぼ一様。
225 杯(土師)		4区埋没土 底 小片	薄手で平底気味のやや大型の杯と思われる。外底に墨痕のやや薄い細字の墨書の一部がかかる。積文不明。	①やや緻密な素地。パミス、輝石等を少量含む。 ②酸化焰。やや硬調。 ③にぶい赤褐5YR5/3。ほぼ一様。
226 杯(土師)		2区埋没土 底 小片	平底の杯。外底は息長い丁寧な削り内面強いナデ。外底に墨痕のやや不明瞭な墨書。欠け口にかかり積文不明。	①素地普通。パミス、角閃石等を少量含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙7.5YR7/4。一様。
227 杯(土師)		4区埋没土 底 小片	外底の削りはやや弱い。内底のナデは丁寧で強い。外底縁部は墨痕の明瞭な墨書の一部がかかる。積文は不明だが口縁部から続く墨書の可能性あり。	①素地やや緻密。赤褐色鉱物、雲母細片等微細な混入物を含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい褐7.5YR6/3。ほぼ一様。
228 杯(土師)		4区埋没土 底 小片	丸底気味のやや大型の杯と思われる。内面のナデ丁寧。外底に墨痕のやや明瞭な墨書の一部がかかる。積文不明。	①素地普通。赤褐色鉱物、輝石等を少量含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙5YR6/4。断面は明度高い。
229 杯(土師)		4区埋没土 底 ⅓	平底のやや大型の杯と思われる。外底の削り内面のナデともやや丁寧。外底は墨痕のきわめて不明瞭な墨書の一部にかかる。積文「郷」の可能性もある。	①素地普通。パミス、角閃石等の混入物やや多い。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙7.5YR7/4。ほぼ一様。

遺物観察表

No・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
230 杯(土師)		4区隣層内底 小片	外底の削り内面のナデとも丁寧。外底に墨痕のやや不鮮明な墨書の一部あり積文不明。	①素地普通。混入物少ない。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙5YR6/4。断面は明度高い。
231 杯(土師)		4区埋没土底 小片	外面にやや鋭い削り内面にやや丁寧なナデ。墨痕のやや不明瞭な墨書の一部にかかる。墨痕か黒色味の強い色ムラか区別できない部分もある。積文不明。	①素地やや緻密。パミス、角閃石等を少量含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙5YR6/4。断面は明度高い。
232 杯(土師)		8区埋没土底 小片	やや丸底気味の杯の底部中央付近の破片。内面やや平滑。外底に墨痕の不明瞭な墨書の一部がかかる。積文不明。	①素地普通。輝石、パミス等を少量含む。 ②酸化焰。普通。 ③橙5YR6/6。内面やや彩度低い。
233 杯(土師)		4区埋没土底 ㄨ	厚手でやや丸底気味の土器。外底は細かく丁寧な削り。内面ナデも丁寧で平滑に仕上る。外底中央に墨痕のやや明瞭な墨書。欠け口にかかり積文不明。	①素地普通。パミス、角閃石まじりの砂粒を含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙5YR6/4。断面は明度高い。
234 杯(土師)		1区埋没土底 小片	外底のナデは丁寧だが器面は細かな凹凸あり。外底の中央は墨痕のきわめて薄い墨書の一部がかかる。積文不明。	①素地普通。パミス、雲母細片等を少量含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙7.5YR7/4。断面は彩度低い。
235 杯(土師)		4区埋没土底 小片	やや丸底気味の小型の杯。外底は一方の強い削り。内面やや丁寧なナデ。外底に墨痕不明瞭な墨書。積文不明。	①素地普通。輝石、パミス、赤褐色鉱物等を含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい赤褐2.5YR5/4。断面は明度高い。
236 杯(土師)		4区埋没土底 小片	器面やや摩滅し整形痕は不明瞭。外底中央付近に墨痕のきわめて薄い墨書あるが積文不明。	①ややザラザラした素地。角閃石、パミス等微細な混入物あり。②酸化焰。やや硬調。 ③にぶい橙7.5YR6/4。ほぼ同様。
237 杯(土師)	口(12.6) 高(2.9)	埋没土 口 ㄨ 底 ㄨ	外底の削りは息長く丁寧。内底のナデは強いが中央に凹凸あり。底縁部に明瞭な墨痕あるが、文字にはならない。	①素地普通。パミス、1mm大の礫等を少量含む。 ②酸化焰。やや硬調。 ③にぶい橙7.5YR7/3。外面一部に黒斑あり。

1号溝出土遺物(本文88頁～ P L—34～) ※は平面図に遺物ドットあり。+は底面からの高さ。

No・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
1 蓋(須恵)	口 13.4 高 2.2 鈕 4.9	※底面直上 ㄨ個体	右回転ロクロ→天井部中央回転ヘラ削り→丁寧な鈕取付け。ロクロ痕はやや強い。	①素地やや緻密。黒色鉱物少量含む。他の混入物少。 ②やや硬調の還元焰。③灰白N7/0。ほぼ同様。外面一部に黄白色の降灰釉が霜降状にかかっている。
2 蓋(須恵)	口 15.0 高 2.6 鈕 4.2	※底面直上 ほぼ完形	右回転ロクロ→天井部弱い回転ヘラ削り。→やや丁寧な鈕取付け。ロクロ痕弱い。	①素地普通。石英、パミス等のまじる細砂を少量混入。 ②還元焰。やや軟調。 ③灰5Y6/1。内面縁部と外面は黒色味が強い。
3 蓋(須恵)	口 14.8 高 3.7 鈕 4.2	※底面直上 ほぼ完形	右回転ロクロ→天井部回転ヘラ削り→鈕取付け。厚手で重量である。内面天井部は平滑。	①素地砂質。混入物少ない。 ②還元焰。普通。 ③灰白7.5Y7/1。断面まで同様。
4 蓋(須恵)	口(19.0) 高 3.8 鈕(7.6)	埋没土 図示部のㄨ	右回転ロクロ→天井部回転ヘラ削り→丁寧な鈕取付け。内面は方向不定の布状のナデ痕が残っている。	①素地普通。2mm大の礫等混入物やや多い。 ②還元焰。普通。 ③青灰5B6/1。口 縁端部は明度低い。
5 蓋(須恵)	口(17.6) 高 3.1 鈕(6.2)	埋没土 鈕 ㄨ 天 ㄨ	右回転ロクロ→天井部広範囲の回転ヘラ削り→丁寧なつまみ取付け。ロクロ痕弱い。内面中央付近はやや摩滅しており墨痕と思われる付着物あり。	①素地普通。混入物少ない。 ②還元焰。普通。 ③灰N6/0。断面までほぼ同様。
6 杯(須恵)	台(10.4)	埋没土 図示部のㄨ	右回転ロクロ→外底全面の回転ヘラ削りと高台の削り出し。内底に一方の指頭のナデ痕が残っている。	①素地普通。黒色鉱物目立つが他の混入物は少ない。 ②やや硬調の還元焰。 ③灰10Y4/1。断面は明度高い。
7 高台付杯(須恵)	口(17.2) 高 4.6 台 13.4	※底面直上+ +6cm 口 ㄨ 底 ㄨ	右回転ロクロ→外底全面丁寧な回転ヘラ削り→高台取付け。内底きわめて平滑。厚手で重量。	①素地普通。泥粒、黒色鉱物等を含む。 ②還元焰。普通。 ③灰白7.5Y7/1。断面は黄色味をおびている。
8 高台付杯(須恵)	口(17.6) 高(12.6) 台 4.4	※底面直上 ㄨ個体	右回転ロクロ→外底全面回転ヘラ削り→丁寧な高台取付け。内面は凹凸多い。	①素地普通。黒色鉱物まじりの細砂を含む。 ②還元焰。普通。 ③灰白10Y7/1。口 縁外面は黒色味をおびている。
9 杯(須恵)	口(14.6) 高 4.3	※底面直上 口 ㄨ 底 ㄨ	右回転ロクロ。外底は全面に細かな手持ちヘラ削りを施し縁部も丸く仕上げている。内底でロクロ痕強い。	①素地普通。細砂以外の混入物少ない。 ②還元焰。普通。③灰白7.5Y8/1。断面まで同様。 ④外面は器面の剝落すずんでいる。

No・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
10 高台付杯 (須恵)	口(13.3) 高 4.4 台 10.0	埋没土 口 ¾ 底 ¾	右回転ロクロ→外底全面回転ヘラ削り→高台取付け。高台内側の稜鋭い。ロクロ痕弱く器面平滑。二次被熱の可能性あり。	①素地粗い。粗砂を少量含んでいる。 ②軟調還元焰。締まりに欠く。 ③灰白2.5Y8/1。外面に明度の低いムラあり。
11 杯(須恵)	口(10.4) 底 7.8 高 3.8	※底面直上 ¾個体	右回転ロクロ→回転ヘラ切り→外底縁部と口縁下端に弱い手持ちヘラ削り。内面のロクロ痕弱い。	①素地普通。チャートまじりの砂粒を含む。 ②やや硬調の還元焰。 ③灰白5Y7/1。明度の低いムラあり。
12 杯(須恵)	口 11.6～ 12.0 底 6.8 高 3.3～3.6	※+17cm 完形	右回転ロクロ→回転糸切り→外底縁部と体部下端に左回転でのヘラ削り。やや厚手で重量。	①素地普通。パミス、黒色鉱物等の混入物を含む。 ②やや硬調の還元焰。 ③内面灰10Y6/1。外面に黒色味をおびるムラあり。
13 杯(須恵)	口 13.4 底 8.1 高 4.8	※+18cm ほぼ完形	右回転ロクロ→回転ヘラ切りか→外底全面と口縁下半に左回転のヘラ削り。内面立ち上りにアテ具痕が沈線状に巡っている。	①素地やや砂質。1mm大の礫、石英等を含む。 ②還元焰。普通。 ③内外面灰白10Y8/1。断面までほぼ一様。
14 脚付盤 (須恵)	台上 6.6	埋没土 図示部 ¾	右回転ロクロ。杯部と台部の接合部に同心円状の深い溝を巡らせている。内底平坦。	①素地粗い。砂粒まじる。 ②やや軟調の還元焰。 ③灰白2.5Y7/1。断面は明度低い。
15 脚付盤 (須恵)	台 12.3	※底面直上 図示部ほぼ完存	右回転ロクロ→杯部と台部接合。内底には一方の指頭によるナデ。台部内面はやや粗い擦痕が巡っている。	①素地普通。チャート、白色砂粒等の混入物やや多い。 ②還元焰。普通。 ③暗青灰10BG4/1。断面までほぼ一様。
16 杯(須恵)	口 14.0～ 13.4 底 8.0 高 3.8～3.5	※底面直上 ほぼ完形	右回転ロクロ→回転糸切り→外底縁部と口縁下端に弱い回転ヘラ削り。厚手でやや重量。内面ロクロ痕やや弱い。口縁の歪み強い。	①素地普通。白色砂粒の目立つ細砂を含んでいる。 ②やや硬調の還元焰。 ③灰10Y6/1。外面に明度の低いムラあり。
17 杯(須恵)	口 12.3～ 12.6 底 6.6 高 3.8～3.5	※底面直上 ほぼ完形	右回転ロクロ→回転糸切り→外底縁部手持ちヘラ削り。ロクロ痕弱く内底は平坦。	①素地やや粗い。白色砂粒、赤褐色鉱物の混入物やや多い。 ②還元焰。普通。 ③暗青灰5B3/1。断面は赤色味が強い。
18 杯(須恵)	口 12.3 底 6.6 高 3.8	※底面直上 ほぼ完形	右回転ロクロ→回転糸切り無調整。ロクロ痕弱い。内底平坦。	①素地やや砂質。片岩粒、黒色鉱物、パミス等の混入物やや多い。②やや軟調の還元焰。 ③灰白5Y7/1口縁外端黒色味をおびている。 ④内底中央と口縁内端の摩滅がすすんでいる。
19 高台付杯 (須恵)	口(17.2) 高 7.1 台 12.0	※底面直上 ¾個体	右回転ロクロ→外底全面に回転ヘラ削り→丁寧な高台取付け。ロクロ痕弱い。口縁外面の沈線は端正。	①やや粗くザラザラしている。砂粒を含んでいる。 ②軟調の還元焰。 ③灰白5Y8/1。内面下半は黒色味をおびている。
20 杯(須恵)	口 14.1～ 13.6 底 9.5 高 3.8	※底面直上 +15cm ほぼ完形	右回転ロクロ→回転糸切り→外底縁部と口縁下半に回転ヘラ削り。ロクロ痕細かいが内底は平坦。厚手で重量。外底に不明瞭な墨書「郷」。	①素地やや砂質。3mm大の礫散見。白色砂が少量まじる。 ②還元焰。普通。 ③灰白5Y7/1。断面までほぼ一様。
21 高台付杯 (須恵)	口 12.4 高 4.3 台 8.5	口縁上半¾欠く	右回転ロクロ→回転糸切り→丁寧な高台取付け。ロクロ痕弱いが内面に鋭い擦痕が巡っている。内底中央に一方の指頭のナデ。口縁外面に墨書「郷」。	①素地やや砂質。パミスまじりの砂粒を含む。 ②やや硬調の還元焰。 ③オリーブ灰2.5GY6/1。外面黒色味の強いムラ広い。
22 円面硯 (須恵)		埋没土上半 ¾	脚は6で外面に線刻が入っている。透かしは刀子状の鋭い工具で削り取っている。海の部分に墨痕が残っているが研磨は少ない。	①素地やや砂質。白色砂粒以外の混入物少ない。 ②還元焰。やや硬調。 ③青灰5BG6/1。ほぼ一様。
23 杯(土師)	口 14.4 高 5.3	完形	外面の削りは強く丁寧。底部付近では一方向となる。内面のナデも丁寧。ねじれるような歪みあり。	①素地普通。パミス、輝石まじりの砂粒を含む。 ②硬調の酸化焰で焼き締まる。 ③にぶい橙7.5YR7/4。断面は灰色味をおびている。
24 杯(土師)	口 12.7～ 13.0 高 4.3	完形	外面の削りは丁寧に強く無調整部分を残さない。内面のナデも丁寧。口縁部は小さく波状に歪んでいる。	①素地普通。3mm大の礫混入。石英、パミス等のまじる砂粒を含む。②酸化焰。普通。 ③にぶい橙5YR6/4。赤色味をおびるムラあり。
25 杯(土師)	口(16.0) 高 5.7	※底面直上 ¾個体	外面の削りは短くやや雑。無調整部分が広く残っている。内面のナデは丁寧に一部に鋭い擦痕が巡っている。口縁内端の屈曲の形状は一様でない。	①素地普通。パミス、輝石、赤褐色鉱物等を少量含んでいる。②酸化焰。やや硬調。 ③にぶい橙7.5YR6/4。ほぼ一様。 ④外面にやや不鮮明な墨書あり。積文不明

遺物観察表

No・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
26 手づくね	口(6.0) 高 2.3	図示部の $\frac{1}{2}$	指頭圧痕状の凹凸の上に不規則で弱い指頭のナデの痕跡が残っている。	①素地普通。パミス、角閃石等が少量まじる砂粒を含む。②酸化焰。普通。 ③にぶい黄橙10YR7/3。断面は黒色味が強い。
27 手づくね	高(2.7)	図示部の $\frac{1}{2}$	内面は指頭圧痕状の凹凸が大きい外面は平滑に仕上げている。	①素地やや粗い。赤褐色鉱物、石英、パミス等を少量含む。②酸化焰。やや軟調。 ③黒褐7.5YR3/1。断面はやや赤色味をおびている。
28 手づくね (土師)	底 5.6	図示部の $\frac{1}{2}$	外底は平滑だが他は指頭圧痕状の細かな凹凸が多い。	①27に似た胎土である。気泡がまじる。 ②酸化焰。やや硬調。 ③にぶい赤褐5YR5/4。一様でない。
29 杯(土師)	口(9.0) 底 3.0	※+9cm 口 $\frac{1}{2}$ 底 $\frac{1}{4}$	外面は強く細かい削りで無調整部分を残さない。内面は強いナデで底部では方向不定となっている。	①素地普通。砂粒を少量含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい赤褐5YR5/4。ほぼ一様。
30 杯(土師)	口(10.0)	埋没土 $\frac{1}{2}$ 個体	外面の削りは弱く不明瞭。内面は平滑。底部の厚さに比べ端部は尖っている。	①素地普通。1mm大の礫のまじる砂粒やや多い。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい赤褐5YR5/3。断面は明度高い。
31 杯(土師)	口(10.3) 高 3.6	埋没土 口 $\frac{1}{2}$ 底 $\frac{1}{2}$	外面の削りは細かくやや丁寧。内面ナデも丁寧で布目状の擦痕が残る。内屈する口縁端部の形状は一様でない。	①素地普通。パミスのやや多い砂粒を含んでいる。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙7.5YR6/4。
32 杯(土師)	口 9.8	埋没土 口 $\frac{1}{2}$ 底 $\frac{1}{2}$	外面の削りは幅広く強い。内面のナデ丁寧で、口縁部には明瞭な擦痕が巡っている。	①素地普通。混入物少ない ②やや硬調の酸化焰。 ③にぶい赤褐5YR5/4。外底は黒色。
33 杯(土師)	口(11.9) 高 3.3	※底面直上 図示部の $\frac{1}{2}$	外面の削りは幅広く息長い。無調整部分を残さない。口縁部に小さな歪みあり、傾き不安。	①素地普通。泥粒の混入やや多く赤褐色鉱物等を含んでいる。 ②酸化焰。普通。 ③橙5YR6/6。断面は彩度低い。
34 杯(土師)	口(11.4) 高 3.2	埋没土 口 $\frac{1}{2}$ 底 $\frac{1}{2}$	外面の削りは弱いが丁寧で無調整部分を残さない。内面ナデも丁寧だが器面は平滑さに欠けている。	①素地普通。パミスまじりの砂粒を少量含む。 ②やや硬調の酸化焰。 ③橙5YR6/6。内面やや明度低い。
35 杯(土師)	口(11.6) 高 3.3	埋没土 口 $\frac{1}{2}$ 底 $\frac{1}{2}$	外面の削りは幅太でやや粗い。底部中央には外面に粘土接合の段。内面は強い指頭痕があり補修痕と思われる。	①素地普通。パミス、輝石まじりの砂粒を含む。 ②やや軟調の酸化焰。 ③にぶい褐7.5YR5/4。ほぼ一様。
36 杯(土師)	口 11.6 高 3.1	※底面直上 $\frac{1}{2}$ 個体	外底の削りは弱く幅太。無調整部分も広く、内面ナデは丁寧で底部中央には方向不定の指頭痕が残っている。	①素地普通。パミス、輝石まじりの砂粒やや多い。 ②やや軟調の酸化焰。 ③にぶい赤褐5YR5/4。
37 杯(土師)	口(10.6) 高 3.0	※底面直上 $\frac{1}{2}$ 個体	外底の削りはやや強い。口縁部のナデは上半だけで無調整部分が残っているが比較的平滑。内面丁寧なナデで口縁部にやや粗い擦痕が巡っている。	①素地普通。パミス、輝石等のまじる砂粒を含む。 ②やや硬調の酸化焰。 ③外面橙5YR6/6。内面にぶい橙5YR7/4。 ④内底やや摩滅している。
38 杯(土師)	口 10.7 高 3.6	※底面直上 $\frac{1}{2}$ 個体	外面の削りは強い。口縁下半は無調整内面のナデも丁寧で器面は平滑に仕上げている。	①素地普通。7mm大の礫を抜かず製作用している。 ②やや硬調の酸化焰。 ③橙5YR6/6。灰褐色のムラ広い。
39 杯(土師)	口(12.4) 高 3.6	※+35cm 口 $\frac{1}{2}$ 底 $\frac{1}{2}$	外面の削りは幅広く強い。内面のナデは丁寧で器面は平滑。	①素地やや砂粒でザラザラしている。パミス、輝石等を含む。②やや硬調の酸化焰。 ③にぶい橙7.5YR7/4。断面までほぼ一様。
40 杯(土師)	口 12.2 高 3.8	※底面直上 ほぼ完形	外面の削りは強く息長い。中央では一方方向。無調整部分やや広い。内面ナデは目の細かな擦痕が巡っている。	①素地普通。パミスの目立つ砂粒やや多い。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙7.5YR6/4。ほぼ一様。
41 杯(土師)	口(11.8) 高 3.8	口 $\frac{1}{2}$ 底 $\frac{1}{2}$	器面摩滅して整形手法は不明瞭。外底の削りは強い。	①粒子のきわめて細かな素地。赤褐色鉱物等を少量含む。 ②酸化焰。普通。③橙7.5YR7/6。
42 杯(土師)	口(13.8) 高 3.6	※+14cm 口 $\frac{1}{2}$ 底 $\frac{1}{2}$	外面の削りやや強い。口縁下半に指頭痕状の窪みが残っている。内面平滑。ヘラ描き状の焼成後のキズが内底縁部から口縁下半にかけて多く見られる。	①素地普通。輝石、パミス等のまじる砂粒やや多い。 ②酸化焰。やや軟調。 ③にぶい橙7.5YR7/4。ほぼ一様。
43 杯(土師)	口 12.0~ 12.6 高 3.7	※底面直上 完形	外底の削り強く息長い。薄手に薄手に仕上げているが削りすぎの補修箇所が確認できる。口縁部の無調整部分は広い。内底はやや凹凸が多い。	①素地普通。パミス、輝石、2mm大の礫等を含む。 ②硬調の酸化焰で焼き締まる。 ③橙2.5YR6/6。ほぼ一様。
44 杯(土師)	口(10.6)	埋没土 図示部の $\frac{1}{2}$	外面の削りは強いがやや雑。内面のナデは丁寧で全体に擦痕が巡っている。	①素地普通。パミス、輝石まじりの砂粒やや多い。 ②酸化焰。やや軟調。 ③にぶい橙5YR7/4。断面は彩度低い。

No・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
45 杯(土師)	口 13.6 高 3.5	※底面直上 ほぼ完形	外面の削りは幅広で息も長い。内面ナデは口縁部に布目状の擦痕が残っている。器面の平滑さにやや欠けている。	①素地普通。パミスやや多く輝石のまじる砂粒含む。 ②酸化焰。やや軟調。 ③にぶい橙7.5YR6/4。断面は彩度低い。
46 杯(土師)	口 12.4 高 3.3	%個体	外底の削りはやや雑。内面も平滑さにやや欠けている。口縁端部は内傾へ小さく折れるが形状は様でない。内底に焼成前のヘラ描き「×」。	①素地普通。パミス、輝石まじりの砂粒やや多い。 ②酸化焰。やや軟調。 ③にぶい橙5YR6/4。赤色味、黒色味をおびるムラあり様でない。
47 杯(土師)	口(12.6)	※底面直上 %個体	外面の削りは強いがやや雑。内面のナデは丁寧。薄手で軽量。底部中央は補修時の指頭痕が残っている。	①素地普通。パミス、石英等まじる砂粒やや多い。 ②酸化焰。やや硬調。 ③橙5YR6/6。内面はやや彩度低い。
48 杯(土師)	口(12.8) 高 3.4	1/4個体	外面の削りは幅広で強い。内面のナデは丁寧。内底中央付近に接合痕状のヒビが明瞭に残っている。	①素地普通。混入物は少ない。 ②硬調の酸化焰。③にぶい褐7.5YR5/3。口縁外面やや赤色味をおびている。
49 杯(須恵)	底(9.6)	※底面直上 図示部の1/4	外底の削りの痕跡から右回転ロクロ使用の可能性あり。内外面にヘラ磨きを施すが外面の窪み(ロクロ痕?)上は抜けている。内面黒色処理。	①素地普通。赤褐色鉱物まじりの細砂含んでいる。 ②酸化焰。やや軟調。 ③にぶい黄橙10YR7/3。内面光沢のやや弱い黒色。
50 長頸壺 (須恵)	口 9.8	※底面直上 口完存	右回転ロクロ。外面のロクロ痕はカキ目状でやや雑な2条の沈線が巡っている。内面のロクロ痕は弱い。	①素地普通。泥粒がまる。黒色鉱物まじりの砂粒を少量含む。②還元焰。やや硬調。③灰白10Y7/1。外面一部で黒色味をおび白色の降灰釉がかかる。
51 長頸壺 (須恵)	頸下 5.6	※底面直上 図示部 完存	頸部は正置して右下がりのロクロ痕が残っている。砂粒の移動はきわめて少ない。	①素地やや粗い。チャートの目立つ砂粒やや多い。 ②還元焰。普通。 ③灰10Y6/1。断面までほぼ同様。
52 壺(須恵)	口(26.0) 頸(16.8)	※底面直上 図示部の%	右回転ロクロか。口縁部内面は平滑。口縁上端の摩滅と剝落が進んでいる。	①素地砂質。白色砂粒等の混入物を少量含む。 ②還元焰。やや硬調。 ③灰白7.5Y7/1。断面までほぼ同様。
53 短頸壺 (須恵)	口(11.0)	図示部の1/4	右回転ロクロ。口縁部端正な作り。外面の擦痕は粗く、カキ目に近い。	①素地普通。混入物少ない。 ②還元焰。普通。 ③灰白10Y7/1。外面一部明度低い。
54 壺(須恵)	胴(19.2)	※底面直上 図示部の1/4	右回転ロクロか。外面上半のロクロ痕は工具痕である。内面に接合痕が残っている。	①素地やや砂質。黒色鉱物を少量含んでいる。 ②やや硬調の還元焰。③灰白10Y7/1でほぼ同様。外面上半に薄く霜降状の釉がかかっている。
55 短頸壺	肩(19.6)	埋没土 図示部の1/4	肩縁部の外側に環状に釉がかかっている。有蓋の短頸壺と思われる。右回転ロクロ。	①素地やや粗い。チャートの目立つ砂粒やや多い。 ②還元焰。普通。 ③灰7.5Y6/1で同様。降灰釉は灰黄色。
56 甕(須恵)	口(26.0)	※底面直上 図示部の1/4	肩部外面は叩きの上に幅狭で弱い同心円状のヘラ削り。内面にアテ具痕が残っている。口縁部のロクロ痕やや強い。	①素地普通。2mm大の片岩の混入やや多い。 ②還元焰。普通。 ③灰白N7/0。断面は明度高い。
57 器台 (土師)	口 8.8 高(5.6)	※底面直上 図示部の%	台部の3孔は上側に穿たれている。杯部内面は端部で弧状。中央で斜放射状の磨き。台部内側は粗いハゲ目状の整形痕が残っている。	①素地やや粗い。パミス、石英、1mm大の礫等雑多な混入物やや多い。②酸化焰。普通。 ③にぶい橙7.5YR7/3。赤色味、灰色味の強い部分あり様でない。
58 壺(土師)	口(10.2) 胴(12.0)	埋没土 図示部の1/4	外面の削りは鋭い。口縁外面は丁寧なナデ。胴部内面のナデは指頭痕状の窪みが残っている。	①素地やや緻密。輝石、石英まじりの砂粒を含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙5YR6/4。断面は灰色味が強い。
59 甕(土師)	口(20.0)	埋没土 図示部の1/4	外面の削り強い。内面平滑さ欠ける。小破片からの復元で径、傾きとも不安。	①素地やや粗くボソボソしている。赤褐色鉱物等の混入多い。②中性焰気味。やや硬調。 ③にぶい黄橙10YR7/2。赤色味をおびるムラあり。
60 甕(土師)	口(24.5)	※底面直上 図示部の1/4	口縁外面にヒビ状の接合痕が残る。器面の摩滅すすみ、整形痕は不明瞭。	①素地砂質でボソボソしている。パミス、赤褐色鉱物まじりの粗砂の混入多い。 ②酸化焰。やや軟調。③にぶい黄橙10YR5/3。
61 甕(土師)	口(16.0) 頸(14.4)	※底面直上 図示部の1/4	外面の削りは幅狭。口縁部に丁寧なナデを施している。小破片からの復元で傾き不安。	①素地やや砂質。赤褐色鉱物、石英等の混入物やや多い。②中性焰気味。やや硬調。 ③にぶい黄橙10YR7/2。外面は赤色味の強い部分あり。
62 甕(土師)	口(26.0)	埋没土 図示部の1/4	外面は削り、ナデとも粗く器面に凹凸が多い。口縁部の形状も一定でない。内面は丁寧なナデで平滑に仕上げる。	①素地やや粗くボソボソしている。パミス、輝石等が混入している。②酸化焰。やや軟調。 ③にぶい黄橙10YR7/3。外面一部に黒色味、赤色味をおびるムラあり。

遺物観察表

No・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
63 甕(土師)	口(19.8) 高 7.5	※底面直上 図示部の $\frac{1}{2}$	外面の削りは鋭い。内面のナデは丁寧。口縁から頸部にかけて厚手。	①素地やや砂質。パミス、1mm大の礫、赤褐色鉱物等、雑多な混入物含む。②酸化焰。普通。 ③にぶい黄褐10YR6/3。
64 甕(土師)	口(19.6) 頸(16.8)	埋没土 図示部の $\frac{1}{2}$	頸部内面に接合痕が残っている。外面の削りは幅広く強い。口縁部下端にはナデに使用した工具痕が小さな段を作って巡っている。	①素地普通。1～2mm大の片岩、チャート等の混入多い。 ②酸化焰。やや軟調。 ③にぶい橙7.5YR7/3。口縁内側は黒色味が強い。
65 甕(土師)	口(19.6)	図示部の $\frac{1}{2}$	外面の削り強く内面のナデは丁寧。口縁部は外面で深い沈線が巡り端部は上方へ肥厚している等、特徴的である。	①素地普通。チャートまじりの1mm大の礫が混入している。 ②酸化焰。やや硬調。 ③にぶい橙5YR7/4。内面一部灰色味をおびている。
66 甕(土師)	口(20.8) 頸(18.4)	埋没土 図示部の $\frac{1}{2}$	外面の削りは丁寧で細かい。内面のナデも丁寧。口縁外面に接合痕が明瞭に残っている。	①素地やや砂質。砂粒以外の混入物少ない。 ②やや軟調の酸化焰。 ③にぶい橙7.5YR7/4。内面は彩度低い。
67 甕(土師)	口 13.1 頸 11.7	※底面直上 口 ほぼ完存 肩 $\frac{1}{2}$	二次被熱により器面剥落進んでいる。内面にヘラ状工具による稜ができています。	①素地やや粗い。赤褐色鉱物、パミスまじりの砂粒を含む。②酸化焰。軟調。 ③にぶい褐7.5YR5/4。外面黒斑状のムラあり。
68 甕(土師)	口(22.4)	※+50cm 図示部の $\frac{1}{2}$	外面の削りの下に指頭痕の確認できる所がある。内面のナデは丁寧。口縁端部は小さく外方へ肥厚しているが形状は一定でない。	①素地普通。1mm大の礫まじりの砂粒やや多い。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙7.5YR7/4。断面は灰色味をおびている。
69 甕(須恵)	底(12.2)	流路跡重複部 図示部の $\frac{1}{2}$	器形は不明瞭。内面の仕上げの雑なことより図示部をつバのつく甕の下半と想定した。この場合ロクロ回転は左となる。端部の剥落がすすんでいる。	①素地やや砂質。赤褐色鉱物の混入目立つ。 ②中性焰。普通。 ③にぶい黄橙10YR6/3。断面は赤色味が強い。
70 甕(須恵)	口(40.0)	※底面直上 図示部の $\frac{1}{2}$	頸部に叩きの痕跡が残っている。沈線、櫛描き波状文ともに丁寧。内面は深い2条の焼成前のヘラ描きが深く刻まれている。	①素地やや砂質。白色砂粒の混入やや多い。 ②還元焰。普通。 ③青灰5B5/1。断面中央は明度低い。
71 置き竈		※ 図示部少片	焼き口部分。外面に指頭の強いナデ。内面は幅広いヘラ状工具によるナデの痕跡が残っている。	①素地やや粗くボソボソしている。砂粒、角閃石等の混入物多い。②酸化焰。やや軟調。 ③にぶい橙7.5YR6/4。黒色味をおびつムラあり一様でない。④二次被熱の影響強い。

2号溝出土遺物(本文95頁～ P L-35)

No・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
1 杯(須恵)	口(10.8) 底 6.7 高 2.7	口 $\frac{1}{2}$ 底 完存	右回転ロクロ→回転ヘラ切り→外底縁部に弱い回転へ削り。ロクロ痕はやや強く同心円状に巡っている。	①素地普通。黒色鉱物の混入多い。②還元焰。やや硬調。③灰白10Y7/1。ほぼ一様。 ④内面の凸部は砥ぎ込んだように整って摩擦減している。外面凸部も若干摩擦減している。
2 杯(須恵)	口(12.0) 底 6.6 高 3.7	埋没土 6片 口 $\frac{1}{2}$ 底 完存	右回転ロクロ→回転糸切り→外底縁部回転ヘラ削りロクロ痕やや強い。内底は平坦。外底に焼成前の線刻「×」。	①素地やや粗い。白色針状物含む。2mm大の礫混入。 ②還元焰。普通。 ③青灰5B6/1。断面赤灰色。
3 杯(須恵)	口(11.6)	埋没土 2片 図示部の $\frac{1}{2}$	右回転ロクロ。内面上半にのみやや強いロクロ痕が残る。口縁外端に2条の平行沈線が巡っている。	①素地やや粗い。白色砂粒を含んでいる。 ②還元焰。やや軟調。 ③灰7.5Y6/1。ほぼ一様。
4 盤(須恵)	口(23.0)	図示部 小片	外面は細かなカキ目状ロクロ痕を残して粗い手持ちヘラ削りを施している。内底は幅太のカキ目痕が残る。	①素地普通。混入物少ない。 ②中性焰か。硬調で焼き締まる。 ③灰白2.5Y8/2。彩度の高い部分も広い。
5 杯(土師)	口 10.4	埋没土 $\frac{1}{2}$ 個体	外面の削り幅広く強く方向不定。内面のナデも強く細かな擦痕が全体に巡っている。	①素地普通。2mm大のチャート散見するが他の混入物少ない。②酸化焰。普通。 ③にぶい赤褐2.5YR5/4。内面は彩度低い。
6 杯(土師)	口 10.6	埋没土 2片 図示部の $\frac{1}{2}$	外面の削りはやや雑で鋭い。内面のナデは強いが器面に平滑さ欠く。	①素地普通。輝石まじりの砂粒を少量含んでいる。 ②酸化焰。普通。③にぶい赤褐5YR5/4。ほぼ一様。
7 杯(土師)	口(12.5) 高 4.1	埋没土 2片 口 $\frac{1}{2}$ 底 $\frac{1}{2}$	外面削りはやや粗いが無調整部分を残さない。内面器面は細かな凹凸ある。	①素地普通。赤褐色鉱物、3mm大のチャート等雑多な混入物含む。②酸化焰。普通。③にぶい橙7.5YR6/4。外面は赤色味や灰色味をおびるムラあり。
8 杯(土師)	口(18.2)	埋没土 3片 $\frac{1}{2}$ 個体	外面の削りは雑で弱い。無調整部分広い。内面のナデは丁寧で平滑に仕上げている。	①素地普通。パミス、輝石等まじる砂粒やや多い。 ②酸化焰。やや軟調。 ③にぶい橙7.5YR7/4。断面は彩度低い。

No・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
9 甕(土師)	口(14.0)	埋没土 図示部の $\frac{1}{4}$	外面は剥落著しく整形痕は不明。二次被熱。	①素地やや粗い。パミス、輝石等雑多な混入物のまじる砂粒多い。②酸化焰。やや硬調。 ③にぶい黄橙10YR7/3。灰色味をおびるムラ広い。
10 甕(土師)	口(22.4)	埋没土 図示部の $\frac{1}{4}$	接合痕が内面に明瞭に残っている。外面頸部は幅広のヘラ先で削りに近い強い磨きを施す。内面のナデはやや雑。	①素地粗い。パミス、輝石まじりの砂粒やや多い。②酸化焰。やや硬調。 ③灰黄褐10YR6/2。ムラ多く一様でない。
11 台付甕(土師)	底 10.6 高 4.3	埋没土 図示部の $\frac{1}{4}$	外面の削りはナデつけるような感じで器面は窪むが砂粒の移動は少ない。厚手。	①素地やや粗い。パミス、1mm大の礫等混入物多い。②酸化焰。普通。 ③にぶい橙7.5YR6/4。内面明度高い。
12 甕(土師)	口(26.0)	埋没土2片 図示部 小片	器面の削り強い。内面も強く粗いナデ。小破片からの復元で、径、傾きともに不安。	①素地やや粗い。パミスまじりの粗砂の混入やや多い。②酸化焰。普通。 ③にぶい橙5YP6/4。外面に黒斑あり

6号溝出土遺物(本文97頁 PL-35)

No・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
1 高台付杯(須恵)	口(15.1) 底(7.4) 高 5.8	口 $\frac{1}{4}$ 底 $\frac{1}{2}$	右回転ロクロ→回転糸切り→高台取付け。ロクロ痕弱い。	①素地やや粗い。チャート1mm大の礫等混入。 ②やや軟調の還元焰。 ③灰白7.5Y7/1。一部黒色味をおびている。

8号溝出土遺物(本文100頁 PL-35)

No・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
1 皿(磁器)	高台 4.4	東側埋没土 底 $\frac{1}{4}$	潰掛け。畳付き部は剥落。1mm大の白色礫が付着。貫入はやや粗く気泡も大粒。見込に植物意匠と思われる施文。縁辺に圏線を配している。	③釉調は灰白色。外面はやや青色味、内面はやや黄色味をおびる。呉須は黒色味をおびた発色。 ④初期伊万里。1630~40年代。
2 蓋(陶器)	天(7.6) 口(5.4)	中央埋没土 図示部の $\frac{1}{4}$	上面のみ長石釉を施している。細かな美しい貫入が見られる。瀬戸・美濃系。	①やや緻密で混入物のない良好な土である。 ②やや硬調。 ③灰白7.5Y8/2。釉は透明で貫入は黒色味を帯びる。
3 碗(磁器)	底(4.0)	底面直上 体部下 $\frac{1}{2}$ 底 $\frac{1}{2}$	畳付き部の剥落著しい。外底に大明年製くずしの銘。貫入は細かく少ない。	③釉調は透明感にやや欠ける乳白色。呉須はくすんだ藍色に発色。 ④肥前または波佐見系。18C後半。
4 湯呑茶碗(磁器)	高台 3.4	底面直上 図示部の $\frac{1}{4}$	畳付きは釉ハギ。貫入は見られず気泡もきわめて細かい。見込文様あり。3と同一の意匠の染付け。	③釉調は僅かに青色味がかかった乳白色。呉須は淡い藍色に発色。 ④肥前系。1780~19C前半。
5 小碗(磁器)	口(7.4) 高 3.9	口 $\frac{1}{4}$ 底 完存	貫入はほとんど見えない。畳付き部は露胎。外面高台部に2条、口縁下端に1条の圏線を施文。内面は無地。	③釉はやや濁った乳白色。呉須は薄い藍色。露胎部分や断面は橙色味をおびている。 ④肥前。18C。
6 碗(陶器)	台 4.6	底面直上 図示部ほぼ完存	畳付き部は剥落多く不明瞭だが釉ハギか。外面はやや厚い鉄釉。内面は長石釉で粗い貫入が見られる。	①灰白色のガサガサした素地。 ③外面は胎釉調の発色。内面は僅かに緑色をおびた透明釉で貫入内は鉄サビ色。④瀬戸・美濃系。
7 仏花瓶(磁器)	高台 5.2	中央埋没土 底ほぼ完存	畳付き部に細かな白色砂粒が付着。釉はやや厚い。二次被熱により器面は荒れている。	③器面は透明感を欠く乳白色。内面は黄褐色。呉須はくすんだ藍色。 ④肥前。18Cか。
8 碗(陶器)		中央埋没土 口 小片	貫入はやや細かい。外面の染付けは発色良い。風景意匠の施文か。内面は無地。	③釉調はやや青色味をおびた澄んだ灰白色。呉須は藍色に発色。 ④肥前。陶胎染付け。18C前半。
9 碗(陶器)		東側埋没土 口 $\frac{1}{4}$	貫入はやや細かい。外面の染付け文様ははっきりしない。内面は無地。	①素地は砂質。③釉調はくすんだ青灰色。呉須は薄く発色も悪い。④肥前。陶胎染付け。18C前半。
10 皿(陶器)	口(10.8) 底 6.4 高 2.0	$\frac{1}{2}$ 個体	右回転利用の削り出し高台は端部が尖る。外面は露胎の部分あり。円錐ピンの痕跡が残る。	①モグサ土。1~2mm大の白色礫を含む。 ③釉調はややオリーブ色味をおびた灰白色。 ④瀬戸・美濃系。
11 皿(陶器)	台(7.0)	中央埋没土 図示部の $\frac{1}{4}$	高台削り出しはやや鋭さに欠ける。内底に円錐ピンの痕跡が残っている。畳付き部は剥落多い。釉はやや薄い。	①モグサ土状のややボソボソした胎土。気泡まじる。 ②普通。 ③長石釉で鼠志野風の発色。④瀬戸・美濃系。
12 灯明皿(陶器)	口(7.6) 底(5.1) 高(2.1)	図示部の $\frac{1}{4}$	外底に糸切り痕と思われる不明瞭な墨痕あり。カエリ部分は継いでいる。重ね焼き痕がリング状に残る。鉄釉を施すが外面では薄くハケ塗りのような痕が残っている。	①緻密な素地。混入物もなく良好。 ②やや硬調。 ③灰白10Y8/1。釉は褐色で厚い部分では光沢がある。

遺物観察表

No・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
13 火鉢 (陶器)	口 30cm程か	底面直上 口縁片	外面には右回転ロクロを利用したような弱い削りの痕が残っている。おろし目を刻むような鋭い工具で正格子の文様を加えている。	①ボソボソしたやや粗い素地。パミス、赤褐色等の混入物やや多い。 ②酸化焰、または中性焰。やや硬調。 ③器面いぶしたような黒褐色。断面赤色味をおびる。
14 播鉢 (陶器)	底(13.6) 高(4.8)	図示部の $\frac{1}{2}$	おろし目やや幅太で1単位11本以上。残存部分では摩滅は少ない。瀬戸・美濃系か。	①ザックリしたモグサ土状。黒色砂粒を少量含む。 ②硬調でやや焼き締まる。 ③釉調は鉄釉で光沢は弱い。
15 ガラス瓶	底(7.8)	図示部の $\frac{1}{2}$	上げ底状の底部は厚みが著しく異なっている。	①最大径2mm程の気泡がまじる。 ③やや緑色味をおびた深い褐色。
16 鎌	峰 0.3 身幅 2.6	小片	切先側か茎付近不明。砥ぎ減りは少ない。湾曲のやや少ない鎌と思われる。	
17 刀子	峰 0.4	小片	錆化進み旧状は不明。砥ぎ減りは著しいようだ。直線的な峰よりやや大型の刀子と推定。	
18 砥石	長 5.9 幅 2.9 厚 1.5 重 43g		4面使用だが表裏面が主な使用面。両端面は割れ口で風化が進んでいる。	①砥沢石(変質流紋岩)。

9号溝出土遺物(本文101頁 PL-35)

No・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
1 湯呑茶碗 (磁器)	口(8.8) 台(3.6)	+9cm 口 $\frac{1}{2}$ 底 $\frac{1}{2}$	畳付きは釉ハズ。外面に雪の輪梅樹意匠の染付け。貫入は見られず気泡はごく細かい。	③釉調はやや透明感のある乳白色。呉須はやや澄んだ藍色。 ④肥前。18C後半~19C初。
2 湯呑茶碗 (磁器)	口(7.0) 台(4.0) 高 5.2	埋没土2片 $\frac{1}{2}$ 個体	畳付き部釉ハズ。口縁外面のみ染付けを施している。	③呉須はやや深い藍色に発色。 ④肥前系。19世紀前半~。
3 皿(陶器)	口(11.2) 台(6.5) 高(2.4)	埋没土 $\frac{1}{2}$	畳付きは剥落後摩滅している。外底は露胎部分あり。細かな貫入あり。内底に意匠不明の鉄絵あり。	①灰白色のガサガサした素地。 ③貫入内は一部で鉄サビ色をしている。鉄絵部分は胎色に発色。④瀬戸・美濃系。
4 砥石	幅 2.9 厚 1.3 重 39g	東側埋没土	割れ口を除く5面使用。表裏面が主な使用面で裏面のみ平坦である。	①砥沢石(変質流紋岩)。

10号溝出土遺物(本文102頁 PL-35)

No・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
1 杯(土師)	口 12.3 高 4.0	口 $\frac{1}{2}$ 底 完存	外面の削りは弱く粗い。口縁下半に弱い圧痕が巡っている。内面のナデは丁寧。底部中央に焼成後と思われる穿孔あり。内底は摩滅している。	①粒子の細かな素地。角閃石、パミスまじりの砂粒を含む。 ②酸化焰。軟調でややしまり欠く。 ③にぶい橙7.5YR7/3。
2 長頸瓶 (灰釉)	頸 5.8 胴 18.4	図示部ほぼ完	右回転ロクロ。外面胴部はコテ状工具使用のロクロ痕が残る。薄手で軽量。器面は荒れており釉は一部で剥がれている。二次被熱の可能性。	①黒色砂粒まじりの細砂を少量含む。 ②還元焰。硬調。 ③明青灰10BG7/1。釉は淡い緑色で一部コバルト色の発色をしている。

12号土坑出土遺物(本文106頁 PL-35)

No・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
1 壺(須恵)	口(11.0)	口 $\frac{1}{2}$	右回転ロクロ。ロクロ痕は弱い。外面に丁寧な櫛掻き波状文が巡っている。	①ややザラザラした粗い素地。1mm大の石英、パミス等を含む。②還元焰。普通。 ③青灰5B5/1。断面まで一様。
2 杯(土師)	口 12.5 高 4.3	口 $\frac{1}{2}$ 底 完存	外底の削りは弱い丁寧。内面のナデも丁寧で器面平滑。焼成時にできたと思われる著しい歪みあり。	①緻密。1mm大の礫を少量含む。 ②酸化焰。きわめて硬調で強く焼き締まる。 ③明赤褐2.5YR5/6。外面一部灰色。
3 杯(土師)	口 11.6 高 3.7	ほぼ完形	外底の削り細かく丁寧だがやや弱い。内面のナデはやや雑で底部には部分的に磨きを施している。	①素地普通。チャート、パミス等を含む。 ②酸化焰。やや硬調。③にぶい黄橙10YR7/2。黒色味をおびる部分広く一様でない。
4 杯(土師)	口 10.2 高 4.9	完形	外面の削りは方向不定で雑で強い。内面は粗いナデで器面の平滑さ欠く。口縁は大きな波状の歪みあり。	①素地やや砂質。1mm大のパミスを少量含む。 ②酸化焰。硬調。 ③にぶい黄橙10YR7/2。内外面に黒斑あり。

水田出土遺物 (本文109頁 PL-35)

No.・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器器の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
1 碗(須恵)	台 8.9	高台 ¾ 底 完存	左回転ロクロ。回転利用の高台取付けで切り離し痕は消える。ロクロ痕弱い。器面全体に摩滅している。	①ザラザラのやや粗い素地。チャート、バミスマじりの砂粒多い。②還元不充分だがやや硬調。③にぶい黄橙10YR7/3。断面は灰色。

船載磁器 (本文117頁)

No.・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器器の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
1 碗(青磁)		表土 口 小片	外面に蓮弁を劃している。内面は平滑。釉はやや薄い。やや大粒の気泡を含むが透明である。龍泉窯。	釉はあまり発色の良くない淡青緑色。口縁上端のみやや褐色をおびている。胎土は灰白色。
2 碗(青磁)		表土 口 小片	外面にヘラによる刻文の簡略な蓮弁あり。内面は平滑。釉は薄い。気泡は細かく細貫入が部分的に見られ透明である。龍泉窯系。	釉は淡褐色。胎土は灰白色で明度の低い芯ができている。
3 碗(青磁)		表土 口 小片	細片からの推定だが幅太で起伏の大きな蓮弁を劃している。内面平滑。釉はやや厚くやや粗い貫入が見られる。気泡は細かく透明である。	釉は淡い空色。砧手の美しい発色。胎土は白色。
4 碗(青磁)		表土 胴下～底部片	外面に蓮弁を劃している。釉はやや厚い。やや粗い貫入が僅かに見られる。気泡はやや細かく乳濁してやや透明さに欠けている。	釉は淡い青緑色で砧手に近い発色。胎土は灰白色。
5 碗(青磁)		表土 胴下部破片	外面下半は露胎。外面はヘラ削り再調整のやや強い稜の上に櫛描き文。内面は意匠不明の劃文あり。釉は薄い。やや粗い貫入あり。気泡は細かく少ない。透明である。	釉は淡青緑色。胎土は灰白色で一部に明度の高い芯がある。
6 碗(青磁)		表土 体部下半小片	内面ヘラによる意匠不明の刻文あり。外面は強いヘラ削りによる再調整の稜ができていて。釉はきわめて薄い。細貫入が多く赤色味をおびている。気泡はやや細かく透明である。	釉はオリーブ色味をおびた淡褐色。胎土は灰白色。

遺構外出針木製品 (本文118頁 PL-37)

No.・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器器の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
1 底板	長(12.6) 幅(4.7) 厚 0.8		周縁10mmの位置に側板を受けた痕跡がわずかに観察できる。推定復元径は約16cmの小型品と思われる。加工痕はほとんど残っていない。	①ヒノキ属。柾目材。
2 底板	長(11.6) 幅(4.7) 厚 0.8		周縁11mmの位置に、深さ3mmの側板受けを削り込んでいる。復元推定径は22cm。内外面とも平坦である。	①ヒノキ属。柾目材。
3 底板	長(14.1) 幅(3.2) 厚 0.8		周縁11mmの位置に、深さ2mmの側板受けを削り込んでいる。復元推定径は21cm。	①ヒノキ属。柾目材。 ④内面の剝落がすすんでいる。
4 底板	長 20.4 幅(2.9) 厚 0.8		周縁9mmの位置に、深さ2mmの側板受けを削り込んでいる。	①ヒノキ属。柾目材。 ④外面に弱い火熱を受けていて、一部炭化している。
5 底板	長(18.0) 幅(7.0) 厚 0.7	5片を接合	危弱化がすすみ加工痕は不明瞭。側面に釘穴状の窪みあり。復元推定径は18.5cm。	①ヒノキ属。柾目材。 ④外面は広範囲に黒褐色の付着物あり。
6 底板	長(14.5) 幅(2.8) 厚 0.6	4片を接合	側面が不明瞭だが、復元推定径は15cmほどと思われる。加工痕は残っていない。	①マツ属。板目材。 ④表裏不明。
7 底板	長(20.8) 幅(6.0) 厚 0.7	6片を接合	周縁11mmの位置に、深さ2mmの側板受けを削り込んでいる。内外面ともに規則的な擦痕が見られる。復元推定径22cm。	①ヒノキ属。柾目材。
8 底板	長(16.2) 幅(4.8) 厚 0.8		片面が著しく剝落している。復元推定径20cmほどか。	①ヒノキ属。板目材。 ④表裏不明。

遺物観察表

No・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
9 不明 (板状品)	長(9.9) 幅(5.5) 厚 1.0		木口部分は片側が残存している。片面は剥落がすすんでいる。	①ケヤキ。柾目材。 ④表裏不明。
10 不明 (角柱状品)	長 17.7 幅 1.6 厚 1.3		端部は不明瞭だが、完形品と思われる。一辺に粗い削り込みを加えている。また開口部の幅が一方で9×2mm、他方で7×5mmの孔が貫通している。	①ヒノキ属。板目材。 ④一部に火熱を受けて炭化している。
11 不明 (角柱状品)	長(13.2) 幅 2.1 厚 1.2		遺存状態は良く、完形に近いものと思われる。側面の一方のみ砥ぎ込んだように平滑になっている。	①マツ属。柾目材。 ④各面に火熱を受けており、一部で著しく炭化している。
12 不明 (角柱状品)	長 26.2 幅 4.5 厚 2.8	ほぼ完形	遺存状態はきわめて良い。側面に幅広い加工痕が残っている。両端部はやや摩滅している。	①モミ属。板目材。
13 不明 (板状品)			曲物の底板に似ているが、平坦な木口面が残存している。釘穴状の貫通孔が数多く見られるが、虫喰いの痕と区別できない。遺存状態は悪い。	①ヒノキ属。板目材か。
14 杭	長(20.5) 径 5.1~4.4		下端は四方から削り出している。表皮は残存しない。	①ヤマグワ。心持ち材。小さく湾曲している。
15 杭		2片を接合	下端は五方から削り出し、粗い工具痕が明瞭に観察できる。表皮は残存しない。	①モモ。心持ち材。節の多い材である。

遺構外出土遺物(本文120頁 PL-37)

No・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
1 杯(土師)	口(10.4) 高 3.5	B区表土2片 ⅔個体	外面の削りは息長く強い。外底中央に押圧痕状の歪みあり。内面のナデは丁寧。	①やや緻密な素地。パミスまじりの粗砂を少量含む。 ②酸化焰。やや硬調。 ③橙5YR6/6。一様。
2 杯(土師)	口(10.6) 高 3.0	B区表土2片 ⅔個体	外底の削りは細かくやや雑。口縁のナデは上端のみ。歪み著しく傾き、径ともに不安。	①素地普通。パミス、角閃石等を少量含む。 ②硬調の酸化焰で焼き締まる。 ③橙2.5YR6/6。黄色味の強いムラあり。
3 杯(土師)	口(12.0) 高 4.4	B区表土3片 口 ⅓ 底 ⅔	外底の削りは規則的でやや強い。内面のナデは丁寧だが底部はやや平滑さ欠く。内底に「×」になるとと思われる不明瞭な焼成後の線刻あり。	①素地普通。角閃石、石英、1mm大の礫を少量含む。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙5YR6/4。赤色味、黒色味をおびるムラ多く一様でない。
4 杯(土師)	口(13.0)	A区k-11 グリッド 口 ⅓ 底 ⅔	口縁外面には強い2条の沈線が巡る。外底の削りはやや雑。内面は平滑。内底に凍てハゼ状の剥落あり。	①やや粗い素地。赤褐色鉱物、パミス、角閃石等を含む。 ②酸化焰。やや硬調。 ③にぶい橙7.5YR7/3。内面やや明度低い。
5 鉢(土師)	口 14.1 高 6.1~5.7	A区e-0 グリッド ⅔個体	外面の削りは雑。口縁外面と内面に幅太の雑で不明瞭な磨きを施している。内底は不明。	①素地普通。1~2mm大の石英、パミス等やや大粒の混入物多い。②軟調の酸化焰でしまり欠く。 ③にぶい赤褐2.5YR5/4。断面は黄色味強い。 ④内底の剥落すすむ。
6 蓋(須恵)	口(15.2)	B区表土2片 図示部の⅔	右回転ロクロ。天井部は広い範囲に回転利用のヘラ削り。内面はやや強いロクロ痕が巡っている。内面中央はやや摩滅している。	①素地緻密。黒色鉱物を少量含む。 ②還元焰。やや硬調。 ③青灰5BG6/1。断面は黄色味をおびている。外面にのみ黄灰色の降灰釉かかる。
7 甕(土師)	口(18.6) 頸(13.2)	C区6~7a層 2片 図示部の⅔	外面の削りはやや粗い。口縁と内面のナデは丁寧で細かな擦痕が規則的に巡っている。	①素地普通。輝石、パミス、チャート等の混入やや多い。②酸化焰。普通。 ③橙2.5YR5/6。内面は彩度低い。
8 甕(土師)	口(16.2) 頸(13.6)	B区表土 図示部の⅔	外面はきわめて細かなハケ目状の擦痕口縁のナデは強くS字状に似た屈曲をしている。内面のナデは丁寧。	①ボソボソしたやや粗い素地。2mm大のパミスを少量含む。②酸化焰。普通。 ③暗赤褐5YR3/2。内面はやや明度高い。
9 杯(須恵)	口(13.2) 底 8.7 高 3.3	C区試掘坑 ⅔個体	右回転ロクロ→回転ヘラ切り。外底縁部の一部にきわめて弱い手持ちのヘラ削りを加える。ロクロ痕弱く不明瞭。	①やや砂質の素地。黒色鉱物、チャート等を少量含む。②やや硬調の還元焰。 ③灰白10Y7/1。ほぼ一様。
10 杯(須恵)	口(13.0) 底 8.7 高 3.6	C区6~8a層 口 ⅓ 底 ⅔	右回転ロクロ→外底全面回転利用のヘラ削り。ロクロ痕はきわめて弱い。	①ガサガサしたやや軽量の素地。黒色鉱物、チャート等を含む。②還元焰。やや硬調。 ③灰白10Y8/1。ほぼ一様。
11 陶硯	脚下(15.0)	C区試掘坑 脚一窓の1単位のみ残存	窓は12個か。外面から強く穿っており切り口は平滑だがはみ出した粘土は調整していない。	①素地緻密。黒色鉱物、片岩等を含んでいる。 ②硬調の還元焰で焼き締まる。 ③灰10Y6/1。外面はムラ多く降灰釉わずかにかかっている。

旧流路跡の窪地出土漆付着の土器 (本文134頁 PL-38)

No・器種	計測値(cm)	出土・復元状況	成・整形技法と器形の特徴	備考 ①胎土・材質 ②焼成 ③色調 ④その他
漆-1 杯(土師)	口(13.2)	3区埋没土3片 口 ⅔ 底 ⅔	丁寧な作りの杯である。外底の削りは弱いが平滑で口縁下半の無調整部分も目立たない。内底のナデは同心円状の規則的な擦痕が巡る。	①素地普通。混入物少ない。 ②酸化焰。普通。 ③にぶい橙5YR6/4。 ④内面の広い範囲にやや厚く漆が付着。
漆-2 瓶(須恵)	口(7.4) 胴(9.0)	4区埋没土5片 図示部の⅔	内面全体に指頭痕状の凹凸あり。特に肩部付近で著しい。外面は粗いカキ目が巡っている。	①素地普通。混入物少なく良好。 ②還元焰。普通。 ③灰白10Y8/1。
漆-3 杯(土師)	口13.5程か	1区礫層内 口小片	口縁外面に稜があり下半は無調整。外底の削りはやや粗い。内面にも細かな凹凸あり。	①素地普通。混入物は少ない。 ②酸化焰。普通。③にぶい橙7.5YR7/4。ほぼ同様。 ④口縁内面と外端の一部にスス状の付着物あり。
漆-4 杯(土師)	口13.0程か	埋没土 口小片	外底の削り内底のナデともやや強い。	①素地普通。パミス、輝石等を少量含む。 ②酸化焰。普通。③にぶい橙5YR7/4。外底黒斑広い。
漆-5 杯(土師)		4区埋没土 底小片	平底気味の杯である。外底の削りは細かい。	①素地普通。赤褐色鉱物、1mm大の礫等を少量含む。 ②酸化焰。普通。③にぶい橙5YR6/4。ほぼ同様。 ④内面の漆はやや厚い。
漆-6 杯(土師)		4区埋没土 口小片	残存部分では外面の削りやや雑。小破片からの復元で傾き不安。	①素地普通。パミス以外の混入物は少ない。 ②酸化焰。普通。 ③外面黒色。内面にぶい橙7.5YR7/3。
漆-7 杯(土師)		埋没土 底⅔	やや厚手の杯である。内底に細かな凹凸あり。	①素地やや粗い。赤褐色鉱物まじりの砂粒を含む。 ②酸化焰。普通。③にぶい橙5YR7/3。ほぼ同様。 ④漆状の付着物は内外面ともやや薄い。
漆-8 杯(土師)		4区埋没土 口小片	外底の削りやや粗い。口縁のナデは上端のみで無調整部分が広い。	①素地普通。パミス、1mm大の礫等を少量含む。 ②酸化焰。やや硬調。③にぶい橙5YR7/4。 ④内面の漆は厚く、外面はやや薄い。

住居出土こも編石 (PL-38)

No	出土遺構	出土位置	石材	長さ(cm)	幅(cm)	重さ(g)	備考
1	2号住居	南東隅床直上	粗粒安山岩	12.6	6.2	250	
2	2号住居	西壁下床直上28cm	溶結凝灰岩	11.8	4.3	200	
3	2号住居	南西隅床直上30cm	はんれい岩	13.7	6.5	740	
4	2号住居	南東隅床直上14cm	粗粒安山岩	13.5	7.3	510	
5	2号住居	西壁下床直上11cm	変質玄武岩	16.5	7.6	600	
6	4号住居	南壁下床直上	変質安山岩	13.1	4.7	350	
7	4号住居	南壁下床直上	ひん岩	11.5	5.1	340	
8	6号住居	東壁下床直上6cm	石英閃緑岩	10.8	4.6	270	
9	6号住居	南東隅床直上	溶結凝灰岩	11.7	5.0	250	
10	6号住居	フク土	粗粒安山岩	11.3	7.1	250	
11	9号住居	北西隅床直上	粗粒安山岩	12.7	5.5	250	
12	10号住居	西壁下床直上	粗粒安山岩	13.3	6.3	550	
13	12号住居	北壁下床直上	溶結凝灰岩	12.0	6.9	540	
14	12号住居	南東隅床直上	輝緑岩	13.0	6.0	490	
15	12号住居	北西隅床直上	石英閃緑岩	12.3	5.0	560	
16	12号住居	西壁下床直上	粗粒安山岩	15.7	6.7	490	
17	12号住居	北西隅床直上	変質安山岩	15.2	5.3	350	

写 真 图 版



墨書土器・円面硯・砥石



漆附着の土器

PL-2 漆様物資の顕微鏡写真



写真1, 漆1の落射光による写真(×100)



写真5, 漆2の落射光による写真(×100)



写真9, 漆5の落射光による写真(×100)



写真13, 漆7の落射光による写真(×100)



写真2, 漆1の透過光による写真(×200)



写真6, 漆2の透過光による写真(×100)



写真10, 漆5の透過光による写真(×100)



写真14, 漆7の透過光による写真(×400)



写真3, 漆2の落射光による写真(×100)



写真7, 漆4の落射光による写真(×100)



写真11, 漆6の落射光による写真(×100)



写真15, 漆8の落射光による写真(×400)



写真4, 漆2の透過光による写真(×100)



写真8, 漆4の透過光による写真(×200)



写真12, 漆6の透過光による写真(×100)



写真16, 漆8の透過光による写真(×400)





住居群全景(北から)



1号住居全景



1号住居遺物出土状態(南から)



1号住居セクション(西から)





2号住居全景(西から)



2号住居遺物出土状態



2号住居カマド遺物出土状態



2号住居カマドセクション



3号住居全景



3号住居遺物出土状態



3号住居セクション(東から)



3号住居セクション(南から)



4～7号住居全景



4号住居全景(西から)



4号住居壁下木板跡(南西コーナー付近)



4号住居カマド掘り方セクション



4号住居カマド掘り方



5号住全景(西から)



5号住居カマドセクション



6号住居全景(西から)



6号住居遺物出土状態



6号住居カマド掘り方



6号住居セクション(西から)



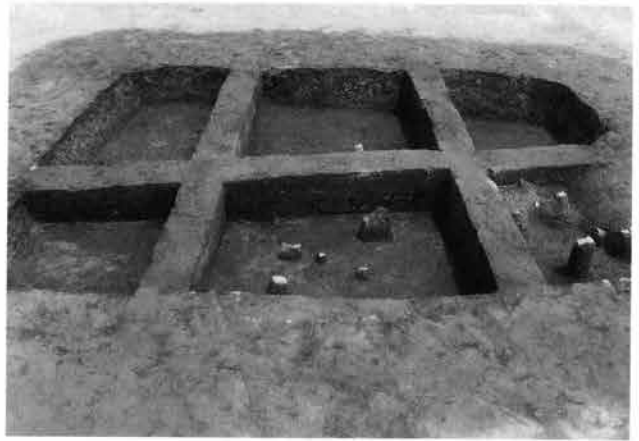
6号住居貯蔵穴セクション



6号住居カマド掘り方セクション



7号住居全景(西から)



7号住居セクション(南から)



7号住居遺物出土状態



7号住居カマドセクション



8号住居全景(西から)



8号住居遺物出土状態(西から)



8号住居カマド遺物出土状態



8号住居カマド掘り方



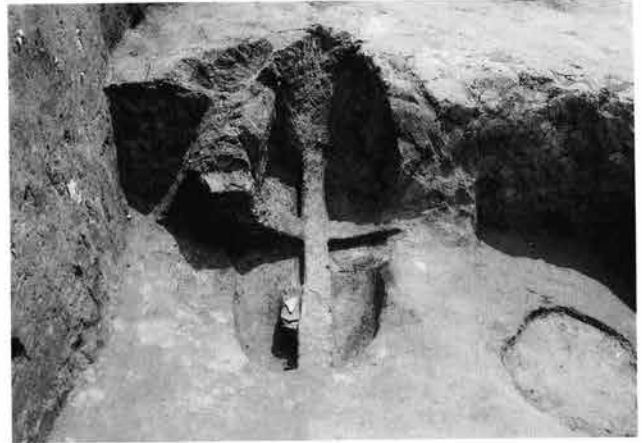
9号住居全景(西から)



9号住居セクション(南から)



9号住居遺物出土状態



9号住居カマド掘り方



10号住居全景(西から)



10号住居セクション(南から)



10号住居セクション



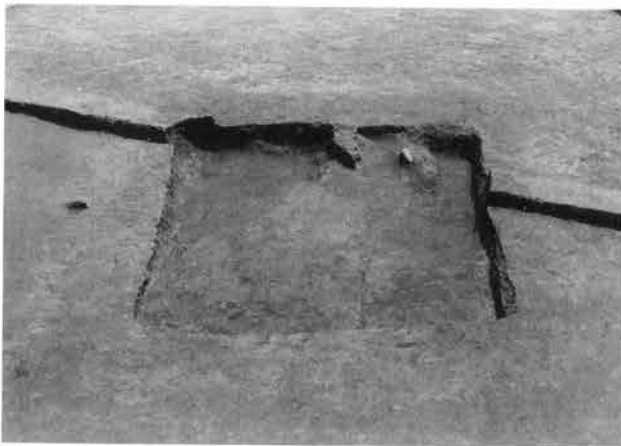
10号住居掘り方



11号住居全景(西から)



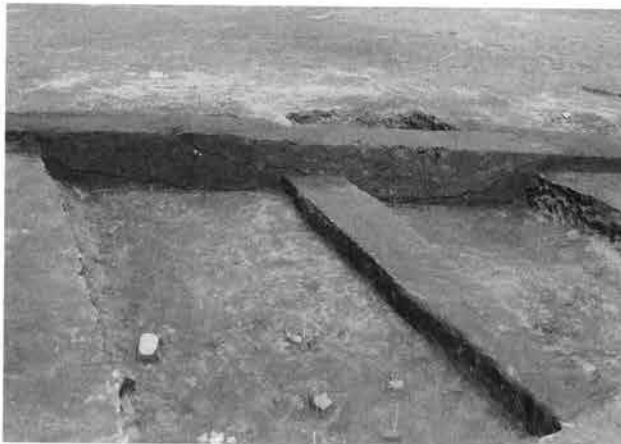
11号住居遺物出土状態



12号住居全景(西から)



12号住居遺物出土状態



12号住居セクション(西から)



12号住居カマド



12号住居カマドセクション



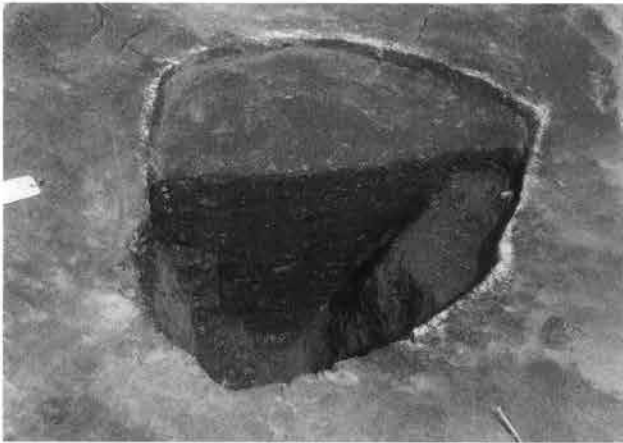
12号住居カマド掘り方



1号掘立柱建物全景(西から)



P2・P2'セクション



P3セクション



P4セクション



1・2号掘立柱建物全景(西から)



2号掘立柱建物P8セクション



2号掘立柱建物全景(南から)



2号掘立柱建物P6セクション

PL-12 1～4号土坑



1・2号土坑全景(西から)



3・4号土坑(南から)



1号土坑(南から)



1号土坑セクション



2号土坑(南から)



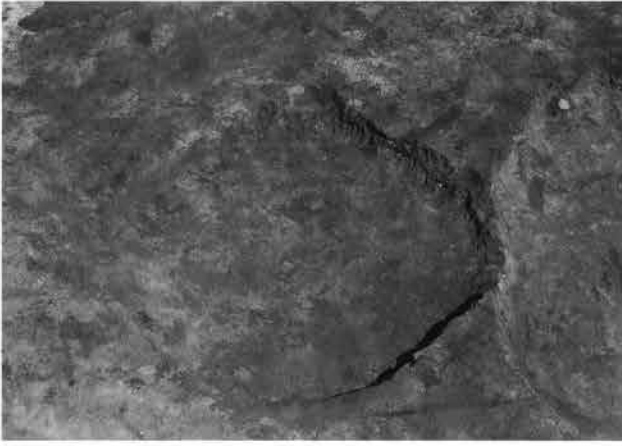
2号土坑セクション



3号土坑(南から)



3号土坑セクション



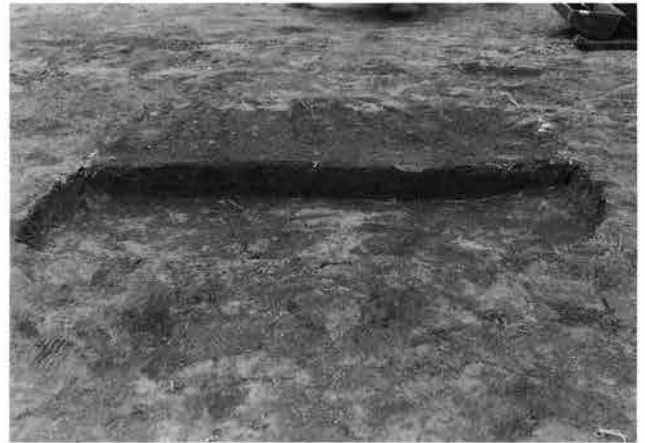
4号土坑(南から)



4号土坑セクション



5号土坑(南から)



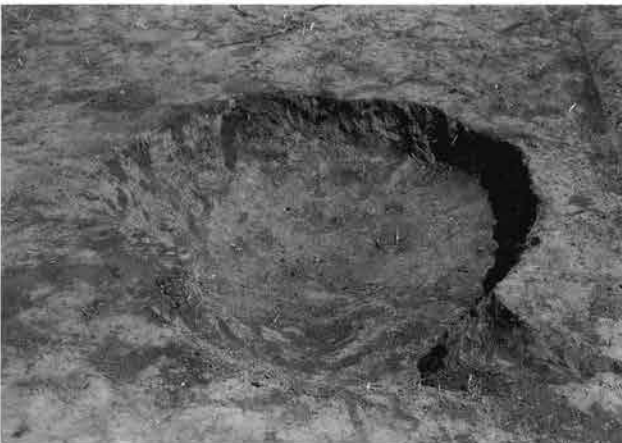
5号土坑セクション



6号土坑(北東から)



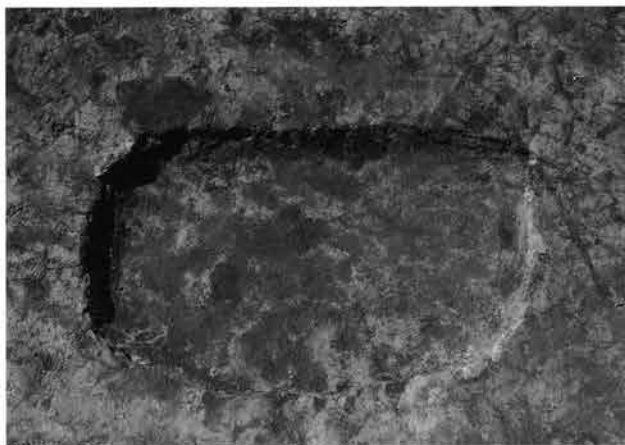
6号土坑セクション



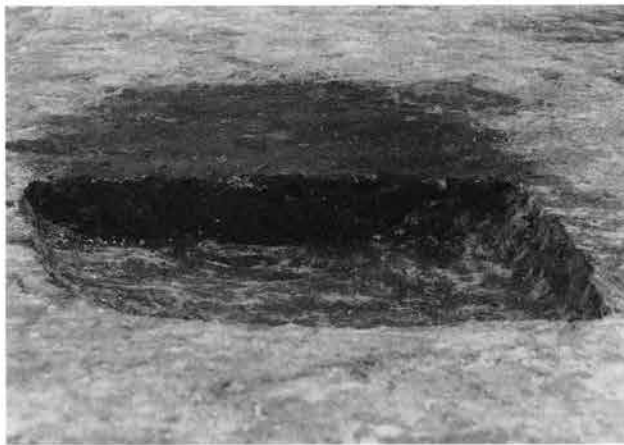
7号土坑(南から)



7号土坑セクション



8号土坑(北から)



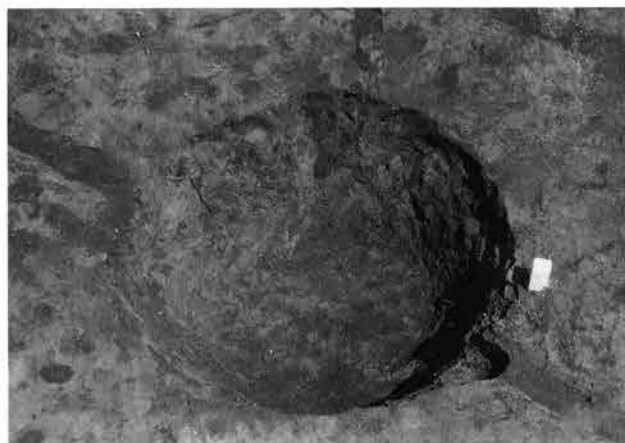
8号土坑セクション



9号土坑(西から)



9号土坑セクション



10号土坑(南から)



10号土坑セクション



11号土坑セクション



12号土坑遺物出土状態



流路跡の窪地の全景



1～4区全景



セクション



砥石出土状態



遺物出土状態

PL-16 流路跡の窪地(2)・溝



流路跡遺物出土状態



流路跡遺物出土状態



1号溝南半全景



1号溝セクション



1号溝北半全景



1号溝遺物出土状態



2号溝全景(南から)



3・4・5号溝全景(南から)



8・9・10号溝全景(東から)



6号溝セクション



8号溝セクション



9号溝遺物出土状態



10号溝セクション



C区水田全景(西から)



C区第1面水田



C区第1面水田(西から)



C区第2面水田(南西から)



C区第2面水田(南から)



A区水田全景(南東から)



A区水田(北東から)



A区水田(西から)



A区水田(南から)



A区水田(南から)

PL-20 竪穴住居出土遺物(2～8号住居)

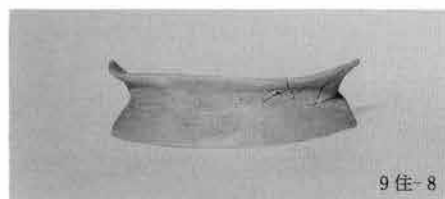




9住-1



9住-7



9住-8



9住-5



9住-6



10住-1



10住-4



10住-6



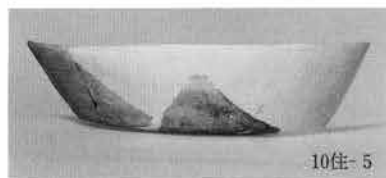
10住-7



10住-8



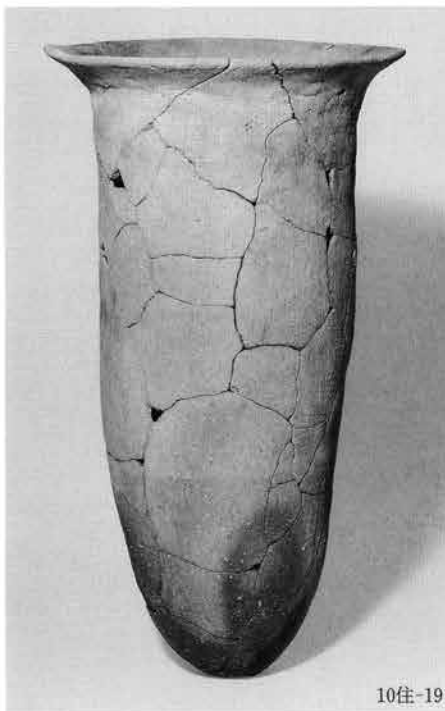
9住-10



10住-5



10住-18



10住-19



10住-17



11住-2



11住-7



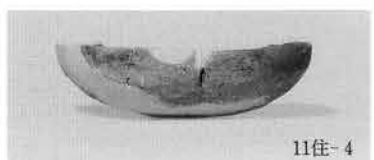
12住-1



11住-3



11住-8



11住-4

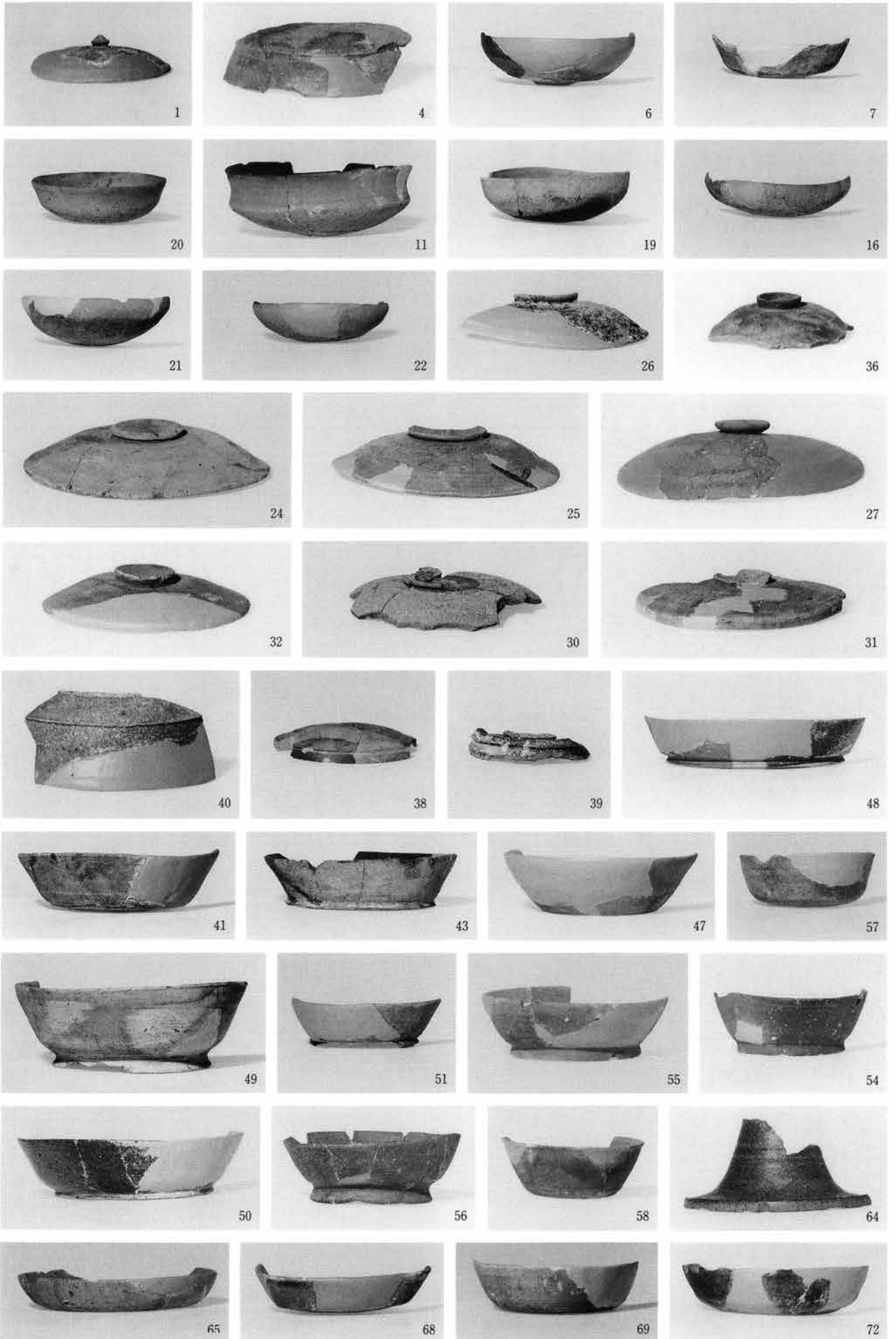


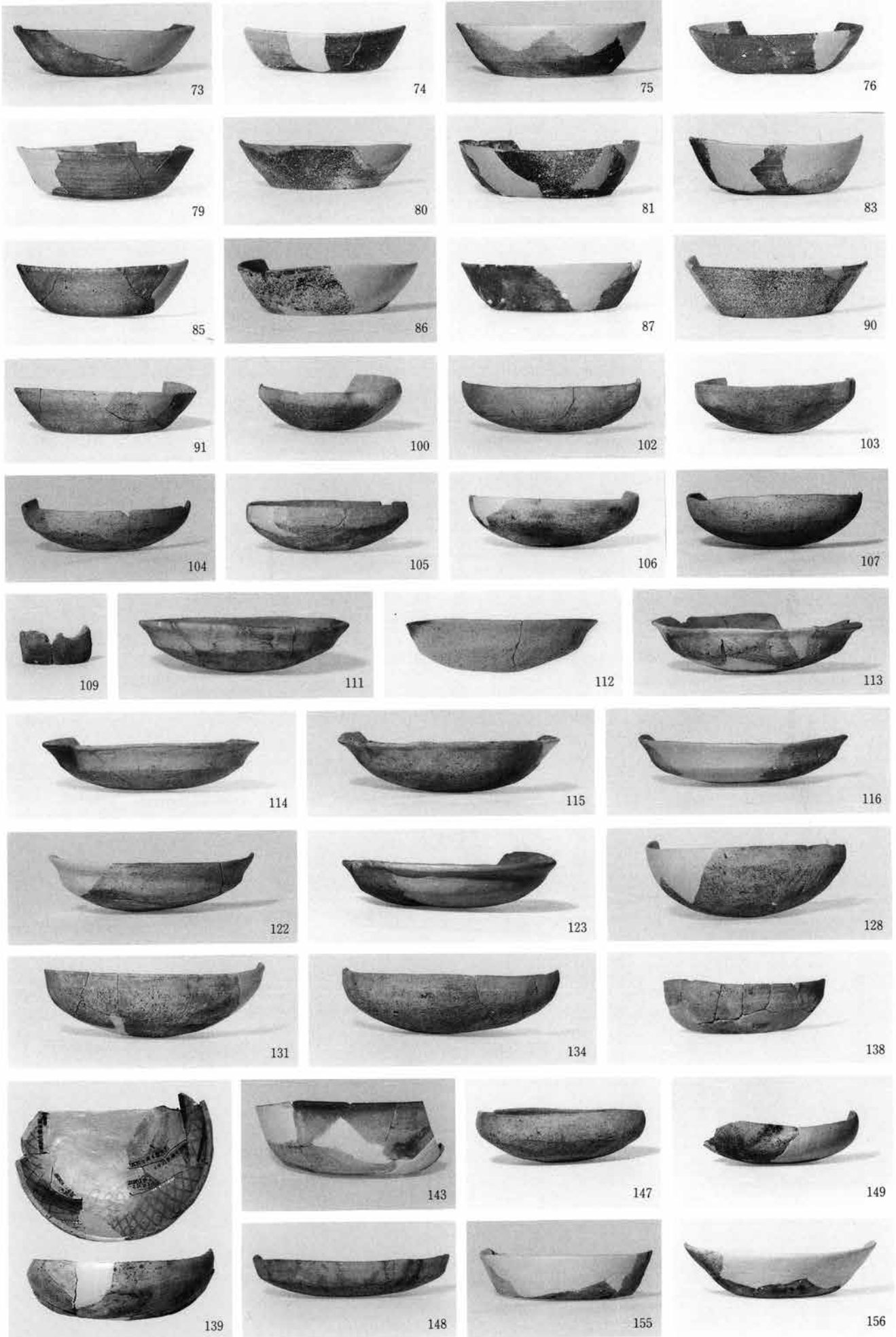
11住-5



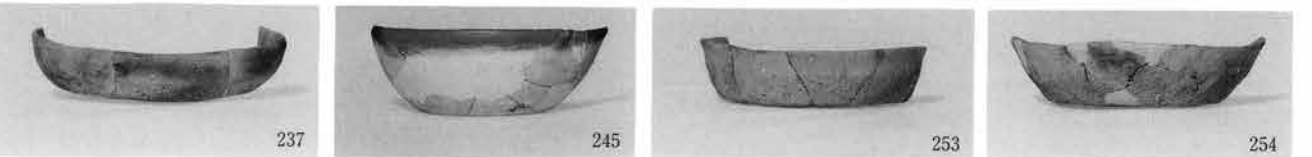
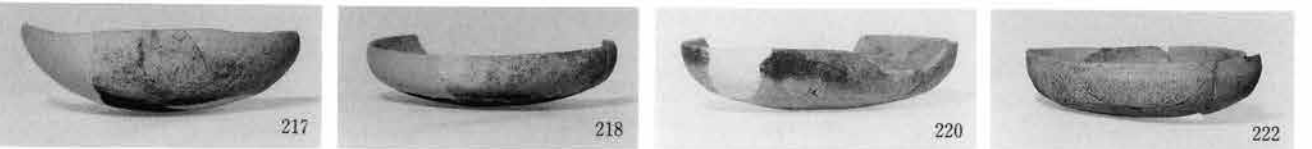
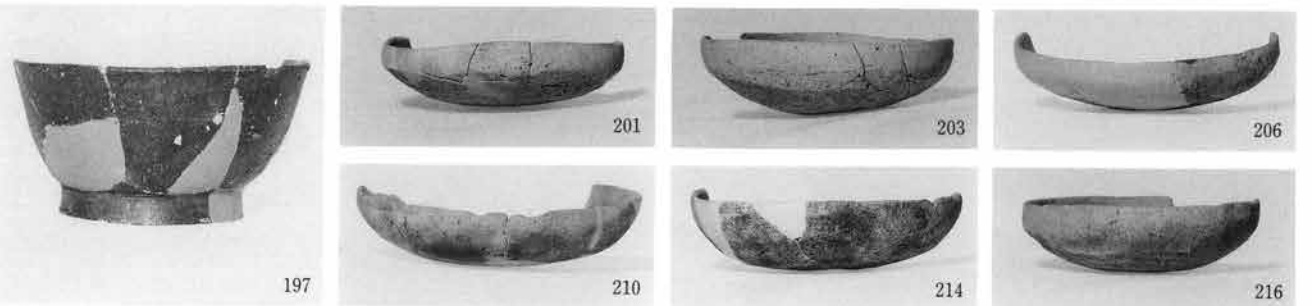
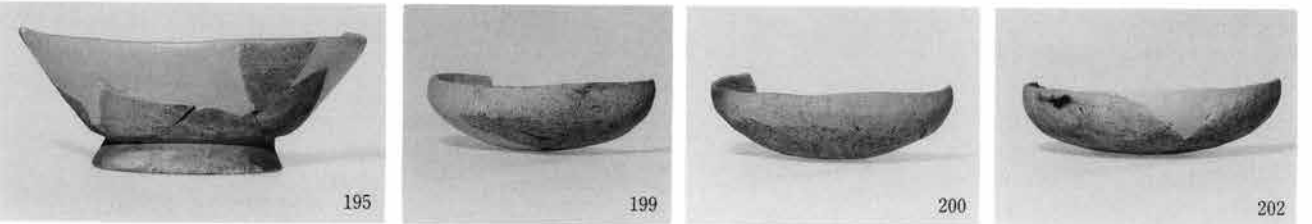
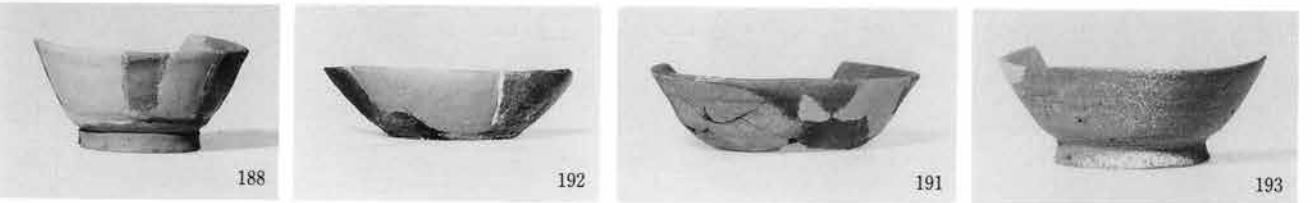
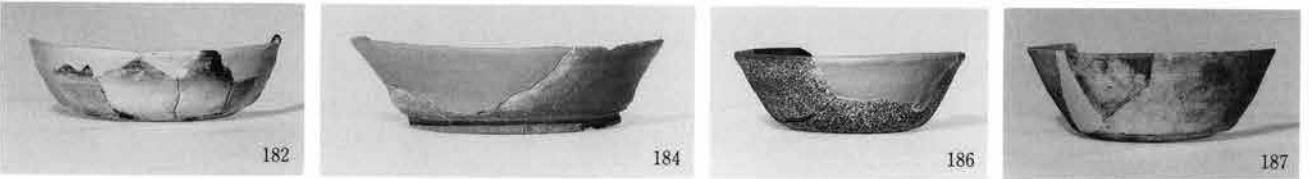
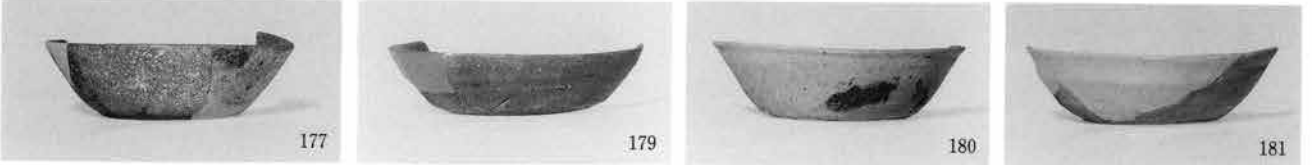
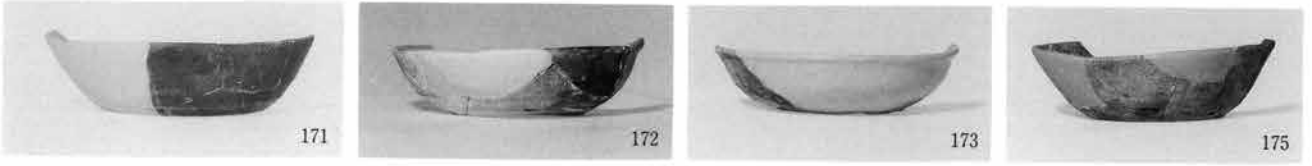
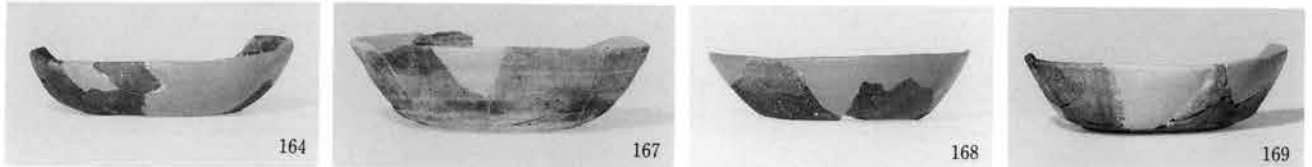
12住-2

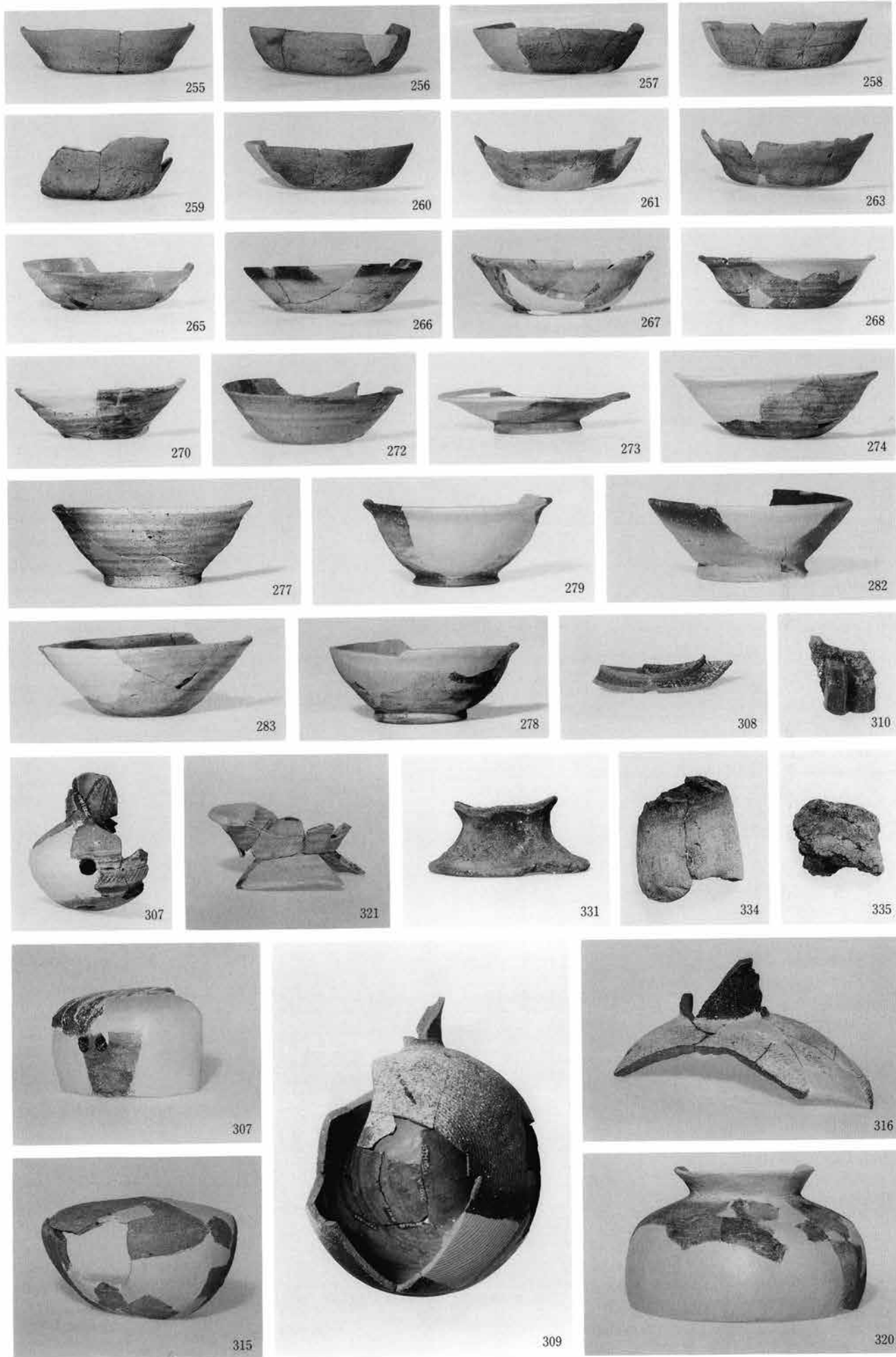
PL-22 流路跡の窪地出土遺物(1~72)





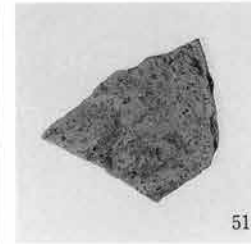
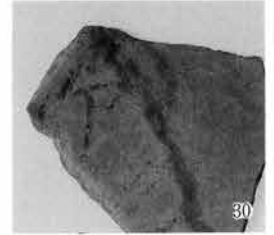
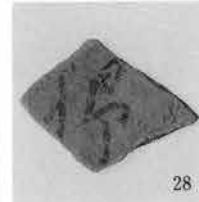
PL-24 流路跡の窪地出土遺物(164~254)

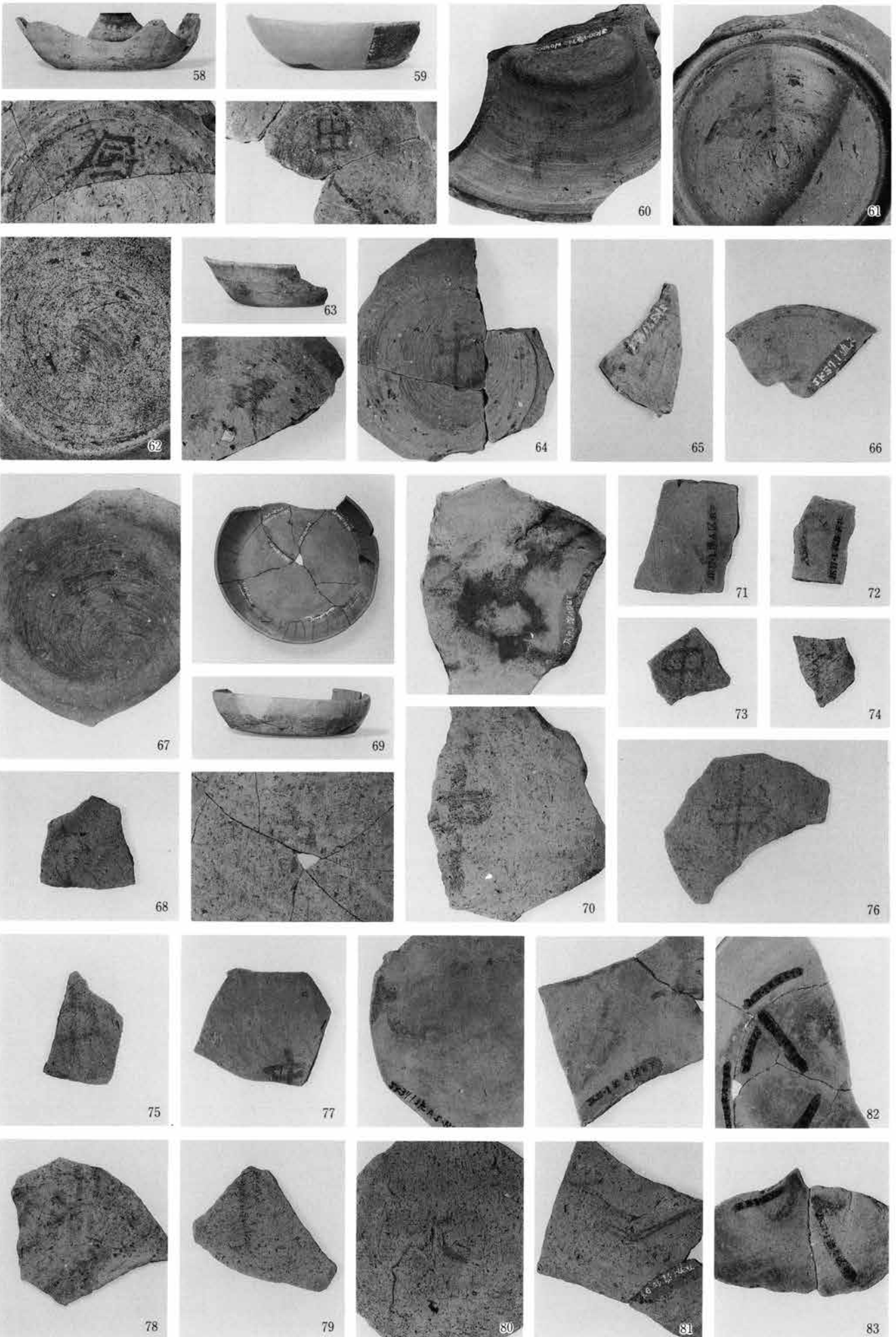




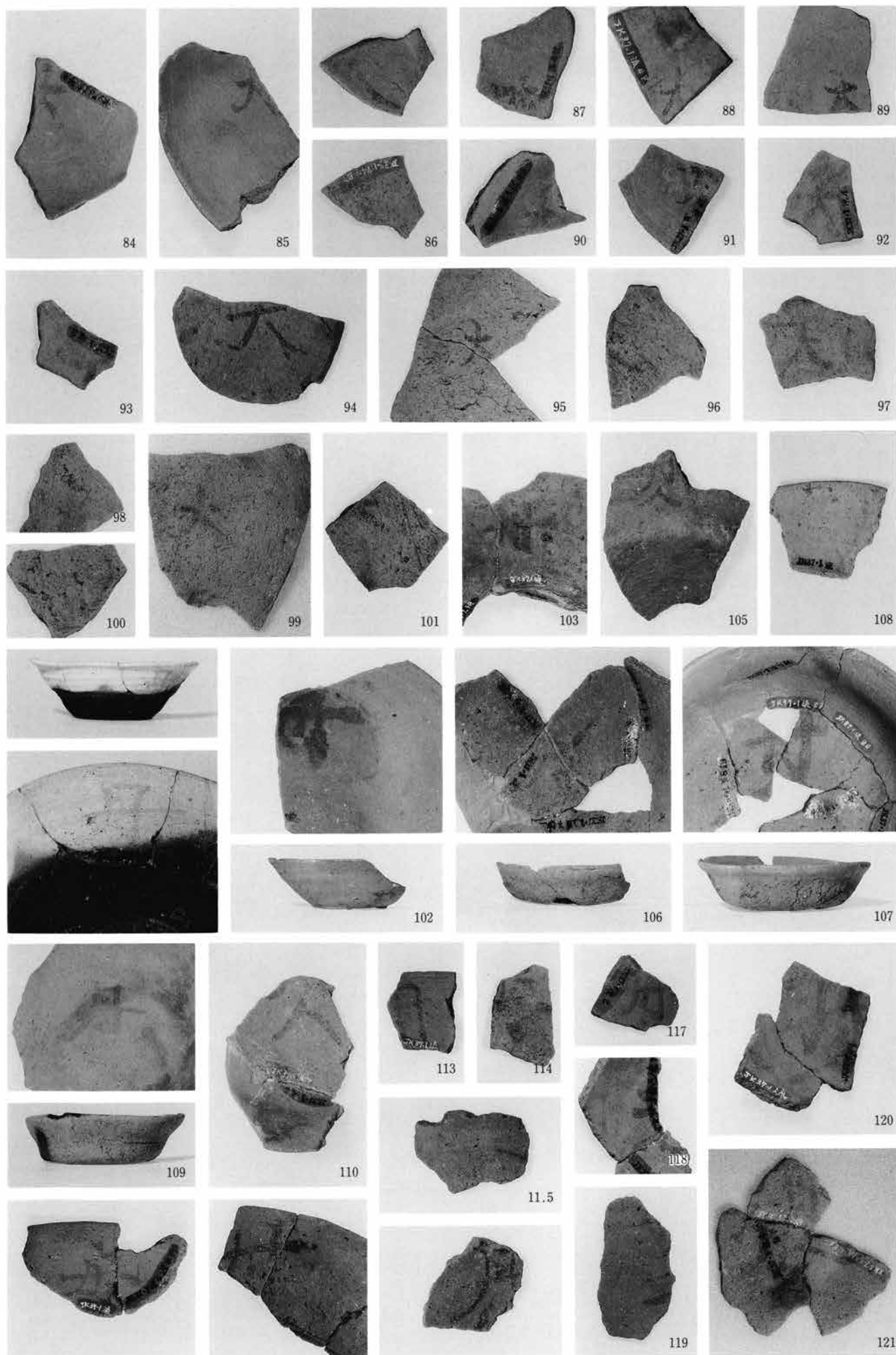


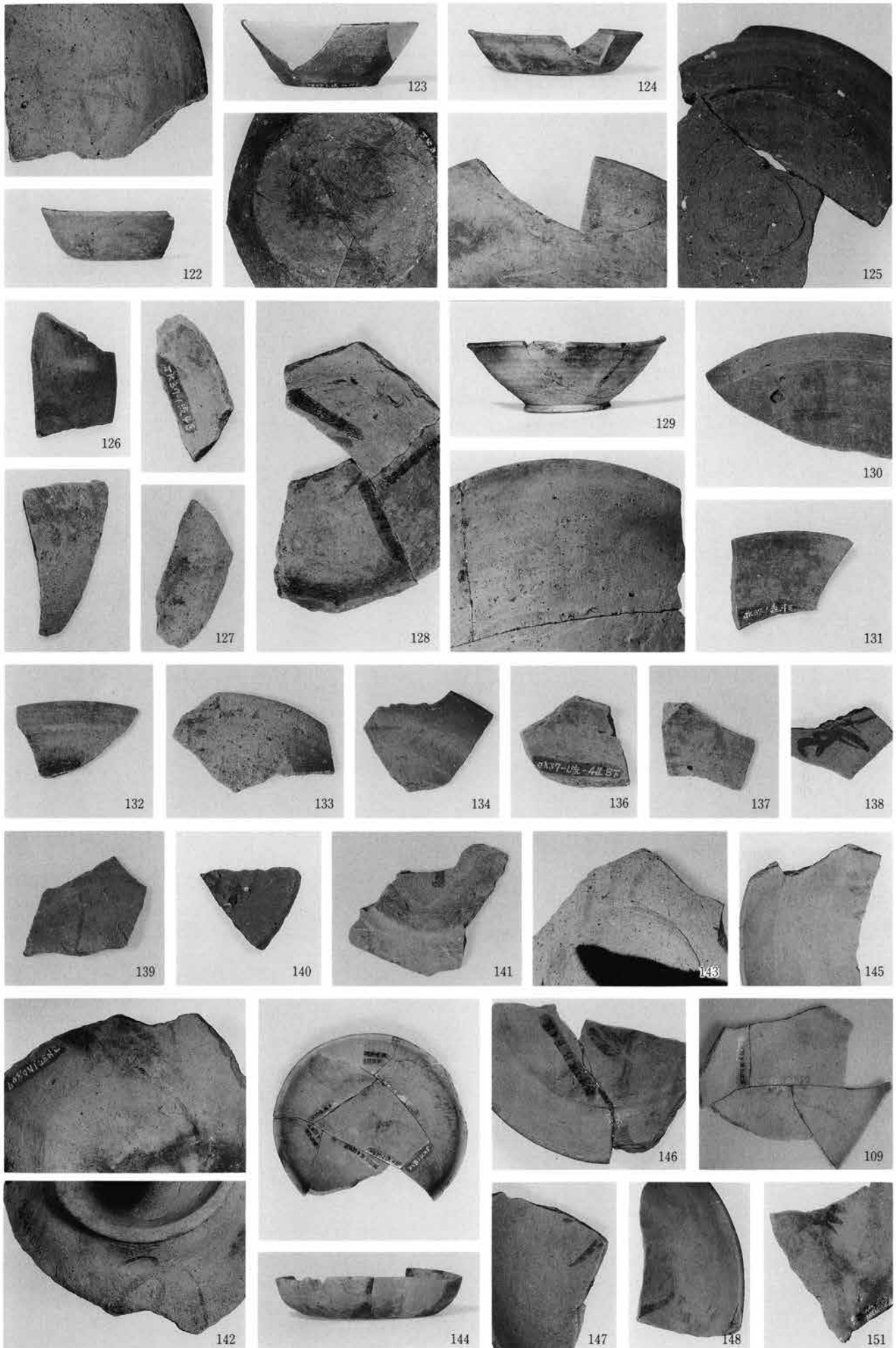
PL-28 窪地出土の墨書土器(25~57)



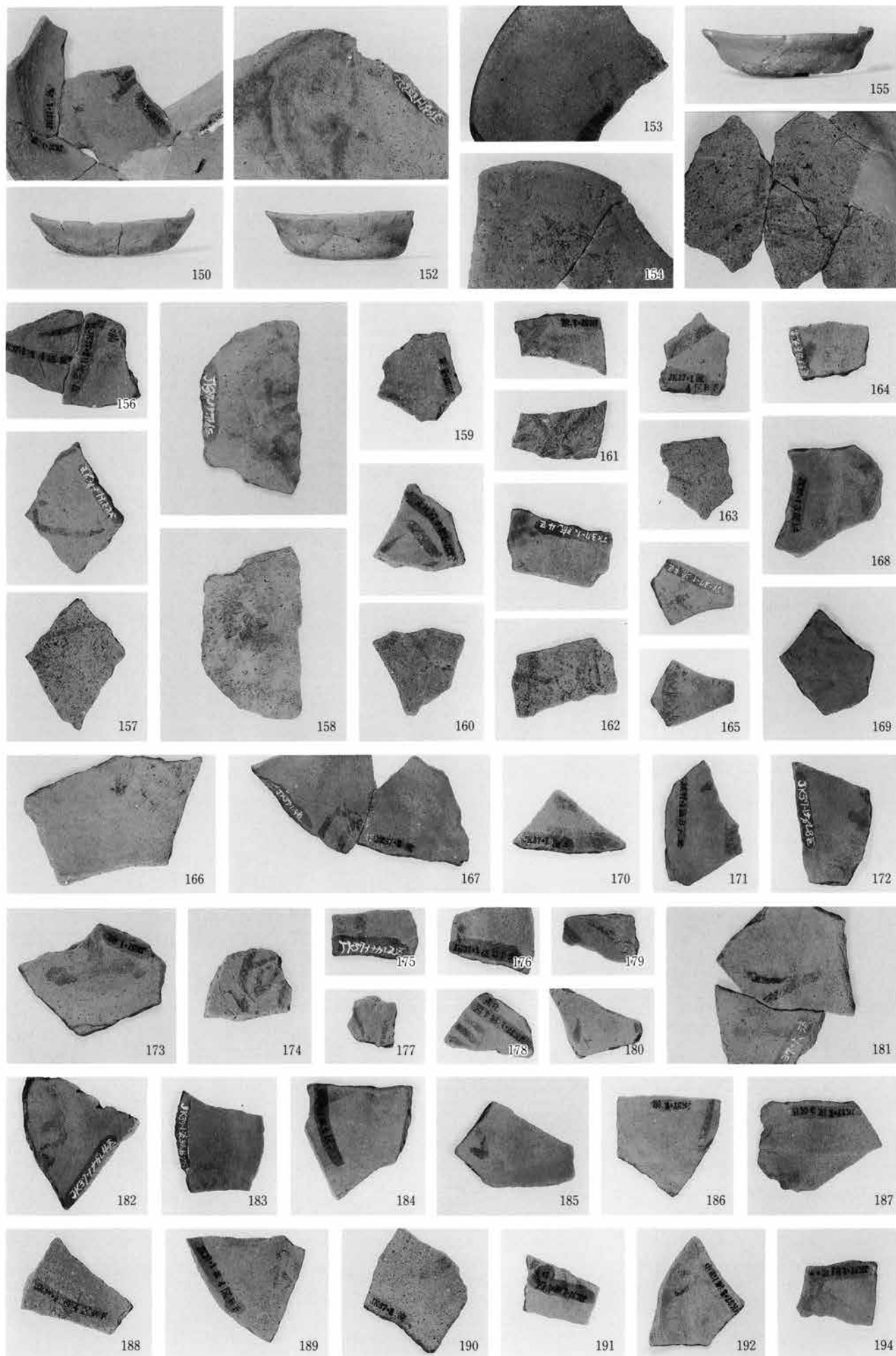


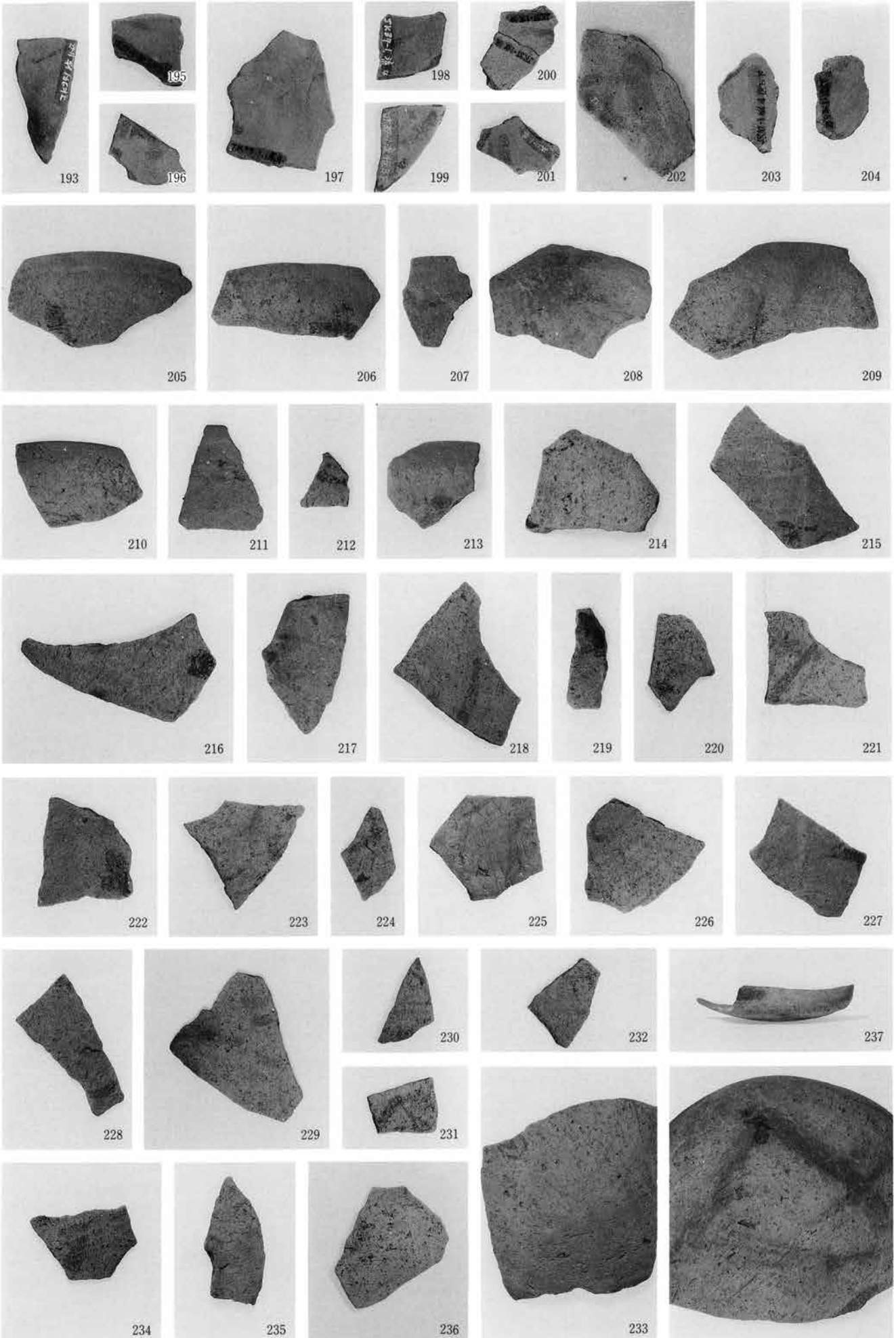
PL-30 窪地出土の墨書土器(84~121)



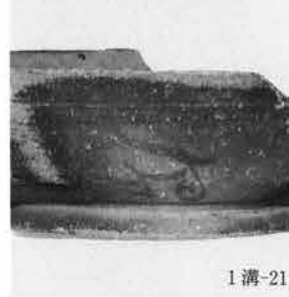
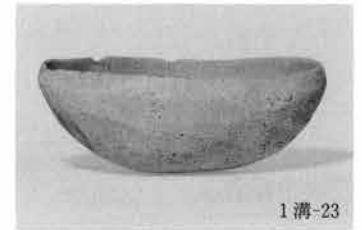
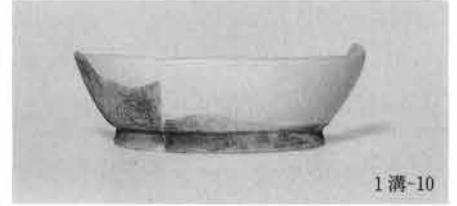
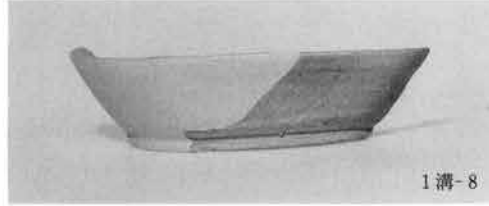
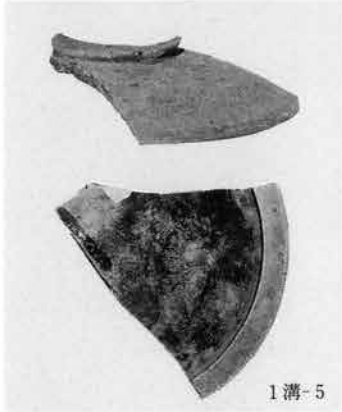


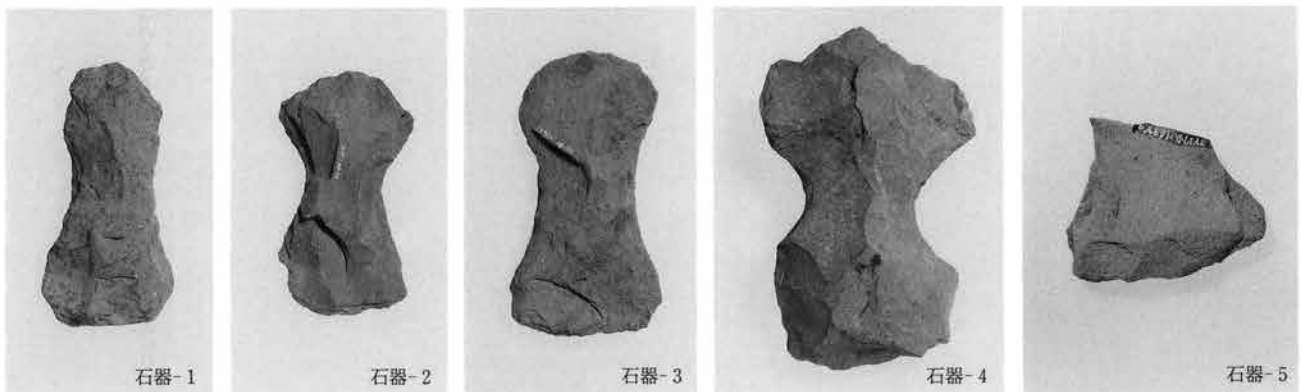
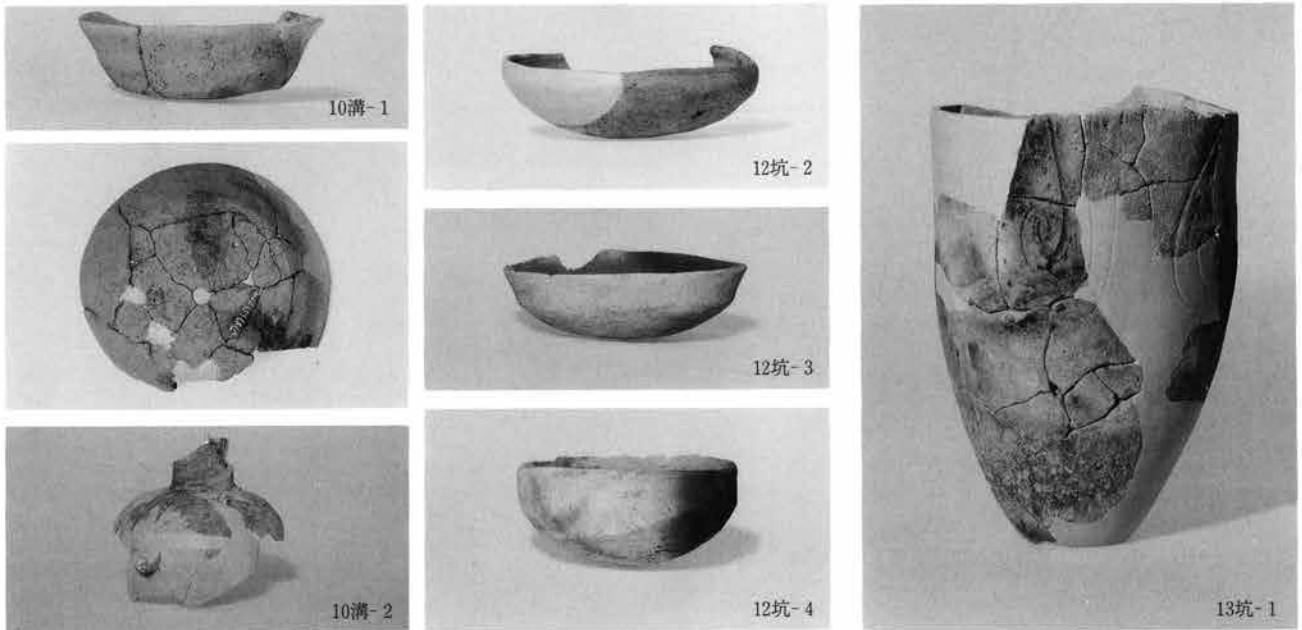
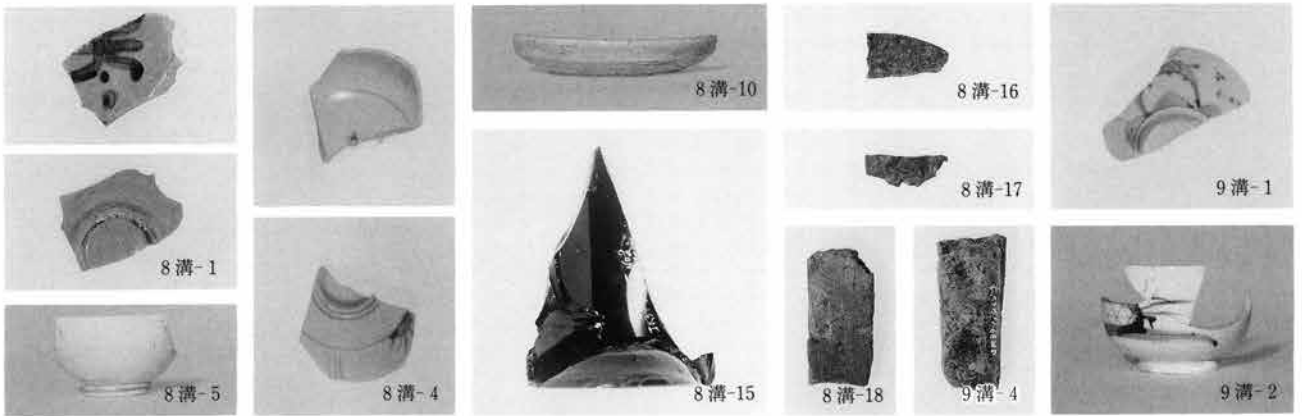
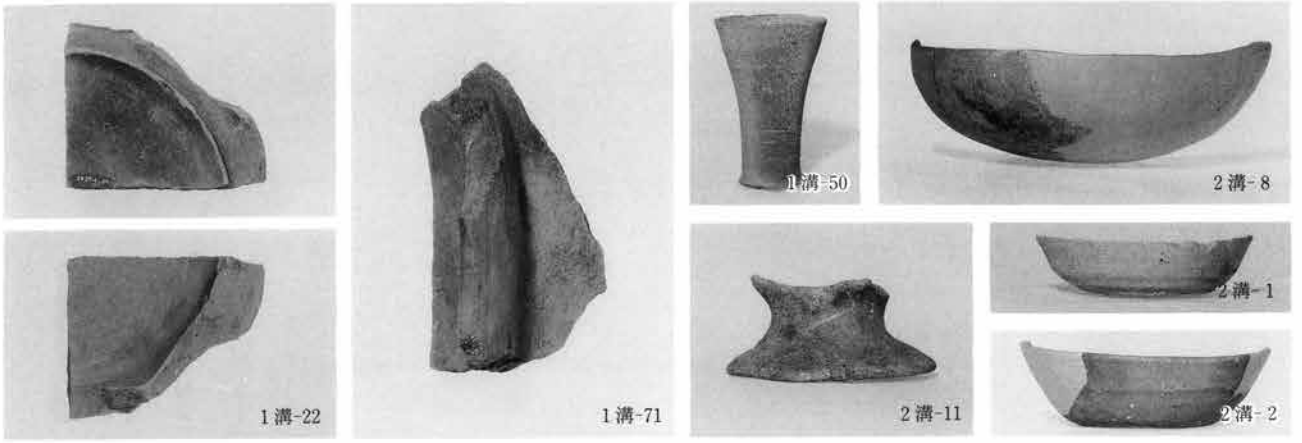
PL-32 窪地出土の墨書土器(150~194)



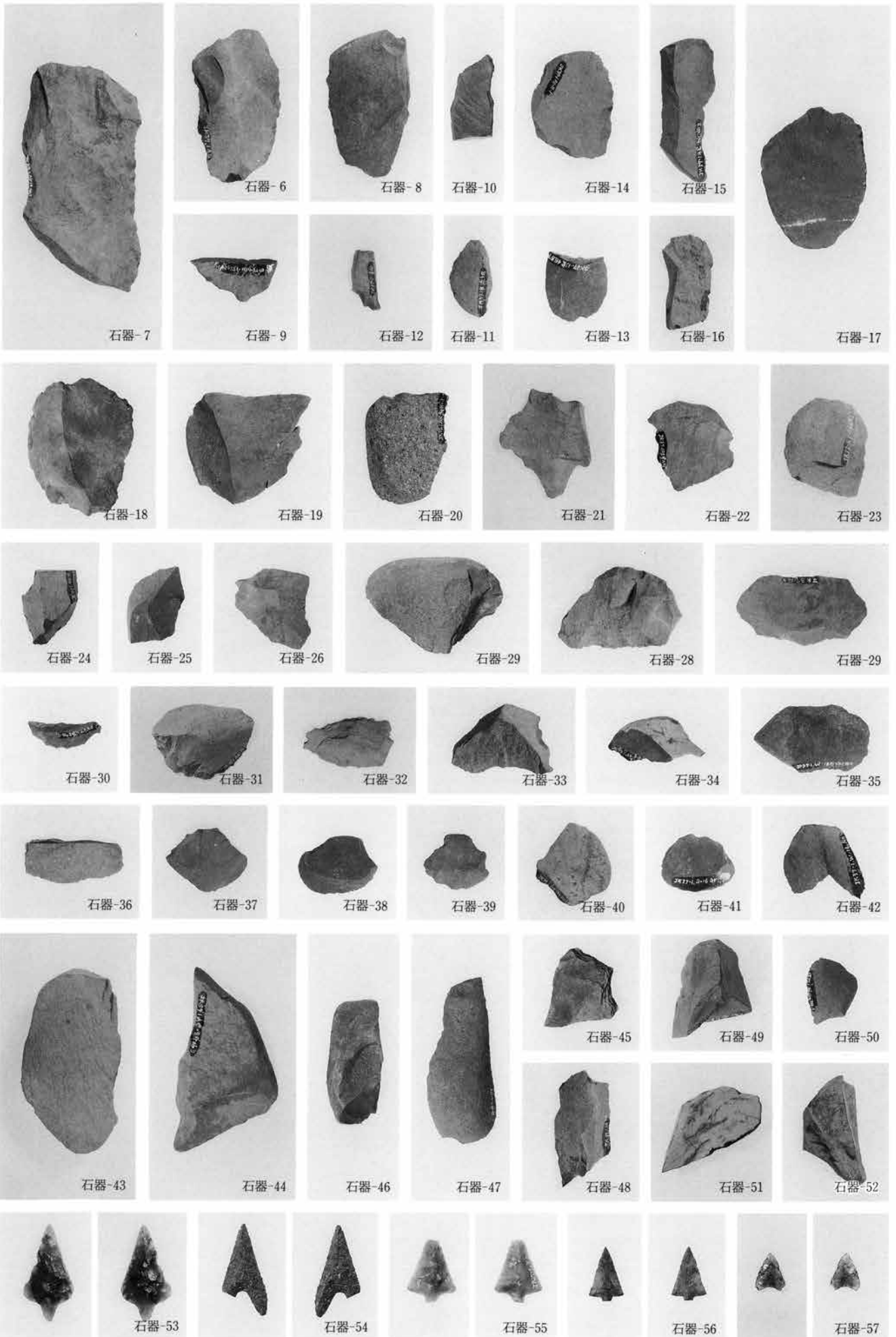


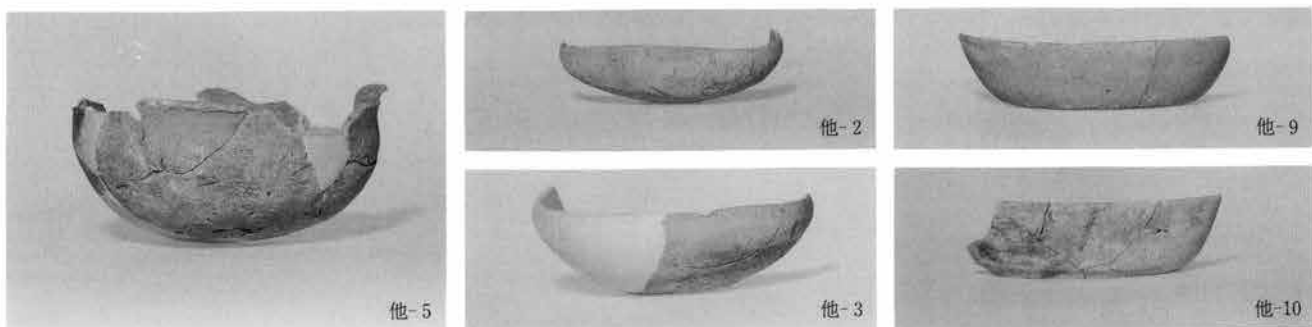
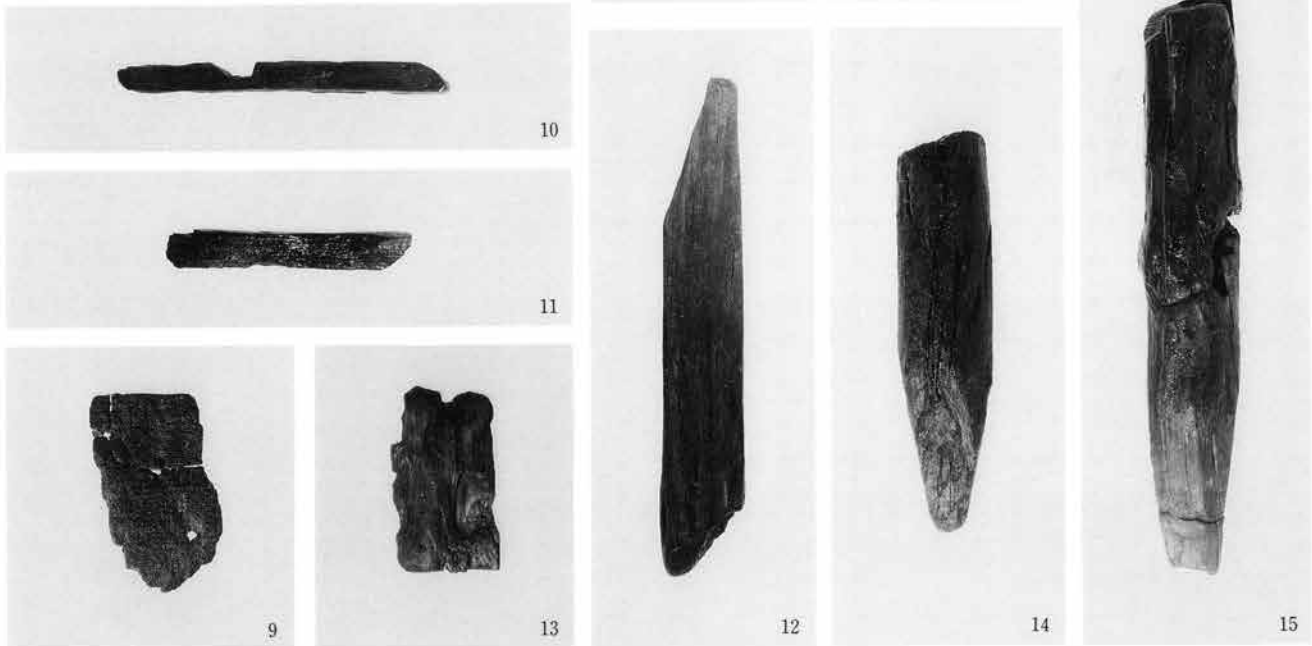
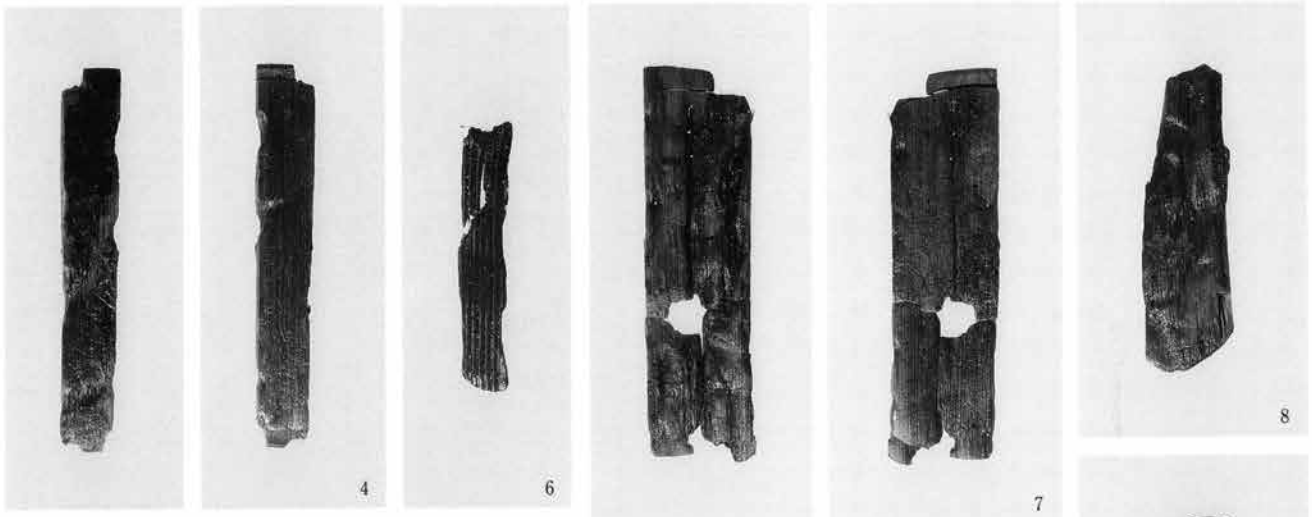
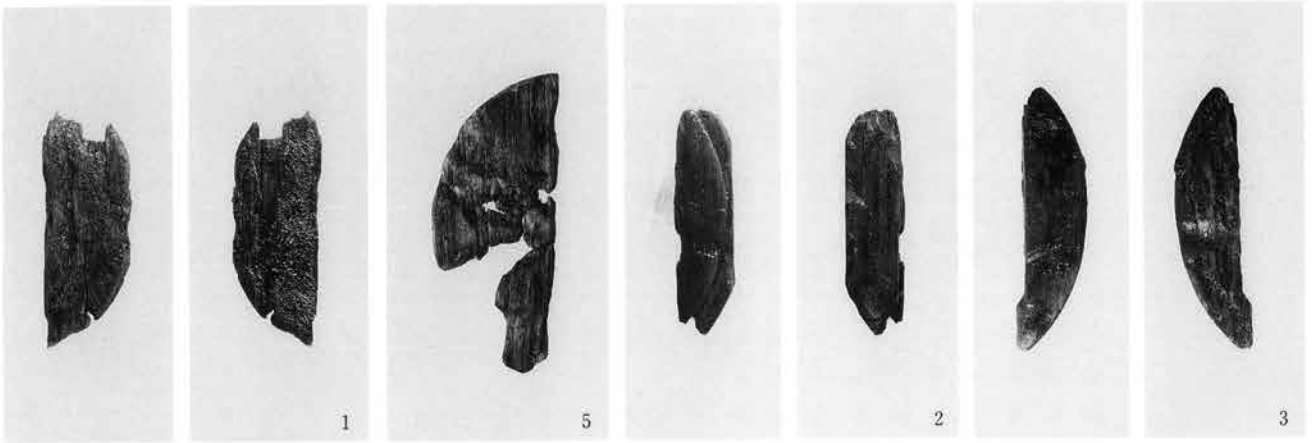
PL-34 1号溝出土遺物



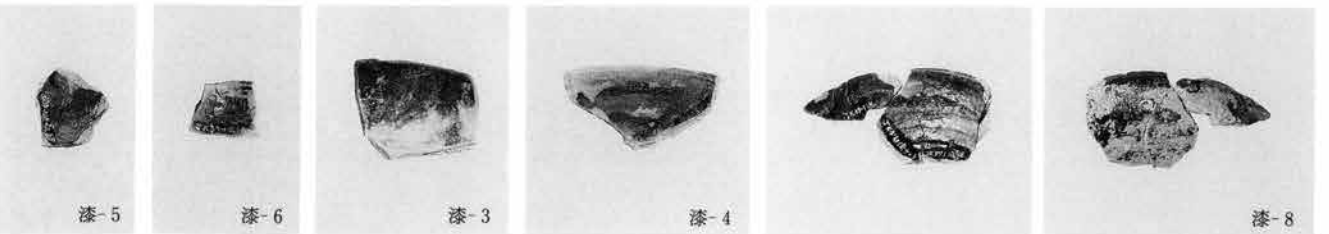
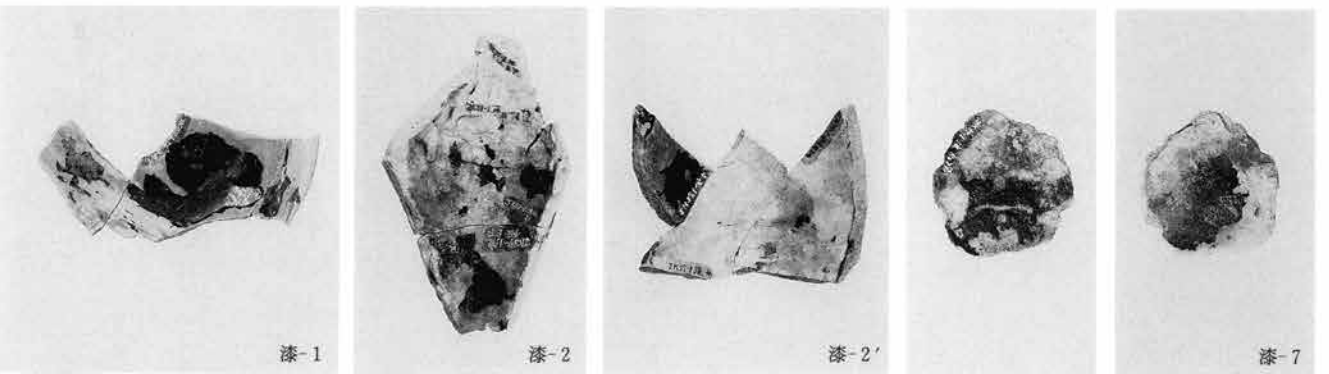
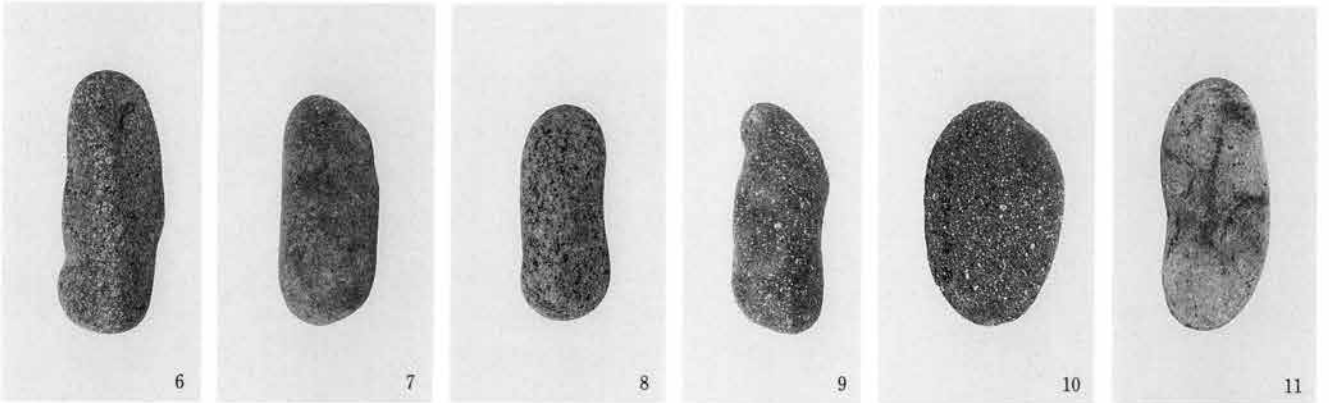
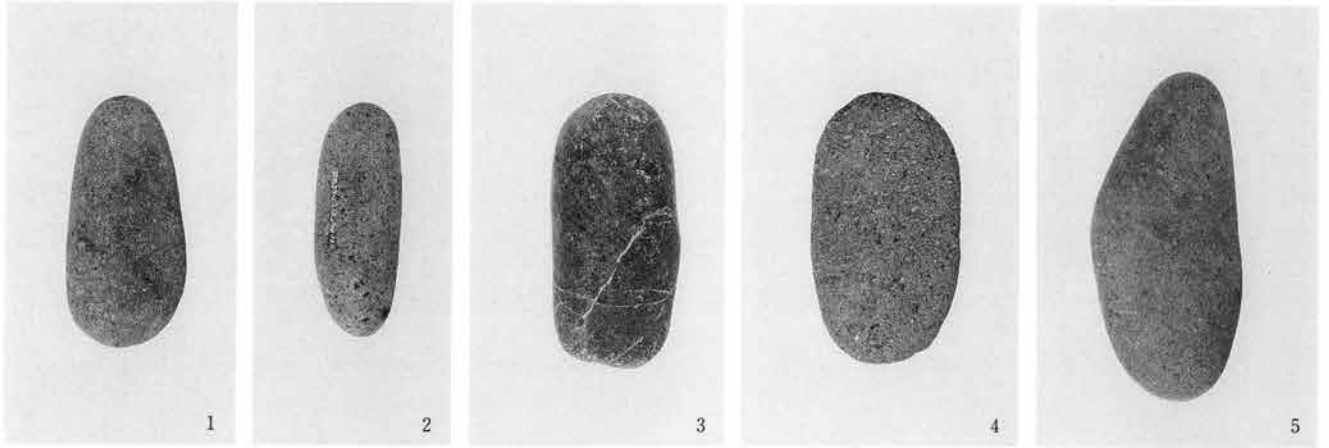


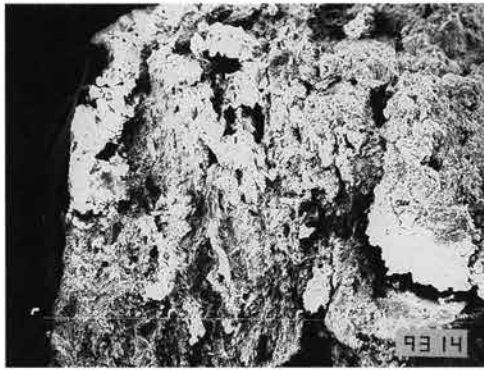
PL-36 縄文時代の石器





PL-38 こも編石および漆附着の土器

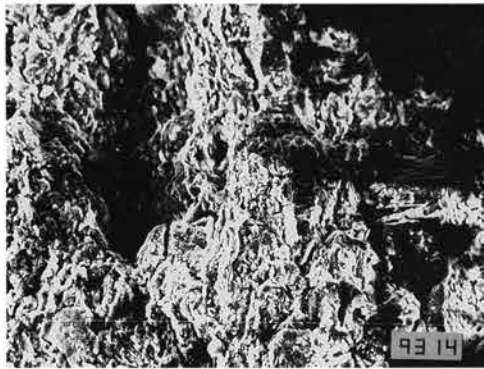




×35



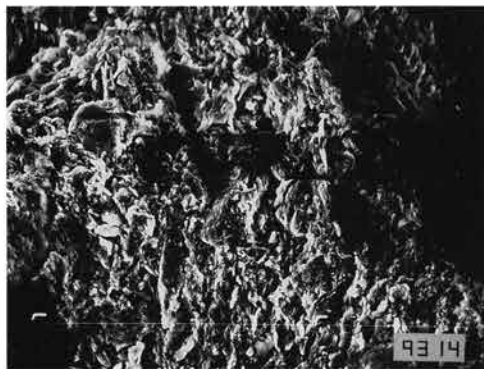
×35



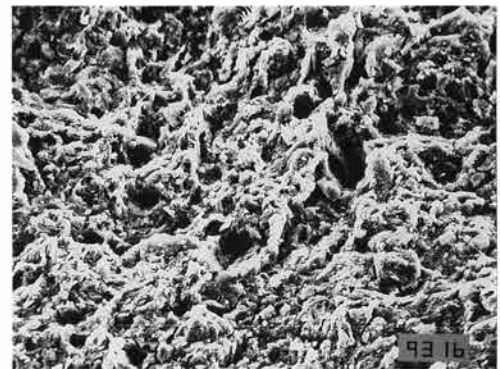
×350



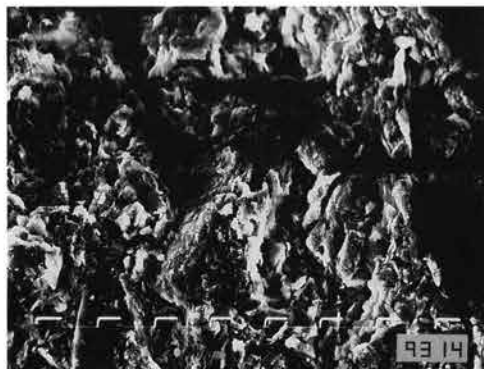
×350



×750



×750



×1500



×1500



×5000

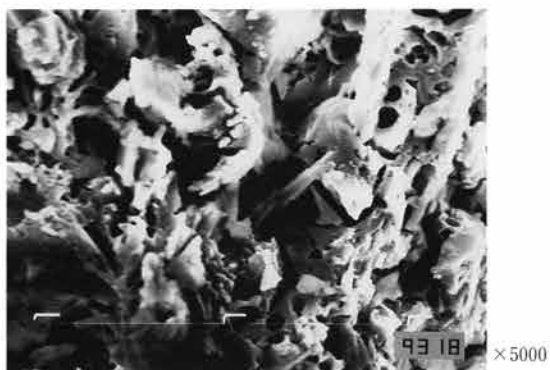
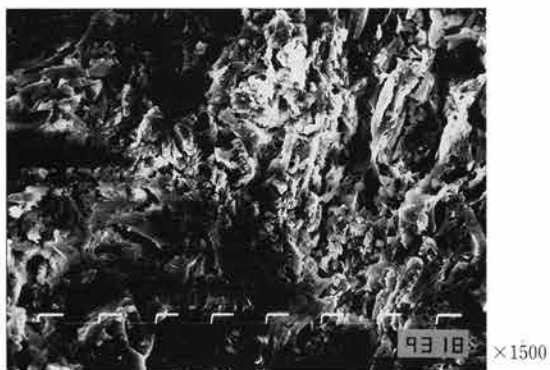
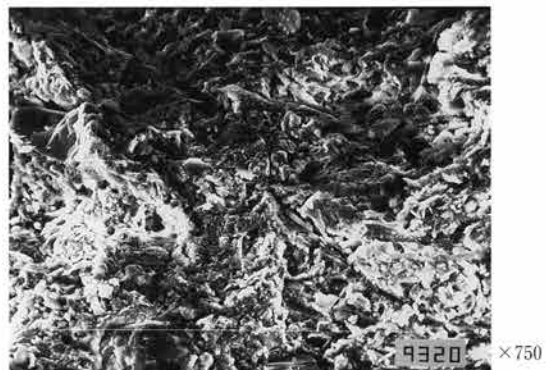
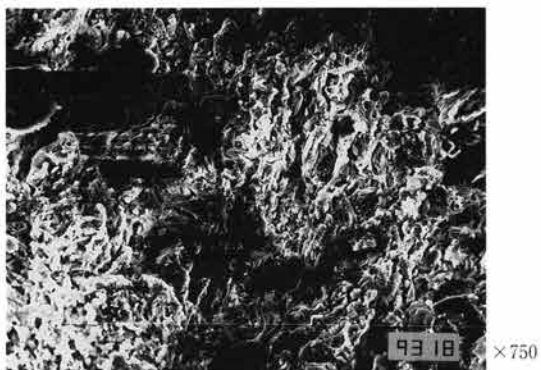
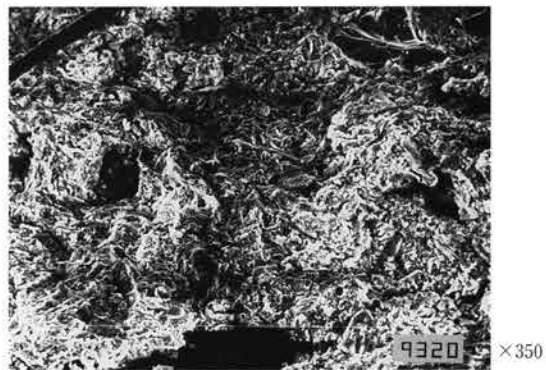
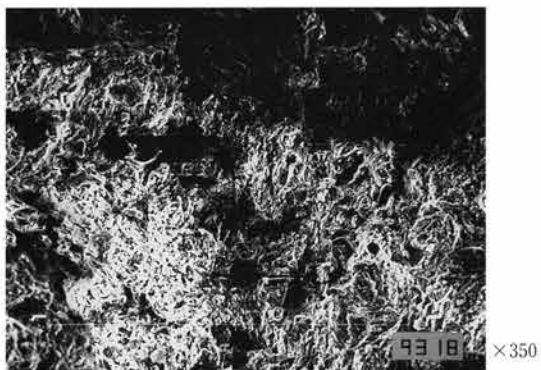
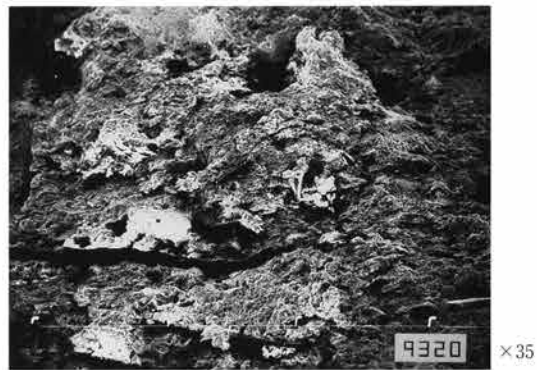
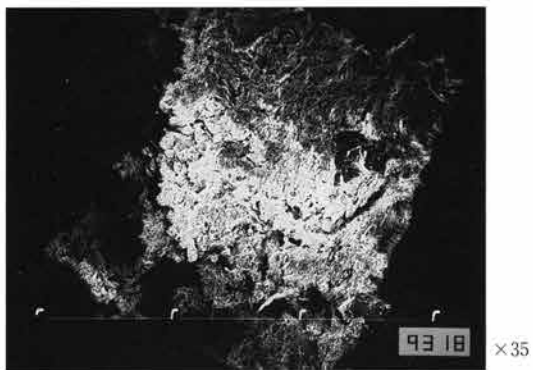


×5000

分析試料No. 1 電子顕微鏡写真

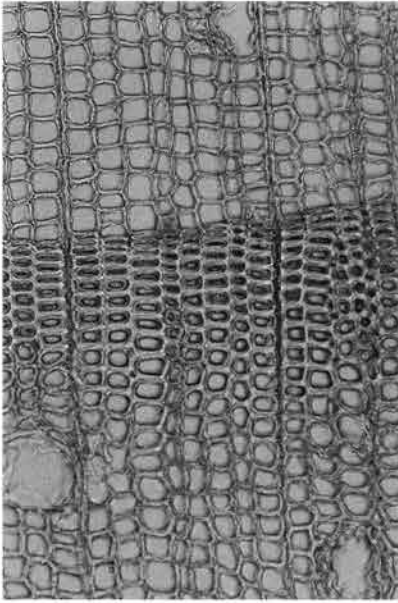
分析試料No. 3 電子顕微鏡写真

PL-40 胎土分析電子顕微鏡写真(2)

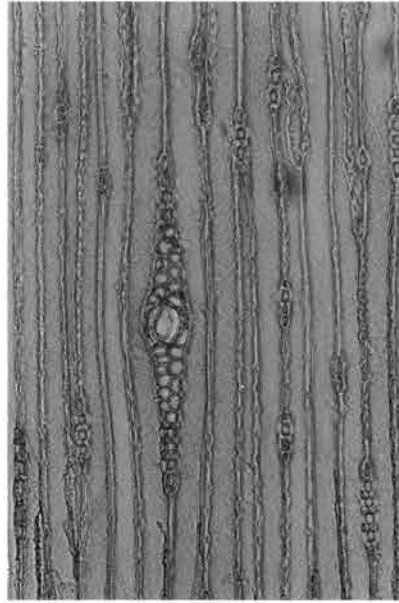


分析試料No.5 電子顕微鏡写真

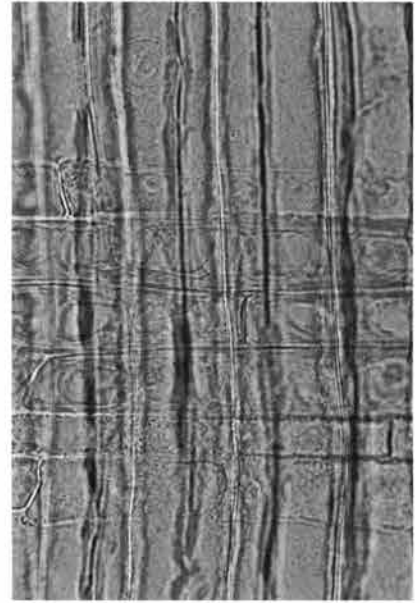
分析試料No.7 電子顕微鏡写真



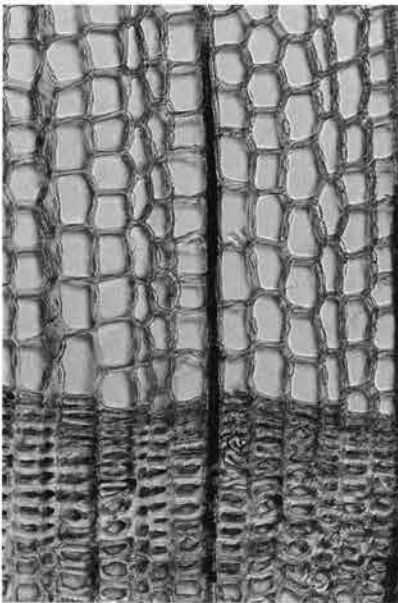
1 a. マツ属単維管束亜属 (横断面)
No.13 bar: 0.2mm



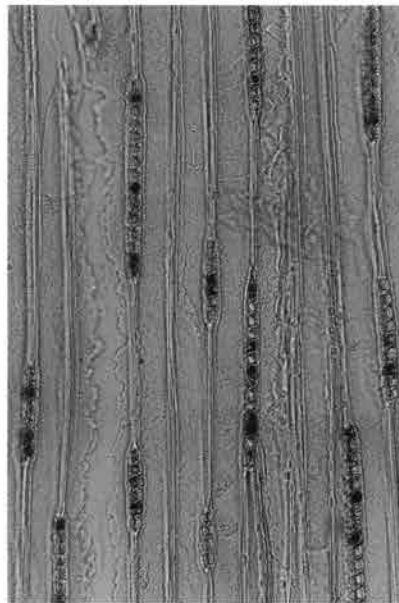
1 b. 同 (接線断面) bar: 0.2mm



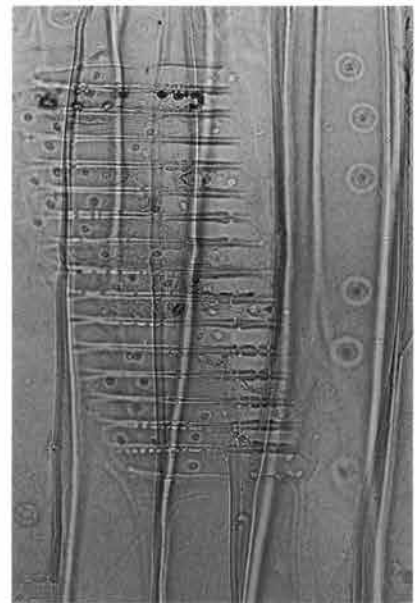
1 c. 同 (放射断面) bar: 0.05mm



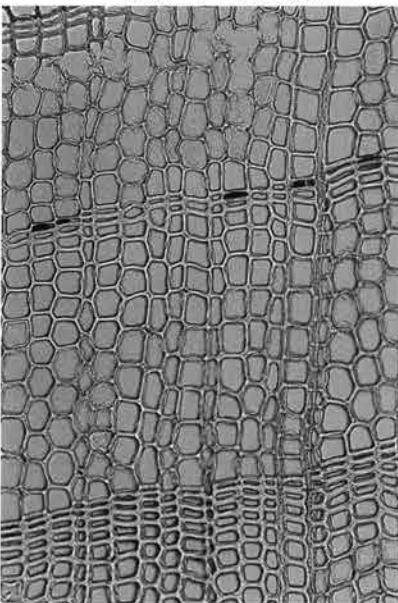
2 a. モミ属 (横断面)
No.11-2 bar: 0.2mm



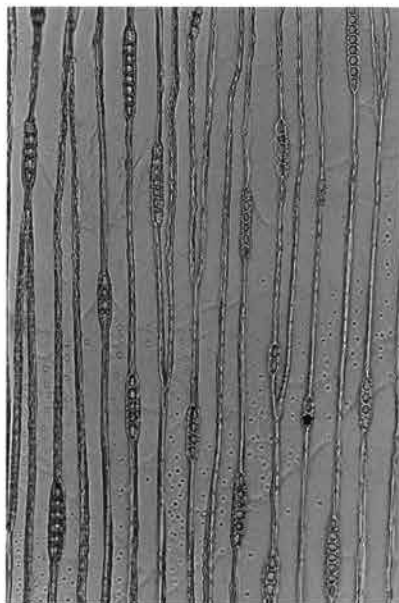
2 b. 同 (接線断面) bar: 0.2mm



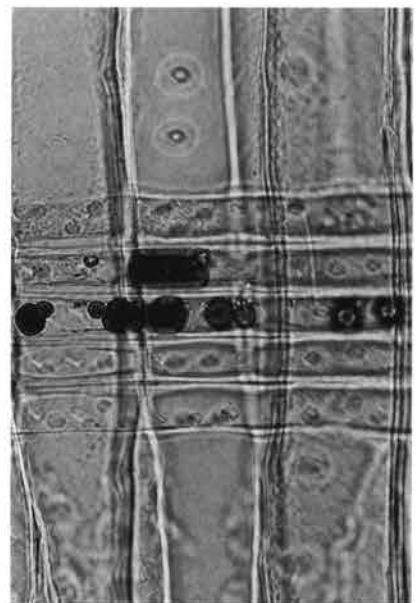
2 c. 同 (放射断面) bar: 0.1mm



3 a. ヒノキ属 (横断面)
No.5 bar: 0.2mm

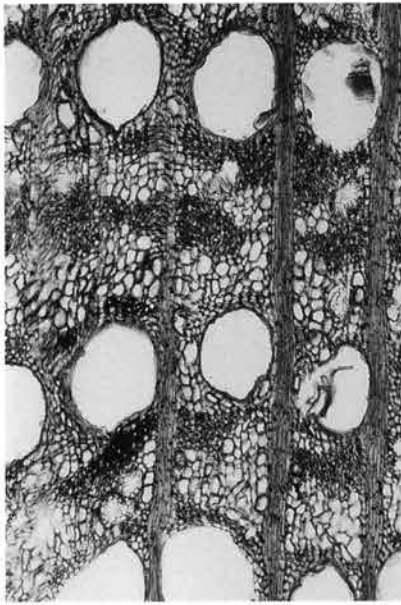


3 b. 同 (接線断面) bar: 0.2mm



3 c. 同 (放射断面) bar: 0.05mm

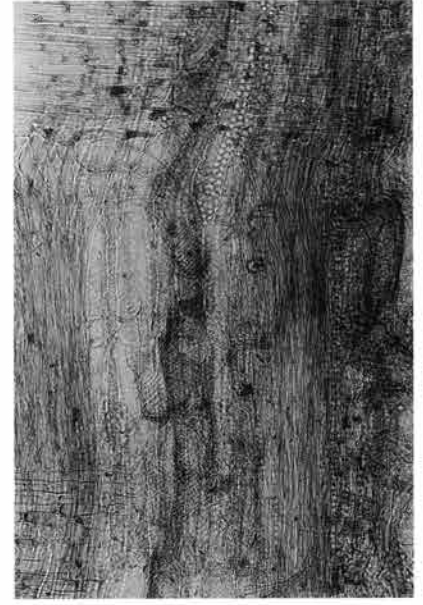
PL-42 木製品の樹種顕微鏡写真(2)



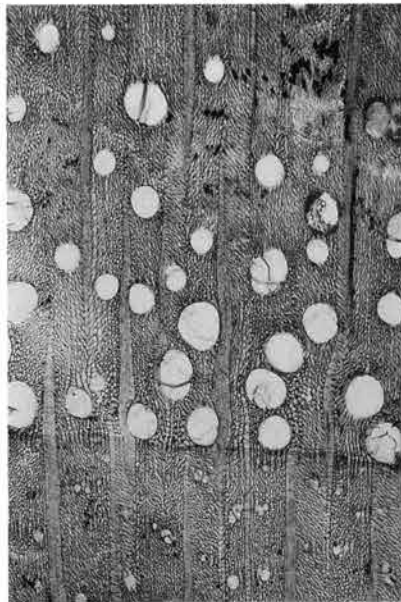
4 a. ケヤキ (横断面)
No.12 bar: 0.5mm



4 b. 同 (接線断面) bar: 0.2mm



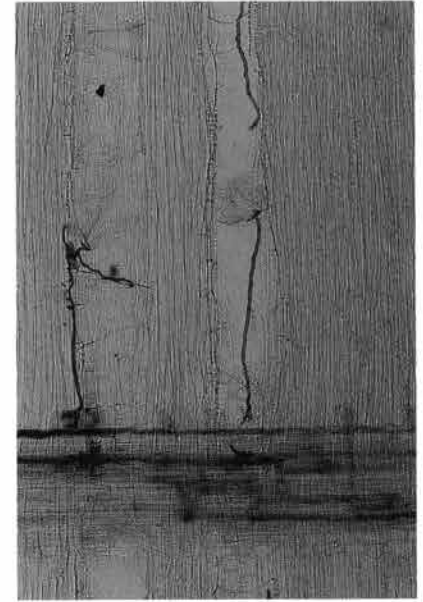
4 c. 同 (放射断面) bar: 0.2mm



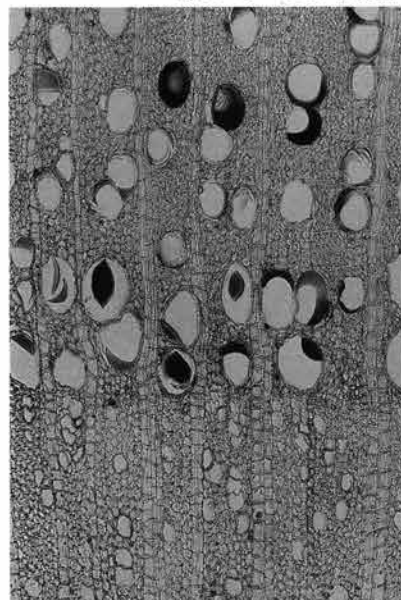
5 a. ヤマグワ (横断面)
No.11-3 bar: 0.5mm



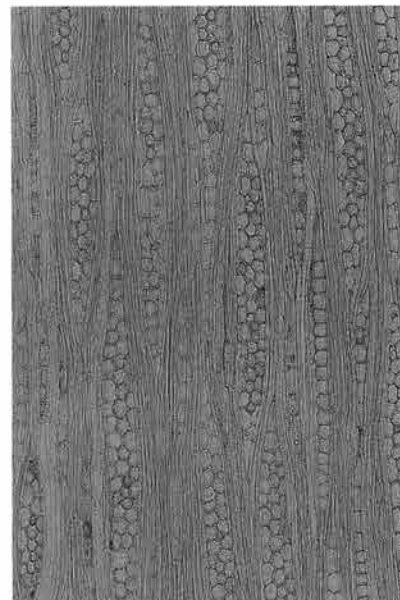
5 b. 同 (接線断面) bar: 0.2mm



5 c. 同 (放射断面) bar: 0.2mm



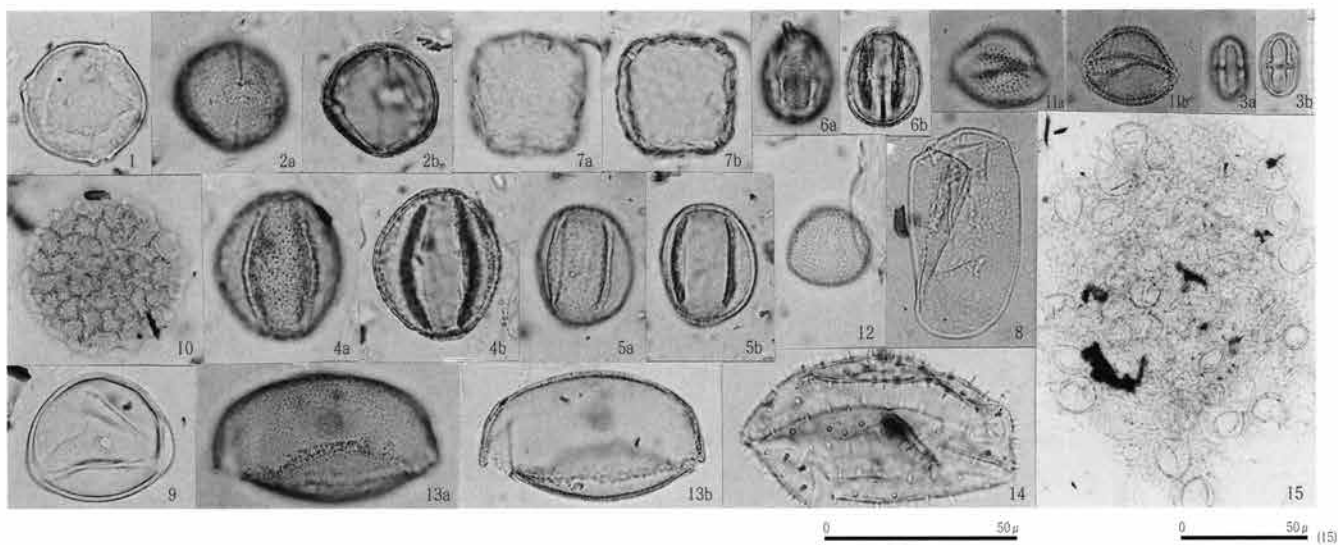
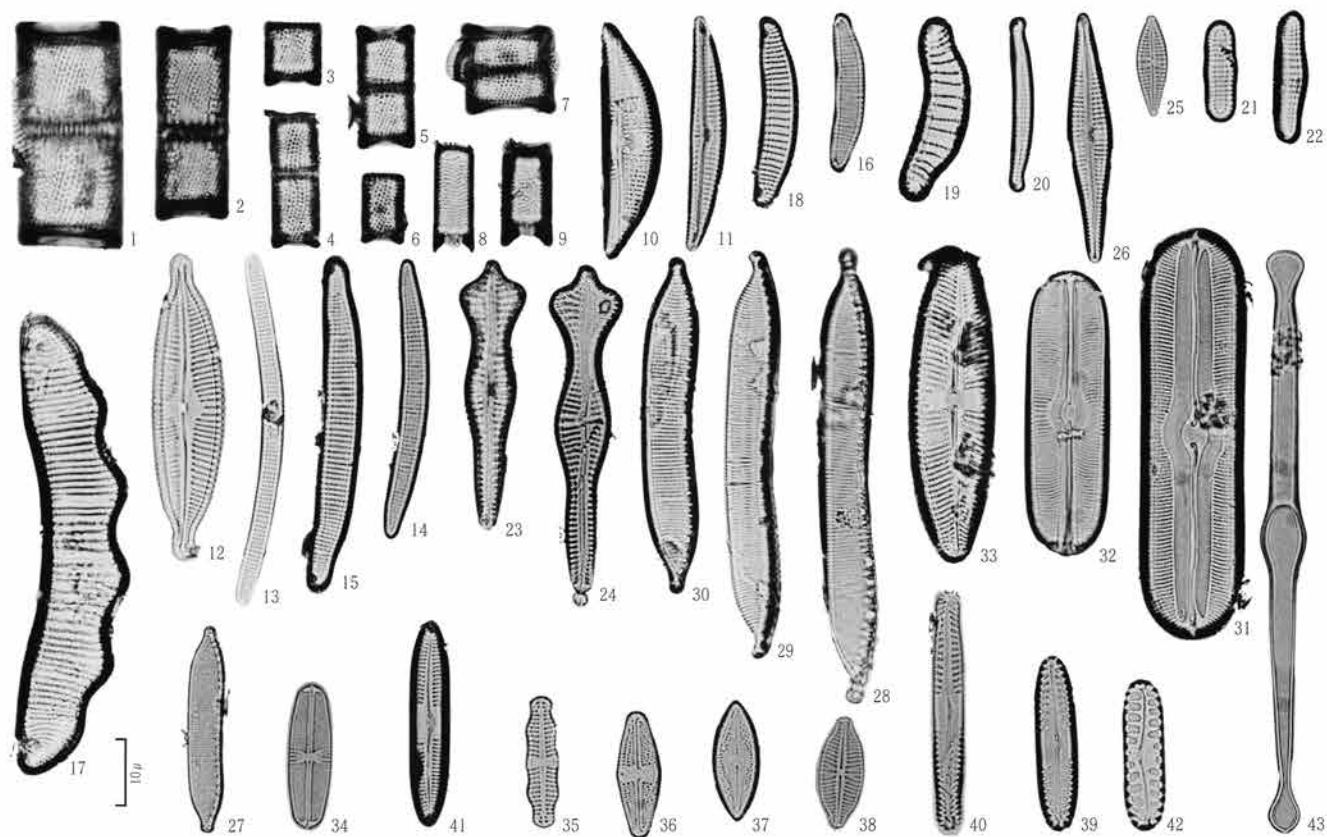
6 a. モモ (横断面)
No.11-1 bar: 0.2mm



6 b. 同 (接線断面) bar: 0.2mm



6 c. 同 (放射断面) bar: 0.1mm



No	珪藻化石種名	試料 No.
1	<i>Aulacosira italica</i> var. <i>valida</i> (Grun.) Simonsen	12
2	<i>A. italica</i> var. <i>valida</i> (Grun.) Simonsen	16
3	<i>A. ambigua</i> (Grun.) Simonsen	12
4	<i>A. ambigua</i> (Grun.) Simonsen	12
5	<i>A. ambigua</i> (Grun.) Simonsen	12
6	<i>A. ambigua</i> (Grun.) Simonsen	16
7	<i>A. distans</i> (Ehr.) Simonsen	12
8	<i>A. italica</i> (Ehr.) Simonsen	12
9	<i>A. italica</i> (Ehr.) Simonsen	22
10	<i>Amphora affinis</i> Kuetzing	22
11	<i>Cymbella gracilis</i> (Rabh.) Cleve	16
12	<i>C. naviculiformis</i> Auerwald	12
13	<i>Eunotia lunaris</i> (Ehr.) Grunow	22
14	<i>E. lunaris</i> var. <i>subarcuata</i> (Naeg.) Grunow	16
15	<i>E. peclinalis</i> (Kuetz.) Rabenhorst	16
16	<i>E. peclinalis</i> var. <i>minor</i> (Kuetz.) Rabenhorst	16
17	<i>E. monodon</i> var. <i>tropica</i> Hustedt	20
18	<i>E. duplicoraphis</i> H. Kobayasi	12
19	<i>E. praerupta</i> Ehrenberg	1
20	<i>E. fallax</i> A. Cleve	22
21	<i>E. monodon</i> var. <i>asiatica</i> Skvortzov	16
22	<i>E. monodon</i> var. <i>asiatica</i> Skvortzov	12
23	<i>Gomphonema acuminatum</i> Ehrenberg	16
24	<i>C. acuminatum</i> Ehrenberg	12
25	<i>C. parvulum</i> Kuetzing	20
26	<i>C. gracile</i> Ehrenberg	12
27	<i>Hantzschia amphioxys</i> (Ehr.) Grunow	22
28	<i>H. amphioxys</i> (Ehr.) Grunow	16
29	<i>H. amphioxys</i> (Ehr.) Grunow	12
30	<i>H. amphioxys</i> (Ehr.) Grunow	22
31	<i>Navicula americana</i> Ehrenberg	16
32	<i>N. bacillus</i> Ehrenberg	16
33	<i>N. elginensis</i> var. <i>cuneata</i> H. Kobayasi	1
34	<i>N. pupula</i> Kuetzing	16
35	<i>N. ignota</i> Krasske	20
36	<i>N. nutica</i> Kuetzing	20
37	<i>N. confusiva</i> (Kuetz.) Grunow	16
38	<i>N. hanbergii</i> Hustedt	16
39	<i>Pinnularia intermedia</i> (Lagerst.) Cleve	22
40	<i>P. subcapitata</i> Gregory	20
41	<i>P. leptosoma</i> Grunow	16
42	<i>P. borealis</i> Ehrenberg	16
43	<i>Tabellaria fenestrata</i> (Lyngb.) Kuetzing	12

No.	花粉化石名
1	クマンデ属 アサダ属
2a, b	イヌフナ
3a, b	クリ属
4~5	ゴナラ世属
6a, b	アカカシ世属
7a, b	ニレ属 ケヤキ属
8	カヤツリクサ科
9	イネ科
10	サナエタテ節 ウナギツクミ節
11~12	ガマ属
13a, b	ジュンサイ属
14	ミスオオハコ属
15	サンショウモ



群馬県埋蔵文化財調査事業団
発掘調査報告第166集

二之宮洗橋遺跡 写真図版編 一般国道17号(上武道路)改築工事に
観察表 伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

平成6年3月15日 印刷

平成6年3月25日 発行

編集・発行／財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団

勢多郡北橋村大字下箱田784-2

電話 (0279) 52-2511(代表)

印刷／朝日印刷工業株式会社